驚愕! PRIDE・GPに“あの男”が出場か!?

紙のプロレス RADICAL

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE
840 yen
72
2004

GP優勝候補の大本命が堂々復活!
オランダ発・独占インタビュー
エメリヤーエンコ・ヒョードル

K-1の伊達男がPRIDE・GP出陣!!
ステファン・レコ

新プロレスラーハンターが
中邑真輔を挑発!
アレクセイ・イグナショフ

K-1MMA遂にスタート!
狂乱の三大論客が徹底検証!!
堀辺正史
ターザン山本
井上義啓

K-1に“暴力”を持ち込んだ男!
その狂気の素顔を直撃!!
山本KID徳郁

何とでも言え、俺はハッスルする!!
苦悩の破壊王その胸中を激白!
橋本真也

髙田モンスター軍だヨ、
全員集合!

佐々木健介の豪邸
すべて見せます!

闘龍門流・ヒール論
望月成晃

最強への求道者たち全員集合!!

PRIDE・GPに格闘ロマンを見よ!

これが世界最大最高のプロレスだ!
『レッスルマニア20』超濃密リポート!!

アントンの実弟・猪木啓介氏が
“電機”の秘密を本誌だけに語った!

紙のプロレスRADICAL NO.72
この指と～まれ!

発行元：(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188

今更申し上げるのも何ですが

4月25日
『PRIDEヘビー級GP開幕戦』
ヒョードル・マグカップ付チケット
先行予約、

一般発売（3月28日）より早い3月20日〜22日、

『紙プロHand』ユーザー限定で

やっちゃいました。

毎日配信のメルマガ、随時更新の情報・ニュースに加えて、
『紙プロHand』ユーザー限定の注目大会チケット予約、
ショッピングサイトまである!!
近日、サイト内容がさらにパワーアップ!? 乞うご期待ッ!!

i編集長コラムは月曜更新、吉田豪コラムは木曜更新ッ!!
フリー宣言（!）を行った長南亮コラムも金曜スタート!!

アクセス方法

DoCoMo	iMenu ▶	メニューリスト ▶	スポーツ ▶	格闘技／大相撲 ▶
au/TU-KA	EZトップメニュー ▶	カテゴリで探す ▶	スポーツ ▶	格闘技 ▶
vodafone	メインメニュー ▶	Vodafone live! ▶	スポーツ・レジャー ▶	格闘技 ▶

ユーザーとプロレスする携帯サイト
紙のプロレス Hand

［お問い合わせ］（株）ダブルクロス 03-3403-5188

4月1日アップの着メロほか、最新情報は『RADICAL情報局』の『紙プロHand』コーナーをチェック!!

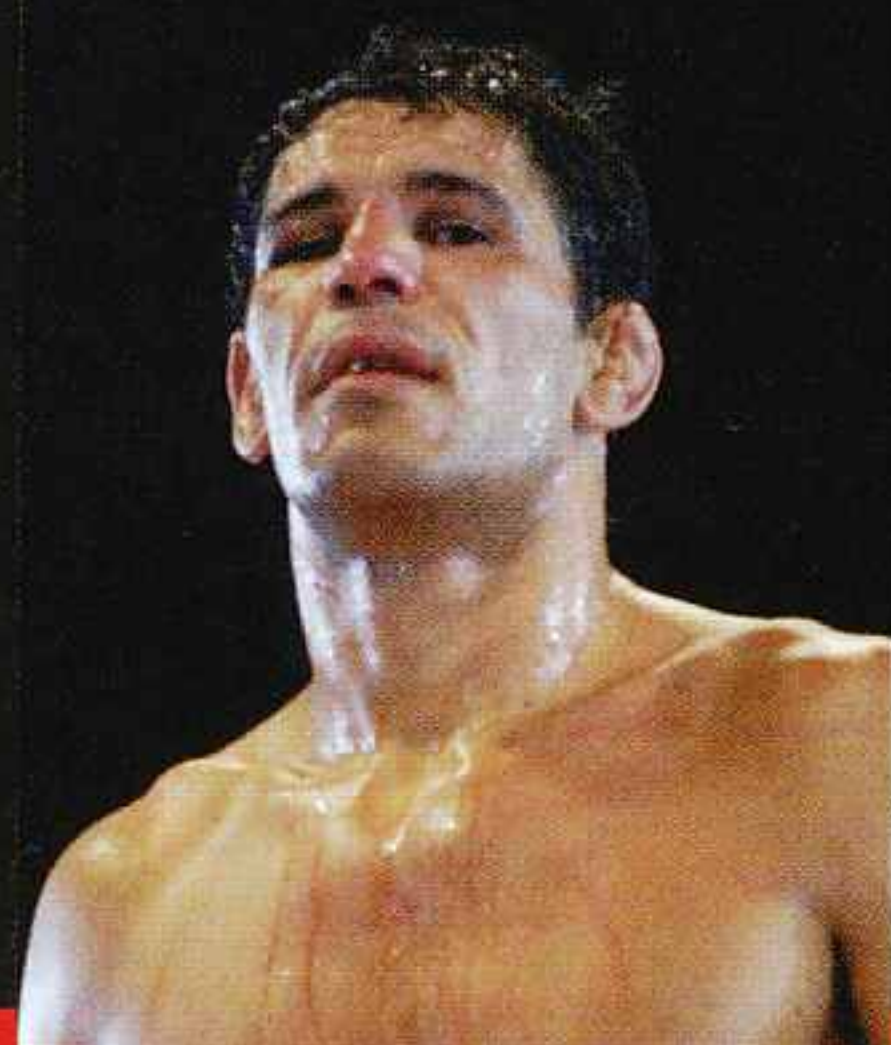
プロレス界と格闘技界を股に掛けた
超ド級の地核変動勃発!!
“あの男”の中の“あの男”が超熱風を巻き起こすか!?

はじまる前からボルケーノ
PRIDE・GP
全貌公開

”候補選出完了!!

場者 はこの中から絞り込まれる!

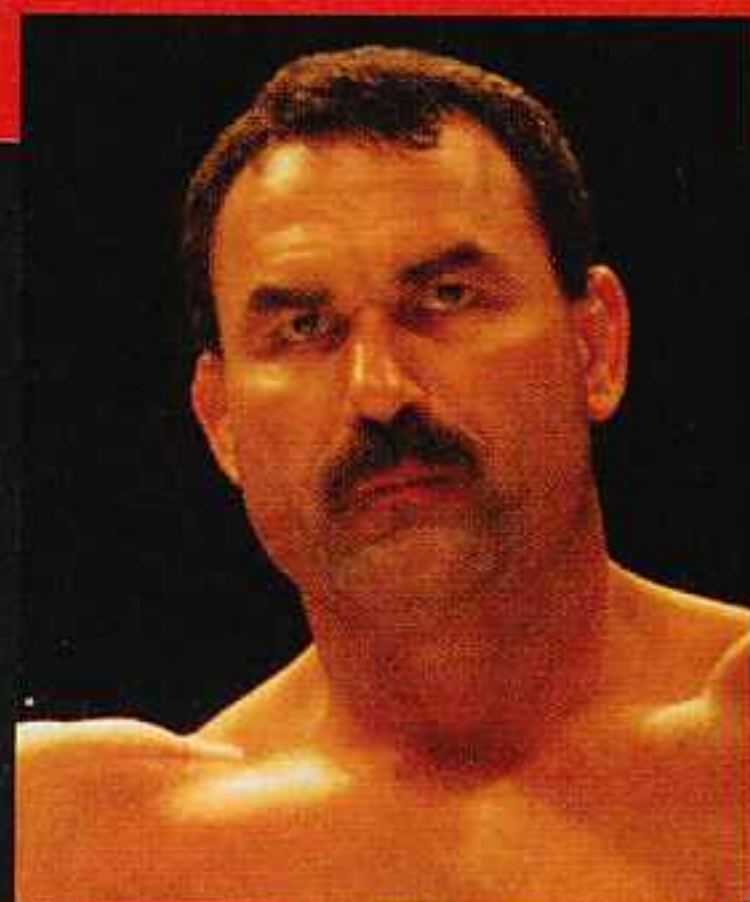
“あの男”の中の“あの男”が
最強トーナメントに参戦か!?

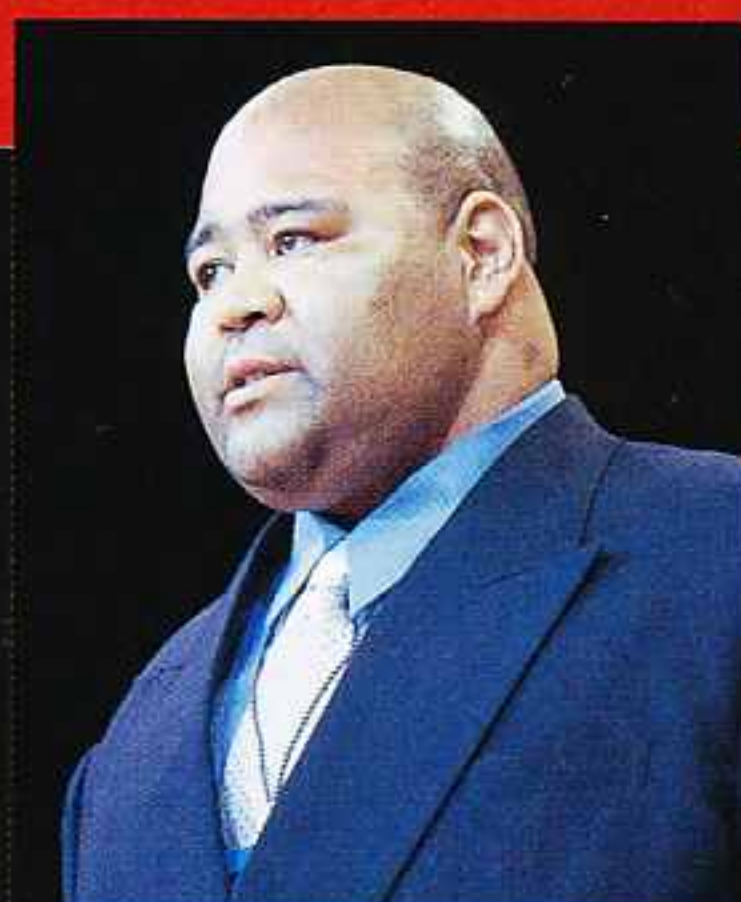
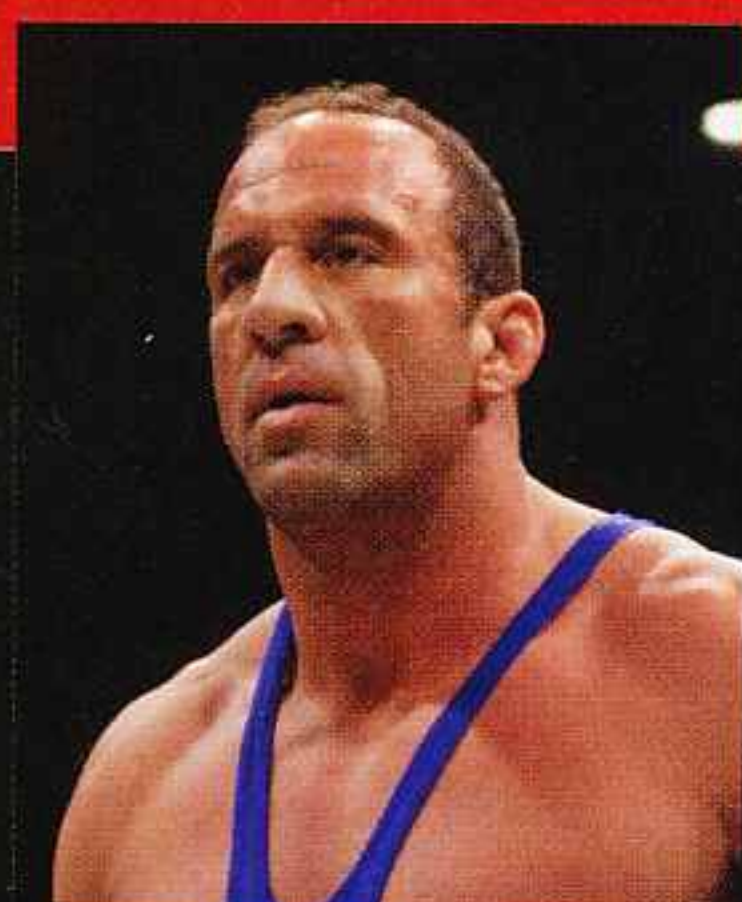
ミルコ・クロコップ

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ

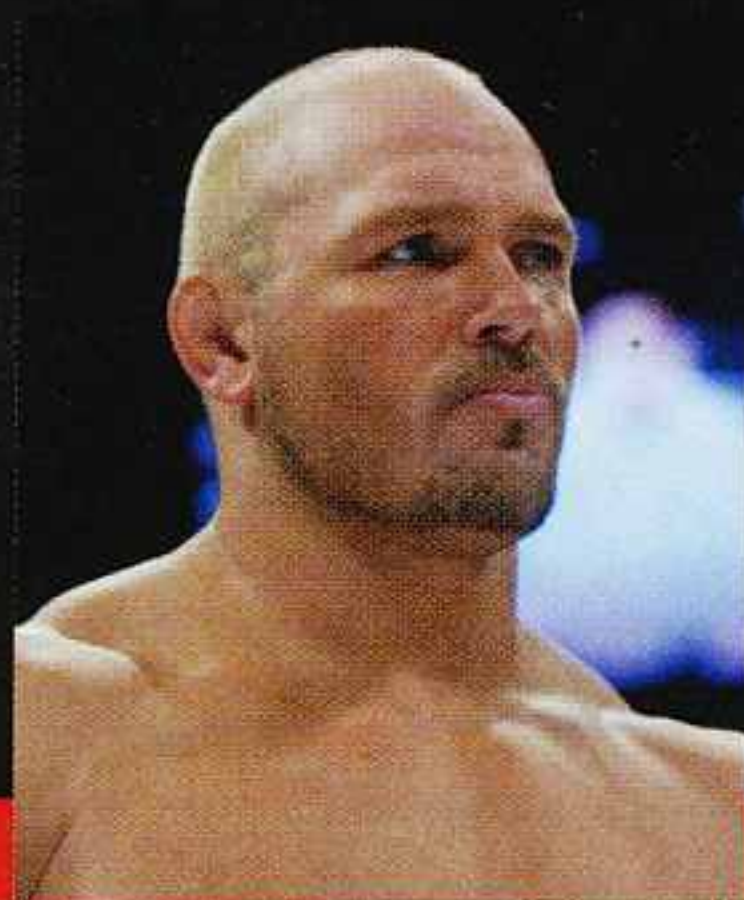
エメリヤーエンコ・ヒョードル

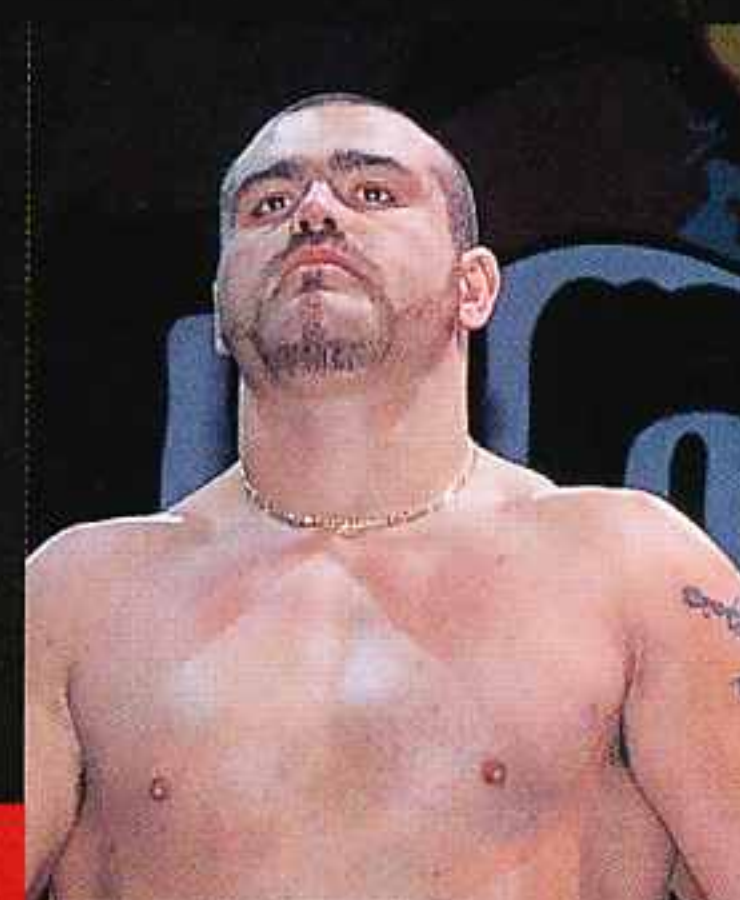
イゴール・ボブチャンチン

出場濃厚

ムリーロ・ニンジャ

ドン・フライ

横井宏考

戦闘竜

マーク・コールマン

ガン・マッギー

ロン・ウォーターマン

ヒカルド・アローナ

ティム・シルビア

“あの男”の中の“あの男”

出場?

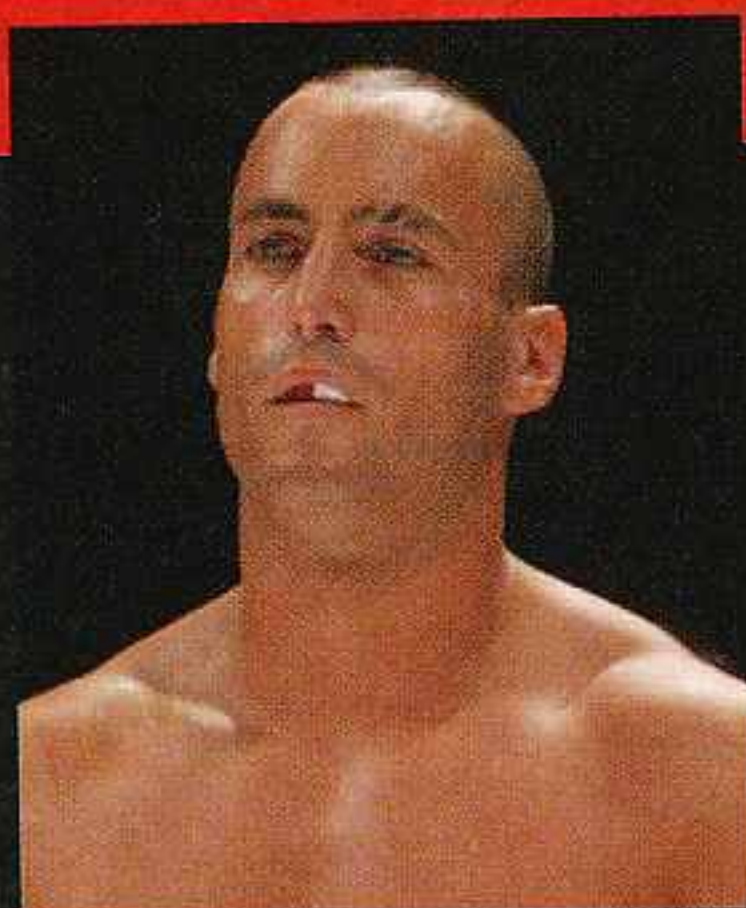
“世界最強”

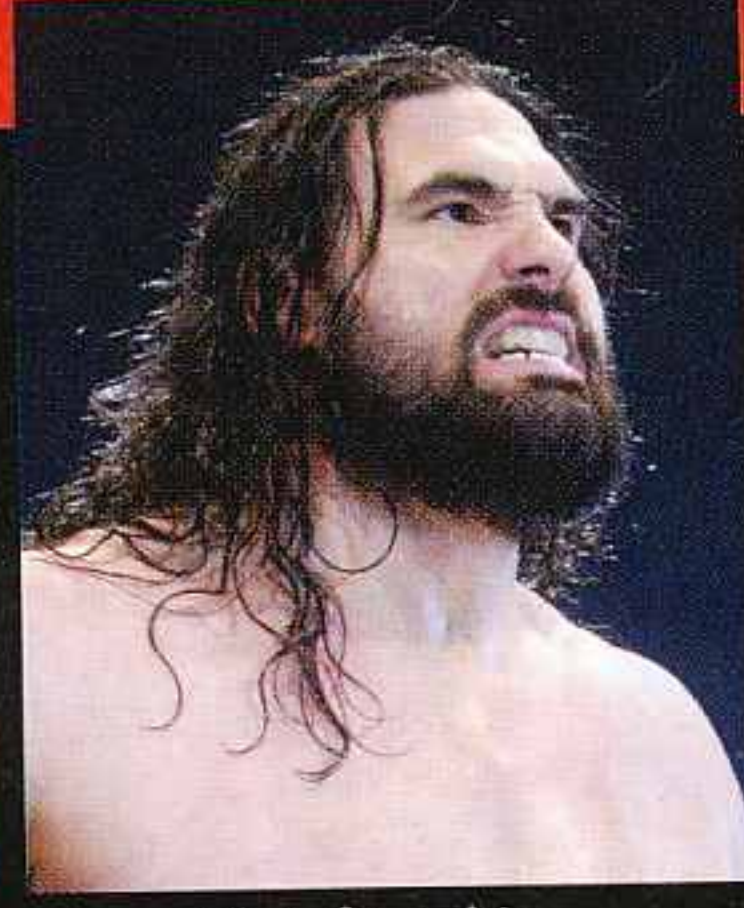
『PRIDE・GP』出場者

チケット一般発売を待たずに先行発売だけで15000枚を突破! 前代未聞の売れ行きを記録しているモンスターイベント4・25『PRIDE・GP』開幕戦が、いよいよ開戦まで一ヶ月を切った。一部参戦ファイター&対戦カードなどは、今号が書店に並ぶ2日前の24日に行われる記者会見で明らかにされる。締切ド直前の22日に入手した情報によれば、このページにズラリと並んでいるファイターたちの中から、トーナメントに出場できる16名が絞り込まれることになる。
ミルコ、ノゲイラ、ヒョードルの三強、サバイバルマッチを勝ち上がったハリートノフ、ヒーリング、ボブチャンチンらの出場はすでに決定している。正式なアナウンスはされてはないが、「出場濃厚」枠の中からはステファン・レコ、戦闘竜の出陣が内定しているといわれる。他の「出場濃厚」枠選手、「出場?」枠から選出されるファイターは、24日に発表されなくとも徐々に明らかになっていくと思われるが、やはりここで一番気になるのは「絶賛交渉中」枠だろう。誰が参戦しても十分なビッグサプライズとなるファイターたちばかりだ! 昨年の『PRIDEミドル級GP』で評価を上げた吉田秀彦は、「3月中に結論を出す」と慎重な構えを見せながらも、GP出場にはかなり前向きである。『PRIDE』三強に匹敵する実力者と評価が高いジョシュ・バーネットにも、『PRIDE』は正式にGP出場のオファーを出したといわれる。ジョシュ本人もGP出場の希望を明かしているが、ジョシュは新日本プロレスの契約選手である。その新日本は『PRIDE』と対立するK-1と協力関係にあり、政治的な向き合いのために出場は困難とされているが……。K—1のリングから久しく遠ざかっていた“スーパーサモア人”ことマーク・ハントも『PRIDE』に興味を示している。『PRIDE・GP』の参戦は無理でも、準決勝大会や決勝ラウンドの中のスーパーワンマッチで登場する可能性は非常に高い。すでに実力派日本人ファイターとの対戦をプランニングする動きもあるといわれる。ハントが参戦することになれば、K-1GP王者としては初のVT挑戦になることから、今年の『PRIDE』の大きな目玉になることは確実だ。そして、もし出陣することになれば、天地がハッスルするほどの騒ぎになるといわれる“あの男”の中の“あの男”に対してもDSEは出場を打診している。大物を形容する場合、“X”や“あの男”という単語が使われるが、この超大物はまさに“あの男”の中の“あの男”という呼び名が相応しい。最近WWEを離脱したばかりのブロック・レスナー獲得の噂も取り沙汰されているが……。とにかく、その“あの男”の中の“あの男”が超大物であることは間違いない。“あの男”の中の“あの男”を含めた「絶賛交渉中」ファイターたちの行方は今月中には結論が出される。三強が揃い踏みするだけですでに豪華絢爛さは漂っており、“仕掛け”より“中身”で勝負する『PRIDE』ではあるが、“中身”が伴った『PRIDE』の“仕掛け”が『PRIDE・GP』に極上の刺激を注入する可能性は十分にありえるのだ。“あの男”の中の“あの男”とは一体誰なんだ……? 格闘技界とプロレス界を股に掛けた、超ド肝を抜く展開が待ち受ける!?

ヒース・ヒーリング

セルゲイ・ハリトーノフ

出場決定

ステファン・レコ

ジャイアント・シルバ

ザ・プレデター

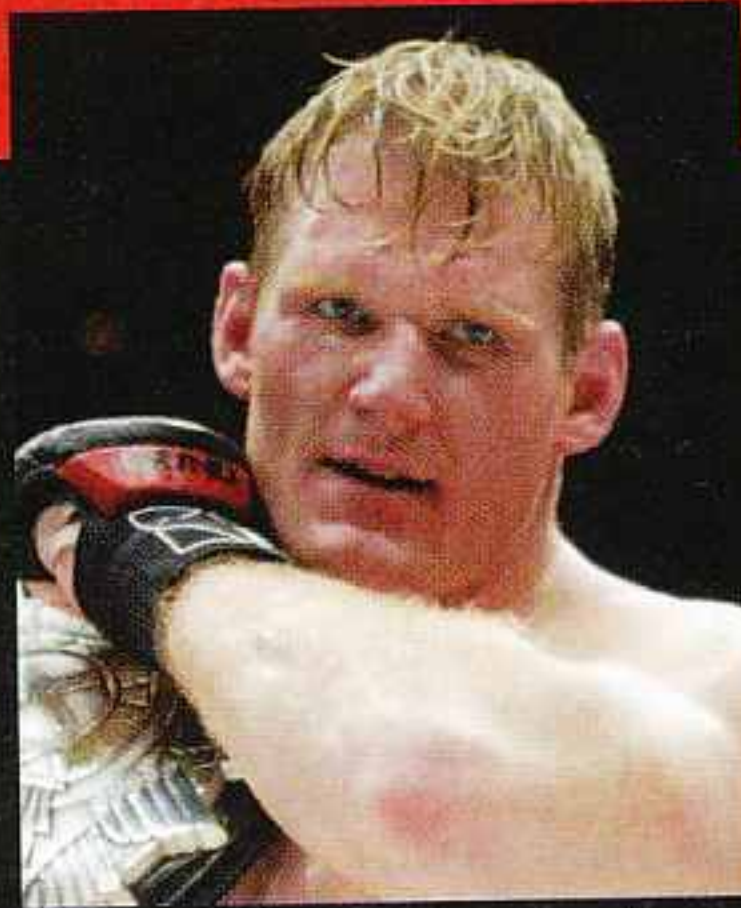
絶賛交渉中

吉田秀彦

ジョシュ・バーネット

マーク・ハント

なぜ横井宏考は"日本人ヘビー級最後の秘密兵器"と呼ばれるのか?

『PRID・GP』参戦
大熱望!!

総合無敗の"怪物君"横井宏考の全成績

日付	大会	結果
01.8.4	リングス	○ vsリカルド・フィエート(1R2分34秒/腕ひしぎ逆十字)
01.9.21	リングス	○vs小島正也(1R2分12秒/ストレート・アームバー)
01.10.20	リングス	○vs折橋謙 (1R3分14秒/TKO)
02.11.10	リングスリトアニア	○vsスタチス・スミルノヴァス(判定3—0)
02.2.15	リングス	○vs藤井克久(判定3—0)
02.3.20	『DEEP』	○vsメモ・ディアス(判定3—0)
02.8.8	『LEGEND』	○vsブルドーザー・ジョージ(1R1分47秒/スリーパー)
02.11.24	『PRIDE.23』	○vsジェレル・ベネチアン(2R3分29秒/腕ひしぎ逆十字)
03.3.28	Hook'n Shoot	○vsウイルソン・ゴヘイア(3R/TKO)

まだメンバーは正式決定してないものの、ヒョードル、ミルコ、ノゲイラの3強を筆頭に、とんでもない強豪がひしめくことが予想される『PRIDEヘビー級グランプリ』。その総合格闘技最高の舞台に、日本から"ヘビー級最後の秘密兵器"と呼ばれる男がついに名乗りを挙げた!

その男とは、現在ZERO-ONEマットで活躍するプロレスラー、"怪物クン"横井宏考!

プロレスラーのVTと言うと、昨今の何もできずにKO負けというイメージがあまりにも強いため、『PRIDE』のましてや最強を決めるグランプリで通用するのか?と疑問視する向きもあるだろうが、この横井は、そんじょそこらの亀レスラーたちとは訳が違う!

01年に前田道場最後の新人としてリングスでデビュー以来、総合格闘技9戦全勝。しかも、一度もピンチらしいピンチは見せたことがない底知れぬ実力の持ち主。

総合の実戦からは昨年3月、米・フックンシュートに出場以来、約1年間のブランクがあるが、その間もTK高阪剛のG-スクエアで共に練習し、スパーリングした人間の誰もが「あいつは強い」と口を揃える実力者、それが横井宏考なのだ。

総合での横井の武器は、柔道仕込みの組技と、バツグンの破壊力を持つパウンド。そしてリングスの新人時代から「お前、ホントはロシア人だろ?」と呼ばれていた日本人離れした骨格にナチュラル・パワーを備えており、その姿はまさに"和製ヒョードル"。

そんな横井が対戦を熱望するのが、現PRIDEヘビー級暫定王者アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラだ。

実はこのノゲイラ戦、以前から横井が望んでいたこともあって、今年2月1日の『PRIDE・27』で実現寸前のところまでいったが、ノゲイラが調整不足とボクシング練習優先のために回避したといういきさつがある。まさか、あのノゲイラが"逃げた"とは思えないが、大事なGPを控えた時期に「厄介な相手だ」と思ったことは想像に難くない。

つい最近もG-スクエアでの練習でボブ・サップを投げ飛ばしたとの逸話も伝わって来る横井。

いったいどれだけ強いのか、『PRIDE』のトップファイターにどれだけ通用するのか、それをこの目で確かめるためにも、横井の『PRIDEヘビー級GP』出場。そしてノゲイラ戦実現を本誌は強く望みます!

TOP3 一回戦の相手は誰だ

ミルコ ノゲイラ ヒョードル

昨年8・10『PRIDEミドルGP』以来の三強揃い踏み参戦!!

TOP3予想対戦者
［※★は実現度を表します］

『PRIDE』ヘビー級王者
エメリヤーエンコ・ヒョードル

対戦者	実現度
vsマーク・コールマン	★★
vsドン・フライ	★★
vsセルゲイ・ハリトーノフ	★

『PRIDE』ヘビー級暫定王者
アントニオ・ホドリコ・ノゲイラ

対戦者	実現度
vs横井宏考	★★★
vsロン・ウォーターマン	★
vsティム・シルビア	★

『PRIDE』のエース
ミルコ・クロコップ

対戦者	実現度
vsマーク・コールマン	★
vsガン・マッギー	★
vsティム・シルビア	★
vs戦闘竜	★

締切ド直前の22日時点の情報によれば、24日に『PRIDE・GP』記者会見が開催され、GP出場選手及び一部決定カードが発表される。一番の興味を惹くのは『PRIDE』三強と呼ばれるミルコ、ノゲイラ、ヒョードルらの組み合わせだろう。情報筋によれば、一回戦で三強同士が対戦することは「有り得ない」といわれる。24日の会見ですでに発表済みかもしれないが、ここでは三強の開幕戦対戦相手を予測してみよう。ハズれても知〜らない!

ヒョードルは当初、誰もが対戦を拒むトム・エリクソン戦が浮上。『PRIDE』王者でありながら、DSEの競合イベント『猪木祭り』出場したことへの〝制裁マッチ〟的意味合いも匂うカードだったが、トムエリK—1参戦により消滅!〝『PRIDE』男塾塾長〟ドン・フライが、反逆の皇帝に『PRIDE』ソウルを叩き込む一戦や、コールマンとの新旧王者対決などが浮上している。

暫定ヘビー級王者のノゲイラには、横井宏考が対戦を熱望してることから、横井の参戦が決定すればノゲイラが迎え撃つことが濃厚となる。

ノゲイラへのリベンジ、宿命であるヒョードル戦、そして悲願のベルト獲得など、あらゆるテーマを背負って登場するミルコは、対戦候補として名が挙がっていた高山善廣が大会同日、ノアの武道館大会に出場するために、〝幻の大晦日決戦・決着戦〟はまたも露に消えた。ミルコにはコールマンやマッギー、かつてミルコが〝ノルキヤ〟呼ばわりでバカにした元UFC王者シルビア、そして戦闘竜との異色マッチも検討中ともいわれる。

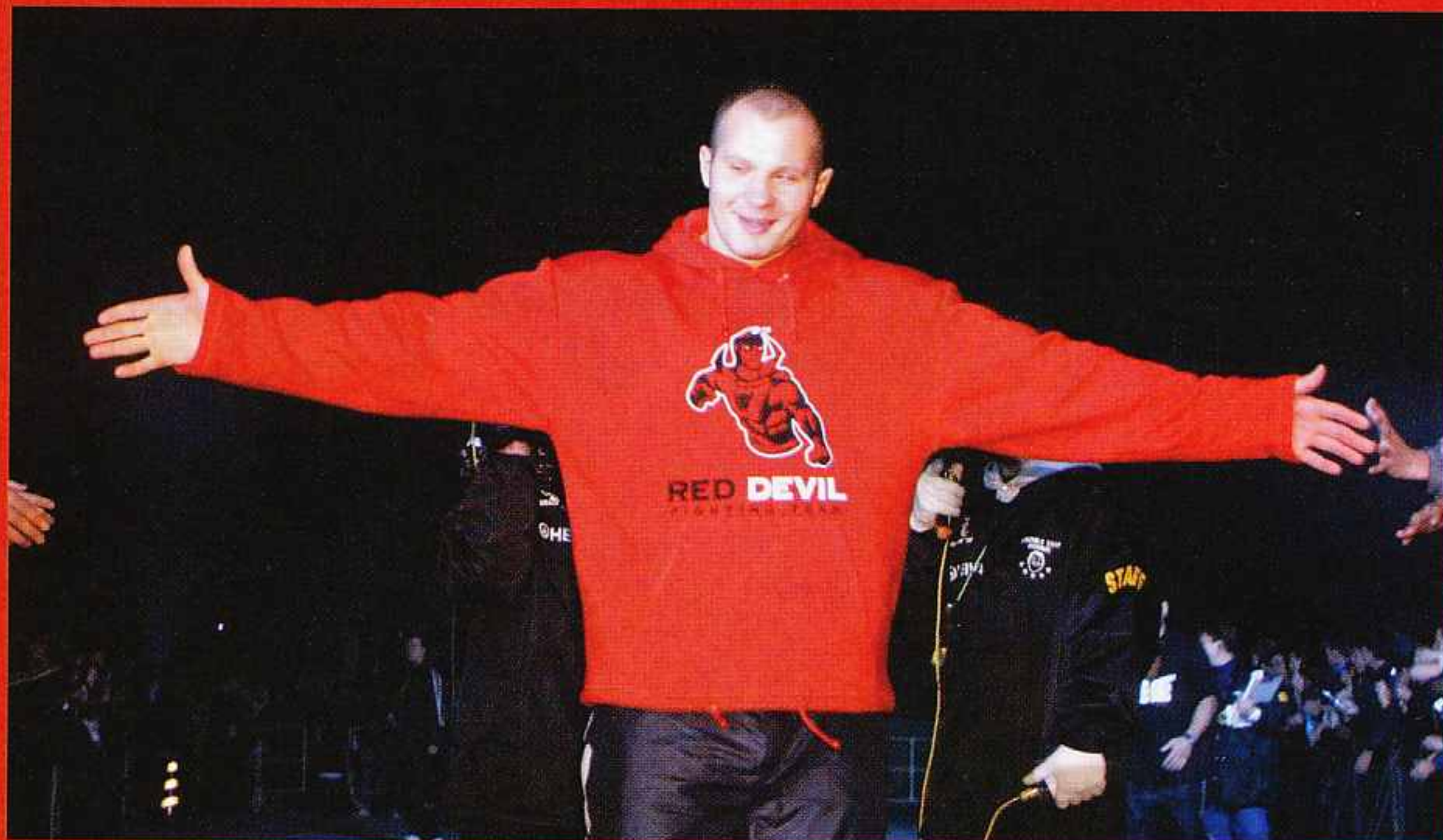
急転直下、ジョシュが電撃参戦を果たせば、トーナメント組み合わせ自体の大幅な見直しも必要となるだろう。三強のいずれかがジョシュを迎撃する可能性は十分に有り得る！いずれにせよ、世紀の格闘技トーナメント『PRIDE・GP』は、三強を中心には回っていくのはたしかなのである。 サイキョッ!

前代未聞の爆発的売れ行き!! プレミアチケット化は必至だ!

先行発売で15000枚を超える売れ行き!! 3月28日一般発売を前にして、『PRIDE・GP』開幕戦のチケットは前代未聞の売れ行きを記録した。会場のさいたまスーパーアリーナは、もちろん4万人収容のスタジアムバージョンにセットアップ。それでもチケットが手に入らない状況になる恐れはある。プレミアは確実、いますぐ買いに走れ!!

『PRIDE・GP』シリーズ フジテレビで当日中継か!?

今年の『PRIDE・GP』も、フジテレビが当日ゴールデンタイムorプライムタイムで放映するプランが進められている。驚くことに今年は開幕戦だけではなく決勝ラウンドまでの全大会を、ゴールデンタイムorプライムタイム中継するビッグプランを検討中！ 世紀の祭典に相応しい環境が整いつつあるのだ。

大混乱の『猪木祭り』から
大混沌の『PRIDE・GP』へ反逆の皇帝、
北の国から帰郷!

「今の私の目標は誰もがわかっているとおり『PRIDE・GP』に勝つこと以外あり得ない」

オランダの試合会場で『PRIDE・GP』出場を表明、その場でDSEと契約を交わしたヒョードル。
先日までオランダでトレーニングを行っていたヒョードルを代理人のミヤトビッチ氏を通じてキャッチし、
『猪木祭り』から『PRIDE・GP』まで、"レッド・デビル"のヒョードルを初直撃!

構成/松澤チョロ　協力/ibizcube japan
designed by hisa (Two Three)

エメリヤーエンコ・ヒョードル

nko Fedor

やはり『PRIDE・GP』大本命はこの男か!?

本誌独占インタビュー

Emelianen

ナガタは勇気も積極性もある、いいファイターだと思います

――ヒョードル選手は『紙のプロレス』という雑誌はご存知ですか？

ヒョードル　日本にいるときに、その雑誌は何度か見せてもらいましたけど、残念ながら私は日本語は読めないんです。

――そうですよね。ロシアでも『紙プロ』を出せるように頑張ります！（笑）。ヒョードル選手は最近までオランダでトレーニングを積んでいたとのことですが、どういったトレーニングをしていたんですか？

ヒョードル　オランダではゴールデン・グローリーをはじめ、いろんなジムや道場に行きました。今はタイ式ボクシングとキックを特に集中してやっているんですけど、世界でもトップクラスのファイターとハードなトレーニングをこなしてきました。

――具体的に、どういった選手とですか？

ヒョードル　今回は特にキックの技術を磨こうと思って行ったんです。やはりオランダ人はその分野では世界一ですから。その中でも最も有名な1人のルシアン・カルビンの元でトレーニングをしました。

――カルビンさんというと、ギルバート・アイブル選手が身体にタトゥーを入れてるほどの人なんですよね。

ヒョードル　私もそれは見ました。彼自身のトレーニングは誰もが出来るものではありません。彼の指導でキックの技術が以前に比べ格段に身に付いたと思います。

――得意のパンチだけでなくキックも超パワーアップしたわけですね。

ヒョードル　そういうことです。

――オランダの印象はどうでした？

ヒョードル　オランダではキックボクサーやMMAのファイターとのハードな練習がほとんどだったんですが、充実した時間を過ごせました。でも、私はロシアの方がもっと好きです。

――ちなみに、最近一番楽しかったことは何ですか？

ヒョードル　最近では……サンクトペテルブルグで、ニコライ・ズーエフさんとグラウンドのテクニックを磨くためのトレーニングをしたことですかね。

――トレーニングばっかりなんですね（笑）。ズーエフさんとはいまでも一緒にトレーニングをしてるんですか？

ヒョードル　はい。

――ヒョードル選手が以前所属していたロシアントップチームのパコージン総監督はヒョードル選手に対して「はて、ヒョードルって誰だい？　昔、育てたような気もするが」と言ってたんですけど（笑）、ヒョードル選手は何かメッセージはありますか？

ヒョードル　それなら私もよく覚えていませんと言っておきます。もう終わったことですし、いまはレッドデビル所属ですから。

――あまり言いたくないんですね（笑）。では、新しく所属したレッドデビルはヒョードル選手にとっていかがですか？

ヒョードル　私は、このクラブに移籍したことを嬉しく思っています。ただ唯一の悩みはジムのあるサンクトペテルブルグが私の住んでいるスタールイ・オスコルから離

先日までオランダへ渡りトレーニングを重ねたヒョードル。『PRIDE・GP』出場が確定しているレコとも激しいスパーリングを行った。２人の間にはアレキサンダー、そしてその後ろから、こっちを覗いているのはアイブルだ

れているので、常に彼らと共に練習することが出来ない点です。

――レッドデビルでは、どのようなコーチから教わっているんですか?

ヒョードル　レッドデビルのコーチ陣のレベルは凄く高いんです。ボクシングに関してはロシアで最も優秀なクラブの1つと言えます。中には世界レベルの強豪もいますから。それと、サンボや柔道、レスリングに関しても同じことが言えます。サンボの世界チャンピオンもいます。

――所属が変わっても練習環境については問題ないわけですね。

ヒョードル　全く問題ないです。私は打撃は別として、サンボ、レスリングといった技術に関しては必ずしもトレーナーのサポートが必要というわけではないですから。

――ヒョードル選手は間違いなく世界のトップクラスですからね。

ヒョードル　ただ、レスリングのトレーナーのヴォロノフ・ウラジミール・ミカイロヴィッチのアドバイスは私にとって非常に重要です。彼は常に試合を客観的に観て、試合が終わると戦術についてアドバイスをしてくれるし、それに対して私も気づいた点を上げて納得がいくまで話し合っています。そういう意味では、彼の存在そのものが私の助けになっているということです。

――話は変わりますけど、『猪木祭り』の永田戦はアッという間に終わってしまいましたが、闘ってみて永田選手にはどのような印象を持ちました?

ヒョードル　ナガタは勇気も積極性もあるいいファイターだと思います。

――へぇ～、評価は高いんですね。

ヒョードル　でもMMAのファイターとしてのトレーニングをもっとするべきだと思います。自分のレスリングの技術を過信していたのかもしれないですが、あくまでもレスリングはレスリング、ファイトはファイトだと私は思いますから。

大晦日の『猪木祭り』では二転三転しながら最終的に永田裕志と闘い圧勝したヒョードル。年越しイベントではアントンと一緒に「1、2、3、ダーッ！」も披露するなどノリノリ。大会後に行われたパーティーでは弟のアレキサンダーと共にニコニコしながらラウンドガールと話をしたり、気軽に記念撮影に応じていたヒョードル。お前も男だ!!

Emelianenko Fedor

――もっともです。では、『猪木祭り』という大会自体と、アントニオ猪木さんには、どういう印象を持っていますか?

ヒョードル　『イノキ・ボンバイエ』は本当に面白かったです。イベントとしてもハイレベルだったと思います。

――ハ、ハイレベルでしたか（笑）。

ヒョードル　はい。イノキさんも私や弟に良くしてくれましたし、あの大会で闘えて良かったと思ってます。

――それなら良かったです（笑）。ミルコ選手は「マネージャーであるミロ・ミヤトビッチと、近い将来、闘おうと思っているヒョードルとが代理人契約をすることは想像も出来ないし、理解ができない」と言っていましたが、ヒョードル選手はこのことについてはどう思いますか?

ヒョードル　ミルコがなんて言ってるのかは私は知りませんが、ミロが何人のファイターをマネジメントしても問題ないと思っています。逆にそういったことが問題になるのが私には理解できません。

――ちなみに、ミヤトビッチさんに対しては、どう思われていますか?

ヒョードル　ミロは、とてもいい人です。まだ、彼とは少ししか一緒に仕事はしていないですが、彼との仕事は楽しいですし、私にとっての満足度は高いです。

――では、『PRIDE』マットで一番ライバル視している選手は誰になりますか?

ヒョードル　『PRIDE』には世界中の素晴らしいファイターが集まっているので、誰が一番とか言うのは非常に難しいことです。どうしてもというのなら、ノゲイラとミルコになるでしょう。

――ファンも、その2人だと思っています。

ヒョードル　やはりノゲイラは前チャンピオンであり、彼は非常に強い相手と数多く闘い、素晴らしい戦績を残しているのが、その証明だと思います。ミルコも同じで、彼らは2人ともとても強いと思うし、今一番、油の乗っているファイターでしょう。ただ、若くて強いファイターというのは突然現れますからね（微笑）。

――まあ、ヒョードル選手もその1人だったんですけどね（笑）。それで、『PRIDE』のリングではヒョードル選手が負傷欠場している間、ノゲイラ選手が『PRIDE』ヘビー級の暫定王者になったわけですが、それについてはどう思いますか?

ヒョードル　私はいまでも『PRIDE』ヘビー級王座を持っていますし、それに、その2人に負けていません。ケガで試合ができなかっただけで、基本的に私は『PRIDE』から撤退したつもりもないです。ただマネージャーを代えただけです。いくつかの誤解もありましたが、全て過去のことです。私は常に『PRIDE』で試合がしたいと思っていましたし、ファンもそれを望んでいると思います。4月25日の『PRIDE・GP』には必ず出場します。

――期待してます！　でも、右手拳のケガは完全に治ってると思っていいんですか?

ヒョードル　いまは痛みもないし、トレーニングには全く影響していません。できればこれから先も痛まないでいてくれることを願っています。

――ボクも祈ってます！　では、コンディションはバッチリなんですね?

ヒョードル　最高の状態だと思います。ただ、ここ最近はトレーニングを質、量ともに強化して激しい練習をしているので、どうしても疲れは残ってしまいます（微笑）。

――ズバリ、『PRIDE・GP』で優勝する自信はありますか?

ヒョードル　まだ出場選手はわかりませんが、間違いなくたくさんの強いファイター

ハッスルですか？　私はそのことについてはよくわからないです

が参加すると思うし、その選手たちにも十分勝つチャンスがあるからなんとも言えません。トーナメントなので運や偶然や引き分けというのも重要な要因になると思います。でも私はベストを尽くします（微笑）。

——ノゲイラ選手は、「自分はミルコよりも強いってことを証明したから、今度はヒョードルと早く再戦をしたい」と言ってましたが、この話についてどう思いますか？

ヒョードル　自分の希望では『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』の後にワンマッチでノゲイラと闘えればと思ってます。彼とはファンが一生忘れられないような素晴らしい試合をもう一度やりたいです。私自身、再び闘うことをとても楽しみにしていますから。

——もちろん、再戦したとしても前回と同じ結果になるわけですよね。

ヒョードル　私の技術もまだまだ向上しているし、もっといい試合ができると思う。次やるときには、お互いがびっくりするような試合になると思います。きっとファンも喜んでくれるでしょう。

——それでは、一方のミルコ選手とは闘いたいと思っていますか？

ヒョードル　その日を楽しみにしています。私がミルコと闘いたくないのだろうと思っている人も多いようですが、実際にはその試合は私のケガのため実現しなかっただけです。今最も大きな舞台はＧＰであり、そこで私たちは対戦する可能性もありますし、その後にタイトルマッチで対戦するかもしれません。それはマネージャーたちが大きな役割を果たすことになります。

——ヒョードルvsミルコ戦は世界中のファンが待ち望んでますからね。

ヒョードル　ありがとうございます（微笑）。たとえＧＰやタイトルマッチで実現しなくても今年中に対戦するかもしれません。私は彼との対戦に興味があるからです。

——その日を楽しみに待ってます。そういえば、ＤＳＥの榊原代表はヒョードルとハリトーノフの試合も見たいと言ってたんですが、ヒョードル選手はどう思ってます？

ヒョードル　率直に言って、私はハリトーノフとは闘いたくないです。彼は私にとっては友人だし、彼自身のことも彼のテクニックについてもよく知っている。この試合は面白いものになるとは思うけど、お互いの全部を知っていて、かつ友人だっていうことでできれば試合はしたくない。

——ハリトーノフ選手はヒョードル選手から見て、どういう選手ですか？

ヒョードル　ハリトーノフは良いファイターで、とても有能です。私たちは長い間、同じチームの一員として行動し、一緒にトレーニングに行きました。『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』では間違いなく多くのファイターを苦しめると思います。

——そういえば、高田本部長が、吉田道場の中村選手のことを〝和製ヒョードル〟と言って評価してましたが、それについてどう思いますか？

ヒョードル　日本のファイターがより強くなって、世界にアピールすることが出来るなら私も嬉しいです。そういったことを通じて、総合格闘技がスポーツとしてより発展していくと思いますから。

——『ＰＲＩＤＥ』のリングで闘ってみたい日本人選手を1人あげてください。

ヒョードル　タカダさんがナカムラのことを〝和製ヒョードル〟と言っているなら、ナカムラと言っておきましょう（微笑）。

——そうですか（笑）。今のヒョードル選手にとって一番の目標はなんですか？

ヒョードル　今の私の目標は誰もがわかっているとおりです。

——大体わかりますけど、ヒョードル選手の口から聞かせてください（笑）。

ヒョードル　『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』に勝つこと以外あり得ません。私のモチベーションは、目の前の敵を全て倒し、無敵であり不敗であり続けることだけです。

——最後に日本のヒョードルファンにメッセージをお願いします！

ヒョードル　『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』のために、今までで一番のコンディションにするべく、今も集中して厳しい練習をしている。力と精神力の全てを使って闘うことを誓うし、自分の試合を見て喜んでくれて、さらに皆さんの記憶に残るような試合をするよ。今年の努力をサポートしてください。がっかりさせるようなことはさせません。

——最後にもう一問だけお願いします！　ＤＳＥで『ハッスル』というプロレスの大会をスタートさせましたが、ヒョードル選手も将来的にプロレスでハッスルしてみたいっていう気持ちはありますか？

ヒョードル　ハッスル？　う〜ん、私はそのことについてよくわからないので、申し訳ないですが答えられません。

——し、失礼しました。それでは、『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』での活躍を期待してます！

いよいよ開幕間近の『PRIDE・GP』。優勝争いは大方の予想どおり、ヒョードル、ミルコ、ノゲイラの三強の争いとなるのか？この号の発売までには出場メンバーも発表されているはず

©ibizcube japan

ロシアントップチーム時代はパコージン総監督の意向もあり、撮影させてもらえなかったアレキサンダーの背中。しかし、オランダから送られてきた写真には背中のタトゥーがバッチリ！　う〜ん、さすがレッドデビル!?

私のモチベーションは、目の前の敵を全て倒し、無敵であり不敗であり続けることです

Emelianenko Fedor

RUSSIA

大きな役割を果たすことになります。

イグナショフ、ボンヤスキーを下した男が
満を持して『PRIDE・GP』出陣!

「『PRIDE』での自信? リング上で何が起こるか、しっかり見ていてほしいとだけ言っておくよ」

先のヒョードルと同じく代理人を務めるミロ・ミヤトビッチ氏経由で
『PRIDE・GP』参戦が確実視されているステファン・レコを電話でキャッチ!
『猪木祭り』の感想、K-1から『PRIDE』へ主戦場を移した理由等々、気になる点を直撃!

構成／松澤チョロ　本文構成／橋本宗洋　協力／ibizcube japan
designed by hisa (Two Three)

ステファン"ブリッツ"レコ
ITZ"Leko

©ibizcube japan

第2のミルコはこの男か!?

本誌独占インタビュー

Stefan"BL

『PRIDE』マットに稲妻が走る！

いよいよ、開幕まであと1カ月と迫った『PRIDE・GP』に、K—1のトップファイターだったステファン〝ブリッツ〟レコの出場が決定した。K—1では、デビュー直後からその端正なルックスと確かなテクニックで将来を嘱望されていたこの伊達男。K—1GPでもベスト8の常連であり、アーツ、イグナショフ、そして昨年のK—1王者レミー・ボンヤスキーにも勝利するなど、まぎれもないトップファイターだ。その最大の武器は、自らブリッツ＝稲妻と名乗るほどのスピード。さらにパンチのテクニックとスタミナも一級品である。特にコンパクトなパンチのコンビネーションは、総合でも充分に対応できるはず。

2002年にゴールデン・グローリーに移籍してからは、UFCの会場に姿を現すなど総合進出の噂は以前からあったレコ。昨年はK—1GP決勝大会直前になっての欠場、大晦日の『猪木祭り』参戦とマット界の混乱の真っ只中にいた感があるが、ここにきて満を持しての、そして最高の舞台での総合デビューとなるわけだ。『PRIDE』とは6試合契約。しかも立ち技ルールでの試合も行う意向があるということで、レコの存在は今後の『PRIDE』の方向性にも大きく関わってくる可能性があると言っていいだろう。『PRIDE』でもお馴染み、ヒース・ヒーリングやアリスター・オーフレイムらとともに急ピッチで総合の練習に励むレコに、『PRIDE』移籍の理由と総合デビューへの意気込みを聞いた。

——昨年12月からレコ選手をめぐる状況は激変していますが、まずは昨年の大晦日に行われた『猪木祭り』での村上和成戦の感想から教えてもらえますか？

レコ　悪魔のようなファイターだったね（笑）。入場からインパクトがあったし、客席も盛り上がってた。自分に対しても試合の始めから挑発してきて、彼がバックブローをブロックしたときなんか凄くバカにした感じだった。それで頭にきて、ハイキックをブチ込んでKOしてやったんだよ。でもキックのルールでオレと闘ったんだから、度胸のある勇敢なファイターだと思うよ。

これまでレコが獲得した主なタイトル歴はI.K.B.F.世界フルコンタクト王者、I.K.B.F.キックボクシング王者、W.M.T.A.世界ムエタイ王者、K-1ヨーロッパグランプリ王者など多数。写真のアーツをはじめ、ボンヤスキー、イグナショフ、ベルナルドら錚々たる選手から勝利を収めているレコ。03年K—1無敗の勢いのまま『PRIDE』マットでも活躍なるか!?

これがレコのゴールデン・グローリーでのスパーリングパートナーたちだ。ヒョードル＆アレキサンダーにアリスターやアイブル等々。これだけのメンバーにもまれているレコだけに総合ルールでも活躍は期待できるだろう！

©ibizcube japan

——試合前の村上選手は、花束を贈呈した武蔵選手に花束を投げ付けてましたけど、それを見ていてどう思いましたか？

レコ　そもそも、なぜムサシがムラカミに花束を贈呈したのかがさっぱり分からないね。だいたいなんで『イノキ・ボンバイエ』の会場にいたんだ？

——同じ日にはK—1の大会もありましたからね（笑）。

レコ　現役の選手っていうのは、いわばライバル、敵だろ？　そんな人間から花束を贈られてもね。だからムラカミのとった行動は、ファイターとして理解できるよ。

——全試合後のリング上では猪木さんにビンタもされてましたけど、レコ選手から見た猪木さんの印象を聞かせてください。

レコ　あの日の盛り上がりぶりを見て、イノキさんがいまでも日本でとても有名で人気者なのが分かったよ（笑）。いまのMMAの原点は彼がモハメド・アリと闘った試合だからね。MMAの父の一人として尊敬してるよ。それにイノキさんのビンタは日本では有名な慣習で幸運をもたらすって聞いたんだ。オレのMMAデビュー戦で、その幸運がもたらされるといいね（笑）。

——そういえば『猪木祭り』でのファイトマネーは代理人の（ミロ・）ミヤトビッチさんが自腹で払ったらしいですね。

レコ　今回、ファイトマネーが支払われなかったというスキャンダルがあったわけだけど、ミロは自分のギャラが支払われない時でさえファイトマネーは支払ってくれる。同じクロアチア人だし、友人としてもすごく尊敬してるよ。

——今回、『PRIDE』と年間契約をしたとのことですが、K—1マットから距離を置いた一番の理由は何ですか？

レコ　オレはファイターで、闘うことが人生のすべてなんだ。K—1と『PRIDE』の両方で闘いたい気持ちがある。ただ、K—1は去年のGP決勝大会にオレを呼んでくれなかった。もし出ていたら、自分が優勝していたと思うよ。去年は無敗だったし、開幕戦でもフィリォに完勝したしね。コンディションもいままでにないくらい最高で、どんな相手と闘っても勝てる状態だったんだ。

――日本では、レコ選手の欠場は契約問題だと発表されていたんですが……。

レコ　契約に関しては細かいことは分からない。ただオレの心に残ったのは、K―1GPの決勝大会に出ることができなかったという事実なんだ。ファンに望まれるような、素晴らしいファイターになろうと頑張ってきたし、実績も残してきたっていう自負もある。特に去年に関して言えば、最高のファイターは自分だって気持ちが強かった。それでも、出場することができなかった。そんな残念な出来事があったとき、マネージャーから『イノキ・ボンバイエ』のオファーの話を聞いた。日本のファンの前でまた試合ができると思うと、とても嬉しくなったよ。そして大晦日の後、自分の将来についてよく考えて、MMAのように何か別のスタイルの格闘技に挑戦してみるべきだと思ったんだ。たとえ自分がいま、最高のK―1ファイターであってもね。

――昨年のK―1GPでは、かつてレコ選手が完勝しているレミー・ボンヤスキー選手が優勝しました。もう一度闘ったら、どんな結果になると思いますか?

レコ　間違いなく自分が勝つ。レミーはラスベガスでオレに負けてから進歩しているだろうけど、こっちはもっと進歩してるんだ。『イノキ・ボンバイエ』の試合後も、リングからレミーに呼びかけたんだけど、彼はきっと闘いたくないんだろうね。

――レコ選手だけでなく、最近はアレクセイ・イグナショフ選手など総合の試合をするK―1ファイターが増えていますね。

レコ　総合ルールはK―1と比較するとケガをする危険が少ないんだ。いま、選手たちは年に6～7試合している状況だから、立ち技の危険性を考えると多くの選手が総合ルールの試合をしたがるのは非常に論理的だし、当然のことだと思う。

大晦日の『猪木祭り』に出場し村上和成と闘ったレコ。試合前、K-1ファイターの武蔵からの花束をしっかりと受け取ったレコに対し、村上は花束を武蔵に投げつけゴング。村上の顔はレコの言うように、まさに赤い悪魔（レッド・デビル？）。試合は、さかんに挑発する村上に対し怒ったレコが強烈なハイキックで秒殺KO！　試合後、レコは大混乱直前のリングでアントンの闘魂ビンタを喰らった

Stefan"BLITZ"Leko

猪木さんのビンタがMMAデビュー戦に幸運をもたらすといいね(笑)

――今年になって、K―1でもMMAの大会が立ち上がることになりましたが?

レコ　競争があるのは業界にとっていいことだと思うよ。選手も選択肢が増えるわけだしね。ただ本当にいいのは、K―1であれ『PRIDE』であれ選手がいいファイターと闘えること、ファンが本当に見たい試合を見られることなんだ。双方の関係が平和になるように願ってるよ。

――『PRIDE』との契約は2年間で6試合を予定していて、そのうち数試合はキックルールでの試合になると聞いてるんですけど、キックルールで闘ってみたい相手は誰かいますか?

レコ　立ち技は本職だからね。自分は立ち技最強のファイターだと思ってるし、もし試合が組まれたら、いつでも、誰とでも闘える。ミルコだろうとサップだろうと、いつでも、誰とでも闘える。

――その辺の自信は変わらないわけですね。ちなみにサップ選手のことはどう思ってますか?　サップ選手が出てきてからK―1の流れも、かなり変わってきたと思うんですけど。

レコ　大きくて強くて、日本のファンからとても愛されているエンターテイナーだね。その意味では日本の格闘技界を先導する存在だと思うよ。ただファイターとしては、体格やパワーがあるので油断できないけど、本物のテクニックは持ってないね。彼のスタミナやテクニックでは、K―1のトップレベルでは闘えないだろうし、MMAではもっと問題になると思う。

――『PRIDE』参戦にあたって、総合用の練習内容はどんな感じなんですか?

レコ　練習相手には本当に恵まれてるよ。ヒース・ヒーリングやアリスター・オーフレイムが一緒だからね。彼らは『PRIDE』のトップクラスのファイターで、グラウンドのスペシャリストでもある。おかげでオレの上達も早いね。それに最近、エメリヤーエンコ・ヒョードルや、彼の弟のアレキサンダーといったレッド・デビルの選手たちとスパーリングをする機会もあったんだ。これほどいい練習環境は他にないんじゃないかな。日本のファンにこの練習の成果を見せるのが本当に楽しみだよ。

――トーナメントで勝ちあがっていくと、チームメイトのヒーリング選手と闘う可能性もありますが、そうなった場合、問題はありませんか?

レコ　問題ないさ。オレたちはプロだから、決められたルールの下で誰とでも闘う心構えがある。ヒースと闘うことになった場合でも、力を出し切るだけだよ。

――いまのところ『PRIDE・GP』の出場候補として名前が上がっている選手の中では、レコ選手は体重は軽い方ですよね。体重差は気になりませんか?

レコ　まったく気にならないね。これまでだって、いつも自分より重い相手と闘ってきたんだし。オレはブリッツ（稲妻）なんだ。身体のデカさよりも、勝つために必要なのはスピード。大きいヤツらがオレのスピード、テクニック、スタミナに勝てるのか、見てのお楽しみってとこだね。オレの

K-1最強の男が『PRIDE』で試合をする姿を見に来てほしいね

パンチはK—1ファイターの中で最もスピードがある。『PRIDE』だったら、それは余計に効果を発揮するはずだ。『PRIDE』ファンはオレのデビュー戦で、これまで見たこともない新しいタイプの試合を見ることになるよ。

——総合ルールで闘う場合でも、やはりスピードとテクニックで闘うと。

レコ　オレのパンチ力とスピードは『PRIDE』の中では群を抜いてると思うね。ヒザ蹴りも大きな武器になるはずだ。寝技のテクニックはまだ勉強中だけど、スタミナには自信がある。それが活かせるような練習もしっかりやってるよ。

——ズバリ『PRIDE　GP』で優勝する自信はありますか?

レコ　これから『PRIDE』のリングでどんなことが起こるか、みんなにしっかりと見ていてほしいとだけ言っておくよ。ミルコが『PRIDE』に上がったときだって、彼がここまで来るとは誰も予想してなかっただろ?

——正直言って、ここまでの存在になるとは思ってませんでしたね。

レコ　ケガさえしなければ、今年はオレにとって素晴らしい一年になると思うよ。

——では、レコ選手が『PRIDE』で最もライバル視している選手は誰ですか?

レコ　やっぱりノゲイラ、ヒョードル、そしてミルコの3人になるだろうね。

——同じクロアチア出身でK—1から『PRIDE』へ戦場を移したということで、やはりミルコ選手のことは意識しますか?

レコ　彼がクロアチア人だというのはとても重要だよ。クロアチア人のファイターは精神的なものも含めて、とても強いからね。他の選手たち同様、オレもミルコの『PRIDE』での成長を興味を持って見てたよ。彼は動きが速いし、凄く練習してるよね。K—1のリングでも、彼は危険なファイターだった。ミルコのスピーディで力強いキックは『PRIDE』の選手たちでは対処するのは難しいだろうな。だったらなおさら、オレのスピードの前で『PRIDE』の選手たちが何ができるのかも分かるってもんだろう?

Stefan"BLITZ"Leko

すてふぁん・"ぶりっつ"・れこ■1974年6月3日、ドイツ出身。ゴールデン・グローリー所属。見てのとおりの甘いマスクだけでなく、一流のテクニックまで身に付けているレコ。これまで主戦場としてきたK—1のリングでは2001年のラスベガス予選でアーツを倒して優勝。その後もボンヤスキー、イグナショフといったK—1のトップファイターを次々と撃破。2003年は無敗のまま、『猪木祭り』へ参戦、村上和成を倒すと、今年は『PRIDE』ルールに挑戦。187センチ、98キロ

——もしミルコ選手と闘うチャンスがあるなら、総合ルールと立ち技ルールのどちらを希望しますか?

レコ　どっちでも構わないさ。試合が組まれればいつでもやる。ルールに関しては主催者やマネージャーが決定したものを受けるだけだけど、立ち技だったらすぐにでもミルコと闘いたいし、勝つ自信もある。きっとオレのスピードやテクニックに、ミルコはうまく対応できないだろうね。

——かなり期待して良さそうですね。

レコ　期待しててくれよ（ニッコリ）。

——『PRIDE』では、元WBC世界ヘビー級王者のレノックス・ルイスのボクシングマッチを計画しているらしいんですが、レコ選手はボクシングルールでの試合に興味はありますか?　もし対戦したらルイス選手に勝つ自信はありますか?

レコ　もちろん勝てるよ。ブリッツのスピードをもってすれば、ルイスのパンチもよける自信があるからね。彼がオレと闘う気があんなら、いつでも連れてきてくれ。

——レコ選手にとって、今の一番の目標はなんですか?

レコ　毎日いい練習をしてコンディションをキープし、自分が世界最強のファイターであると証明することだね。いま自分がK—1ルールで最強だと思ってるし、K—1ルールでならどんな選手にでも勝つ自信がある。そして今年は『PRIDE』でもそうなれると思ってるよ。

——それでは最後に、日本のファンに向けてメッセージをお願いします。

レコ　K—1最強の男が『PRIDE』のリングで試合をする姿をぜひ見に来てほしいね。オレは2003年のK—1において無敗で、自分よりはるかに重いトップクラスの選手と自分のやり方で闘い、そして勝ってきた。『PRIDE』でも同じことをお見せするよ。オレの試合は、MMAルールでもきっと日本の格闘技ファンを満足させることができると思う。自分の大好きな格闘技で有名になるチャンスをくれる日本って国が本当に大好きなんだ。その日本のファンに本当のファイティング・スピリットを見せると約束するよ。

……というわけで、グラウンドの技術に関しては発展途上だと謙虚に認めるものの、打撃に関しては揺ぎない自信を見せるレコ。体格、不慣れなルールといったビハインドなど、まるで不安に感じていないようだ。この自信満々なコメントっぷり、誰かに似ていないだろうか?　そう、あのミルコも、どんなときであれ自らの実力を疑わず、言葉どおりに結果を残してきた。己の能力を信じること、言い換えれば強烈なエゴは、ファイターとして絶対に必要な条件である。

もちろん、そこには裏付けもある。これもミルコが前例となるのだが、K—1ファイターの打撃は、総合格闘技の世界において群を抜くものであるのは間違いないのだ。そしてレコがK—1で見せてきた打撃のポテンシャルは、ミルコに勝るとも劣らないもの。レコが『PRIDE』戦線でミルコ以上のセンセーションを巻き起こしたとしても、決して不思議ではない。

——日本に2週間滞在されるわけですけど、体調はどうですか？

イグナショフ　とてもいいよ。ボクは日本が大好きだから、予定していたより早く来ることができてホントに嬉しいよ。

——では3月27日の試合（カーター・ウイリアムス戦＝K-1ルール）に向けて、体調は整えやすいぐらいですか？

イグナショフ　それとはちょっと違う問題なんだけどね（笑）。滞在が長いからいいけど、まだ時差が残ってるんだ。夜中の3時ぐらいにならないと眠れないよ。ま、でも27日の試合にはまだ少し時間があるから、ゆっくり体調を整えるよ。

——ところで、ウチはプロレスと総合格闘技の専門誌なんですよ。

イグナショフ　ふ～ん、最近なんかいろんな取材が増えてるんだよねぇ。（『紙プロ』をぱらぱらめくりながら）ミルコはやっぱり日本で人気があるのかい？

——ありますね。いま外国人格闘家としては、一番人気があるかもしれません。もちろん、一般的な知名度ではボブ・サップの方が全然上ですけどね。

イグナショフ　ふ～ん、サップはそんな感じだろうね。ミルコはたくさん勝ってるけど、この間、日本で負けたよね？

——ええ。昨年11月にブラジルのアントニオ・ホドリゴ・ノゲイラに負けました。

イグナショフ　それでも人気あるの？

——不思議なことに、ずっと勝ち続けていたミルコが、一度負ける姿というものを見せたら、またさらに人気が上昇したんですよ。

イグナショフ　どうして？

——日本人は、そういう挫折から立ち上がることが好きなんだと思います。それから、負けたことによって親しみが持てる存在になったというか。

“新日本の救世主”との再戦を前に余裕の薄笑い！

中邑は止めてくれたレフェリーに心から感謝すべきだよ

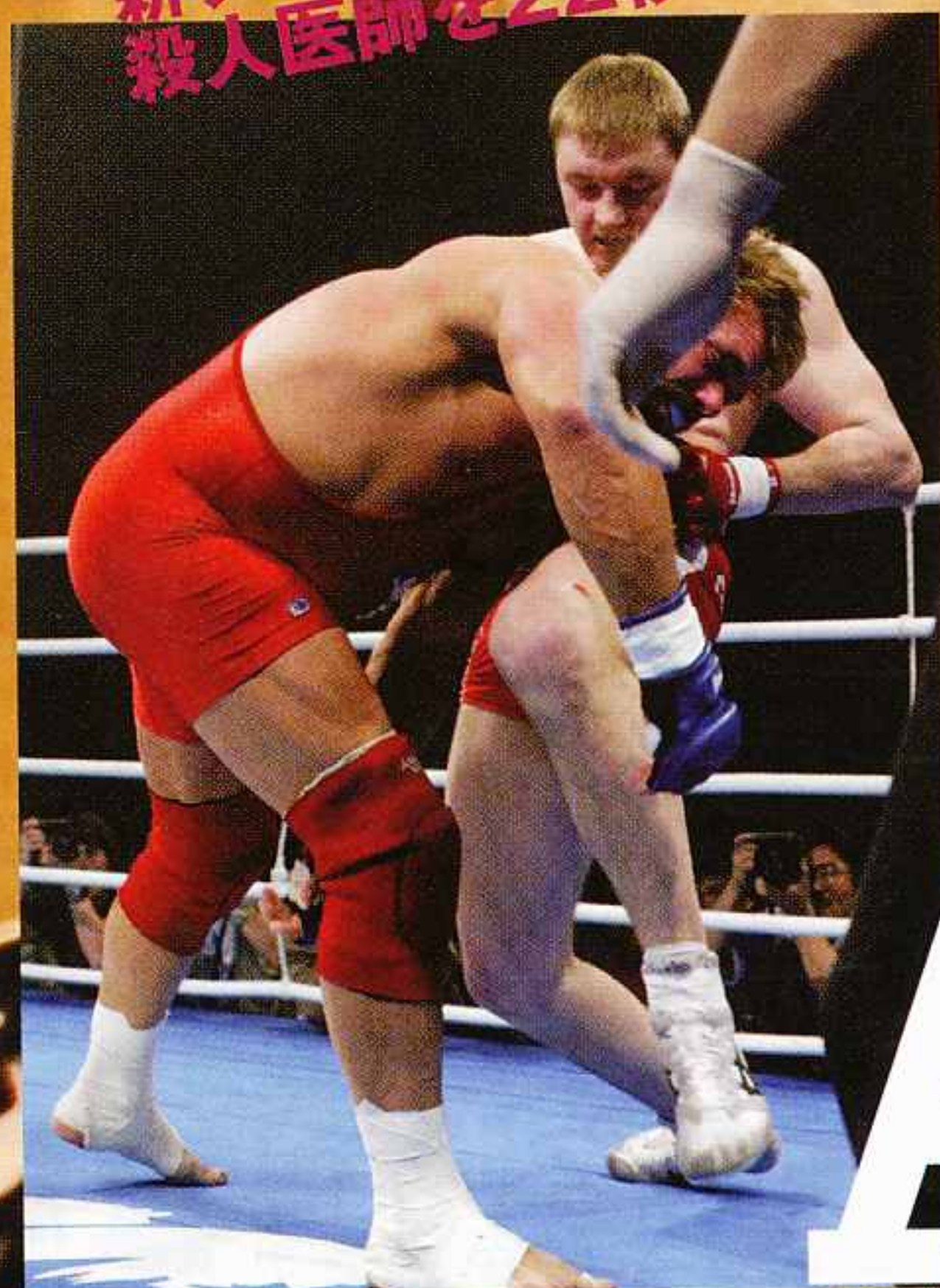
昨年大晦日の中邑真輔に続き、3・14K-1新潟では、殺人医師スティーブ・ウィリアムスをわずか22秒、“毒針”と称されるヒザ蹴りでKOしたイグナショフ。いまや第2のプロレスラーハンターとして、早くもプロレス界の賞金首になりつつあるこの男が、余裕の薄笑いを浮かべながら、再戦を希望する中邑を大挑発した！

聞き手／堀江ガンツ　撮影／平工幸雄　試合写真／乾晋也
designed by matsu（Two Three）

Ignashov

アレクセイ・イグナショフ

赤サソリの毒針トーク炸裂!!

新プロレスハンター
殺人医師を22秒KO!

Alexey

イグナショフ　負けたのに？　へえ、負けたのにねえ（不思議そうに）。

――イグナショフ選手もこれまで何年もK-1に出場していたにも関わらず、大晦日に初めて総合格闘技の試合をしたことによって大幅に知名度がアップしたんですよ。

イグナショフ　じゃあ、格闘技のMMAっていう分野に、イグナショフっていう未知のファイターが突然現れた感じなのかい？

――ホントそんな感じですよ。

イグナショフ　じゃあ、大晦日の試合（中邑真輔戦）はやってよかったってことだよね。もちろんボクはキックボクサーだし、今後もK-1を続けていくけど、MMAの方もトレーナーのマルコ（・ジャラ）がもっといろいろ教えてくれるだろうし、そうしたらボクの経験も増えるだろうね。

――去年の大晦日の試合が決まるまで、総合格闘技というものに興味はなかったんですか？

イグナショフ　ボブチャンチンとはちょっと前に知り合っていて、なかなかいいヤツだと思ってたけど、MMA自体にはそんなに魅力を感じなかったから、やるつもりはまったくなかったよ。

――では、どうして試合に出る気になったんですか？

イグナショフ　トレーナーがMMAでやれって言うからさぁ。だってボクの国には「親分が黒だって言ったら、白だって黒になる」っていう諺があるくらいだからね（笑）。

――厳しい掟があるんですね（笑）。最初トレーナーに言われたときはイヤイヤだったわけですか？

イグナショフ　向こうから提案されたとき「MMAっていう試合もあるんだよ。やってみろ」って言われたから、「わかりました」それだけだよ（笑）。

――大晦日にMMAをやってみようと思ったのは、12月の『K-1 WORLD GP』の結果がよくなかったことも影響してるんでしょうか？

イグナショフ　いや、グランプリの前からやるつもりだったから。

――オファーはグランプリ後だったんじゃないですか？

イグナショフ　いや、そんなことないよ。正式に決まったのはグランプリのあとだけどね。

――大晦日にMMAの試合をしなくてはいけないということが、グランプリに影響してしまったということはないですか？

イグナショフ　そんなことはないと思うんだけどなぁ。あの日のことは思い出すのも嫌だし、ふっとした瞬間に思い出しただけで辛いよ。

――辛い質問になってしまいますが、どうしてああいう結果になってしまったんでしょうか？　ホースト、レコが欠場で、レイ・セフォーが体調不良と聞いた時点で「イグナショフ優勝問違いなし」と思ってたんで、凄く意外だったんですけど。

イグナショフ　敗因は精神的なものだよ。どうしても相手をKOするという闘争心が沸いてこなかったんだ。ピーター・アーツには以前に勝ってるから、難しい試合にはならないと思っていたし、トーナメントだから1回戦からそんなに疲れてもいけないと思ってたら、アーツがすべてを出し切るかのように真剣に向かってきた。みんな見ただろう？　凄かったよ、あの勢いは。だって試合が終わってからのマッサージ室での彼は、息も絶え絶えで救いようのない姿だったからね。

――だから準決勝の武蔵戦では、一転して精彩を欠いていたわけですか。でも、あの結果が出た今でも、K-1をずっと見ているファンは実力的にはイグナショフ選手がトップクラスだと思ってますよ。

イグナショフ　そうだとしたら、ありがとうと言いたいね。でもボクは強いっていうのは、トップに居続けないとダメだと思うから。まずはトップになれるように練習して努力するよ。たまたま勝って上にいくのは簡単なんだ。でも、それを維持することが大変なことなんだよ。

――それはボンヤスキーのことですか？

イグナショフ　別に名指しするつもりはないけど、彼のトップは長く続かないだろうね。今年のグランプリには、気合いの入ったボクがいるから。

――現在はK-1とMMAを並行してますが、最大の目標はやはりグランプリ制覇ですか？

イグナショフ　もちろん。MMAの練習もK-1で勝つために役に立つと思ってやってるしね。

――でも、よくグランプリの直後に、全く別の競技であるMMAの練習をイチから始める気になりましたね。

イグナショフ　別に自分にとっては意外なことじゃないなぁ。MMAの練習は、ホントに自分にとって利益にしかならなかったからね。とにかくグランプリで負けたってことは、ボクにとって凄く大きなことだったんだ。きっと、あの後すぐにベラルーシに帰っていたら、かなり落ち込んでいただろう。でもGP後すぐに日本で厳しいトレーニングが始まったおかげで、負けたショックを忘れることができた。もちろん時々は思い出すこともあるし、その時は痛みを伴うけどね。

――なるほど。では、MMAや柔術の練習を初めてやってみて、自分に向いていると思いましたか？

イグナショフ　向いているかどうかというよりも、全く新しい世界が開けたって感じだったね。新しい可能性と新しい哲学を得た気分と言ったらいいかな。

――ボクはイグナショフ選手の最初の公開練習を見させていただいたんですが、その時点では失礼ながら、「これは倒されたら終わりだな」と思ったんですよ。それがい

Alexey Ignashov

あのまま試合を続けていたら、中邑はきっと大怪我をしていただろうね

誰もが「世代交代マッチになる」と予想した、昨年のWORLD・GP決勝大会でのP・アーツ戦。しかし、なぜかイグナショフは攻めきれず、まさかの判定負けを喫した。

3.14 K-1 BEAST 2004 [朱鷺メッセ]

●アレクセイ・イグナショフ vsスティーブ・ウィリアムス×

[1R 0分22秒 TKO]

赤サソリvs殺人医師の超異色対決は、開始早々、不用意にタックルに来たウィリアムスにイグナショフはヒザ蹴り一閃！ それでもなんとか立ち上がろうとするウィリアムスに、さらなるヒザ蹴り、パンチ、サッカーボールキックで畳みかけ、わずか22秒。イグナショフの圧勝に終わった。

ざ試合当日になったら全然違う動きになってたんでビックリしましたよ。

イグナショフ　もちろん少しは勉強したからね。でも、あの試合で勝ったからといってMMAのトップに立ったわけじゃないということは自分でもよくわかってる。短い時間ながら一生懸命覚えたMMAの技術と、もともとボクが持っていた打撃によって、ナカムラに勝てるぐらいにはなったというだけさ。

——その短い時間で、どうやったら試合に勝てるとマルコから教わりましたか？

イグナショフ　とにかくトレーニング、トレーニング、トレーニング。それだけだよ。

——例えば「ガードポジションで相手の胴に足を絡めれることを覚えれば、お前は負けない」とかは？

イグナショフ　もちろんそれもあったよ。色んな技術を見せてくれて、色んなことを知ることができて面白かったな。でも凄く練習量は多かったんだ。朝も夜も何時間もね。

——タックルで倒されたら守って、最後にヒザでKOするというのは作戦通りでしたか？

イグナショフ　そんなこともなかったけどね。実際はもっと違う闘い方をしなきゃいけなかったんだ。ちょっと寝てる場面が多かったよね。でもトレーニングの成果も少しは出せたし、自分としては面白かったな。

——初めてのMMAにも関わらず、テイクダウンされても凄く落ち着いているように見えたんですけど、いかがでしたか？

イグナショフ　そう見えただけだと思うよ。ボクはキックボクサーだから、立っているときはリラックスできるけど、やっぱり寝てるときはたとえ攻撃を受けてなくても疲れたからね。

——試合中、パニックになったり、危険だと思うようなシーンはありましたか？

イグナショフ　それはなかったなあ。一度だけ顔を少し傷つけられたんだけど、血を見たら一気に彼をKOしてしまったよ（笑）。

——試合後、イグナショフ選手の「ハッキリ言って彼は強くない」というコメントが非常に印象的だったんですけど。

イグナショフ　だってボクはいつもオープンで素直に喋るから、そう思ったんで正直に言っただけだよ。

——正直な感想でしたか（笑）。

イグナショフ　彼もボクの上になって何かやりたかったんだろうけど、結果として何もできないで終わったわけだからね。それからボクは試合前、日本人のナカオ（中尾芳広）と一緒に練習してたんだけど、彼の方が強いと思ったしね。ただ、一つ彼を褒めるとすれば、彼のファイターとしての心は尊敬に値すると思う。偉いよ、アイツ。

——あの試合は、厳しい練習をしてKO勝ちという結果を残したにも関わらず、抗議によって後日判定が覆ってしまいましたけど、そのことについては納得してますか？

イグナショフ　無効試合にしたければしたっていいよ。内容的にはそんなに悪くない試合だったと思うし、ボクがとことんまでやっつけなかったのが悪いんだから。ただ、あのまま試合を続けてたらナカムラは大怪我していただろうね。彼はすぐに立ち上がったけど何も分かってない状態だったし、あんな状態で次のアタックを食らったら、ボクにその後の保証はできない。専門家だってみんな「アレクセイがあのまま続けていれば大変なことになっていた」って言ってるよ。格闘技を知ってる人間だったら、

誰だってわかるはずだよ。だってアイツ立ったけど違う方向に向かって行っただろう？

——「効いてない」って言いながらも、目の下を骨折してましたからね。

イグナショフ　それだけじゃないよ。だってこんな感じ（千鳥足）だったよ。それであの状態のまま、ボクがもう一撃加えていたらと考えると……本当にああいう終わり方でよかったって思うよ。

——レフェリーに感謝しろ（笑）。

イグナショフ　だってレフェリーは正しい判断を下したのに責められるのはおかしいじゃないか。あの空虚な目を見たら分かるよ。立っても、何で立ってるのか分からない状態だったからね。「ここはどこ？　僕って何？」って感じで。でも、さっきも言ったとおり、あそこで立ってきた彼のハートは認めているよ。

——そういうハートがある選手だからこそ、

——大変な事態が起こってたかもしれない、と。

イグナショフ　彼は闘う気持ちがあったというだけ。それはただの野心なのかもしれない。分からないけどね。でも、レフェリーに止めてもらえたおかげで、彼は今でも健康なままでいられるだろう？　しかも無効試合になったおかげで負けたということにもなってないんだから、レフェリーに最も感謝しなきゃならないのは彼自身だよ。

もう一度闘ってもいいという感じですか？

イグナショフ　再戦をやるなら反対はしないよ。ただ、次こそ彼自身のポジションっていうものがハッキリするだろうから、おすすめはできないけどね。

——でも、中邑選手はイグナショフ選手打倒のためにアメリカに飛んでMMAの練習に明け暮れているらしいですよ。

イグナショフ　どうしてアメリカに行く必要があるの？

——どうして……向こうにいいコーチがいるんじゃないでしょうか？

イグナショフ　でも、ベラルーシと違って、日本にはMMAのいいコーチがたくさんいるじゃないか。それなのになぜアメリカに？　彼の周りにはいないのかい？

——さぁ、どうなんでしょう（笑）。イグナショフ選手は本国のベラルーシにマルコさんのような総合のコーチがいないことは不安じゃないですか？

イグナショフ　それは大丈夫。ベラルーシでもマルコに教えてもらったことと同じ事をやってるし、ボクのチームにはサンボや柔道、レスリングなんかのオリンピックの選手もいるから、高いレベルの練習はできてると思うよ。もしかしたらオリンピックに出ちゃうかも（笑）。アテネに行くことになったら、ナカムラに待っててもらわないといけないな（笑）。

——そうですか（笑）。MMAはここまで2戦ともプロレスラーが相手ということで、純粋なMMA専門のファイターじゃなかったわけですけど、これからは本職のMMAファイターとの対戦も考えていますか？

イグナショフ　いずれは闘うことになるだろうけど、そういうのはもうちょっと後にしてもらわないとね。だってまだ技術的には何もできないんだから。

——しばらくはプロレスラー希望と（笑）。

イグナショフ　これから勉強していって、少しずつ強い相手とやりたいよ。ミルコだって、最初はそうだったんだろう？　〝モスクワは一日にして成らず、ローマは一日にして成らず〟だよ。

——K－1の谷川プロデューサーは、〝第2のミルコ・クロコップ〟として、イグナショフ選手には期待しているみたいですよ。

イグナショフ　まあ、長い時間努力して一生懸命練習すれば、ひとかどのものにはなれると思うよ。MMAファイターっていうのは、いろんなことができる連中だとは思うけど、パンチが下手な人が多いからね。

——ミルコと闘いたいとは思いますか？

イグナショフ　K－1ルールだったらいつでもいいよ。MMAだったら、もうちょっと経験を積んだ方がいいのかな。この前の試合（3・14スティーブ・ウイリアムス戦）が余りにも早く終わってしまったんで、自分がどのくらい成長したかわからないんだ。だから、5月にナカムラとやってからいろいろ考えるよ。

——では、最後に今後のプランを聞かせてください。

イグナショフ　3月27日にカーター・ウイリアムスと闘う。あとはトレーニング、トレーニング、トレーニングだけだよ。

——ひたすらトレーニング（笑）。強さの秘密が分かりました！

【04年3月18日／都内・某ホテルにて収録】

（写真・上）昨年、大晦日の中邑真輔戦。イグナショフは中邑のタックルで何度もテイクダウンを奪われたが、しっかりとガードポジションで対処し、それ以上の攻めを許さなず、逆に下からのパンチで徐々に中邑の顔を腫らしていった。　（写真・下）これはレフェリーストップの瞬間を写したもの。中邑は立ち上がったものの、意識がもうろうとしているのが、写真からもよくわかる。

Alexey Ignashov

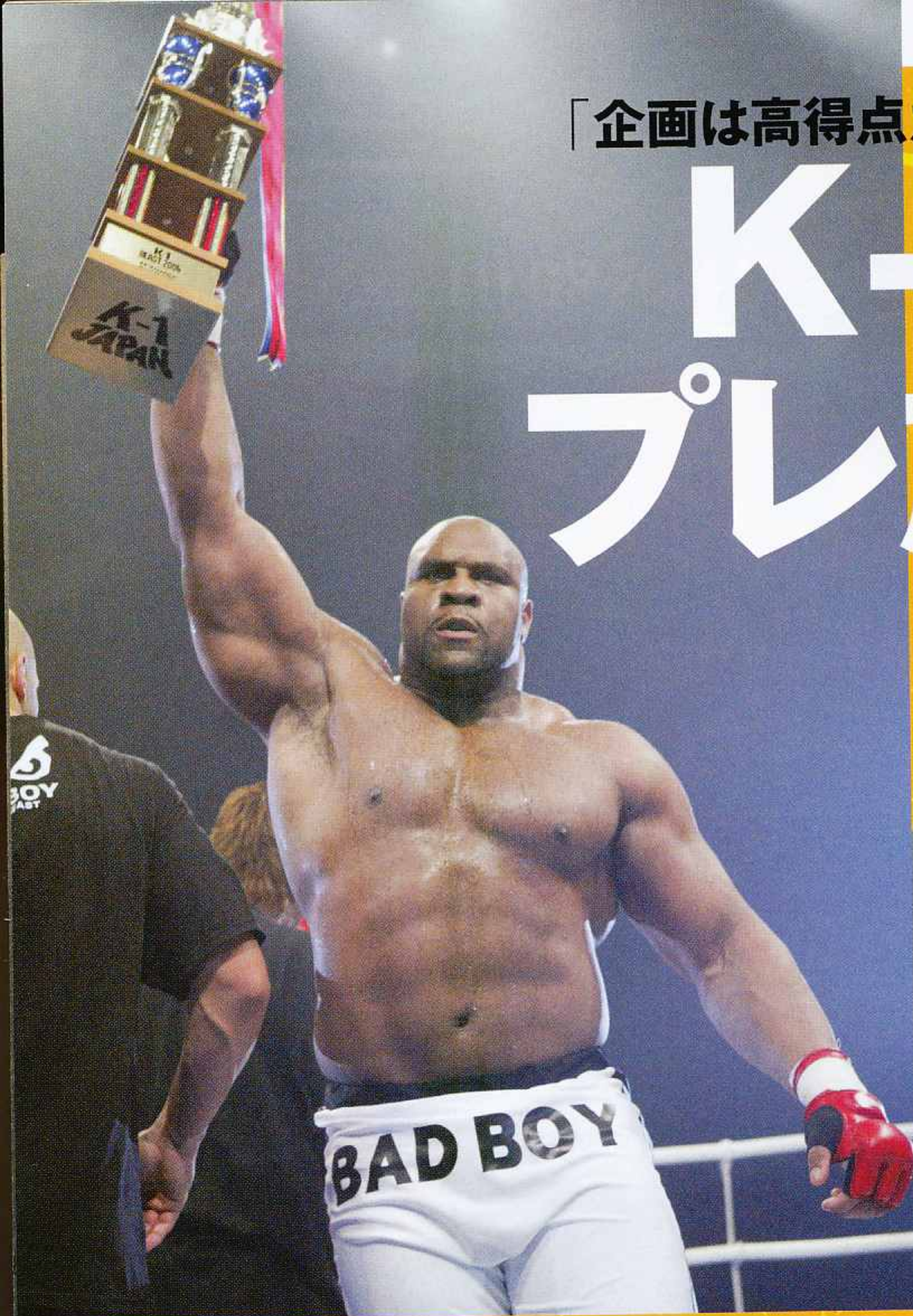
1978年1月18日、ベラルーシ出身。“毒針”と称されるヒザ蹴りを武器に、急激にのし上がってきた、K-1新世代のトップファイター。昨年のWORLD GPでは、優勝候補と目されながらベスト8に終わってしまったが、MMAデビュー戦となった大晦日『Dynamite!!』では、その鬱憤を晴らすかのように中邑真輔をヒザ蹴りでKO（その後、無効試合に）。5月に予定されるK-1MMA旗揚げ戦では、中邑との決着戦が噂される。196cm、108.5kg。

中邑が再戦をやりたいと言うなら反対はしないよ。でも、次に闘ったら今度こそ彼の本当のポジションがハッキリするからオススメはできないけどね。

「企画は高得点だけど結果は65点かな～(谷川P)」な

K-1 MMA プレ旗揚げ戦

3.14 K-1 BEAST 2004 新潟大会DIGEST

構成／堀江ガンツ　試合写真／乾晋也
designed by matsu (Two Three)

K-1MMAルール

○ボブ・サップvs
ドルゴルスレン・スミヤバザル●
[1R終了 TKO]

スミヤ、サップに善戦するもまたしても自爆!

サップの「俺はスモーキラー」発言→朝青龍挑発という流れから実現したこの一戦は、前日の会見からサップが「朝青龍をだせ!」とアピールすれば、怒ったブルーウルフが乱入するなど、例によってそこには存在しない朝青龍を巡って大盛り上がり。試合も開始早々、スミヤがサバ折りでテイクダウンを奪えば、サップは寝技を見せようとするなど盛り上がったが、1R終了時、スミヤ陣営が右足股関節を痛めたとしてタオル投入。不完全燃焼に終わってしまった。

サップをスカウトした男・グレコ“ほぼサップ”を秒殺!

チームW-1の一員としてプロレス活動を続けながら、ときにはサップやイグナショフのトレーニングパートナーとして、地道に総合の練習を積んできたグレコが本領発揮! ガムリンのタックルを切ると、するりとバックに回り、チョークで秒殺勝利! その流れるような動きはとても空手家とは思えない。グレコがK-1MMAのキーマンになりそうだ。

K-1MMAルール

○サム・グレコvsステファン・ガムリン●
[1R 0:25 チョーク]

LYOTO、MMA4連勝もいまだにその実体つかめず

アントン総帥が「日本で一番寝技が強い!」と断言する(そもそもLYOTOは日本人で?)闘魂最後の後継者LYOTOが猪木軍として、K-1のマクドナルドと対戦。さかんに「ミルコに勝った男」と4年前の大金星を連呼されていたマクドナルドだったが、まったく寝技ができず、ギロチンでアッサリタップ。安田忠夫vsバンナそっくりな試合だった(でもあの感動はなし)。

K-1MMAルール

○LYOTOvsマイケル・マクドナルド●
[1R 2:30 ギロチンチョーク]

K-1ルール

○宮本正明vs
クリフ・“ツインタイソン”・コーザ●
[3R 判定 3-0]

ついにK-1初参戦をはたしたタイソン……の自称・弟コーザ。前日の記者会見では「KOもしくは、相手の耳を噛みちぎってやる!」とうそぶいていたタイソン弟だが、宮本のローキックに耳噛みどころか、パンチの当たる距離にもなかなか踏み込めずフルマークの判定負け。

K-1ルール

○中迫剛vsマーブリック●
[1R 1:30 KO]

次なるK-1ビックリ人間はバイク曲乗りの達人マーブリック。試合前は「ナカサコは俺に触れることすらできない!」と豪語していたが、アクロバチックな動きを見せる間も無く、右ストレートにアッサリ轟沈。せめてバイク曲乗りで入場してくるぐらいの芸はほしかった。

K-1ルール

○天田ヒロミvsバタービーン●
[3R 判定 3-0]

勝利者賞として越後豚が賭けられたこの一戦。試合前から、お互いウチは双子がいる(天田)、いや俺んちは3人子供がいるんだ(バター)と豚の必要性をアピールしてヒートアップ。試合は、バターがノーガードで沸かせたもののパンチの手数と正確さで上回った天田が判定勝ちした。

K-1MMAルール

○アイヴァン・サラベリー
vsハウリン・ボルドバートル●
[2R 判定 3-0]

サップのMMAコーチとモンゴルの柔道王の対戦は、サラベリーがパンチとひざ蹴りを中心とした打撃で序盤からペースを握り試合を終始支配。終了間際にはパウンド地獄も経験させ、サップとスミヤバザルの代理戦争は経験に勝るサラベリーの完勝に終わった。

誰も見どころがわからない大一番、
曙vs武蔵をターザンが特別教授!!

アルゼK-1 WORLD GP 2004 in SAITAMA

3.27　さいたまスーパーアリーナ　16:30

全対戦カード

シリル・アビディ vs 堀啓
ジェレル・ベネチアン vs セルゲイ・グール
マイク・ベルナルド vs ヤン“ザ・ジャイアント”ノルキヤ
フランソワ・ボタ vs アジス・カトゥ
シャノン・ブリッグス vs トム・エリクソン
アーネスト・ホースト vs レミー・ボンヤスキー
アレクセイ・イグナショフ vs カーター・ウィリアムス
ボブ・サップ vs X
武蔵 vs 曙

3.27 K-1 WORLD GP 2004 IN SAITAMA.
さいたまスーパーアリーナ（16:30）

曙vs武蔵はスキ指数100%vs膠着指数100%の闘いだ！

ターザン山本

〝勝負論〟は膠着する。これにハマるヤツはプロではない。選手は勝とうと思って試合をするが、同時に彼らは負けないように試合をするからだ。

そうしたら膠着するに決まっているではないか？　膠着とは試合中の選手の気持ちのことを言っているのだ。

だから格闘技の試合は得てしてつまらない展開になりやすい。要はスキを見せた方が負ける。お客からするとそのスキが出ないと、なぜか試合は楽しくないというパラドックスがある。

ボブ・サップvs曙の試合は両者、スキだらけ同士の試合だった。あれは見ていて面白いはずだ。案の定、曙が思わずパンチを食ってマットにひっくり返った。

ドタ、バタ、ドタである。格闘技のリングであんなに大味な試合は、近頃あまり見たことがない。

スキ指数の高い者同士が試合をすると、反対に膠着することはない。膠着能力が技術レベルの高さを示しているからだ。

では曙vs武蔵戦はどうなるのだろうか？

スキ指数100%の素人・曙と、膠着指数100%のテクニシャン・武蔵との激突。はたしてどっちが勝つのだ？

曙からすると間合いをスキだらけ、穴だらけにして、どさくさにまぎれたところで、歯車の狂った精密機械、武蔵をぶちのめす、もうそれしか勝機はない。

武蔵はもちろんその逆をいく。間合いを膠着空間にして、曙をスキだらけのウドの大木にし、じっくり仕留めていく。

曙に必要なのは反則暴走も覚悟の上。それぐらい破滅的な気分でリングに上がる。成功手段はそれしかない！

武蔵はどこまでいっても冷静沈着に徹する。「反・則・暴・走」の曙と「冷・静・沈・着」の武蔵。これは、四字熟語の決戦なのだ。

我々はウドの大木になった曙を見ることになるか、それともぶち壊された精密機械の武蔵を見ることになるのか、その答えは、そうだよ、行けばわかるさ。3・27さいたまスーパーアリーナで出るんだよ。

タイマン主義

有名どころをぶっ倒したら魔裟斗とやりたい。勝てる気全然あるから

2.24 K-1デビュー戦であの村浜武洋をKO!!

山本KID徳郁

K-1に“暴力”を持ち込んだ男

2·24K-1　MAXで、立ち技デビュー戦にも関わらず、とんでもないインパクトを残したKID。あの村浜をKOしたという結果だけでなく、その全身から漂う殺気とエネルギーは視聴者にトラウマを与えるに十分で、一気にその“悪名”は全国に知れ渡ったことだろう。格闘技界に久々に現れた凄玉・山本KID徳郁、こいつはヤバい!

聞き手／中村カタブツ君　構成／堀江ガンツ
撮影／菊池茂夫　試合写真／乾晋也
designed by matsu (Two Three)

――いや〜、K-1MAXの村浜武洋戦は凄い試合でしたね！

KID　ありがとうございます！

――ともかく凶悪でしたよね（笑）。

KID　まあ、リングに上がった時はそのぐらいのほうが……（苦笑）。

――久しぶりに凄い人が現れたなって思いましたよ。

KID　いや、打ちたい時に打って、やばいと思った時は下がって、行かないだけだったんで、もう身体に任せて。それで2ラウンドの時もガンっと一発カマしたほうがいいと思って。

――で、楽しそうにガッツンガッツンとカマしたわけですね（笑）。

KID　いや、盛り上がってきちゃいますから。楽しい部分もちょっとあるけど、なんていうんだろう、「二人の舞台だから盛り上がろうぜ！」って（笑）。

――盛り上がりましたよね。だから今後KIDさんの試合は見たいという人はどんどん増えてくると思うんですよね。

KID　……。

――え、それは実感してません？

KID　いや、わかんないんですよ。あの試合が終わってすぐに生ガキ食ってぶっ倒れてたから、外の世界と接点なかったんで。「あの時は天国みたいだったのになんだよ、これは」みたいな（笑）。ま、なんとか家で自力で治したんですけど。

――そうだったんですか。だけど、なんで自力で治すんですか？　病院に行きましょうよ（笑）。

KID　いや、自力で治さないとダメだなって思って（笑）。でも、治ってから外に出たら高校生に、「ヤバかったッス」とか言われたり、商店街とかもチャリンコで走ってると、郵便配達のオッチャンがビッと親指立ててくれたりして、「おお、ロッキーみてえ」って凄ェ楽しくなっちゃいました（笑）。

――映画『ロッキー』のロードワークシーンですね。なんかいいですね、それ（笑）。やっぱり、人を引きつけるものがありますね。格闘技雑誌の試合リポートを見てても、写真だけでやっぱり目をひきますもんね。このK-1ルールにも関わらず、楽しそうに人の顔面を踏みつけようとしてる写真とか（笑）。

KID　あ、いや、これはたまたまですよォ。たまたまボンってやって勢い余って前にいきそうになって足が出てるんですよ。だから、踏みつけてはいないんですよ。でも、そう見えるな。スゲエ、これ見た人、チョー嫌なヤツって思いますね（苦笑）。

――間違いなく思いますね（笑）。

俺の試合見た人が「超元気出た」って言ってくれるのが一番嬉しい

KID　いや、これメチャメチャ、ヤなヤツだ（苦笑）。

――でも、それがいいんですよね。凄いヤツが出てきたなってインパクトはありましたから。

KID　それは俺も思いました。やっぱり、みんな俺のこと知らないから、やる前とかも、「俺、K-1とかでやっちゃったら、ヤバいヤツ出てきたなって思うだろうな」って。

――試合直前に、修斗での勝田哲夫さんとの試合映像が流れたのもヤバい感じですよね（笑）。

KID　（即座に）あれは良くないです！（苦笑）。「やっぱ、あれを使うんだな」って思ってたんですけど、スゲエ悪いじゃないですか、俺。

――レフェリーが止めてるのに、舌を出しながら殴り続けてましたからね（笑）。

KID　でも、あんときは完璧にヤツが悪いんですよ。ほかの試合はあんなにやらないんですよ。

――たしかにあの試合だけですね。

KID　だから、ほかの試合は誰も大口を叩かないんですよ。俺も試合前に大口を一回も叩いたことない。「あんなヤツは俺には及ばないぜ」とか、俺は絶対言わないんですよ。ゴングがカンっと鳴ったら、殺す気。「俺のがゼッテエ、強ェ」って思ってるんですけど、闘う前も終わった後もリスペクトですよ。でも、勝田くんは試合前に、「あの人はアマチュアのレスリングだけど、俺はプロのレスリング。それを見せてやります。教えてあげます」って言ってて、その瞬間、「面白れえじゃん」って。

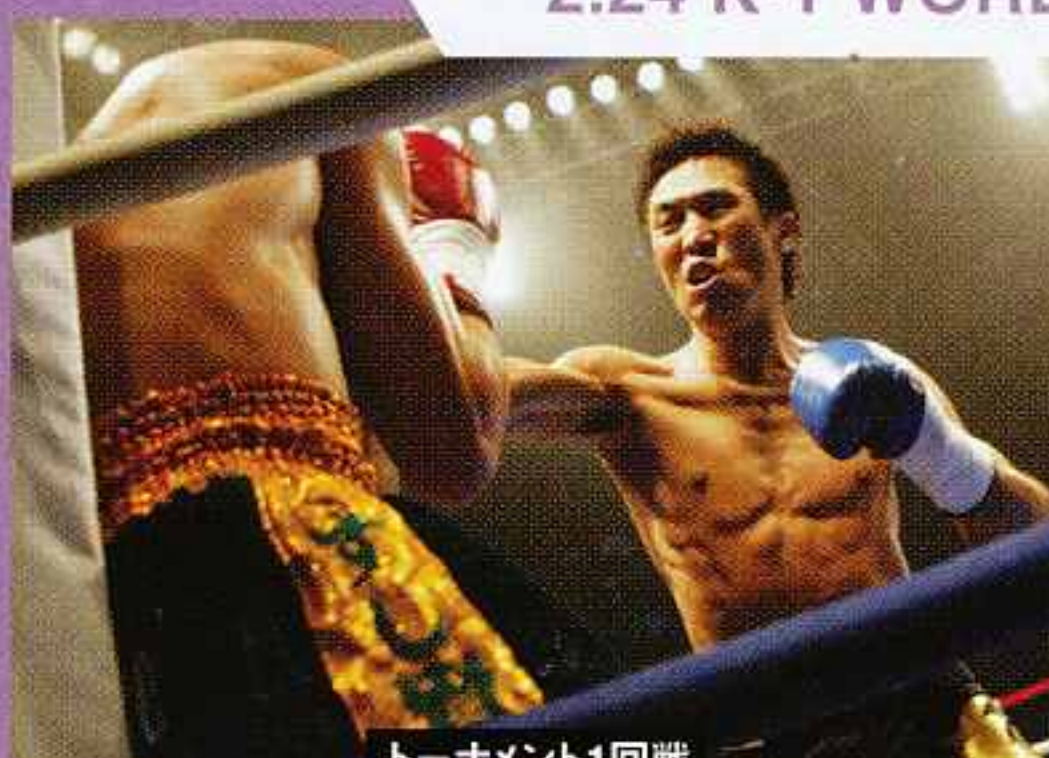
――スイッチが入ったわけですね（笑）。

KID　聞いた時は凄い普通にしてたんですけど、心の中で、「面白れえじゃん。じ

2.24 K-1 WORLD MAX　日本代表決定トーナメント DIGEST

トーナメント1回戦

● セルカン・イルマッツ ［2R 1:30 KO］ 安廣一哉 ×

トルコなだけに「俺は日本人だ!」とばかりに日本代表決定Tに参加してきた異色のトルコ人ファイター、イルマッツが、得意の蹴り技だけでなく、パンチも強いところを見せつけ圧勝。

トーナメント1回戦

● 武田幸三 ［1R終了時点 TKO］ 緒形健一 ×

元ムエタイ王者・武田とSBのエース緒方のキックファン夢の一戦は、緒方がいきなりSB伝統のアッパーでダウンを奪うも武田がしのぎ、1R終了後。シーザー会長のタオル投入により緒方逆転負け。

トーナメント1回戦

● 小比類巻貴之 ［3R判定 3-0］ HAYATO ×

素早い動きで下克上を狙うHAYATOに対し、コヒは待ちの体勢で確実に打撃をあてていく。互いにダウンを奪われることはなかったが、コヒが“らしく”判定勝ち。まずは幸先のいいスタートを切った。

ゃあ、リングで見せてやるよ」って思って。

——で、ああいう形で嫌というほど見せつけたわけですね（笑）。

KID でも、終わったあとは反省しましたよ。

——たしかに、あの試合後の記者会見で、「これからレフェリーストップがかかったら、やめる練習をします」って言ってるんですよね。どんな練習だよって思いましたけど（笑）。

KID アハハハ！　マジですか（笑）。たぶん、その時は素で言ってたと思いますね。かなり、反省してたんで。エンセンにも「おまえ、次ないヨ」って言われて（笑）。

——実際、謹慎処分になったし（笑）。あとはステファン・パーリング戦（03・5・5）でドクターストップになった時の試合後のコメントも面白かったですね。「まだできます。いますぐやってやる。顔の皮を剥ぎ取ってやる！」って（笑）。

KID いや、その時も素でムカついてたんだと思います（苦笑）。

——でも、あれは勝ってた試合ですよね。

KID 絶対。ドンっとやった時点でもう

トーナメント1回戦

●山本KID徳郁vs村浜武洋×

［2R 2:38 KO］

K-1初参戦のKIDが、元SB王者にして元K-1フェザー級GP王者でもある優勝候補の村浜から大金星! 身体能力の高さから来るパワーとスピードで、次々とダウンを奪い、なんとKO勝ち。敗れた村浜は「スケジュールは分かってたから言い訳にならない。(今後、K-1への参戦は) このままじゃ商品にならないでしょうし……」と、まさかの敗北にショックを隠しきれない様子だった。

トーナメント決勝

●小比類巻貴之［3R 判定3-0］セルカン・イルマッツ×

トルコ人初の日本代表に王手をかけ気合い十分のイルマッツだったが、コヒが会場で必要以上に見守りまくるお母さんの声援に応え、見事優勝!　そしてなぜかお母さんもリングに上がった。

トーナメント準決勝

●セルカン・イルマッツ［1R 2:13 KO］TOMO×

KIDが右拳骨折のため、リザーバーとして待機していた武蔵の実弟TOMOが準決勝へ。しかし、ちょんまげ頭に「侍魂」と書かれた鎧で登場したイルマッツが気合いの違いを見せつけKO。

トーナメント準決勝

●小比類巻貴之［2R 1:05 KO］武田幸三×

序盤から武田が、強烈なローキックを中心に試合を支配したが、2Rコヒの跳びヒザ蹴りが武田のアゴを直撃!　武田はそのまま大の字に。コヒが大逆転勝利で決勝進出を決めた。

勝ちだって思いましたから。
——タックルに入ったところにヒザをもらって、でも、そのまま持ち上げてリングにドンっと叩きつけたところでドクターストップでしたよね。
KID 額から血がピュピュって出て、「これ結構量が多いな」って。でも、その時は全然痛みなんかないから、「やりてえ」って思って。でも、帰ってみたら、「これはやべえ」って。「あのままやってたらドンドン裂けてた」って（笑）。
——凄い傷ですよね。7センチぐらいありますよね。それ、中も縫ってるでしょ？ 20針ぐらいですか？
KID たぶん20針ぐらいですね。
——それでも、「やりてえ」って思ったんだから、熱いというか、凶悪というか（笑）。
KID いや、でも、普段はおとなしいですよ。
——そうなんですか？
KID いや、ホントですよォ。だけど、なんかがあるとボンっとスイッチが入っちゃうんですよ。俺とか、家族とか、仲間に危害が加わるとスイッチが入っちゃう。
——それはよくあることですか？
KID たまにですね。
——昔はありました？
KID 昔はまあ（笑）。
——覚えてることだとどんなことがあります？
KID え、それ凄い警察みたいですね。
——警察のご厄介になったことがあるみたいですね（笑）。
KID ほらほら、そういうのが（笑）。
——そういう発言がリアルな感じですよね。まあ、詳しい話はちょっと置いといて、何人ぐらいを相手にしたことがあります？
KID いつも一人ですね。

インタビュー中「たまたま踏みそうになっただけ」と語っているのがこのシーン。ご覧のように、不適な笑みを浮かべながら相手を見下すこの態度、バツグンです!

——やっぱり、タイマンですか（笑）。
KID ですね（笑）。でも、喧嘩の時は冷静ですよ。そこまで相手が強くないから。ただ、俺からは絶対に喧嘩は売らないです。友達とかにわざとドンとぶつかってくるヤツとかいるじゃないですか。そういう喧嘩を売ったりするようなヤツはほかのところでもやってるから、やっぱり、そこで「退治しておこう」と。
——これ以上、人々に迷惑をかけないように（笑）。
KID だから、世直し（笑）。
——ただ、須藤元気さんも「KIDさんは喧嘩慣れしてますからね」ってハッキリ言ってるんですよね（笑）。でも、基本的にはスポーツマンですもんね。
KID スポーツマンです。もう、ちっちゃい時からレスリングやってますから。
——お姉さんの山本美優さんよりも早くやってたんですよね。
KID そうです。俺、いちおう大学卒ですから（笑）。
——ワハハハ！ 大卒ですね（笑）。だから、意外にちゃんとしてるんですよね。編集部が取材依頼で電話した時も、「僕でよければ、お受けいたします」と言って、ちゃんとしてるじゃないか、と。その辺がね、逆にガッカリしたというか（笑）。
KID そうですか（苦笑）。
——だけど、凶悪でいいですね、プロとして。いま、これだけインパクトのある試合ができる人っていないですよ。いま、総合格闘技がどんどんスポーツ化してる中で、暴力の匂いがするんですよ。
KID それは俺も思ってました、ずっと。やっぱり、俺もプロになった最初の頃は堅かったんですよ。客の前で人と殴り合ったこともないし、一回目はカチカチだったんですよ。でも、「それじゃあ、自分が出ないな。いつもの俺じゃないな」と思って。
——「いつもの俺」って、さっきと言ってることが矛盾してますよね（笑）。
KID いや、いつものっていうのは闘ってる時の俺で（笑）。練習の時はK-1MAXみたいな感じで楽しくやってたから、試合の時も楽しくやろうと思って、いまの形になったんです。
——じゃあ、楽しさを追求した結果がK-1MAXの試合だったと。凄くいいですよね。
KID そうですね。自由にやるのが一番。考えてやるとプラスになる人もいると思うけど、俺の場合は絶対マイナスになっちゃうから自然体でいこうと。
——試合直前までリラックスしてるんですよね。
KID そうですね。「スタンバイしてください」って言われると、「さあ、祭りだ！」って。俺のまわりの連れにも「祭りだから、やるぞ！」って（笑）。
——喧嘩は祭りの華ですからね（笑）。ところで、いま修斗から『PRIDE』に出たりする流れがある中で、いまひとつい試合にならないこともあるじゃないですか。その辺はどう思いますか？
KID う〜ん。その人の身にならないとわからないですね。ただ、どうなんですかね。たぶん、俺が修斗代表で大暴れすれば、周りの修斗代表の人も上がってくれるかなっていう気がしますね。誰がどうっていうんじゃなくて、一緒に上がっていきたいですね。そんな感じがします。だから、俺の試合を見て、周りの友達とかが「チョー良かった。俺も明日、仕事頑張るよ」とかって言葉を聞くのが凄ェ一番やって良かったなって思います。それが一番嬉しい。
——そういう熱い試合を今後も続けていってくれるんじゃないかと凄く思うんですよ。そういう中で、いまK-1とか『PRIDE』とかいろいろ選択肢があると思うんですけど、今後はどの舞台に上がる予定ですか？
KID とにかく面白い相手とやりたいで

惜しくもレスリング、アテネ五輪代表を逃した姉・美憂、妹・聖子がリングサイドで観戦。ミュンヘン五輪代表の父も含め、とんでもないアスリート一家なのだ。

すね。オファーが来て、「この人だったらやりたいな」っていう人だったら喜んでやりたいけども、やるような相手じゃなかったら、やらないですね。

——それは『PRIDE』だから上がるとか、K-1だから上がるとかじゃないんですね。

KID じゃないです。

——誰とやりたいですか？ 前にホイラーとやりたいと言ってましたよね。

KID そうです。グレイシーです。やってみたいですね。

——グレイシー一族vs山本一族っていいですよね（笑）。KIDさんのお父さんもレスリングのミュンヘン・オリンピック代表ですよね。お姉さんには美優さん、妹に聖子さんというレスリングの世界チャンピオンがいて、グレイシーファミリー以上に格闘一家ですよね。

KID そうですよね。身体能力はたぶん恵まれたと思いますね。

——それに義理の兄になるのがエンセン井上さんでしょ。凶悪な血というか、大和魂もなんかいい感じで注入されてる気がしますね。

KID そうですね。よくグレイシー対なんとかってあるじゃないですか。その中に俺とエンセンが入って。

——あ、いいですね。そういう企画だったら喜んでという感じですか。

KID 喜んで（笑）。やっぱり、最近知ったんですけど、グレイシーっていうのは総合の中でトップだと思うんで、そことやって証明じゃないけど、実感してみたいですね。タイマンしてみたいですね（笑）。

——だけど、体重の重い人ともやってみたいと言ってるじゃないですか。だから、ホイスとやってみるのもいいんじゃないですか。

KID ……ホイスってどういう人でしたっけ？

——え。ホントに最近知ったんですね（笑）。あのぉ、ヒクソンは知ってますよね？

KID モロ知ってますよォ（笑）。ヒクソンと、あとはあのぉ、凶暴な奴。

——ハイアン？

KID そうそうハイアン（笑）。みんないい目をしてますね、グレイシーは。

——KIDさんんと同じ匂いを感じますね。特にハイアンには（笑）。

KID ホントですか（笑）。

——ハイアンとの凶悪対決も見たいなぁ。

KID でも、ハイアンはデカいでしょ？

——80キロぐらいはありますからね。KIDさんはいま65キロですよね。だから、5キロ上げて。

KID そうですね。5キロ上げれたら10キロぐらい上の人だったらやりたいですね。

——いけますか！ みんな格闘技の人は体重体重って言うじゃないですか。それをひっくり返してくれそうな予感がありますよね。

体重差あってもいいから
グレイシーとタイマン
張ってみてェなって

K-D　マンガみたいなノリでいきますよ(笑)。

―いずれにせよ、まずは痛めた拳が治ってからですね。

K-D　パンチをまだ打てないんで、あと2ヶ月後には試合ができる状態になってると思うんですよ。

―拳はもう癖になっちゃいました?

K-D　そうですね。でも、治りが早いんで。

―やっぱりワンマッチ向きですよね。

K-D　だから、小比類巻くんも魔裟斗くんも凄いですよ。だって、トーナメントで勝ち上がっていくんですから。俺はやっぱタイマン派だなって(笑)。

―じゃあ、治ったあかつきにはタイマン派としては魔裟斗選手とタイマン張りたいですか。

K-D　う～ん、もうちょっと練習してからやってみたいですね。K-1MAXの時もオファーが来たのが一ヶ月切ってて。

―谷川さんらしいですね(笑)。

K-D　でも、「どうしよう、デカいしな舞台。まあ、いいや、ぶっつけで」って。それが一月の後半ぐらい。でも、その前は何にもやってなかったんですよ、ケガしてて。だから、ホント、練習したのはオファーが来てからの1ヶ月ぐらいですよ。

―それでよく勝ちましたね。やっぱり、村浜選手を倒したのは自信になりましたか?

K-D　それはなりましたね。だって、やる前はみんなが「村浜選手の勝ちですね」って。

―魔裟斗さんなんか、優勝候補とまで言ってましたからね。

K-D　でも、俺はチョー楽しかったですけどね、「もっと言ってろ」って。「もっと盛り上げてくれ」って凄ぇ嬉しかったですね。

―いま、魔裟斗さんに勝てる自信はありますか?

K-D　自信は全然あります。ただ、魔裟斗くんは雑誌で「まだ、俺とやるには全然早い」って言ってるんで、「え、マジで⁉」って。

『PRIDE』でもK-1でも、凄ぇヤツとやれるリングで闘いたい

やまもと・きっど・のりふみ■1977年3月15日、神奈川県出身。家族はミュウヘン五輪代表の父と姉・美憂、妹・聖子のレスリング一家で、KID自身もインカレ優勝等輝かしい実績を残す。大学卒業後、総合格闘家に転向。試合毎に衝撃を与え続けている。

「わかったよ、もうちょっと練習するよ。ちょっと結果を出してからお願いします」と。

―たぶん、世界大会の決勝が6月にあるんで、そこでスペシャルマッチでのオファーがあるんじゃないですかね。

K-D　じゃあ、その時に有名どころをブッ飛ばしちゃえば(笑)。

―魔裟斗さんと可能性はありますね。今後の予定はなにかありますか?

K-D　いや、ないですね。4月のK-1MAXは来たけど、それはまだ拳が治らないんで。

―『PRIDE』もあれば、OKですか?　いま、『PRIDE』とK-1の仲って微妙じゃないですか。

K-D　これからはそういうのも考えていかなきゃいけないとは思うんですよ。エンセンのアドバイスも受けながらやっていこうかなって思うんですよ。

―K-1の契約は今回はワンマッチだったんですか。

K-D　そうですね。そういうのも考えながらやっていこうかなって。

―争奪戦になりそうですね(笑)。ちなみに、K-1の大舞台に一回上がったら、いままでとは違った色気とか出てきましたか?

K-D　いや、それは全然前と一緒ですね。ただ、素質と気持ちがあるのに格闘技やりたくてもできないヤツがいるじゃないですか。そういうヤツのために、ためっていうわけじゃないけど、やりたいですね。俺もそうだったから。つまんないヤツいるじゃないですか?　『PRIDE』でもなんでも、なんでこんなヤツが『PRIDE』出てるんだってヤツ。そういうのを見てると悔しくてしょうがなかったんですよ、俺も。こっちはファイトマネーは安いのに殺し合いみたいなことしてて、「なんで、こいつらは」って気持ちはやっぱあったから、そういうキャラにはなりたくない。だから、ガーっとやって頑張ろうって。

―とにかく熱い試合をやって。

K-D　そうそうそう。人の心を掴まないとダメです。

―いちいち発言に期待が持てますね(笑)。で、次の試合には山本一族が勢揃いしてほしいですね。特にお父さんを僕は見たいですね。前に取材したことあるんですけど、面白いですよね(笑)。

K-D　いや、オヤジはヤバい!　アイツ一番ヤバいッスよ。俺が試合するとき控え室まで「やっちまえ」とか言いに来るんですけど、そんときから酒臭いっスから(笑)。

―そういうのを聞くとますます楽しみが増えますね。次の試合を心待ちにしてます!

【04年3月11日/PUREBRED東京にて収録】

活字バーリ・トゥードの哲人がK-1MMAを大分析！

K-1MMAとはPRIDEの対抗馬ではない！新たなるプロレスの誕生である!!

またしても青春の大発見！

日本武道博骨法創始師範

堀辺正史

構成／堀江ガンツ

designed by Tani-Yan (Two three)

新たなるプロレスの誕生である!!

――さて、先生。ついにK―1が総合格闘技のイベントをスタートさせたということで、今日はその可能性、及び問題点、それから格闘技界はこれによってどうなって行くかっていうことをお伺いしたいなと思います！

堀辺　はい！　やさしそうだし、難しそうだし、問題自体が大変ですね（笑）。

――なかなか掴み所がないとは思いますけど、よろしくお願いします（笑）。まず、K‐1MMAプレ旗揚げ戦（3・14K‐1新潟大会）をご覧になっての感想はいかがですか？

堀辺　そうですね。まず、私が今回のK‐1MMAというものを見て感じたのは、ノールールという『PRIDE』と同じルールを採用していながら、『PRIDE』とはまったく違った方向性を持ったイベントが生まれたなということですね。

――全く違った方向性ですか。

堀辺　というのは、まだプレ旗揚げ戦だから、何でも最初から完成されたものを求めるのは無理だと百も承知しているけれども、『PRIDE』と比べちゃったら、ハッキリ言ってクオリティは低いでしょ？

――ズバリ言ってしまうと、アッサリと決まる試合が多くて、競技としてのクオリティは高いとは言えませんでしたよね。

堀辺　それから、もし『PRIDE』とK‐1MMAの勝利者同士が闘うってことになったら、ハッキリ言って現段階ではK‐1MMAが全部負けると思んですよ。

――まぁ、MMA初心者がやってるわけですからね（笑）。

堀辺　だから、試合自体のクオリティや選手の競技者としての実力で『PRIDE』と張り合おうというイベントじゃないと思うんですよ。では、なにを目指しているかというと、それは藤田和之の発言からわかる。

――藤田の発言ですか？

堀辺　そう。聞いたところによると、藤田は記者会見で「もう最強には飽き飽きした。面白い試合をしたい」と言ったらしいんですよ。

――はいはい、3・14新潟大会の翌日、K‐1MMA参戦表明のとき言ってましたね。

堀辺　この藤田の発言というのが、実はK‐1MMAのコンセプトをすべて言い表しているんですよォォ！　だって、藤田と言う選手は、これからK‐1MMAで日本人の中心になっていく選手でしょ？　その男が「最強には飽き飽きした」と、言ってるんだから。

――その時点で『PRIDE』とはまったく逆ですよね（笑）。

堀辺　つまり、藤田の発言を聞くと、K‐1MMAというのは、"最強"を目指すのではなく、面白い試合、面白い組み合わせを提供していくものですよ、ということがわかる。だから、これは真剣勝負ではあるけれども、極めてプロレスに近いムードのものになっていくと考えられるんですよ。

――「真剣勝負のプロレス」と言う感じですか？

堀辺　そう！　だからK‐1MMAというのは、ルールこそ同じであっても『PRIDE』にとって脅威でも何でもないんですよ。逆にこういう言い方をすると失礼なんだけれども、今回のような内容の試合をやると『PRIDE』が余計によく見えるね。

――いかに『PRIDE』のクオリティが高いかと（笑）。

堀辺　それが浮き彫りになってくるんですよ。逆にK‐1MMAというものが出てきて、一番ダメージというか、影響を

「"最強"には飽き飽き」という藤田の発言はK-1MMAの方向性をすべて言い表している！

5月下旬に予定されるK－1MMA旗揚げ大会のメインイベントでの対戦が噂される藤田とサップ。両者共、『PRIDE』の3強の内2人に敗れているため、「最強を争う」というイメージはないが、実現すればド迫力の闘いが間違いなく期待できるカードだ。

受けるのは、従来のプロレスだと思います。なぜならお株を奪われるから！

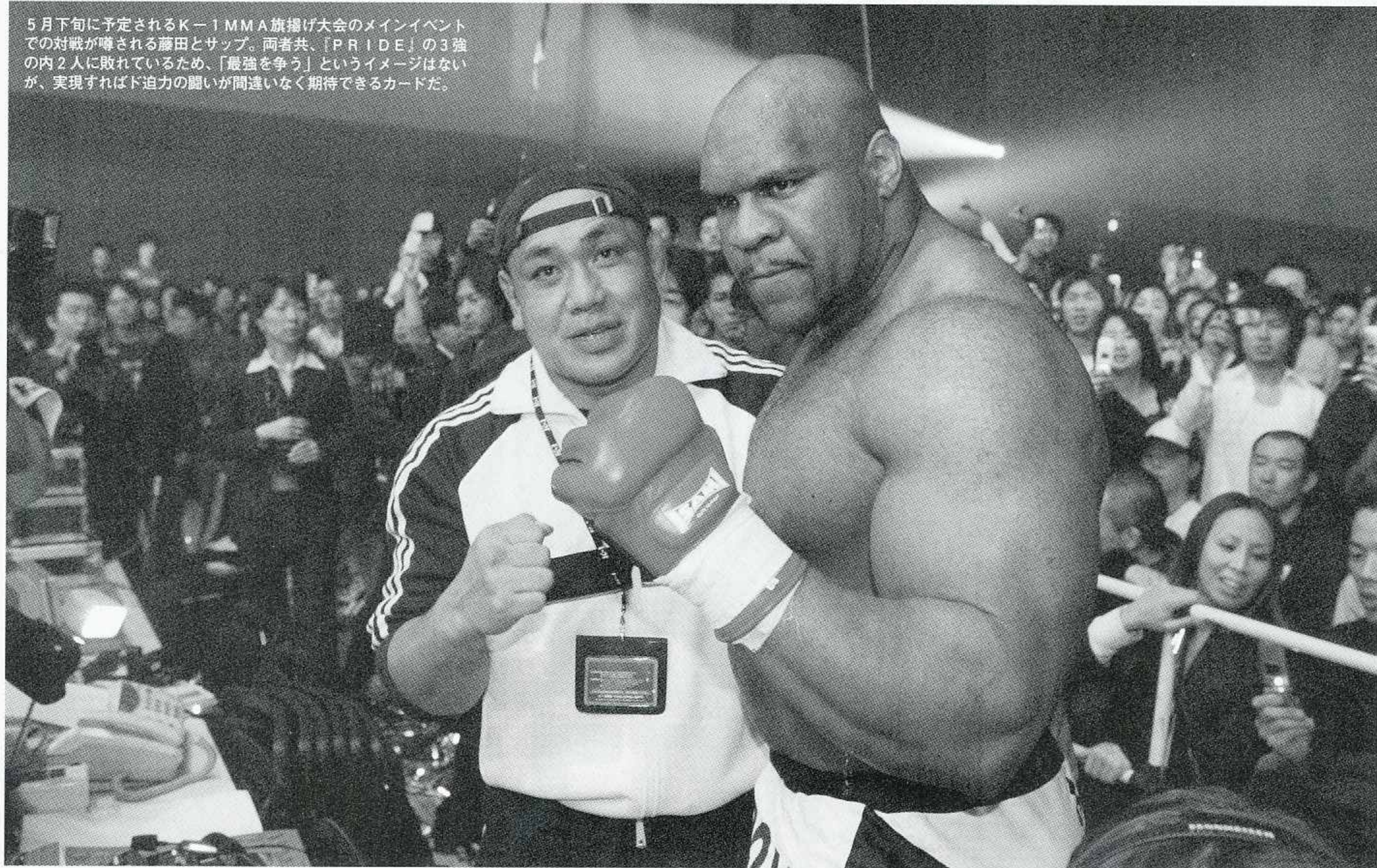
——確かにK-1MMAから感じる面白さって、格闘技の醍醐味である勝負論とか緊張感より、プロレス的な楽しさや開放感なんですよね。

堀辺　だからヘタするとプロレスは食われますよ。プロレスの面白さっていうのをよりダイナミックに見せてるわけだから。しかも、それが真剣勝負で行われているわけですからね。

——じゃあ、新日本プロレスも脳天気に選手を貸し出してる場合じゃありませんね（笑）。

堀辺　だからハッキリ言って、新日本プロレスは頭がないのかって。

——ガハハハハ！　頭がない（笑）。

堀辺　しかも、新日本プロレスの中で格闘技が出来る人間はK-1MMAに出るということになると、K-1MMAが新日本プロ

何かが起こるK－1大会直前会見。今回は消化器、水、ウコンなどは出なかったが、新日本プロレスのブルーウルフが乱入。こういったプロレス的な演出を堂々と使うのもK－1MMAの特徴だ。

これからは格闘技だけでなくプロレスも真剣勝負であることが大前提になる！

レスにとっての上位概念になるわけですよね。

堀辺　もうすでにそうなったと言ってもいいかもしれないですね。だからいま新日本プロレスは、そっちの方向に行くのかどうかに迫られていると思いますよ。

——知らず知らずのうちに新日本はいばらの道というか、大変は道に踏み入ってしまった感はありますよね。いま一番売り出し中の前IWGPチャンピオン中邑真輔選手にとっても目下一番のテーマは打倒イグナショフなわけですからね。

堀辺　だからね、プロレスラーが真剣勝負の世界に一歩足を踏み込んだからには、倒さなくちゃいけない宿命にあるわけですよ。あのまま引き下がるわけにはいかないんだから。これはイグナショフを倒さない限り終わらない！

——ということは、すでにIWGPのチャンピオンベルトよりも「イグナショフ」という個人の方が全然上位にあるわけですよね。しかも、さらにその上にはボブ・サップだとかアーネスト・ホーストがいるという。

堀辺　そういうことですね。だから、K-1MMAというのは、ある意味、新しいプロレスの誕生といっていいかもしれないね。そして、当のプロレスファンが意外と今回打ち出したK-1MMAのような〝プロレス〟を望んでいたのかも知れない。

——どういうことですか？

堀辺　やっぱりプロレスファンっていうのは、ここ数年でミスター高橋の暴露本があったり、いろんな情報によって、プロレスが真剣勝負じゃないってことを知ってるんだよね。でも、その一方で勝敗が事前に決まっているということが心に引っかかってる。そこに凄腕プロデューサーの谷川氏が気づいたんだと思いますよ。

——なるほどなるほど。谷川さんはK-1MMAによって、「真剣勝負のプロレス」という〝空き家〟を発見したわけですか（笑）。

堀辺　そう！　これは極めて日本の土壌に合った〝プロレス〟なんですよ。だから「K-1MMAはプロレスの進化型である！」ということを打ち出せば定着しますよ。これはファンが望んでいた新しいプロレスなんだから！

——いや〜、知らぬ間に新しいプロレスが生まれてたんですね（笑）。

堀辺　だからやっぱり谷川プロデューサーは凄いね。その点では（ターザン）山本さんの言葉を借りると「お前が動かしてるよ！」ってことだよね。

——谷川さんがプロレス界を動かしてると（笑）。

堀辺　これは日本のプロレスファンにとっては福音かもしれない。プロレスっていうものに対して自信を失って、プロレスファンでいようか、それとも辞めちゃおうかなっていう、選挙でいう不動票がこのところどんどん増えていたと思うんですよ。その不動票をK-1MMAは止めることができるかもしれない。

——例えばプロレスファンからK-1MMAファンに移ったとしても、それは〝新しいプロレス〟のファンだという（笑）。

堀辺　全くその通りですね。旧プロレスを捨てたというだけで、プロレスファンであることには変わりないんですよ。そうすると、K-1が新日本とくっついたこともあながち間違いじゃなかったということになるね。

——谷川さんは、ホント新日本プロレスを上手いこと利用してますよね。

堀辺　問題はこの〝新しいプロレス〟に対して新日本プロレスにいる人たちがアレルギーを起こす人と起こさない人がいると思うんですよ。その調整を会社がち

新たなるプロレスの誕生である!!

ちゃんと仕切れば違った形で新日本の再生になるかもしれないですよね。

——Ｋ-１グループとして新日本プロレスが再生するかもしれないと（笑）。

堀辺　そういうことですね。

——そうなると逆に『ＰＲＩＤＥ』っていうのは、どんどんプロレスから離れて、「最強」を突き詰めていくべきですか？

堀辺　もうドンドン行くべきです。そして、Ｋ-１ＭＭＡみたいなものが出てきたら、なおさら、そうならざるを得ないでしょう。『ＰＲＩＤＥ』はこれからも「最強は誰なのか」っていうことを絶えず突きつけていくリングだと思います。

——じゃあ、Ｋ-１ＭＭＡはプロレスと格闘技両方に影響を与えたわけですね。

堀辺　それとね、これによってマット界が「格闘技」と「新しいプロレス」という形に再編成される入り口に差し掛かったとも言えるんじゃないかな。しかも、この「格闘技」と「プロレス」の分け方は、従来のように「真剣勝負か否か」じゃないんですよ。

——あ、なるほど！　「格闘技」も「プロレス」も、どちらも真剣勝負と。

堀辺　そう！　真剣勝負であるというベースは、格闘技だろうが新しいプロレスだろうが外せない。真剣勝負が大前提なんですよ。

——それが新しい「プロレス」と「格闘技」の関係になるわけですね。

堀辺　要するに〝新しいプロレス〟というのは、真剣勝負なんだけど気楽に楽しめるという。ゲーム化した、ある程度これまでのプロレスの流れで見せてきたようないろんな要素をその中に加味したものですよね。そうするとプロレス的なものが全くなくなってさびしいと思う人たちがいっぱいいるわけですよ。その人たちの希望を叶えられるかもしれないね。

——プロレスファン救済になるわけですね（笑）。

堀辺　そして『ＰＲＩＤＥ』はこれからそういうものが出てくると、なおその反対を行かなきゃダメ。これはグッチャグチャでいいから誰が一番強いのかをとことん突き詰める！　ちょっと目を背けたくなるぐらいの、そういう凄さで楽しませる。これは言葉のアヤじゃなくて、「怖いもの見たさ」ってあるじゃないですか。目を覆っちゃうんだけども手を開いて隙間から見てみたいっていう、それが『ＰＲＩＤＥ』じゃないかな。

——『ＰＲＩＤＥ』はＲ指定の格闘技ですか（笑）。

堀辺　そうそう。そしてＫ-１ＭＭＡは手をふさがないで気楽な気分で見られる。

——ファミリー向けのバーリ・トゥードなわけですね（笑）。でも真剣勝負ではあると。

堀辺　だからプロレスラーも自分のやってることに対して誇りを持ってそのリングに上がることができる。そしてプロレスが好きだっていう人たちも誇りを持ってファンでいられる。そういうものになるかもしれないね。

「やる人も見る人も誇りを持つ」ってことがこれからの時代、どんな商売でも発展するって上でのキーワードなんだよね。もうすべてのビジネスがそうですよ。

——じゃあ、ターザン山本さんみたいに「イグナショフはウイリアムスのバックドロップ喰らうようにしとかないとダメなんだよぉぉぉ！」っていうのは、時代が違うわけですか（笑）。

堀辺　それはもう古い！（キッパリ）。古い古い旧プロレスですね。それをやったら昔のプロレスに戻っていっちゃうんです。

——Ｋ-１ＭＭＡが生まれた意味もなくなりますね（笑）。

堀辺　それからもうひとつ。二極化されていく中で、『ＰＲＩＤＥ』というのは、試合前の挑発だとかそういったものがなくなっていくと思う。なぜかというと、試合が厳しくなればなるほど、最初から相手を愚弄する態度とかは許されないんですよ。一歩間違えれば命を落とすような試合をするということは、お互いの尊敬というものがあって初めて成り立つ世界なんですよ。相手の体を触るのも嫌だとか、軽蔑し切ってる人間同士が闘うことはできないんです。

K-1MMAの出現により『PRIDE』はとことん最強を追求するしかない！

——そんな相手に対して自分の命を懸けて闘えないですもんね。

堀辺　命を懸けるってことはお互いに価値観を共有し合って、認めた者だから闘えるわけで、そこに敬意がなければいけないわけですね。きっとそういう形で『ＰＲＩＤＥ』が進んでくれれば日本という土壌で行われてる『ＰＲＩＤＥ』が名前通り誇りを賭けた闘いになるんじゃないかな。プライドを日本語で訳したら「誇り」ですからね、侍が一番尊重したものは何かと言ったら誇りや名誉なんですよ。自分の誇りや名誉のためには命も捨てたんですよね。そういうものが『ＰＲＩＤＥ』の方向性として出てくれば『ＰＲＩＤＥ』は世界中にもっともっと大きな影響力を与えるリングになってくると思います。

——実際、ミルコはギャランティ云々よりも「『ＰＲＩＤＥ』のチャンピオンベルトが欲しい」って言ってますもんね。

堀辺　なぜ欲しいかと言ったら『ＰＲＩＤＥ』で勝てば俺が一番なんだということを証明できるということを彼自身がよく知ってるからですよ。『ＰＲＩＤＥ』っていうものはそういうものにより近づいて行って欲しい。そうすればプロレスと違った価値観があるわけです。仮に楽しめない人がいたとしても、あんな凄い試合をやられたら「これは娯楽じゃないよ」って言われたとしても、人間の究極の真面目さとか、人間がすべてを出し切った感動とかっていうものがそこに生まれてくるわけだから、それは世俗を越える価値観を顧みることができるわけです。こういう世俗化が進んでる時代だからこそ資本主義が腐乱してる時代だからこそ、そういうものがまた逆に必要なんですよ。

——一見残酷なものが崇高なものになるわけですね。

堀辺　それとは別に、Ｋ-１ＭＭＡというものは、万人が楽しめて、しかも真剣勝負だから闘っている人間も最低限の誇りを持てるという、そういうプロレスのいい意味での空間になる。そして片や、緊張感ピリピリの世界と。これは非常にバランスが取れていいことになるんじゃないですか。

——じゃあ、Ｋ-１ＭＭＡっていうのは、非常に意味がある大会なわけですね。

堀辺　うん。結果的に重要な役目を果たすことになるかもしれませんね。

——となると今年は楽しみですね。ちょうど楽しさを追求したＫ-１ＭＭＡが始まったと同時に、厳しさをとことん追求した『ＰＲＩＤＥヘビー級グランプリ』がホントに一番強い男を決めるっていう。

堀辺　これも偶然かね、出来過ぎてるね（笑）。

——おそらくＫ-１が8月に『Ｄｙｎａｍｉｔｅ!!』としてＫ-１ＭＭＡの祭典みたいないわゆるプロレス祭りですね、それをやってる同じ時期に『ＰＲＩＤＥ・ＧＰ』の決勝戦があるんですよ。その二つの面白さですよね。いや、贅沢ですね（笑）。

堀辺　贅沢な時代に入りましたね。そういうふうに考えればすべて良しなんだよね（笑）。

——最上級の格闘技と最高の新しいプロ

レスが見られるわけですからね（笑）。
堀辺　アメリカができなかったプロレスですよ。アメリカの土壌では絶対これは生まれない。
――そんな発想は絶対ないですもんね。
堀辺　それとまた谷川プロデューサーの話になってしまうけども、彼の性格はそれができるね。バタービーンみたいなのを呼んだりとか、ああいうのがそれをやることで生きてくるんじゃないの？
――ジョー・サンを最初に呼んだりしてたのも谷川さんですもんね（笑）。
堀辺　そういうことですね。世間っていうのはそういうものが一方で好きなんです。だから二つの人間の欲望が二つのリングが生まれたことでどちらも見られる豊な時代なんですよ。
――万々歳じゃないですか（笑）。それをやりながらも競い合うわけですからね。
堀辺　競合する部分が当然出てくるわけです。
――これはホント、今年は見逃せないですね。
堀辺　そういう意味ではもの凄くマット界が変わります。
――こうなると、旧来のプロレスの出番はないかもしれないですね。

これからの格闘技界は、とことん強さを追求していく『ＰＲＩＤＥ』と、とことんマッチメイクの面白みや話題性を追求していくＫ－１ＭＭＡ（『Ｄｙｎａｍｉｔｅ!!』）の二極化になりそう。この４人はそのなかでもキーマンとなるだろう。

堀辺　いや、旧来のプロレスがより蹴落とされる時代になったことでもあるんですよ。もう隅っこに追いやられて絶滅寸前になるかもしれない。トキみたいなもんですよ（笑）。
――じゃあ、あまり悪く言わないで、保護してあげないといけませんね（笑）。
堀辺　そうです。これ以上言うといなくなっちゃうかもしれないから（笑）。それともう一つ大切なことは『ＰＲＩＤＥ』に出て行こうとする格闘家とＫ・１ＭＭＡに出て行こうとする格闘家がいて、これによって格闘家の姿勢が選別されてきます。選ぶリングで彼は何を考えてたかっていうことがリトマス試験紙になるっていう部分もあるわけです。
――藤田和之じゃないですけど、Ｋ・１ＭＭＡに出るってことは、最強じゃなくても面白いものを目指しますって言ってるようなもんなんですよね。
堀辺　ただ、それはそれで認めてあげる必要があるよね。少なくとも演劇じゃないんだから。
――いやあ、新しいプロレスが生まれる予感というか凄い発見ですね！
堀辺　おそらくこれはどんなマスコミもこのことは言わないと思うし、気づいてないと思います！
――今月はターザン山本さんのインタビューもあるんですけど、全然違うこと言ってると思います（笑）。
堀辺　「谷川はダメだ！」って言ってますか？（笑）
――いや、格闘技じゃなく、恋愛の話をしてるんじゃないかと思います（笑）。
堀辺　あ、そっちですか（笑）。山本さんも元気だね～。
――というわけで、今日はありがとうございました！
【04年3月16日／東中野・割烹「大はし」にて収録】

4・11、ヤマケンがムエタイに挑戦！

その向こうにあるのは打倒シウバ!!

山本喧一
（ウィラクサレック・ムエタイジム）

昨年3月の『PRIDE25』以来、山喧が1年ぶりにリングに登場。復活の舞台は4月11日に行われるムエタイ大会『M-1』。対戦相手のデン・サックモンティーはWMCの元ランカーで33歳。67戦43勝（15KO）18敗6分の戦績を誇るベテラン選手だ。なぜか『紙プロ』編集部近くの『SUBWAY』でバッタリ遭遇した山喧に、今なぜムエタイなのかを直撃してみた！

聞き手&撮影／松澤チョロ　構成／斉野（見習い）　designed by bun-chan (Two three)

『M-1』って言っても漫才の"M"じゃなくてムエタイの"M"ですから

――山喧さん！　一部マスコミに「山喧、『M-1』にチャレンジ」って出てたんで、大阪出身ですし、てっきりお笑いに挑戦するのかと思いましたよ（笑）。

山喧　あい～や！　「だから最近試合してないのか」ってよく言われるけどね（笑）。漫才の"M"じゃなくて、ムエタイの"M"ですから。"1"はナンバーワンの"1"。ちゃんと書いておいて下さい。

――分かりました（笑）。早速ですが、どうして今回ムエタイの試合に出場することになったんですか？

山喧　4年前にパット・ミレティッチに負けて、打撃の重要性を痛感してムエタイをやりにタイに飛んで、そしてタイでムエタイの奥深さを知ったんですよ。それから何度かタイに行ったんですけど、やればやるほど深くて。俺のバックボーンであるMMAの世界を見てみると、ストライカーが台頭してるじゃないですか。

――ですね。ミルコやシウバを筆頭に。

山喧　日本人でトップレベルのストライカーと打ち合って勝てる選手がいるかって考えるといないでしょ。アイツらと堂々と打ち合えるスキルがなかったから、あれだけ寝技のスキルを持ってる桜庭さんですらシウバにKOされてるじゃないですか。ハッキリ言って日本チャンプまでは勢いでなれるけど、世界戦には通用しませんよ。

――ヤマケンさん自身がそうでしたよね。

UFC-Jは獲りましたけど、UFCは獲れませんでしたからね。

山喧　そういうこと。だったら、MMAに生かせるムエタイをとことん追求してみようって決めたんですよ。そして、俺のMMAの闘いには絶対役に立つことだからって修練を積んできた結果、会長からムエタイの試合をしてみないかと。それまではMMAのことしか考えたことなかったんですけど、ムエタイをやっていくうち、ヒジを打ってみたくなったんですよ。最近のMMAのルールはヒジのないルールがほとんどじゃないですか。

――ほとんどそうですよね。

山喧　ムエタイはそれが認められた場でもあるし。ムエタイ修行ではヒジと首相撲っていうものに凄く影響を受けたんですよ。もしヒジと首相撲を知らなかったら、俺の格闘人生にとってもの凄くマイナスだったなって。それでそれを生かしたルールで試合がしたいって思ってやったのが、タイタンファイトであり、クラブファイトであり、そしてムエタイであるわけですよ。

――失礼ですが、ご自分ではムエタイルールに出場するレベルに達していると。

山喧　会長からのゴーを信じてますから。それに、ずっとMMAやってきて、いろんな経験して、そろそろ何か刺激が欲しいなっていう時期だったんですよ。今年は凄く調子がいいし、誰もしないことをやるっていうのが俺の信条なんで。MMAの選手が本格的にムエタイに挑戦したことなんかないじゃないですか。しかも俺はチャンピオンになるまでやるつもりですから。ホントは今回、チャンプア（・ゲッソンリット）を予定してたんですよ。そしたらチャンプアがヨーロッパで試合組んじゃってたから調整できなくて。

――チャンプア戦だったら、純粋なキックファンだけじゃなくて、プロレスファンとかUWFファンも注目しますからね。

山喧　チャンプアは金原さんと安生さんとやってるんで、それに俺も続こうかなと。UWFの思想っていうものはチャレンジですから。追求するという血を俺も引き継いでるんだなと。あとは、いまは、もうそれをやらないといけないぐらいの練習量であり練習環境なんで。

――ジムの近くに引っ越して一日6時間以上練習してるみたいですね。

山喧　もうやるっきゃないなっていうとこまで来ましたから。タイ人と打撃でド突き合って、なおかつ勝つ。これが今のMMAに君臨してるストライカーと打ち合うための一つの山なんですよ。桜庭さんという兄弟子が負けてるわけじゃないですか。同じようにKOされるかもしれないっていう恐怖心が俺だってありますよ。選手は恐怖心があるとリングには立てない。その恐怖を克服するためにムエタイの試合に出ることはうってつけなんですよ。ヒジもあるし首相撲もある、立ってやれることはほとんどあるわけですよ。それを一回経験してるのとしてないのとでは全然違いますから。

――本気でムエタイに挑むけれども、あくまでも最終的には、その経験をMMAに還元するということなんですね。

山喧　もちろんです。今の自分の階級のチャンピオンがシウバなら、シウバの首を

獲るためにムエタイをやるんです。

――この前の『武士道』を観戦されてましたけど、美濃輪選手がシウバに負けたっていうのはどう思いました？

山喧　やっぱり俺だったらもっと沸かせれると思うし、違う結果を出せるって自信がありますから。

――ほぉ！　シウバでもいけますか!?

山喧　そういうのが俺の中で沸々と湧いてるのは調子がいいからですよ。シウバは世界が認めるチャンピオンなわけでしょ。一番強いヤツを狙うのが格闘家として当然だし、そのシウバのバックボーンがムエタイなら、逆にこっちがムエタイを極めたらどうなるんだと。

――シウバにはないもので闘うんじゃなくて、逆に同じムエタイで真っ向から闘いを挑みたいと？

山喧　同じ土俵で勝負して、もしシウバが俺から打撃戦を逃げたら盛り上がりますよ。シウバがグラウンドに引き込もうとしたら、それでもう俺の勝ちですから。そういう見せ方も出来ると思うんですよ。

――確かに、あのシウバが下から寝技に誘ってきたら、お客さんはスタンドを嫌がってるって判断しますからね。

山喧　シウバはミルコと打ち合った男ですし、ジャクソンをヒザで葬った男ですよ。そいつの技を全部さばいて、更に一発喰らわすことができたら、お客は確実に沸くでしょう？

――それができたら、メチャクチャ沸きますよ！　でも若い若いと言われたヤマケンさんも、なにげに28歳なんですね。

山喧　そう。シウバと同い年で誕生日も何日かしか違わない。しかも星座も一緒で（笑）。ノゲイラとヒョードルも同級生ですからね。悔しいですよ。グズグズしてたらニンジャとかも出てきましたから。

――弟のショーグンなんか、20代そこそこであの強さですからね。

山喧　もう無駄な時間は使えませんね。でね、俺の中でMMAをやる時期はあと3年って区切りを決めたんですよ。

――あと3年で引退なんですか？

山喧　そう。あと3年のうちに結果を出すって今年決めましたから。そうしないと自分にハッパをかけられない。俺が一番若いからって今までズルズルと遠回りしてきたら、どんどん若いヤツが育ってきちゃったんですよ。一昨年は、ジムの残務処理がやっと終わった状態で全然練習できなかったですから。

――そうみたいですね。

山喧　去年になってやっと試合（3・16 vsアレクサンダー大塚戦）したけど、正直、身体が動く状態じゃなかったんですよ。で、大晦日も大会がいっぱいあったから、どれか出たくて調整してたけど話が流れちゃって。でもそのままのテンションを切らさず、ずっと今日まで修練してきたんでね、調子はメチャメチャいいんです。俺、アレク戦のときにロー打ってましたけど、いま蹴ったらアレクの足折れちゃうよ。

――折れちゃいますか!?　でも正直言ってアレク戦は評判悪かったですよね。

山喧　あのときの俺は、ホントの俺じゃないですから。

――アレク戦で「山喧は不甲斐ない」と思った人にも、復帰戦の『M-1』では満足できるものを見せる自信があると。

山喧　今まではファンとか周りの人に気ィ遣って生きてきたんで。Uインターの教えは「プロなんだから客を意識した試合をしなくちゃいけない。自分勝手なマスターベーションはするな」でしたから。

――宮戸さんを始めとする先輩方に、プロレスラーの鉄則を叩き込まれたと。

山喧　そうそう。誰かのために闘うっていう意識が凄く強かったんですよ。それで得したことっていうのが、現役の自分にとって全く無いっていうことがやっと分かりました。ジムの残務処理もある程度終わったし、残り3年間は一心不乱に格闘技に打ち込んで、本来の東京に出て来た目的を果たしたい、小っちゃいころの夢を果たしたいなと。アレク戦だって結局はあんな状態で上がった自分が悪いんだけど、あのときは背伸びしすぎましたね。それが俺の売りであった部分もあるけど、今年からは等身大の自分で、自分のために試合をして3年の間に結果を出す。それが、こんな俺に今でも付いてきてくれてるファンに対する償いですよ。

――それは裏切れませんね。先ほど、日本人では強いストライカーがいないということでしたが、唯一期待されてるのが近藤選手ですよね。打倒シウバの可能性が一番高い日本人と言われてますけど。

山喧　今年はそのネタで盛り上がるでしょ。今年は俺の出る幕じゃないっていうことですよ。

――いや、それだけ自信があるなら、なんとか俺の出る幕にして下さいよ！（笑）。

山喧　今年はちょっとだけ試合をして「山喧は生きてるよ、健在だよ」みたいな感じを見せておいて、来年、本格的に上を狙って暴れようかなと。今年の目標はプチブレイクですから。近藤選手がシウバに負けちゃって、他に誰がいるってなったときに「そろそろ山喧が熟してきたんじゃないか」っていう世論が俺を担ぎ出すぐらいの活躍をしますよ。そのためにムエタイに挑戦してるわけですから。

――山喧待望論が出るほどの活躍をリング上で見せるわけですね。

山喧　俺ももう28歳ですよ。同い年のシウバはイケイケドンドンで、その下にニンジャとかショーグンとか出てきて。それを見ると、これでいいのか。やるっきゃないな、と。3年間真剣にやって結果が出なかったら、俺はそこまでの選手だったんだって諦めますよ。だけど俺は自分の力を出しきってないですから。この3年で今まで培った格闘技の技術、哲学を出し切って終わりにしたいんですよ。そういう意味で覚悟は決まってますね。

――では、新生山喧3年計画のスタートとなる『M-1』を期待してます!!

【3・20／千駄ケ谷『SUBWAY』にて収録】

不完全な体調のまま臨んだという『PRIDE.25』のアレク戦。その消化不良の内容に会場はブーイングの渦。しかし、山喧は「今ならアレクの足は折れてる」とコメント、ウィラサクレック会長も力強く頷いた

『M-1』情報＆チケットプレゼント!!

4月11日（日）東京・ディファ有明
試合開始 14:00

山喧が出場する『M-1』のチケットをウィラサクレック会長のご厚意により5組10名様にプレゼント！　締切は4月3日（土）当日消印有効。「M-1チケット あい～や」係まで。宛先はP143を参照!!

ウィラサクレック・ムエタイジムでは練習生を募集！　初心者も大歓迎！

■入会金　一般 15000円／女性&高校生以下 12000円
■月謝　一般 12000円／女性&高校生以下 8000円
■住所　東京都荒川区荒川3-79（地下鉄三ノ輪駅から徒歩6分）
■問　ウィラサクレック・ムエタイジム　03-3891-0847
■HP　http://www.muaythai.jp/
■「俺の日記読んで」山喧の公式HP　http://www.p-o-d.net/

パ、パ、パ、パンクラス NEWS!

パンクラス4月大会で菊田が復活！　相手はチーム・エリート戦士だ!!

PANCRASE 2004 BRAVE TOUR

■日時　2004年4月23日（金）　試合開始18:30（開場17:30）
■会場　東京・後楽園ホール
■対戦カード
菊田早苗（パンクラスGRABAKA）vs キース・ロッケル（チーム・エリート）
竹内出（SKアブソリュート）vs 國奥麒樹真（パンクラスism）
大石幸史（パンクラスism）vs 星野勇二（和術慧舟會 GODS）
渡辺大介（パンクラスism）vs 百瀬善規（禅道会）
伊藤崇文（パンクラスism）vs 小沢稔（V-CROSS）
関直喜（フリー）vs アライケンジ（パンクラスism）
井上克也（RJW/CENTRAL）vs 金井一郎（パンクラスism）
■問　パンクラス　03-5792-0815
■HP　http://www.pancrase.co.jp/

元極真・野地竜太 パンクラスMEGATON入団!!

元極真会館の野地竜太（写真中央）が、パンクラス・メガトンに加入したことが18日、正式に発表された。野地は、知人を介してパンクラスメガトンと出会い「大きい人がたくさんいる練習環境に魅力を感じた。自分が足りないものを補うには、最適だと思った」ことから、入団を決意。会見に同席したパンクラス尾崎社長は「野地選手の加入によって、これからメガトンがさらなる飛躍をするとも確信しています」と笑顔。メガトンのリーダー高森啓吾も「互いに教えあって強いチームにしたい」と、新メンバーの加入を喜んだ。野地のパンクラスデビューはいつになるのか!?

CONTENTS

紙のプロレス RADICAL

Main-Event

佐々木健介お宅訪問!!

最強の豪邸は健介が決める!!

PRIDE GP Special

K-1

Special Talk

REPORT

Pro-wrestling Special

HUSTLE Special

Columns

※吉田豪『書評の星座PART2』は都合によりお休みですよ。

Another

ターザン山本58歳・30歳下の女性と絶賛交際中!!

人の恋路を邪魔するプロレス・格闘技は

犬に喰われて死ぬんですよぉぉぉ!!

戦慄の『和民』土下座騒動とは何か？

ターザン山本&吉田豪

月刊Y²談 VOL.15

構成／ジャン斎藤
designed by Tani-Yan（Two three）

ターザン　……豪ちゃん！　俺がわざわざ代々木駅まで来ているのに、なんで約束の時間、午後7時にガンツがいないんだよ！

吉田　ガンツは表紙の色校チェックがあるから、「後で行けたら行く」って言ってましたけど。

ターザン　〝行けたら行く〟だぁ？　しょっぱすぎるよぉおっ!!　そんなことじゃ、次号の表紙も絶対に大失敗だぁぁぁぁっ（興奮しすぎてヨダレを垂らしながら）！

吉田　山本さん、ヨダレ、ヨダレ（笑）。

ターザン　（無視して）ホント失礼だよ！だって主役がいないじゃない！

吉田　あ、ガンツが主役なんですか（笑）。今日はボクと山本さんのY2談ですよ！

ターザン　（さらに無視して）ガンツは豪ちゃんと一緒で俺の言葉に素早く反応ができるというか、人の5倍ぐらい俺のこと楽しんでくれるじゃない？　俺は豪ちゃんとガンツがいるから、スイッチがガチャッと入るわけだよ！　それなのになんだ、今日は！　『和民』みたいなしょっぱい居酒屋を取材場所に選んで、そこが満員だからって今度はさあ、『魚民』に連れて来たりとか最悪だ！

吉田　とりあえず、いまガンツに電話してみますよ。

ターザン　色校のチェックとこの対談、どっちが大事なのかガンツに聞いてくれ！

吉田　……山本さん、残念ながら「ただいま電話に出ることができません」という留守番メッセージが流れてます（笑）。

ターザン　しょっぱいよなあ!!　まったくスイッチが入らんよ！

吉田　『ターザンカフェ』の日記でも書いてましたけど、静岡で『和民』の店長を土下座させたときはスイッチが入ったわけですよね？

ターザン　（突然スイッチが入り）あのときは即入ったねえ！　あれは静岡一揆塾の講義が終わった後、宴会をやることになったんだよ。静岡といえば、美味しい魚などが山ほどあるわけですよ。静岡おでんもあるしさあ、新鮮な野菜もいっぱいある。

吉田　それなのに、全国のどこにでもある大衆居酒屋に連れて行かれたわけですか（笑）。

ターザン　講義会場から『和民』が近い。たったそれだけの理由ですよ！

吉田　お前ら、俺をVIP待遇しないのか、と。

ターザン　でも、疲れてたから「まあいいか」と思って納得してたわけよ。それでビールを注文したんだよね。

吉田　たしか飲み放題コースだったんですよね。

ターザン　そしたらさぁ、店員がビールを樽で持ってきたわけ。俺はその時点で頭にキたんだよ！

吉田　別にいいじゃないですか、同じビールなんだから（笑）

ターザン　だってさぁ、樽の蛇口を捻ってグラスに入れてると、要するにロスタイムができるわけじゃない？　非常に面倒臭いわけよ！

吉田　（携帯が鳴る）あ、ガンツから電話ですよ。なに？　……「30分雑談してろ」とのことだそうです、山本さん（笑）。

ターザン　アイツは俺のことナメてるのか！　30分もムダ話をしてろってことでしょ？　俺にいい仕事をさせようと思ったら、まずはいい気持ちにさせなきゃいけないんだよ。アイツはターザン山本の性格が何ひとつわかってない大馬鹿者ですよぉぉぉ！

吉田　『和民』とガンツ、どっちが失礼ですか？

ターザン　絶対にガンツ！（キッパリ）。アイツは俺に甘えているんだよ。それが

ターザン山本の幻想を高めるために土下座パフォーマンスをやったわけですよ!!

俺には許せない！　俺が豪ちゃんと対談するときは他の仕事をすべて放棄しろ！

吉田　怒ってますねえ（笑）。『和民』のときもそんなかんじで激怒していたわけですね。

ターザン　そのときは、こっちは21人もいたから樽だとビールを注いで乾杯するまでに時間がかかるじゃない。迅速かつスピーディーに宴を一気に盛り上げなきゃいけないのに、その間を悪くしたんだよ！　それで面倒くさいから瓶ビールを12本頼んだわけ。

吉田　ジョッキならともかく、瓶ビールでも注ぐのに時間はかかりますよね？

ターザン　（やっぱり無視して）そしたら、いつになっても持ってこないんですよ。店員の女の子に「オイ、なんでビール瓶を持って来ないのか聞いてこい！」って言ったら、その女の子は「瓶ビールが冷えてません」と言うわけ。そこで「ふざけんな！」ってカチンときたんだよ。

吉田　冷えてないなら冷えてないで先に言え、と。

ターザン　そうそう！　だから「店長呼んで来いぃ！」って怒鳴ったわけですよ!!

吉田　山本さんの得意技ですね（笑）。

ターザン　いや、この宴会で講義のパート2ができると思ったわけだよ。ボーナストラックみたいな感じでさ、ここで俺の値打ちを示さなきゃいけないと思ったんだよ！

吉田　あ、それが店長に土下座させることだったんですか（笑）。

ターザン　その通りですよぉぉぉぉ！　それで店長に「なんで冷えたビールがないんだ？」って聞いたら、「前の客までは冷えてた」って言うんだよね。いくら俺が「サービスというのは、すべての客に平等じゃなきゃいけないんだよ。それなのに冷えてないっていうのは何事だ！　ふざけんな！　俺たちを差別するのか！」

って怒っても、その店長はビールが冷えてないことしか言わない。

吉田　まあ、差別する気はなかっただろうから、そうなるとは思いますけど……。

ターザン　それで、俺は誤魔化してるなって思ったわけ。樽が一番安上がりだから、それを持ってきたんだろう、と。で、その店長の年齢が23歳とわかって、さらにカチンときたわけですよぉぉぉ！　「この野郎！　23歳で店長なんかやってんのか！　36歳ぐらいの店長になれ！」という思いがあるじゃない！

吉田　ダハハ！　なれるわけないですよ、そんなの（笑）。

ターザン　いや、36歳ぐらいで人生経験のある人が店長だったらわかるよ。23歳で店長に据えるなんて、『和民』っていい加減な会社だと思ってまたカチンときたわけよ。

吉田　30歳を超えてたら怒らなかったんですか？

ターザン　それなら、俺は「土下座しろ！」とは言ってないよ。やっぱり23歳という年齢に対して、俺は土下座させたわけだよねえ……。

吉田　迷惑な話ですよ、それ（笑）。

ターザン　俺が「土下座しろ！」って言ったら、その店長はポカンとしてたわけ。

吉田　ポカンとしますよ、普通（笑）。

ターザン　「オマエ、土下座の意味がわかってんのか！」って聞いたよ。つまり「土下座とは何か？」と！

吉田　今度は土下座を定義させようとしたわけですね（笑）。

ターザン　そうしたら黙ってるわけ。しようがないから「オマエは過ちを犯したんだ。エンターテイナーとしては決定的な過ちだ！」って指摘してやったわけですよ！

吉田　あ、『和民』の店長もエンターテイナーだったんですか！

店内が満員だったので『和民』での対談は実現せず!!　それでも店看板の前でターザンは大炎上！　このあとこのまま近くの『魚民』に雪崩れ込むことになった。

ターザン　「ホントだったら腹切るんだよ！　いまここで腹を切れ！」とも言ってやりましたよぉぉお！

吉田　うわ！　土下座だけじゃなくて切腹まで要求（笑）。

ターザン　だって責任者がそんなミスをするってことは、道場の看板を持っていかれてもしょうがないじゃない。

吉田　ダハハハ！　だから、『和民』は道場でも何でもないですよ（笑）。

ターザン　（無視して）つまり、俺は武士道精神を追求したわけだよね。武士道精神には約束事を守るとか相手の気持ちに応えるとか、いろいろあるわけですよ。その店長は何にもわかってないから「腹切れ！　腹を切らないなら土下座しろ！」と言ったわけ。それで店長が最終的に土下座したから、俺は「それでよし！」って言いながら拍手したんだよね。周りのみんなも大拍手ですよ！

吉田　山本さんはよく地元の居酒屋でも「店長を呼べ！」って怒鳴ってるみたいですけど、「土下座しろ！」とまで言ったことはあるんですか？

ターザン　（首を振って）ううん、これが初めて。一揆塾生の前でカッコつけただけなんだよね（かわいらしく）。

吉田　ダハハハハ！　迷惑な話だなあ、ホント（笑）。

ターザン　だって、塾長とか「長」がつく人間は大勢の前だとカッコつけなきゃいけないじゃない。人前では大芝居しないといけないんですよ！　力道山が理由もないのに人前で猪木さんをブン殴ったのとまったく一緒！

吉田　力道山も、2人だけのときは優しかったらしいですもんね。

ターザン　だけど、人が見てるときは違うわけですよ。静岡一揆塾には、みんなターザン山本に対して幻想を抱いて来てるわけじゃない。俺はターザン山本の幻想を高めるために、土下座パフォーマンスをやったわけですよ！

吉田　やったんじゃなくてやらせたんですよ（笑）。

ターザン　（無視して）だから相手は生贄ですよ！　運が悪いと思え!!　オマエは自分のミスを嘆けということですよぉぉぉ！　だいたいねぇ、ビールが冷えてないだけで土下座を要求する人間なんていませんよ！

吉田　あ、そういう自覚はさすがにあるわけですね（笑）。

ターザン　（すかさず）当たり前ですよ、そんなもの!!

吉田　ダハハハハ！　実際、『和民』みたいなチェーン居酒屋はサービスが悪いのは当たり前だと思うんですよ。それが不満なら、もっといい店に行けばいいわけだし。

ターザン　いや、それだけの問題じゃないんだよ、豪ちゃん！　実は土下座させたあとに、「店長からサービスです」ってことであるモノを置いていったんだけど……何を持ってきたと思う？

吉田　普通は何か大皿料理とかサービス券とかですよね？

ターザン　ウーロン茶を持ってきやがったんだよ！　あれは飲み放題コースだから、それってまったくサービスになってないわけですよぉぉぉお!!　呆れ果てたよ、俺は！

吉田　いいオチですねえ！　だけど、そこまでは日記にも書いてなかったじゃないですか。

ターザン　そんなこと恥ずかしくて書けませんよ！　ホントはもう一度店長呼んで、土下座した上でその頭を蹴り倒したかったよ！

吉田　そこまでやったら、ネットでもっと大騒ぎになってましたよ（笑）。

ターザン　今回の件がネットで騒がれた

のは、きっと土下座という言葉に違和感を持ったからだと思うんだよね。土下座という言葉は現代ではもはや死語でもあるし、差別用語みたいなところがあるじゃない。非常に生々しい言葉なんだよ。

吉田　まあ、日常的に聞く言葉じゃないですもんね。

ターザン　かつての日本人には土下座という感覚はあったはずなんだけど、いまの若い人たちの意識はプアーだから、もう土下座という概念はないんですよ。だから、インターネットの連中は俺にではなく、土下座という言葉に反応したわけ！　彼らの中で抹殺されていた言葉が出てきたから、ホントにビックリしたんだろうね。

吉田　あ、大騒ぎになったのはネット野郎の意識が貧困だからでしたか（笑）。ちなみに、山本さんには土下座した経験とかあるんですか？

ターザン　なんで俺が土下座すんのよ！　俺、いままで悪いことしたことないもん（キッパリ）。ムチャ言うねえ、吉田さん！

吉田　「吉田さん」って（笑）。

ターザン　土下座という行為は、悪いことをして悔い改めた人間が全面降伏してやるもんなんですよ！　ある意味では都合のいい様儀式なんだよな。つまり、どんな悪いことをしても土下座したら全面的に許してくれるという予定調和があるでしょ。

吉田　土下座した場合、それ以上責めたら責める方が悪人になりますからね。

ターザン　だから非常に都合のいい儀式だよ。悪いことした人間にとって、土下座は免罪符なんですよ。それなのに土下座という言葉であんなに拒否反応が起きてること自体が、いまの日本列島の人間は最悪ですよ！

吉田　日本列島の問題なんですかね（笑）。

ターザン　最悪軍団と言いたいよ、俺は！　豪ちゃんもそう思わん？

吉田　ボクはさっきも言ったように、安い店には安いサービスしか要求できないわけですよ。値段が張る店で働く人はそれ相応のプライドがあって、そのぶんサービスも心懸けるんだと思うし。

ターザン　豪ちゃんはまったくわかってないなぁ……。高いところだからサービスがいいとか、そういう形で認めちゃいけないんだよ！

吉田　建前として区別しちゃいけないのはわかるんですけど、働く側には絶対にそういう思いはあるはずじゃないですか。

ターザン　いや、俺が行ったら別ですよ！　俺がその店に行った瞬間に変わらなきゃダメなんだよなっ！

吉田　最終的には「俺をＶＩＰ待遇しろ！」ってことなんですね（笑）。ところで、一揆塾が静岡で開催されたということは、30歳下の山本さんの彼女も来てたんですよね？

ターザン　……（フリーズ）。

吉田　何を黙ってるんですか（笑）。

ターザン　……（小声で）彼女が一揆塾に来てたことは書いちゃいけないんですよ。

プロレス・格闘技話そっちのけで恋愛を論じるターザン。いま世界で一番、熱い58歳である。邪魔する奴はヤケドするぜ！

行き着くところは団鬼六の世界！　杉本彩なんか問題じゃありませんよぉぉぉ!!

吉田　あ、そうなんですか？

ターザン　……（さらに小声で）要するに、ボクは教え子に手をつけたわけでしょ？

吉田　山本さんの彼女は、前回の静岡一揆塾に来てた子なんですよね。じゃあ、今回の講義にも……。

ターザン　もちろん来てたよぉ。会場でも「彼女はどんな人ですか？」ってラスカルの公（彼女の愛称）のことを聞かれたけど、さすがにその場で「この人ですよ」とは言えなかったんだよね……。

吉田　この前、「静岡一揆塾でみんなに紹介するよ！」って宣言してたじゃないですか！

ターザン　だけど、静岡の人たちはメチャクチャ人がいいから誰も疑ってないの。ホントは言いたかったんだけど、みんな俺を信用してるわけでしょ。塾生に手をつけたとなったら、俺の名誉は破壊されるじゃない。鬼みたいに思われちゃうよぉぉぉ！

吉田　せっかく土下座させてまで幻想を作った以上、そこは守りたかったわけですね（笑）。

ターザン　もう言ってもいいかわからんなぁ……豪ちゃんはどう思うん？

吉田　ボクに聞かないでくださいよ（笑）。

ターザン　その晩、ボクは彼女の家に泊まったんだけどね。

吉田　ちょうどホワイトデーの前日ですよね。

ターザン　俺は朝起きてから、彼女を起こさないように電気もつけないでガーッと『ターザンカフェ』の日記とコラムも書いて、そっとコンビニに行ってＦＡＸで原稿送ったわけだよ。そのコンビニでフランクフルトとあんまんと肉まん買ってきて、俺が帰ったら彼女が起きてきて一緒に食べたわけ……（ボンヤリ遠くを見つめながら）。

吉田　恋してますねえ（笑）。

ターザン　俺が恋をしてからは周りの人間の磁場も狂いまくって、もうえらいことになってますよ！　最初は呑気に考えてたわけ。俺がやることはすべて認められると思ってけど、ターザン山本は特定の恋人をつくっちゃいけないことがわかったわけですよ！　そのあたりの読みがちょっと浅かったよねえ。いままでみたいに葉書や手紙を出そうにも、「山本さんに特定の彼女がいるのに、なんで手紙が来てんの？」みたいことにもなるはずだしさぁ……。

吉田　それで最近は手紙の数も少なくなってるんですね。

ターザン　……（小声で）でもね、豪ちゃん！　恋愛というのは恋愛論を語るよりも、恋愛のド真ン中の方がよっぽどいいですよぉぉぉお！

吉田　ダハハハハ！　いままでのは机上の空論でしたか（笑）。

ターザン　ボクの中ではいま、恋愛論を話す自分と実際に恋愛をする自分が共存してるわけですよ。だけど、どうしても恋愛の渦中にいる自分の方が大きいから、そうすると恋愛論をまったく喋れないわけだよ。

吉田　だからといって、その中身について具体的に話すわけにもいかないし（笑）。

ターザン　そこを喋れないというか、フラストレーションみたいなものが自分の中にある。あるんだけど、そこを一番喋りたいんだよ、俺は！（テーブルをバンバン叩いて炎上！）。

吉田　山本さんからすると、そこがケーフェイになるんですね（笑）。

ターザン　ウン！　ケーフェイだよ！　だからこそ、そこを喋ったらみんな大喜びするというか、興奮して飛び上がりますよぉぉぉ！

吉田　もう暴露本を出したいぐらいですか（笑）。

ターザン　要するに渦中の真実をさらけ出したいというか、行き着くところは団鬼六の世界ですよ！

吉田　『花と蛇』ですね（笑）。

ターザン　そうそう！　杉本彩なんか問題じゃありませんよぉぉぉ！　杉本彩は「男と女のことは、2人にしかわかんない。そこでは自分のすべてをさらけ出さないとダメだ。さらけ出すことによって快楽があるんだ」って『オーガズム・ライフ』（KKロングセラーズ）で書いているけど、俺からしたらあの本は中途半端だ！

吉田　あれだけ書いても中途半端ですか！　タレントとしての踏み越え方は凄いですけど。

ターザン　いや、メチャクチャ中途半端ですよ！　彼女は「クンニしないヤツは許せない」とか「こういう体位が好きだ」とか、SEXに対する細かいことを書いてるわけでしょ。でも、ディティールに乏しいわけだよ！

吉田　たしかに、旦那とセックスレスになって離婚したことについても具体的には触れられてなかったですよね。

ターザン　「マンネリ化したらダメになる」とは書いてたけど、どの部分が不満でどこがマンネリ化なのか克明に書くべきですよぉぉお！　男と女のセックスのあり方や秘め事とか、タレントとしては書いちゃいけないレベルは超えているんだろうけど、しょせん書かれていることは一般的なんだよね！　俺からすると、SEXはもっと奥が深いものなんですよぉぉぉぉぉお!!

吉田　山本さんが『BUBKA』の人生相談で披露するセックス論の方がよっぽど衝撃的ですよね。糖尿病で勃たなくなったはずなのに、「セックスでは前戯が大切なんですよ！　俺は唇が切れるぐらい前戯する」とか語ったりしてるから（笑）。

ターザン　あのね、俺の接吻は唇が切れるんだよ！　1、2日経って食事とかしてると口が染みるわけ。そこで「何が原因かな？　あ、そういえば俺、接吻をメチャクチャ長くやったんだなぁ」って気付いたわけですよ！

吉田　彼女が静岡に帰るとき、東京駅で別れ際にキスしたらしいですよね。まさにリアル『シンデレラ・エクスプレス』というか（BGMではなく、顔が山下達郎系の意味）。

ターザン　しましたよぉ！　俺は吸う方で彼女は受ける方！　彼女は吸ったことないんだから！

吉田　あ、そうなんですか（笑）。

ターザン　女はキスのとき完全に受身なんだから！　俺は超積極的ですよ！

吉田　しかし、それだけ恋愛に燃えてるとプロレスや格闘技への興味も沸かなくなってくるんじゃないんですか？

ターザン　そんなの当たり前ですよ！（キッパリ）。

吉田　モチベーションの差が歴然としすぎですよね。ボクと一緒に出演した『いかレスラー』の撮影も、山本さんは彼女とのデートで2日目はキャンセルするし（笑）。

ターザン　だって彼女が浅草に来てるんだから。どっちを優先するかっていったら彼女と会うことに決まってますよ！『いかレスラー』なんてどうでもいい！　だってギャラも貰えるかわかんないじゃない？

吉田　さすがに出ると思いますよ（笑）。

ターザン　（無視して）言ってみれば始めからボランティアでやってるわけだよ。だったら、俺は彼女にボランティアしますよ！

吉田　でも、3月14日のホワイトデーは彼女を置いて、なぜかK－1新潟大会に行っちゃったんですよね。

ターザン　13日の土曜日に静岡で一揆塾

K-1はいち早くワイドショー化に踏み切った！ これは『PRIDE』を超えますよぉぉぉ!!

があったから、彼女は仕事が忙しいのに土日に休みを取ったわけですよ。

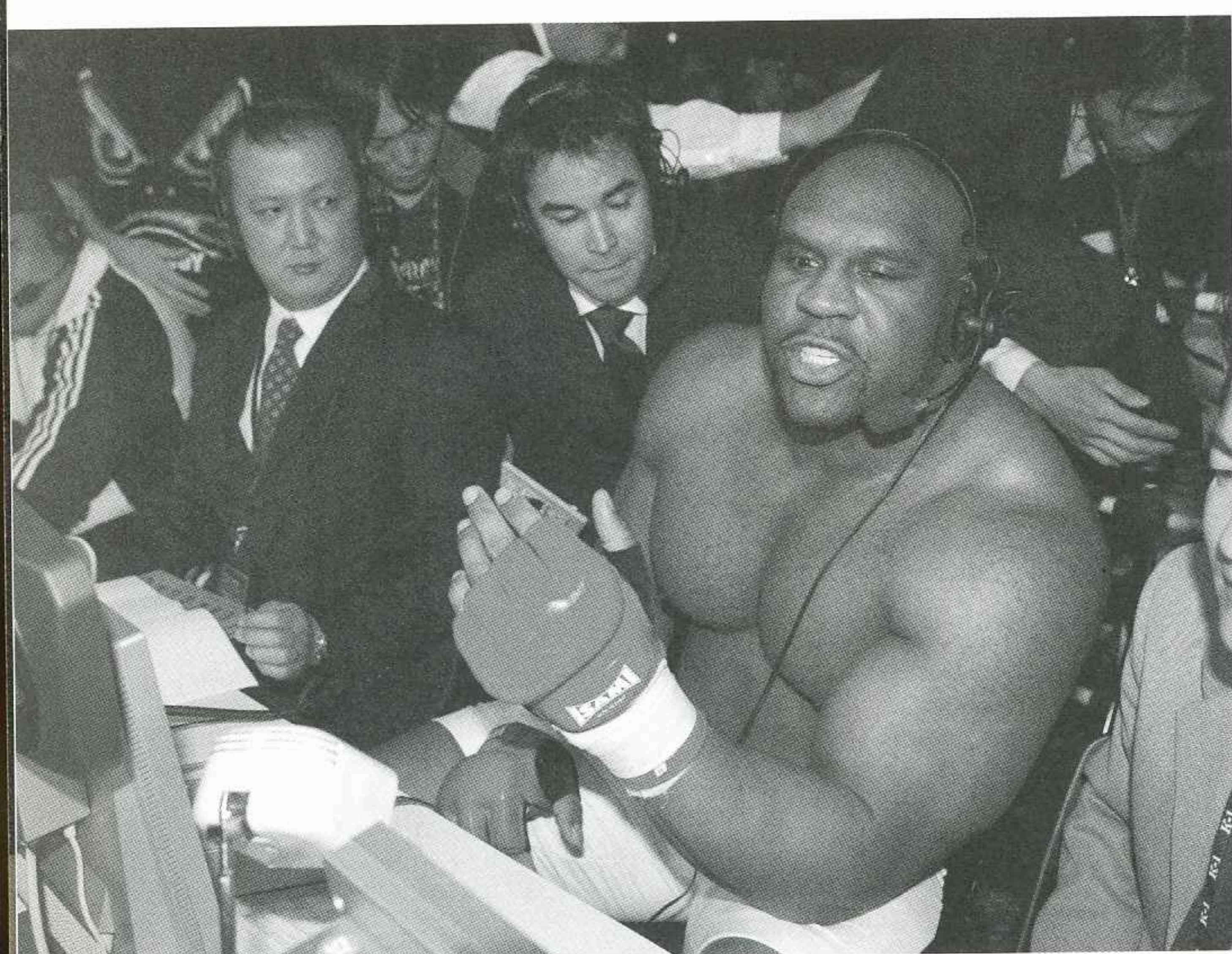
吉田　地元で連休を一緒に楽しもうとして。

ターザン　俺はね、昼間に彼女といる時間が一番好きなんだよ……。昼間の1時から4時とか、その昼下がりの時間に一緒にいるのがね……（恍惚の表情で）。昼間の空気がだんだん夕方の気配に変わっていくと、ある意味で空しいわけですよ。何にもすることないしさ。あの共有感がたまらないんだよね。それで、途中から昼寝しちゃうんだけど……。

吉田　そういえばボクが一度、昼寝中に電話したこともありましたよね。

ターザン　ホント野暮な奴ですよぉぉぉお！　あのときは豪ちゃんが女性特有な勘で、ボクたちに嫉妬してるのかと思ったよ！

吉田　それは完全に誤解ですね（笑）。

ターザン　で、14日もそれを楽しみにしてたわけだよ。でも、歌枕（ターザンの

ついにスタートしたK-1MMA!!　日本テレビで中継された番組は平均19.8％の高視聴率を獲得。K-1ブランドの底力をまざまざと見せつけた。サップは3・27K-1GPにも滑り込み出場！　視聴率男して絶賛フル回転中である。

弟子）が「新潟のK－1に行こう」って言うもんだからさぁ（口を尖らせて）。

吉田 嫌々ながらK－1に行ったわけですか（笑）。

ターザン 「新潟には行かなければいけない」という歌枕のプレッシャーがあったわけ。歌枕の吸引力が爆発して、俺は新潟に引っ張られたわけですよ。まあ、仕事の関係もあったんだけど……。

吉田 もしかしてK－1の単行本を出すってことですか？

ターザン まあ、そういうことだね。

吉田 そんな理由があるんだったら、デートよりもK－1を優先するのは当然ですよ（笑）。

ターザン うん。それと、ボクは仕事を絶対に優先しなきゃいけない人間だということを、いずれは彼女にわからせなきゃいけないわけだから。どうしても一緒にいたい時間があったとしても、そうはできないことがあるんだよ、と。K－1行きは、ターザン山本の宿命であることを理解してもらいたかったんだよ！

吉田 そこまでして観に行ったK－1はどうだったんですか？

ターザン ……すべてにおいて、どうしようもないよぉぉぉお!!（テーブルをバンバン叩いて大炎上！）。

吉田 ダハハハハ！ まったくダメだったみたいですね。

ターザン すべてがしょっぱい!! でも、不思議なことにテレビの視聴率はいいんだよなぁ……。

吉田 K－1は興行としての盛り上がりよりも視聴率を重視したテレビ用ソフトになってますからね。今回の煽り番組なんて、芸人のネタ見せ番組になってたんですよ（笑）。

ターザン 何それ？

吉田 最近はお笑いブームだから、長井秀和やだいたひかるみたいな芸人がちょっとだけK－1に絡めたいつものネタをやった後で、K－1の注目のカードについて答えるっていう（笑）。

ターザン ふ～～ん（興味なさそうに）。で、そんなことよりも静岡から東京に戻って、すぐ新潟に行ったわけじゃない。俺、駅に着くごとに彼女に電話してるんだよ。「いま静岡に着きました」「いま新潟に着きました」「いま東京に着きました」と。普通はそんなに電話しないよね。

吉田 ……というか、K－1の話はもう終わりですか（笑）。

ターザン うん!!（力強く）。

吉田 K－1の本を作るんだったら、もうちょっとこだわりましょうよ！

ターザン （無視して）でね、俺がK―1に行くために彼女の家を出るときにさ、彼女が涙を流したんですよ！ クゥ～～～～～～ッ！

吉田 ああ、それだけ別れが辛かったんですね。

ターザン 俺は行かざるを得ないけど、彼女は見送るのがつらいから涙を流しながら隣の部屋にいるわけです。そこでまたラストキッスをするわけなんだよなっ!!（テーブルをバンバン叩いて大炎上）。

吉田 ダハハハハ！ ラストキッスですか（笑）。

ターザン キスしたら彼女の涙が俺の唇に伝わってきて、涙の味がわかるわけだよぉぉぉ！ そのとき、俺は涙の味が初めてわかったよ。涙とはこういう味なのかっていうかさ……。

吉田 詩的ですねえ（笑）。またポエム書いてくださいよ！

ターザン 涙にも味があるんだなぁ……（ウットリ）。涙が俺の唇に入ってきたときは、ホントに感動したよ！ シビれたよ、俺は！

吉田 K－1にはちっともシビれませんでしたか（笑）。

最前列で観せてくれたらどんな大会でも誉める！思想を曲げてでも絶賛しますよぉぉお!!

ターザン そんなのはどうでもいいよ！

吉田 涙とは違う意味でしょっぱかったんですけどね（笑）。とにかく、K－1より恋愛のほうが楽しいってことがよくわかりました！

ターザン ……と言いながらも、会場の朱鷺メッセに着くと俺はスイッチが入るんだよね。チェックモードに入るわけですよ、ガチャッと！

吉田 どうでした、地方で見たK－1MMAは？ 家族連れが多くて、都内のK－1興行とは客層がまったく違ったみたいですけど。

ターザン 要するに、最大公約数の市民が東京という大都会で流行ってるK－1が「新潟に来てるから見に行こう」って来てるわけだよな。

吉田 昔のプロレスと同じですよね。「テレビで知ってるサップが近所に来たから見に行こう」って感じで。

ターザン 俺がいちばん驚いたのは会場なんだよ。2階席はないし、リングからバーッと席が50列も延びてる。あの不親切さにはビックリしたよ！

吉田 ひな壇もなかったらしいですね。

ターザン ひな壇なしで、どうやって見るんだよ！ 2階席がある会場でやらないこと自体が犯罪だよ！ ファンが「見えねえじゃねえか！」って暴れだすんじゃないかと思って、心臓が止まりそうになったもん。

吉田 主催者でもないのに、山本さんが心配しないでくださいよ（笑）。

ターザン K－1のド無神経には本当にビックリするよな。それに（クリフ・コウザは）タイソンの兄弟とも言ってたけど、あれは絶対に兄弟じゃないじゃん！

吉田 TVでは「弟」で通してましたけど、新聞系は「自称・弟」と報道してましたね。

ターザン タイソンの兄弟じゃないのに「兄弟」と言い張る。これはプロレスだよ！ これからはK－1＝プロレスと考えないといけないんだよ！

吉田 つい最近まで『PRIDE』こそが現代のプロレスだ！」って言ってた気もしますけど、もういいです（笑）。この前、ボクがビッグサカのインタビューをしたときに「K－1とか『PRIDE』見ててどう思いますか？」って聞いたら、やっぱり「プロレスのいいところを全部持ってかれた」って言ってましたよ。

ターザン そういうことだよ！ 馬場さんだって、生前は「K－1もプロレスだ」と言い続けたわけじゃない。それはプロレスの形態というか、プロレスというフォルムというか、あるいは〝プロレスという点でしか大衆は食いついてこない〟ということを馬場さんは言いたかったわけですよ！

吉田 テレビに対応したプロの興行は、プロレス的にならざるを得ないってことですよね。

ターザン そして、その方法論を堂々とできるのは谷川しかいないんだよ！

吉田 普通は格闘技をそこまでショーアップするとなると躊躇しますよね。

ターザン 普通はためらうし自責の念にかられるんだけど、それが谷川にはまったくない！ アイツは一種の確信的犯罪者ですよぉぉぉ！

吉田 格闘技の世界は潔癖を求められるから、下手なことをやったら詐欺だなんだって糾弾されかねないですよね。

ターザン それを堂々と「面白けりゃいいじゃん」みたいに、谷川は居直ってるわけでしょ？ 「どうせ前座だからいいじゃないか」という、凄い居直りでやってるわけですよ！

吉田 K－1MMAは今後どうなりそうですか？ 『PRIDE』のライバルになるとか言われてましたけど、目指すも

のが決定的に違いますよね。

ターザン　K-1MMAは『PRIDE』を超えますよ！　ホントに最強だけを純粋に求める『PRIDE』と、サップや曙を使ってワイドショー的なものを求めるK-1。『PRIDE』のように最強を追求していったらやがて煮詰まって行き詰まるわけだし、話題性ではK-1が勝つからね。

吉田　K-1MMAは「最強は誰かとか、そんなのはどうでもいいで〜〜す！」って感じの開き直ったスタンスがいいですよね（笑）。

ターザン　存在そのものが格闘技界のワイドショーでしょ。これからは格闘技をワイドショーにした者が成功するんですよ！　プロレスだって昔はワイドショー的だったじゃない。猪木vsアリ戦なんてあれは世界最大のワイドショーだよ。新日本プロレスが成功したのは、実はプロレスというものをワイドショーにしたからなんですよ。

吉田　つまり、より下世話にしたってことですね。

ターザン　新日的ワイドショーの中で一番成功したのは異種格闘技戦ですよ。その異種格闘技戦の形態が、K-1MMAとして生まれ変わろうとしてるんですよ。

吉田　ああ、純粋な格闘技じゃなくてそう考えたらわかりやすいですね。

ターザン　K-1はいち早く総合格闘技をワイドショー化しようと踏み切ったわけ。プライドが邪魔してワイドショー化できない『PRIDE』が勝てるわけがありませんよ！

吉田　『PRIDE』も「グランプリ」という上位概念が出来た以上、普段の興行はワイドショー的なカードも入れてかなきゃ持たなくなってると思うんですよね。ミルコvsドスカラスJrとか、ミルコvs●●●●（魔性のDDTの使い手。諸事情により伏せ字）とか、かなりワイドショー的だと思うし。

ターザン　だけど、『PRIDE』にワイドショーは似合わないんだよ！　やればやるほど嘘っぽく見えちゃう。それを勝負論で成り立つ『PRIDE』がけがれてしまうんだよ！

吉田　K-1だと、もはや「汚すな！」って言われないですからね。もう文句を言う気力もなくなってるというか（笑）。

ターザン　K-1はスキャンダラスとしてOK！　話題になる組み合わせを作って、その場限りでやればいいからね。これからは谷川の天下ですよ！

吉田　それにしても、山本さんはここしばらく谷川さんにダメ出ししてきたのに、最近になって急に誉めだしましたしねえ。

ターザン　ダメ出し？　そんなこと言ってた？

吉田　ダハハハ！　〝打倒・谷川！〟って散々言ってたじゃないですか（笑）。

ターザン　ああ、物事はいつだって変化するじゃない。　俺も変わんなきゃ！　それに、谷川は俺を必要してるのがいいよな。こないだのK-1で会ったときも、本音はどうか知らないけど「ダメだよねえ。なんでイグナショフはバックドロップで投げられないんでしょうねえ」って、俺が言いたいことをアイツはが先に言ってくるわけですよ！　俺が文句を言う前に先に言っちゃうんだよ、谷川は！

吉田　それだけで怒りのぶつけようがなくなりますね。

ターザン　こっちは切り札を出せないわけですよ！　それが「わかってるな、こいつは！」という思いになって、ものすごく俺たちはいい関係なるんだよね。しょっぱかったことも忘れて、友達関係になるんですよ。

吉田　それでK-1ともいい関係になった、と。

昼間に彼女といる時間が一番好きなんだよ……。あの共有感がたまらないんだよな！

ターザン　俺としては新日本プロレスが衰退していく代わりに、K-1がやってくれてるような思いになってるんだよね。

吉田　ちなみに『ハッスル』も、最近めっきり少なくなってきたプロレスのワイドショー的な部分を増幅させるのが目的なんじゃないんですか？

ターザン　いや、プロレスというものがすでにそこにあるのに、『W-1』とか『ハッスル』が新しいプロレスをやろうとしてること自体がおかしいんだよ！

吉田　だから、スポーツ化してテレビ的に軽視されるようになったプロレスを、地上波ゴールデン枠で放送できるようにすると、ああなるってことなんでしょうけど。

ターザン　結局WWEみたいなことでしょ？　WWEってお金も頭脳も興行システムもみんなさ、すべて真剣勝負でやってるからね。

吉田　勝負論はないにせよ、ですね。

ターザン　でも『ハッスル』とか『W-1』は、商売として真剣勝負で誰もやってないもん。要はアルバイト感覚だよね。WJがあったりZERO-ONEがあったり全日本プロレスがあったりで、レスラーを寄せ集めでやってるわけでしょ。『ハッスル』そのものが本命じゃないじゃない。

吉田　K-1や『PRIDE』という本業があった上での興行だから、WWEが一時やってたアメフト興行みたいなもんですよね。

ターザン　だから継続性も何もないわけですよ！

吉田　山本さんは『W-1』はフォローする側でしたけど、『ハッスル』は一貫して批判してますよね。『W-1』と『ハッスル』の違いっていうのは、どこにあるんですか？

ターザン　まったく一緒ですよ！（キッパリ）。『W-1』と『ハッスル1』も同じ！

吉田　だけど、意見は正反対じゃないですか（笑）。

ターザン　だって、『W-1』は谷川がやってたでしょ。俺はあのころ『ローデス』の一員だった。つまり身内じゃない（あっさりと）。しかも『W-1』で解説なんかもやらされたでしょ。俺は傭兵として雇われたんだよ。だから、傭兵として『W-1』を守ったわけですよぉぉぉ！

吉田　それだけの違いなんですね（笑）。

ターザン　そりゃそうですよぉぉぉ！　雇われてない以上は客観的に語るしかないからね。

吉田　というか、山本さんは『ハッスル』って一度も見たことないですよね？

ターザン　だけど、『W-1』は東京ドー

堀辺師範の特別講座
“土下座”とは何か

土下座というのは完全降伏、「すべてあなたにお任せします」という日本人にとって一番の謝罪形式なんですね。逆の立場で言うと土下座させるという行為は、相手の名誉だとか、プライド、人格といったものをすべて奪うということなんです。

だから、土下座というのはするほうも大変だけれども、これは受ける方も大変なことなんですよ。相手のすべてを奪うわけですからね。ということは、ある程度の人間が土下座をして謝ってきたら、それに対してどう対処するかってことで、その人間の度量がためされるとも言えるんです。

これは戦国時代なんかでも、勝った武将が負けた武将に対して、どう扱うかということが、その人の人格を判断する上で、非常に重要な役目を果たしていたんですよ。なぜかというと、土下座というのは、武士の世界で言うと刀を差しだして行うことなんですね。これは武士にとって最大の屈辱なんですよ。だから敗軍の将は腹を切って自ら命を絶つわけです。つまり土下座というのは、ある意味、命を奪うより重い行為というわけですね。

え？　山本さんは、瓶ビールが来なくて土下座させたの？　ずいぶん重いモノ背負っちゃったね（笑）。

ムのリングサイドで見れたから意外と面白かったんだよなあ。テキサスのなんとかってヤツ、可愛かったかったじゃない。

吉田　また、ヒース・ヒーリングが可愛かったって話ですか（笑）。

ターザン　それで闘龍門も可愛い子ばっかりだったでしょ？

吉田　それに比べたら、『ハッスル』は男臭いメンバーばかりですからね（笑）。

ターザン　まあ、俺はとにかく最前列で観たらどんな大会でも誉めるよ！

吉田　「誉められたかったら、一番前の席を用意しろ」ってことですか（笑）。

ターザン　そして、どこでも行ける関係者パスをくれ！　この2つをクリアした興行は絶賛する！　思想を曲げてでも俺は褒めちぎりますよぉぉお!!

吉田　それはインディーでもいいんですか？

ターザン　いや、インディーはダメだよ。インディーは関係者パスがなくたって、誰でもどこにでも行けるじゃない。関係者立入禁止の壁がある世界で、最高の待遇で最前列で見たら、俺は阿吽の呼吸で応えるよぉお！

吉田　つまり、今回の新潟は最前列じゃなかったからダメだったってことでもあるんですか？

ターザン　だって、マスコミの席がないんだもん！　俺、3時間ずっと立って試合を見たんだよ！

吉田　その歳で立ち見ですか（笑）。

ターザン　しかも、こっちは前の日から彼女と格闘していて疲れてるわけですよぉ（楽しそうに）。ねえ？

吉田　ダハハハハ！　すっかり体力を消耗していたわけですね（笑）。

ターザン　全然寝てないわけですよ！　しかも朝6時から原稿書いて、静岡、東京、新潟と移動して、それなのに立ってK-1を見たんだよ！　そんなの、精神的なコンディションが悪いに決まっている！

吉田　まだ試合が面白かったら救われますけどね（笑）。

ターザン　試合がまた、ドしょっぱいんだよお！　だから試合が全部終わってインタビュールーム行ったとき、俺はいきなり「しょっぱいなあ！」って大きな怒鳴ったからね。

吉田　もちろん、そこでは選手が試合後のコメントしてるわけですよね？

ターザン　そうだよ。だから、イグナショフにも「オイオイオイ！　お前はバックドロップで投げられろ！」って言ってやりましたよ！

吉田　あ、本人に直接文句付けてたんですか（笑）。

「手紙を出すのを忘れていましたよぉぉお!!」。対談終了後、ターザンは彼女へのラブレターをポストへ投函！　恋愛ロードをぶっちぎりで爆走中なので、邪魔する奴は土下座させるぜ！

恋愛には2つ重要なことがある。精神的な触れあいと、肉体的な触れあい!!

ターザン　記者陣が選手を取り囲む一番後ろで腕組んで、言ってやったよ！　そうしたら、いまK-1で働いてる石黒ちゃん（元『SRS・DX』）が俺の言葉を遮るんだよね。

吉田　それは遮って当たり前ですよ（笑）。

ターザン　ガブリンがコメント出してるときも、ガブリンは自分で「しょっぱい試合した」って言ってるわけ。で、誰も質問しないから、俺が「この人は何もできなかったよ。いいところひとつもないんだよ！」って言ってやったら、石黒ちゃんは「それは質問じゃなくて感想だから、カットさせていただきます」だって。可愛げがないよなあ！　天下のターザン山本に、よくそんなこと言えるなと思ってさぁ。俺の横にいる記者やカメラマンは「もっと仕掛けろ！　もっと言え！」って煽ってるわけだよ。

吉田　興行よりも、そっちの方が面白いでしょうからね（笑）。

ターザン　俺ぐらいしか文句は言えないじゃない？　だから「しょっぱい！　しょっぱい！　しょっぱい！」って言い続けてやったんですよぉぉおお!!

吉田　K-1としても災難でしたねぇ（笑）。

ターザン　でね、話はラスカルに戻るんだけどさ……。

吉田　あ、また恋愛話ですか（笑）。

ターザン　恋愛には2つ重要なことがあるのよ。それは精神の触れ合いと体の触れ合い。

吉田　遠距離だと、余計にそういう欲が強まりますよね。

ターザン　遠距離はねえ、恋愛のベストショットだね。間違いないよ！

吉田　山本さんは主婦に惚れたりとか、恋愛にもハードルがないとダメなんでしょうね。

ターザン　そうだね。遠距離だと、精神の触れ合いや体の触れ合いに溜めができるから。

吉田　体の触れ合いで「溜め」というと生々しいですけどね（笑）。今日は本当に勉強になりましたよ。

ターザン　なんで話をまとめようとしてるんだよ、豪ちゃん！　俺は、まだ言いたいことがいっぱいあるんだから！

吉田　もちろん恋愛の話ですよね？

ターザン　そりゃそうですよ！　一番いいのは、彼女の家がロフトになってることなんだよね。彼女が待ってるところにハシゴで上がってく。あれがいいんだよなあ……。

吉田　いまは新宿のロフトプラスワンよりも静岡のロフトが主戦場になってるんですね（笑）。

ターザン　（無視して）上がってくときもいいし、降りるときもまたいいんだよねえ……。引っくり返って頭打たないように気をつけながら上がったり降りたりするんだけど、角度が90度に近いからね。怖いんだよ。変な話、俺なんて感覚が鈍いから落ちたら頭打って終わりだよ、あれ！

吉田　それはそれで大往生っていう感じもしますけど（笑）。

ターザン　ヒドイこと言うなあ、豪ちゃんは！

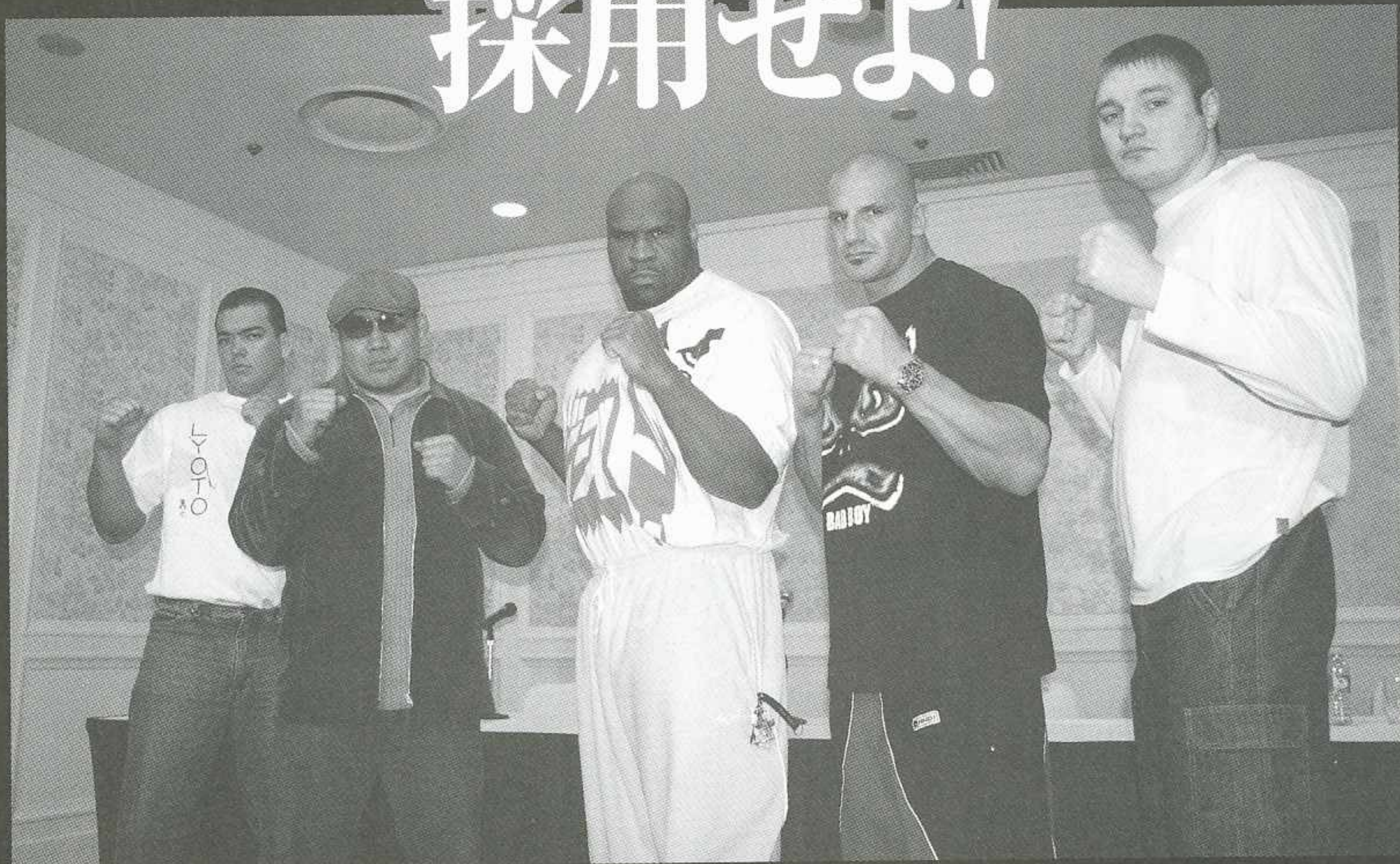
吉田　ヘタな死に方するぐらいだったら、その方がいいですよ。絶対、幸せそうな顔したまま死にそうだし（笑）。

ターザン　ああ、それはそうかもしれないねえ……。

ガンツ　（突然）山本さん、今日は遅れてすいません!!　さっそくK-1の……。

ターザン　（幸せ顔が一気に豹変、ガンツに襲いかかって）お前、いますぐ土下座しろぉぉおおお!!

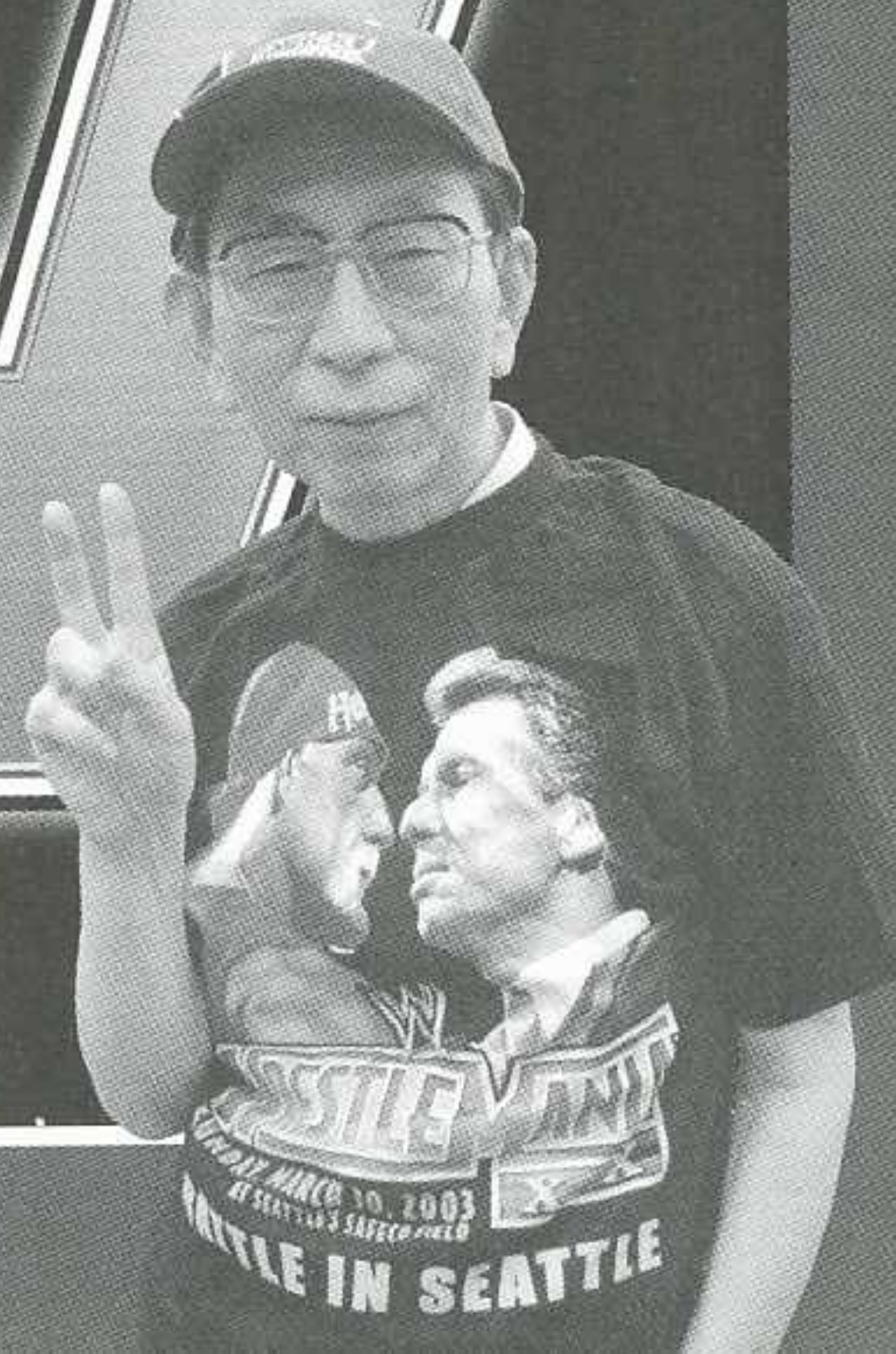
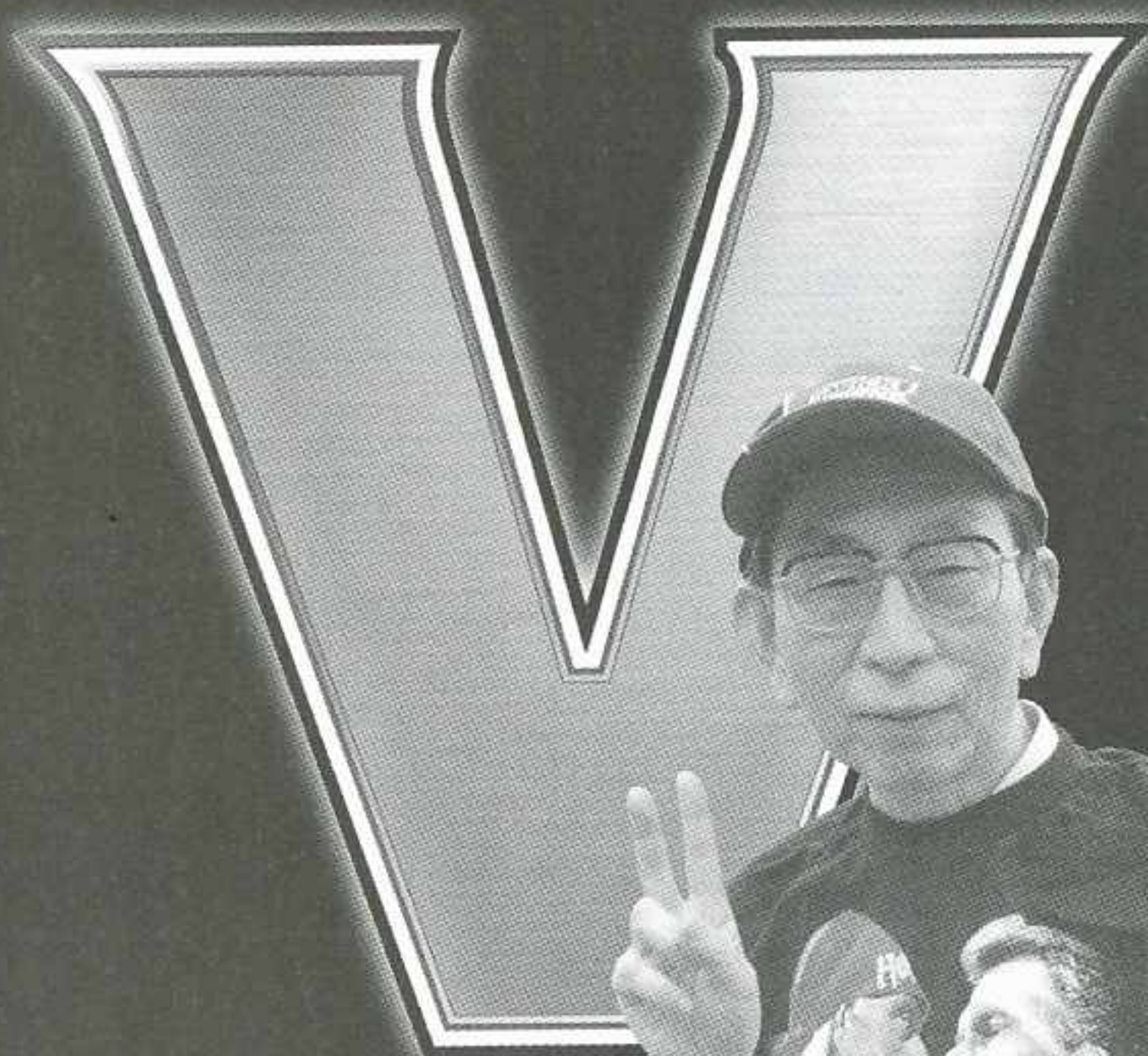
【04年3月17日／代々木『魚民』にて収録】

K-1MMAはすべてK-1プロレスルールを採用せよ!

プロレス・マスコミの哲人・I編集長の

喫茶店トーク V（バード）

ついにスタートしたK－1MMA、その闘いのテーマは、K－1vs猪木軍&新日本に決定した。となると、「新日本はバードをやるべし！」と、言い続けてきた我らがI編集長の出番！　今月も言うちゃ悪いけど、直言します！

聞き手／堀江ガンツ　design by さおとめの事務所

5月のK―1MMA旗揚げ戦でイグナショフとやるのは危険！ 大晦日ぐらいで丁度いい

――さて、井上さん。いよいよK―1がバード（MMA）をスタートさせましたが、3・14プレ旗揚げ戦をご覧になって、ズバリ率直な感想はいかがですか？

井上　やっぱり物事っていうのは、最初が肝心なんですよ。だから俺の原稿を引き合いに出すわけじゃないけど、書き出しをもの凄く気にすんのよね。あとはもうどうでもいいんだ、ハッキリ言ったら！

――書き出し以外はどうでもいい（笑）。

井上　キミら編集者はつまらん書き出しでも最後まで読むだろう？　でも、それは仕事だからであってね、読者は違うんだよな。最初の2～3行読んでつまらなかったら、「こんなもん面白くもなんともねえ！」ってポイっと捨てるからね。

――2～3行で捨てられますか！

井上　そりゃ捨てますよ！　こんなこと言うとまた他のプロレス週刊誌の連中が怒るかもしれないけど、あるプロレス者が言っとったわ。パラパラっとめくってみて、読むべきところがなかったらそのままポイっと捨てるって。

――よく駅前の路上とかで100円で売ってるのを見かけますもんね（笑）。

井上　それほど食いつくか食いつかんかっていうのは大切なことなんですよ。だからバタービーンみたいなキワモノを第一試合に持ってきて、「勝ったら豚一頭！」なんてナンセンスなことをやってるのは、決してふざけてるわけでもなんでもないんであってね、常套手段なんですよ。これは『PRIDE』も見習わなくちゃいけない。

――『PRIDE』もキワモノ導入すべきですか（笑）。

井上　『武士道』なんかでも下手すると第一試合からしょうもない膠着状態のやつをやっとったら逃げられるからね。ただ、K―1にしても肝心の後ろ二つがアカン！

――秒殺と不完全燃焼ですからね。

井上　イグナショフと殺人医師の試合にしたって……ああいう結果になるとは思わなかったけどねえ。

――まさか23秒だとは。

井上　（即座に）22秒ですよ！

――あ、22秒でしたか、失礼しました（笑）。

井上　俺はスロースターターのイグナショフのことだからジーと見るだろうと。だから一応、ウイリアムスのほうにも勝機があるだろうというような論調があったけど、あにはからんやいきなりやったからね。

――最初の一発で勝負ありましたね。

井上　やっぱりバードマッチになると、ああいったことが起こりうるんだよな。だから俺がなんべんもなんべんも、口がすっぱくなるほど言っとることがあるだろう。

――はいはい、なんべんも言ってる"あれ"ですよね（笑）。

井上　キミもいい加減聞き飽きたかもしれんけど、もう一度言わせてもらうわ。大胆にプロレスルールを取り入れた特別ルールを導入せよ、と！（ドンッ）

――いよっ！　待ってました！（笑）。

井上　ロープブレイクや場外エスケープは八百長じゃないんだよな！　殺人医師にしたってロープに逃げてるんだから。あれは本能的に逃げたんですよ、プロレスラーだから。あそこで本来だったらブレーク成立するわけですよ。

――プロレスだったらそうですよね（笑）。

井上　そうすると例え意識が飛んでても20秒ぐらいすると戻るからね。やると見せかけてポーンとリング下に飛び下りて、「コラ、お前なんだよ」といちゃもんつけて、イグナショフがロープを掴んで「コラ、お前上がって来い」とか言えば、「お前、なんだかんだ」って、そこで意識を回復するわけだ。そのためにプロレスっていうのはそういったルールを設けてるんですよ。

――プロレスの場外カウントは意識回復のためにあると。

井上　そりゃそうですよ、アンタ！　場外乱闘だとか、血を流すためと違うんだな！　だから、今度の曙vs武蔵にしても、大胆なプロレスルールを導入せんことには同じことが起こる。こんなもんローキック一発でやられますよ！

――予告しときますか（笑）。

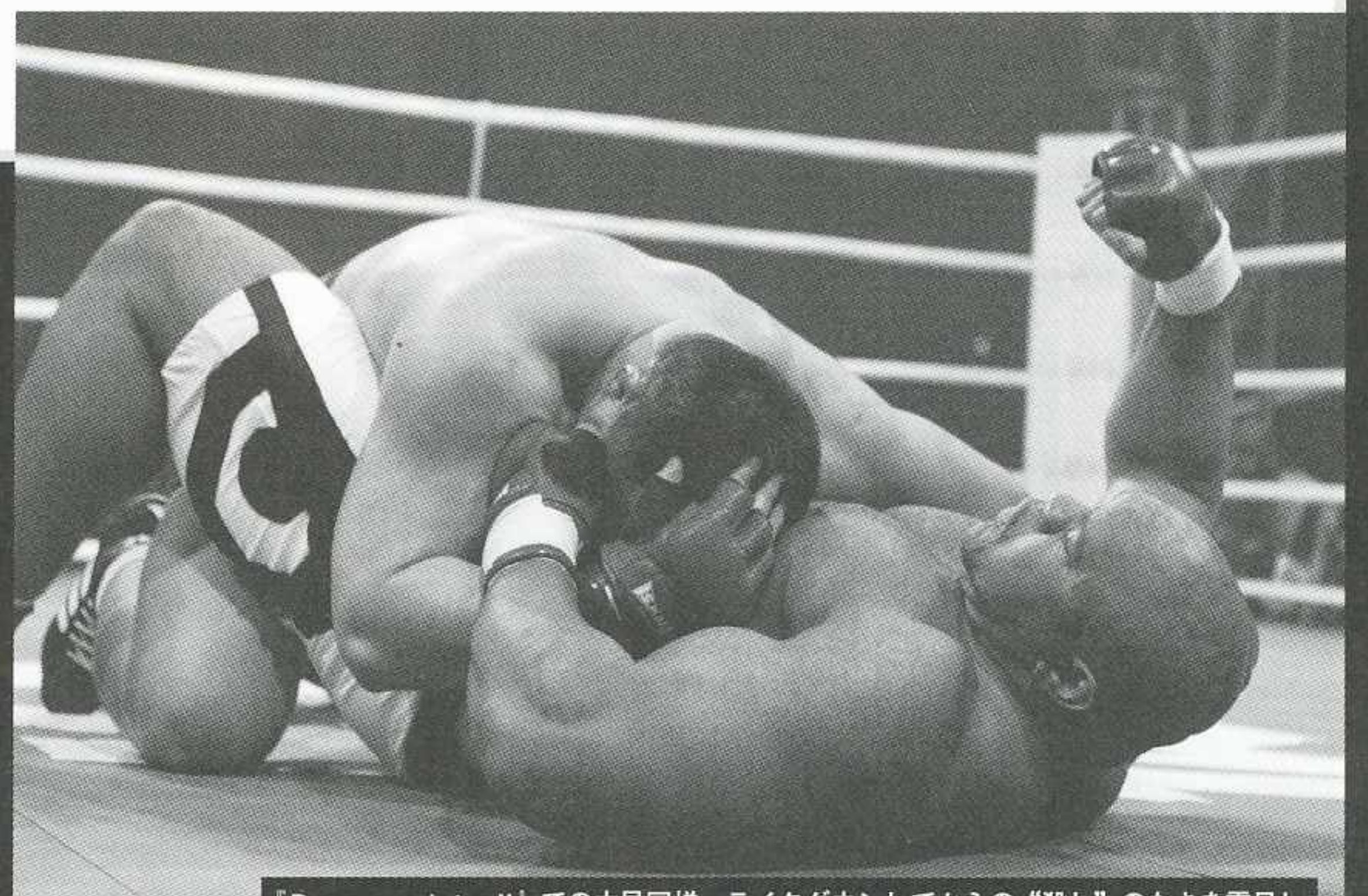
井上　最近の武蔵っていうのはローキックだけで倒すだけの破壊力を身に付けてるからね。以前は大したことないなって思ったんだけども。だからこそ特別ルールをつくらなイカンのであって、今回のプレ旗揚げ戦みたいな時はそういったことをやる絶好のチャンスなんだよ。

――実験的に導入してみるチャンスだったと。

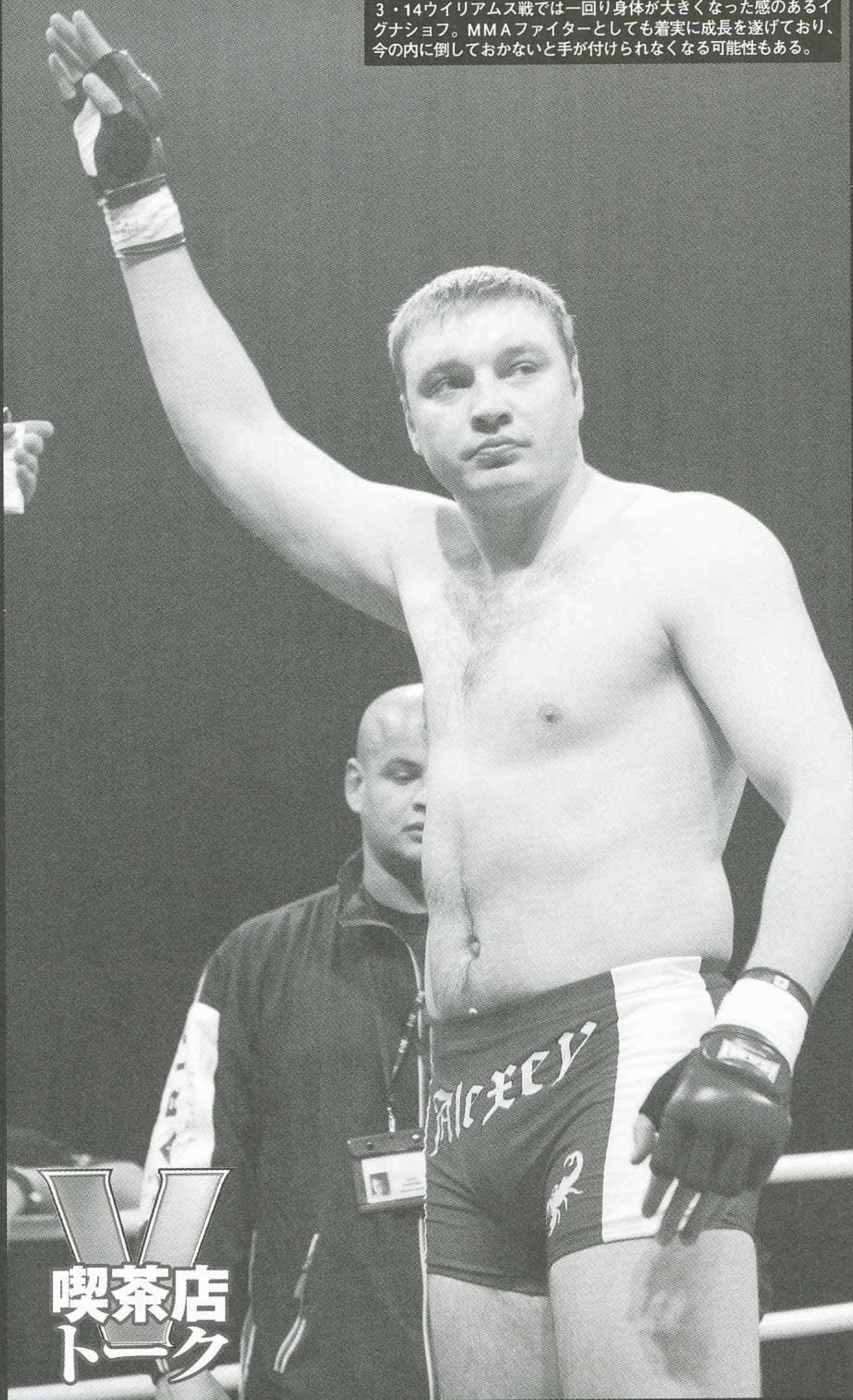
井上　プレ旗揚げっていうのはプロ野球のオープン戦と一緒なんだから。オープン戦は例え失敗して、ドンドン負けたっていいんだよ。あんなもん、いまからタイガースみたいにしゃかりきになってどうすんだよ、アンタ！

――そうですね（笑）。

井上　そんなもん練習試合でいくら勝ったところで、本番に入った時に疲れが出て、しかも相手にデータを提供してるから全部読まれてしまって、「金本にはこう行け！」みたいなことになったら、阪神は打てませんよ。むしろ巨人みたいにボンボンとバカみたいに試しで投げてみてやね、打たれて本番でもこれでいけると思ったら、あにはからんや、本番ではこんなことはしないと、これが利口なんだよな。だからプレ旗揚げ戦みたいな時が特別ルールを試す絶好のチャンスだったわけ。それをやらないから、スミヤバザルみたいな試合になっちゃうんだよ。

――ある意味、通常のMMAルールでやると秒殺とや不完全燃焼が連発するという実験結

『Dynamite!!』での中邑同様、テイクダウンしてからの"殺し"のなさを露呈してしまったスミヤバザル。今後もVTを続けていくなら、これは大きな課題となるだろう。

3・14ウイリアムス戦では一回り身体が大きくなった感のあるイグナショフ。MMAファイターとしても着実に成長を遂げており、今の内に倒しておかないと手が付けられなくなる可能性もある。

喫茶店トーク

果は出ましたけどね。

井上　だからスミヤバザルにしたって、殺人医師にしたってやっぱりバードは無理！　あの連中がいくら練習したってダメですよ。

――それはどのへんが一番足りないんでしょうか？

井上　やっぱり本質的なもんでしょうな。大体、モンゴル相撲なんか倒してしまってシマイだもん、アレ！

――投げの競技ですもんね（笑）。

井上　投げることにかけてはやっぱり力はあるんだよ。サップを倒したんだからそれだけの技術は持ってるんだよね。ところがその後、いわゆる俺が言ってる「殺し」がない！　それだったら勝てませんよ、そんなもん。

――スミヤも木戸修さんのところに行かなきゃなりませんね（笑）。

井上　おう！　この前の中邑もそうやった。8回も飛び込んどきながら、後の「殺し」がないからああなってしまう。そんなもん7～8回も飛んで来たらどんなバカでもヒザ合わせるぜ。俺だってやるからね、本能的に！　商店街のおばはんでも自然にやるぜ。

――商店街のおばはんまで中邑のタックルにヒザ合わせますか！（笑）。

井上　そりゃやるよ、アンタ！　本能だもん、相手を防ぐっていうのは。まさか頭で受けたりはせんだろ。膝でパーンと防ぎますよ。プロの選手であろうがなかろうが、ああいったことになるんだよな。これは上井さんあたりがふてくされるかもしらんけど、俺はホントのことを言っとるんだから。それが何か妙にイグナショフとの雪辱戦に急いでるようなコメントが出とるけど、これは危険ですよ。やっぱり危ない。いまの中邑が少々のことをやってもイグナショフのほうが進化が早いからね。ウイリアムス戦でイグナショフが出て来たときに「これはアカン」と思ったで。

――あ、出て来ただけで思いましたか。

井上　「こりゃ中邑はアカン」と思った。というのは体つきを見た時に肉が入っとるわな。要するにグングン上り調子になって来た時のミルコと一緒。出て来るたびに筋肉がバーンと張ってね。太ももとか二の腕とか、顔あたりも精悍に肉が付いてきてるし、これを見た時にこれはアカンと。相手の殺人医師がどうのこうのじゃなくて、中邑アカンぞ！と。

――ウイリアムスを通り越して、中邑の敗戦まで見えてしまったと。

井上　そう思ったわ。だから中邑がどんなことをやるのかわからんけども、例え、猪木やゴッチの特訓を受けて、少しばかり〝殺し〟を身につけたところで、まず飛び込みが効くかどうかね。

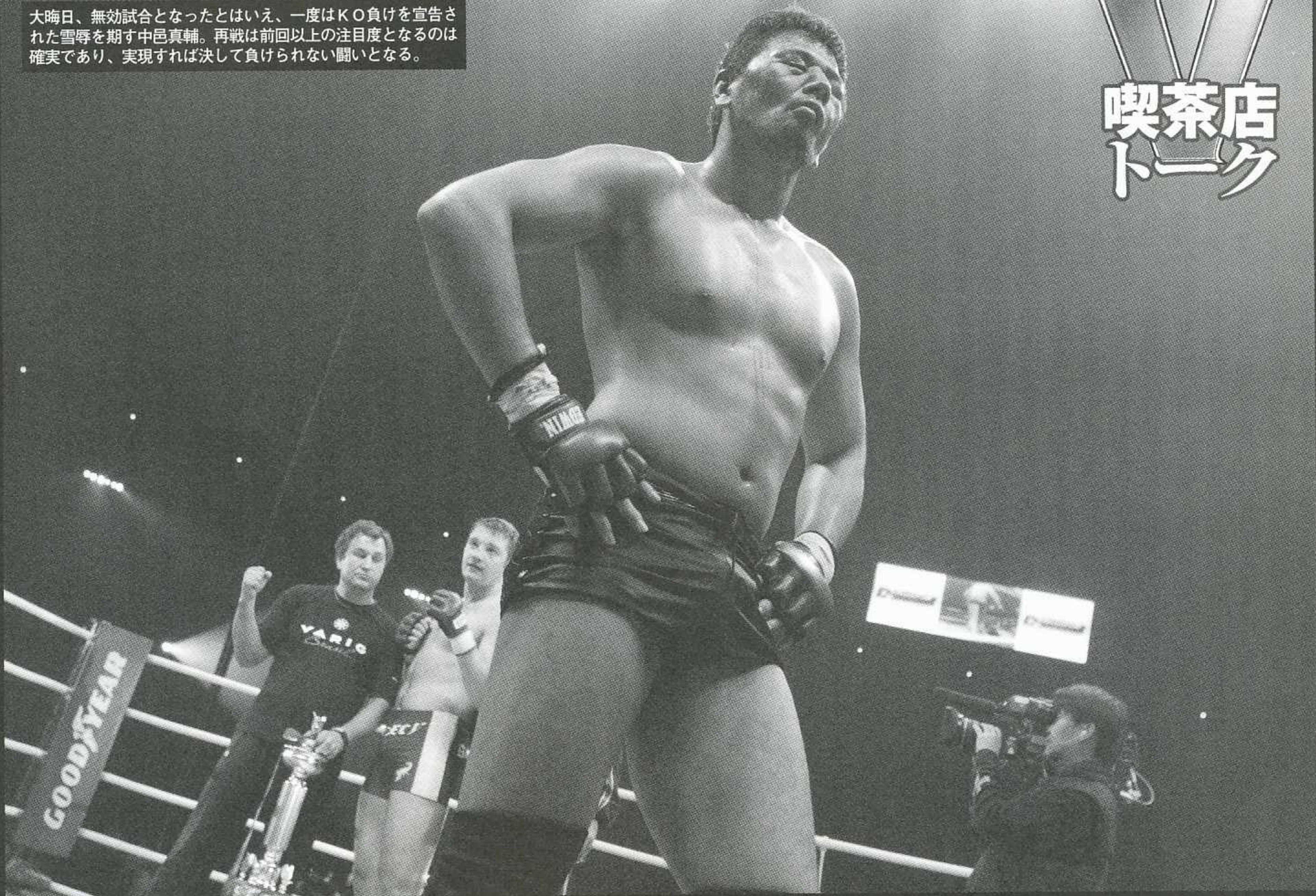
――今度はテイクダウンすら、させてもらえないかもしれない。

井上　飛び込みが効けばいいんだけも、効いて倒れたところでさてどうなるかっていうね。まあ、中邑もハッキリ言ってあれだけの天才的な素質を持ってるんだから、ノゲイラ、ゴッチじゃないけども、腕や首を攻めると見せておいてホントは足を狙ってると。これができればいいんだけども、それが果たしてできるかどうか。そこらへんを見ると危険だから、あんまり「イグナショフ、イグナショフ」と焦らんほうがいい。極端な話をすれば大晦日ぐらいに持ってくぐらいでいいんですよ。

――一年後で丁度いいと。

井上　なんとか間に合うんじゃないの、中邑がしゃかりきになってやればね。イグナショフのほうもバカじゃないから進化して出てきますからね。だから旗揚げ戦なんかは他の奴とやったらいいんだよ。どうせイグナショフも出て来るんだから、強い勝ち方をさせて中邑にも強い勝ち方をさせてそれで万々歳じゃ

大晦日、無効試合となったとはいえ、一度はKO負けを宣告された雪辱を期す中邑真輔。再戦は前回以上の注目度となるのは確実であり、実現すれば決して負けられない闘いとなる。

V 喫茶店トーク

ないの、旗揚げ戦なんだから。それで5月3日の東京ドームで中邑がサップをやっつけるんだろ？

——ジョシュ・バーネットがやるという噂もありますけどね。

井上 ジョシュ・バーネットでもいんだけど、中邑はその前に3月28日、天山とやるだろ？何で天山なんかとやらせるんだ！

——天山じゃダメですか（笑）。

井上 天山なんかとやらせるんじゃなくて、ここでバーネットとやらせなくちゃダメですよ、勝っても負けても。ホントに天山がオープンフィンガーをつけてやね、バンバンとやるなら話は別ですけどね。

——それは見てみたいですけど、あり得ないですよね（笑）。

井上 だから永田とか中西、蝶野、天山、安田もそうだけど、こういった連中はバードは無理！

——あ、完全に（笑）。

井上 上井（執行役員）が「安田と永田はK−1MMAの闘いから外す」みたいなことを言ってるのは当然ですよ。これは練習をやっても無理と。もうプロレスの垢が染み付いてるからね。プロレスなんか見とったらわかるがな。ラリアートが遥か頭の上で振り回してるからね。あれじゃ、絶対当たりませんよ！相手の喉元を狙って振り下ろすのがラリアートであって、それを首を沈めたり、のけぞったり、左へ飛んだりするから外れるんであってね、あんなの最近の試合を見とったら上を打っとるからね。

——空振りするために打ってますか（笑）。

井上 これじゃ、中邑にしたってイグナショフのヒザを全然警戒せずに、攻めることばっかり考えるのもわかりますよ。これがプロレスラーの弱点！　でも、昔のシューター、フッカーと呼ばれた連中は違うからね。俺は昔、『サムライ！』で『ワールドプロレスリング』の解説をやっとったわけですよ。

——初期の新日を再放送したやつですね。

井上 そん時に喫茶店トークをやっとったわけだけど、その関係もあって古い映像を何回も見せてもらったことがあるけどやね、モノクロの時のテーズとかゴッチをジーと見てたら、そんな取ってつけたような試合はやってませんよ！　確実に攻めて、確実に防いでる。モノクロの時代はみんなそうなんだよな。言うちゃわるいけど、映画でもそう！　キミらは知らんと思うけど、上原謙という二枚目のスターが松竹におってやね、そういった連中は二枚目だからまともに顔なんか殴ったら傷がつくわけですよ。それなのに映画の中ではまともに殴ってるからね。

——ほう、映画でもパンチそのまま入れてるわけですか。

井上 もうバッコンバッコン入れとったわ！嘘だと思うんならビデオを借りて見たらいい。長谷川一夫あたりも、もうまともに殴って殴られとるわ。鶴田浩二でもそうだしね。だから演技でないホントの迫力が出てくるんであって、石原裕次郎あたりから殴る格好だけになったんだな、アレ。

——裕次郎からはライトコンタクト（笑）。

井上 殴られとるほうはホントは殴られてないんですよ。だから「俺は待ってるぜ」なんて言うとるわけや。

——あ、あの台詞はそういう意味だったんですか（笑）。

井上 そりゃそうですよ。石原裕次郎が二谷英明をステージの上で投げるわけだ。そしたらバターンとフロアーに倒れるわけよ。そこにどういうわけか知らんけどマットが敷いてあるんだよな、プロレスで使うマットが！あれには笑うたからね。何でこんな所にマットが敷いてあるんだって。ああいうことがいまのプロレスですよ。

——つまり、ホントには殴られず、投げ技も

ベテランに気を遣うことなく、もう普段からプロレスの真剣勝負をやるしかない！

ふかふかマットの上でやるのが今のプロレスだと（笑）。

井上　こんなことをやっとるんだから、バードは絶対ダメ。ホントに殴られてないからね。だから相手が殴ってきた時も全然、無警戒なんですよ。そうすると永田や中西みたいになる。中邑だってそういう癖が付いとったわけでね、だからプロレスラーをあれするためには1年か2年とことんバードの特訓をさせんとね。そのために新日本プロレスはバード軍団を結成して、年をとってる連中は全員外すべきだ。だから上井さんが今回、「安田、永田は外す」と言ったのは正解。もう年とった連中はかわいそうですよ。

――みんなウイリアムスみたいになっちゃいますもんね。

井上　だから俺は普段からプロレスで真剣勝負でやりなさいと。これはバードをやれというわけじゃなく、ベテランに気を使うなってことですよ。格とか序列でね、どこどこの団体のベテランに若手をぶつけて勝たしたら困るとか言ってるからいつまで経ってもこうなんのよ。この前も棚橋が負けた後、大泣きしたというけどね、これは負けて悔しいんじゃなく「何でプロレスってこんなシステムなんだ！」と、そう意味だったと思いますよ。こんなことを言うと「お前暴露本か！」って怒られるけど。

――おそらくそうでしょうね（笑）。

井上　ハッキリ言って「ホントだったら2～3分でやっつけれるよ」と、おそらくその悔し涙だったと思うよ。それを打破しなきゃいかん。昨日出て来た新人であろうが強い者は勝つと、それをやったのが新日本であり、中邑であってね、この大英断でいうのは俺は買うべきだと思いますよ。レスラー仲間からは「あの野郎」って疎まれたり、嫌がらせされたりするだろうけどね。

――ジェラシーはあるでしょうね。

井上　そんなもんは試練なんだから、それと同時に団体の首脳がよく話をして「もうそういった時代じゃないじゃないかと、お前らもハッキリ言って踏み台になってくれ」ということを言うべきですよ。それを新日本プロレスは率先してやろうとしてるわけでしょ。だから俺はあの団体を買ってるんだよ。中邑をIWGPのチャンピオンに持っていったというようなことをどこがやりますか、アンタ。

――プロレス界では画期的なことではありますよね。

井上　それを言うんだったら全日本プロレスは河野をチャンピオンにしろよ。俺は三冠へビー級の資格を持ってるのは河野だと思いますよ。あん中で河野以外、誰がおるんだ全日で。それでZERO―ONEも明石鯛我をトップにすると！

――明石鯛我がトップ！

井上　それがこれからプロレスが生き残る道ですよ。武藤がそれでも純プロレスの方向って言うんだったらプロレスをやらせたらいい。でも、新日本プロレスは違いますよ。おそらく今後はIWGPのタイトルマッチもバードでやっていきますよ。その第一弾が3・28の健介vsサップだから！

――え！　あれはバードマッチなわけですか⁉

井上　おそらくそうなるだろうな。健介もやる男だからね。バードマッチとは言わなくても、プロ格で行くことは間違いない。サップにしたって、ホーストとプロレスごっこをやるからダメなんであって、プロレスの試合をまともにやれば、これはブサイクであっても笑われませんよ。例えば突っ込んで行ってかわされてロープの下にドーンと落っこちるという場面があっても、決して大笑いされませんよ。まともに突っ込んでかわされるのはしょうがないんだから。だからそういった試合をプロレスでやって、そして決着は真剣勝負でつけなさいと。

――真剣勝負のプロレスですか。

井上　バードマッチではどうしても大怪我が続出するからね。だからプロレスで救済策を取れと。場外に叩き出されて立ち上がって来れなかった奴はそれでいいんだよ。それを飛び出して行ってね、頭を蹴って自分でロープの下からリング上に放り投げてね、そんなことをする必要はない。カウント内で上がって来れなかったらカウントアウトにしてしまったらいいんですよ。それがK―1と新日本プロレスの闘いですよ。だからK―1MMAルールというのとは違うんだよ。K―1プロレスルールにすべきですよ！

――リングアウト決着ありのK―1プロレスルールを採用しろと（笑）。

井上　そしてなんべんも言うけど、それを真剣勝負でやると。じゃあプロレスは八百長か⁉となるけど、ハッキリ言ったらその通りですよ。

――その通りでしたか（笑）。

井上　筋書きがあるっていうのはみんな知ってるんだから！　ただ猪木vsホーガンや猪木vsゴッチみたいに、筋書きを決めとっても筋書き以外の真剣勝負が出て来るからね。それが新日本プロレスだしプロレスなんですよ。そういったことをやっていったらプロレス自体も見直されてくるし、ファンも戻ってくると思いますよ。俺だって見たいぜ！

――井上さんが真っ先に帰ってきそうですね（笑）。

井上　新日本のファンが離れて行ったっていうのはみんなそれだから。あんなもんバカバカしくて見とられんと、そんな連中が目の色を変えてK―1とか『PRIDE』を見とるんだから。いまこそ、K―1プロレスルールで真剣勝負をやれ、と。そういうことだな！

――わかりました！　では、来月もまたよろしくお願いします！

井上　は～い。

【3月15日／電話取材にて収録】

01年、ミルコのハイキックで秒殺されたのに続き、昨年大晦日もヒョードルの圧力に亀になっての戦意喪失負けを喫してしまった永田。もうＶＴ出場はないのか？

2004.2.25
東京・北沢タウンホール
全日本キック『Dog Fight!』

“野良犬”小林 聡 ッチ興行でKO勝利!!

野良犬の右ヒジになりたいと思わせた たったひとりのための格闘技大会

I wanna be your dog

撮影/堀江ガンツ　文/ささきぃ

大会を見終わった後、よく出てくる感想として「今日は○○だけを見にきた」「今日は○○だけのために金払った」「今日の7000円のうち、5000円は○○に払った」などというものがある（例・『PRIDE武士道』の後「今日はミルコに5000円払った」）。お客さんがお金を払って大会を見にきている以上、それぞれの試合に「いくらの価値があった」というのは、試合後の感想として、どうしても避けて通れないポイントだ。そして「俺は○○だけを見にきたから別にいい」というのも、強がりな観客によくある感想である。

そこで思う。だったら、本当に〝たったひとりのためだけ〟の大会があったら見に行くか？　それをやるのは、一体どんな選手がふさわしいのか？

2月25日、それをやってしまった男が、全日本キックの野良犬・小林聡である。格闘技大会史上類をみないこの挑戦を聞いて、人はどう思っただろう。私は、この大会の概要を聞いたとき、ものすごくワクワクした。そして、それにふさわしい男はたしかに小林聡しかいないと思った。

〝面白いだろ？　くだらない？　だけど、俺以外のヤツらの試合なんか、もっとくだらないんじゃないの？〟　そう言って小林聡が片頬をあげてニヤリと笑うさまを勝手に想像して、もっとワクワクした。そしてそのリリースに「プロレス界では1987年7月14日・後楽園ホールの藤波辰巳vs木村健悟の一騎打ちがつとに有名」という、とてもキックのリリースとは思えない一文が添えられていて笑った。

試合1週間前、公開練習で見た小林聡は「後楽園とかなら、試合前のイメージトレーニングなんかも出来るんだけど、はじめての会場だし、特殊な興行だし、どうやって試合まで気持ちを持っていっていいのかわからない」という、誰しも納得するようなもっともな言葉を述べていた。そして「最初はワクワクしてたけど、だんだん怖くなってきた。あいかわらず練習もデキが悪いですからね」とも述べた。その言葉は、聞いた私の気持ちを不安にさせた。

ほんとうは小林の次の試合を見るのはとても怖かった。昨年11月23日、右ヒジの手術を終えた後の第一戦、完全復活にはとても遠い姿で、吉本光志にパンチを打たれる小林の姿を見ていたから、怖かった。

試合中、好きな選手のガードが下がっていく様は、とても心に痛い。あの日小林は勝ったけど、試合後の「僕よりも吉本選手のことを期待してください。出直してきます」というマイクは、控室で涙を流しながら発した「今後のことはわからない」という言葉は、どう受け止めればいい？　この次はあると信じたい。「藤原祭り」には参加していたけど、お祭りじゃないところには、どんな姿で出てきてくれる？　どんな目でファンは小林聡を見ればいい？

そう思っていたところに届いたのが「ワン・マッチ興行」のリリースだった。面白い、と同時に、嬉しかった。

〝バカじゃねーの。なんも考えないで、俺だけ見てればいいじゃん。俺が見たいなら見にくればいいじゃん〟。そう言ってくれたように感じて、すごく嬉しくなった。

大会当日、小林聡は、韓国のキム・ゾンソップと対戦。小林はローキックを24発叩き込んでキムの足を破壊し、2R、2分03秒で見事勝利した。

マイクを持った小林は「ありがとうございました！　え～、元気！…は出てないけど、トーナメント出ます！　4月、後楽園で会いましょう!!」と、全日本ライト級トーナメントへの参戦を宣言。ワンマッチ興行ということで大会はこれにて終了！　開始宣言から終了まで30分足らずの、ギネス級激短大会だったが、野良犬のあざやかな勝利に満員の観客は大きな拍手を送った。

ワンマッ

小林聡。ニックネームは野良犬。WPKC世界ムエタイライト級王者、WKA世界ムエタイライト級王者。72年3月16日生まれ、長野県出身の32歳。好きな異性のタイプは丸井記者（スポニチ。※両者に確認したところ相互に面識なし）。性格・泣き虫。ネタづくしの選手名鑑は毎回必見である

良かった。見にきてよかった。グレート・アントニオが製作した小林聡Tシャツの文字を思い出す。〝I wanna be your dog〟、「あなたの犬になりたい」。犬にでもなんでもしてください、できることなら右ヒジの骨にしてくださいと、とまで言いたくなるような、とてつもない安堵感。

勝ってくれて嬉しい。一時は引退さえ覚悟したという小林は、観客も、選手としての自分自身も見放さなかった。野良犬にしか出来ない特別な形で、まだ、自分が見たければ見に来いよと言ってくれた。

試合を終えた小林の右腕を、ドクターがチェックする。記者が、ぐるりと小林を囲む。「反省ばっかり。まだ完成の途中」という小林の言葉に、記者から「復活の途中ですか？」と質問が飛ぶ。「いや、自分のやりたいスタイルの、完成の途中」と、小林が反論する。求めるのは、かつての自分じゃない。己の目指す高みへ届く、これまで以上の実力を持った自分だ。

また野良犬の試合が見られる。高みを目指す男の生き様を、リアルタイムで見つめることが出来る。勝ってくれたことと同じくらい、その事実が嬉しかった。

大　会　告　知

小林聡参戦!!　はたして勝ち残るのは誰か!?

４月16日（金）全日本キック
『全日本ライト級最強決定トーナメント2004
2nd.STAGE/2回戦』
東京・後楽園ホール
試合開始 18:30(17:30 オープニングファイト開始)

【トーナメント出場・シード選手】
大月晴明(全日本ライト級最強決定トーナメント2003優勝/AJジム)・白鳥忍(全日本ライト級最強決定トーナメント2003準優勝/高橋道場)・**小林聡**
(WKA&WPKC世界ムエタイ・ライト級王者/藤原ジム)・“X”（後日発表）

【3月13日のトーナメント一回戦勝者】
西山誠人(J-NETWORKライト級王者/ソーチタラダ渋谷)・吉本光志(全日本ライト級4位/AJジム)・山本真弘(元新極真会全日本高校中量級&軽量級優勝、全日本フェザー級2位/藤原ジム)・サトルヴァシコバ(2002新空手全日本軽中量級優勝、全日本フェザー級3位/勇心館)
※シード選手VS一回戦勝者との二回戦4試合を予定。対戦カードは現在調整中。

【その他対戦予定カード】
●山内裕太郎(AJジム)vsハイパー・キック・リー(韓国)
●山本優弥(空修会館)vs金沢久幸(TEAM-1)
●加藤督朗(PHOENIX)vs小松隆也(建武館)
※上記3カードの契約ウェイト、ラウンドは調整中。その他数試合予定。

【チケット料金】
RS席10000円/S席7000円/A席5000円(全席指定/当日は各席1000円アップ)
チケットぴあ、後楽園ホール、BoutReview、全日本キックオフィシャルサイト、全日本キック電話予約にて発売中
問：全日本キック 03-3365-1171　HP：http://www.aj-kick.com

2004.3.7
『Girls SHOCK』
東京・ニューピアホール

大会名はダテじゃない!!
女子格闘技大会、
3年ぶりの大ショック!!

撮影／丸山剛史　文／ささきぃ

タイで渡邊久江に敗れたナムワンノーイとサンボ女王・藤井恵がエキシビジョンに登場！ フジメグは見事な腹筋で観客をどよめかせた。ナムちゃんは人種の違いを突きつけるようなミドルの後、ほっぺにチューを披露

ダブルメインイベント第1試合で、見事勝利したグレイシャアＡｋｉ。文句なしのＫＯにとびっくりの笑顔！

女子格闘技界がやっと、選手にプロ意識を要求できる大会を送り出してくれた。桜庭あつこが参戦し、藪下めぐみがグンダレンコ相手に華麗な闘いを繰り広げた『Ｒｅｍｉｘ』日本武道館大会から早3年（！）。ブレイクしそうでブレイクしない女子格闘技が、久々に3月7日、1000人規模のニューピアホール進出を果たした。昨年旗揚げされ、今回新たなスタートをきった女子立ち技格闘技イベント『Ｇｉｒｌｓ ＳＨＯＣＫ』は、この2年ほど「参加予定選手の中止や、進行の面等で問題がなかったとは言えないが、参戦した選手たちの一生懸命さには感動させられた」などとしか試合レポートを書きようがなかった女子格闘技大会の中で、久々に選手の試合内容を問える大会を見せてくれた。

〝女の子の大会〟ということを意識させる、大会イメージカラーでもあるピンク＆水色のオリジナルグローブ、おそろいの選手ジャージ、音声が切れたり映像が遅れたりすることのない大会進行、発表通りに全員来ている外国人選手（…）。トラブルにはすっかり慣れっこの心優しき女子格闘技担当記者たちが誰しも感心した、選手たちを輝かせ、支えられるステージがそこにあった。

本人たちが一番悔しがっているだろうが、残念だったのは〝女子格闘技最恐〟のＷＩＮＤＹ智美と、メインを任せられた渡邊久江がともにＫＯで大会を飾れなかったことである。ＷＩＮＤＹの場合は、対戦相手であるＧＯＮ！ＡＳＡＭＩが、憧れ続けた目標の人・ＷＩＮＤＹのパンチを何発も受けながら、決して倒れないということで観客の心を揺さぶるファイトを見せたが故の判定勝利だし、渡邊は練習中に骨盤部分を痛め、歩けないほどのケガを負っていたと聞いた。だが！　それでもＷＩＮＤＹはムエタイへのリベンジにつなげるためにも、ＡＳＡＭＩごとき（あえてこんな書き方しますが）に判定へ持ち込まれてはいけなかったし、渡邊はイタリア美女サブリナ・レイをブッ倒して、ムエタイチャンプとなった己の存在を世間にたっぷりアピールしなければいけなかった。フジメグとの〝アイドル・エキシビジョン〟に登場したタイの15歳アイドル、ナムワンノーイ・サックブンマーに、観客のどよめきと『東スポ』の紙面を奪われている場合ではないのである。

ダブルメインイベント第1試合に登場したグレイシャアＡｋｉは、韓国女子キック界が放った刺客ヂョン・ヨンシルに全身を振りかざして叩き込むようなパンチをブチかました後、バックブロー一発で見事ＫＯ！　負けず嫌い姫の渡邊が「スター性を見てしまった」と語ったほどの、今大会ベストバウトを見せつけた。

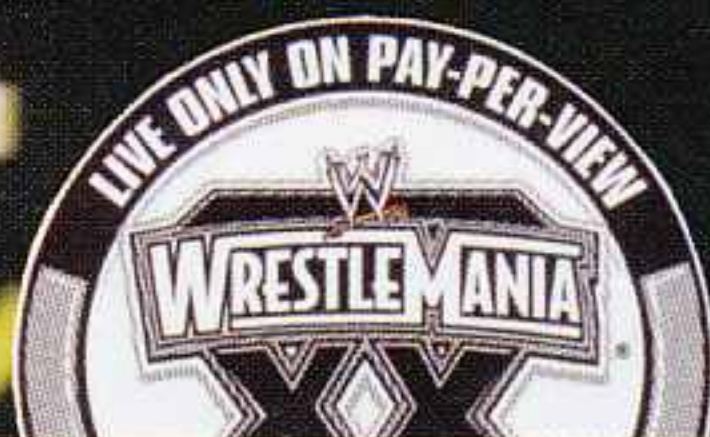
大会側が神経を行き届かせたステージを用意することは、選手にプロ意識を要求する最低の条件だ。これまでずっと選手の〝がんばり〟に支えられてきた女子格闘技界が、やっとそのステージを見せてくれた。今年開催される『Ｇｉｒｌｓ ＳＨＯＣＫ』残り3大会とともに、他の女子格闘技大会が刺激を受けてさらに盛り上がることを激しく期待したい。

『Girls SHOCK』
2004年イベントスケジュール

6月27日（日）
9月12日（日）
12月19日（日）

※会場はいずれも東京・浜松町のニューピアホール

Girls SHOCK 事務局
tel 03-5215-2641

★公式ＨＰも近日オープン!!
http://www.girls-shock.com/

アントン総師・実弟が語る

永久電機とは何か?!

世紀の大発明、
遂に完成！

“電機会社”社長

猪木啓介

聞き手／ジャン斉藤　designed by bun-chan (Two three)

2004.3.7 『Girls SHOCK』

電機があれば何でもできる！　アントン総帥が情熱を注いできた永久電機。その事業を推進する会社の社長に、アントン実弟の啓介氏が就任した。啓介氏といえば、アントントン・ハイセルや『ジャングル・ファイト』にも関与していた。言わばアントン・ドリームプロジェクトのキーマンなのである。今回はアントン事業話を中心に、近々公開される世紀の大発明の全貌を世間より一足先にお届けしよう！

――今日はアントニオ猪木さんの弟である啓介さんに、いろいろとお話を伺いたいと思ってます！

啓介　いいですけど、ボクはプロレスのことはそんなに詳しくないよ。

――いや、啓介さんが携わっていたアントン・ハイセルや『ジャングル・ファイト』、このたび社長に就かれた電機会社とか、猪木さんの事業話が聞ければそれだけで十分です！

啓介　ああ、それだったらいいですよ。ボクは会長（アントニオ猪木）が押し進める事業をずっと担当してきましたからね。

――昔から猪木さんの事業をサポートされてきたわけですね。

啓介　そうなりますねえ。……（前号の『紙プロ』を読みながら唐突に）『紙のプロレス』といえば、イズマイウがたくさん載ってる雑誌ですか？

――宇宙で一番、イズマイウが載ってる雑誌といえばウチですけど（笑）。啓介さんは『紙プロ』をご存知でしたか。

啓介　ウチの娘が（格闘技やプロレスを）好きでね。よく雑誌を買ってくるんですよ。イズマイウも「『紙のプロレス』からインタビューされた」って言ってましたしね。

――あ、イズマイウさんは覚えていてくれたんですね！　啓介さんはブラジルと日本を行ったり来たりしてるみたいですが、イズマイウさんと連絡を取り合ったりしてるんですか？

啓介　ちょくちょく電話がありますね。「日本はどうなってるんだ？」っていろいろ心配してますよ。残念ながらイズマイウを嫌ってる方が多いですけど、彼はかなりいい人なんですよ。

――『紙プロ』でも読者人気は高いんですよ！　また日本に来てほしいんですけど、いまはショッピングセンターで働いているそうで……。

啓介　ああ、ショッピングセンターを奥さんのお父さんと一緒に経営してるんですよ。

――本人いわく〝大金持ち〟らしいですけど、イズマイウさんはブラジルの名士だったりするんですか？

啓介　いや、大金持ちというわけじゃないけど、まあまあの生活をしてますね。彼は大きい道場も持ってるし、去年の『ジャングル・ファイト』ではブラジルの選手を呼んだりして、大会のプロデュースしたわけです。

KEISUKE INOKI

啓介氏は猪木兄弟では一番下の弟にあたる。本誌NO.54に収録されている実兄・快守氏のインタビューも併せて読めば（フリーメーソンやら世界三大宗教統一話など、興味深いエピソードがギッシリ）、猪木一族の凄さがわかるはずだ！

――その『ジャングル・ファイト』で、啓介さんは新聞さんと共に責任者を務めたわけですよね。

啓介　はい。新聞さんは病気になったから、現地には行きませんでしたけどね。観に行った人は感激したと思いますよ。アマゾン川の上に小屋を建てて、ああいう大会をやったわけですから。

――ボクも行きたかったんですけど、観戦するのに必要な協賛金に手が出ませんでした！　個人が１００万円、法人一般協賛は２００万円、冠協賛はなんと2億円という価格設定にはビックリしましたよ。

啓介　まあ、わずか４００人しか観れないわけだし、その協賛金は森林保護に活用するための設定ですからね。

――協賛金の中からジャングルの土地を購入するってお話でしたよね。

啓介　日本の方が勘違いしてるのは、森林保護とは木を植えることじゃないんですよ。伐採を止めるのがブラジルの森林保護なんです。アマゾンに木を植える必要はない。すでに木はいっぱいあるんだから（笑）。

――ジャングルをつくるより、守ったほうが確実ですよね（笑）。

啓介　『ジャングル・ファイト』はこれからも森林保護に協力というか、お役に立てたらなと思ってるわけですよ。

――〝これからも〟というと、次回の『ジャングル・ファイト』開催も予定されてるんですか？

啓介　今年も『ジャングル・ファイト』はやりますよ。6月ないし7月にはラスベガスで、9月には中国開催を予定してますね。

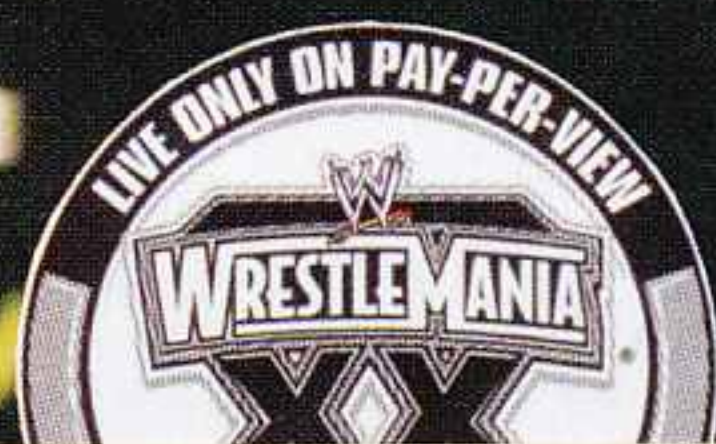
――未開発地域が多い中国はともかく、ラスベガスでの『ジャングル・ファイト』は無理ですよ（笑）。

啓介　いやいや、『ジャングル・ファイト』の〝ジャングル〟というのは、決

永久電機・初心者は必読！

2002年3月12日 “幻の御披露目会見” PLAY BACK

石油もいらない。水力もいらない。火力や風力も使わずに、磁石のわずか力によって電気を半永久的に発電する世紀の大発明「永久電動機」！　製品化されれば「**世界中がオレを追いかけ回すことになる。もうキミたちには会えなくなるよ。ンムフフフ！**」と、アントン総帥がプロレスマスコミに豪語していたのはすっかりおなじみになっているが、今回あらためて電機を検証するために、〝幻の御披露目会見〟の模様を再録することにした。

遡ること2年前の２００２年3月12日、ホテルオークラにて、その衝撃の会見は行われた。アントン世紀の大発明は『InokiNatural Power-Ⅳ』（なんと5号機目！）と命名されており、会見前には、翌日の某経済新聞の一面を飾る噂も流れていたのだ。

して森林だけを指してるわけじゃないんですよ。〝コンクリートジャングル〟という言葉もありますし、闘いを表す言葉として猪木会長が発案したんです。

——そこに闘いがあれば、いつ何時『ジャングル・ファイト』なわけですね！　たしか今年の2月に名古屋で開催するなんて噂もありましたよね。『ジャングル・ファイト』in名古屋というのも凄い話ですけど（笑）。

啓介　たしかに日本でやる話もありました。『ジャングル・ファイト』というタイトルを使わないで、別の名称でやる話も挙がってましたよ。でも、邪魔が入っちゃったから。

——邪魔というと？

啓介　やっぱり反対する人もいるじゃないですか。我々の考えがすべて正しいわけじゃないし、考えというのは各々違うわけだから、理解していただける方に協力していただくしかないんですよね。無理してやってもらってもしょうがない。そんなの気分的にイヤですからね。ボクなんか神経質だからさ、そう思うだけですぐに胃が痛くなる。胃が痛くなるのはアントン・ハイセルのときでコリゴリしてますからね（笑）。

——ハイセルではそれほど苦労されたんですか（笑）。

啓介　いやいや、苦労というよりも、いろいろと勉強させてもらいましたよ。会長のおかげでいろいろな方々とお会いさせてもらったし。

——猪木さんのプロジェクトは常に国家事業並だから、必然的に輪は大きくなっていきますよね。

啓介　そうなりますよねえ。ボクは昔、新日本プロレスの営業だったんですけどね。途中からアントン・トレーディングに移って、そんなアントニオ猪木の夢をサポートしてきたわけですよ。

——アントン・トレーディングというと、タバスコやアントン・マテ茶、アントン・ナッツ（ひまわりの種）などの輸入販売、六本木のレストラン「アントンリブ」をやったりしていた会社ですね。

啓介　「アントンリブ」は流行っていたんですけどね。いまでもスペアリブの味が忘れられないという人も多いんですよ。タバスコも日本の代理店ということで上手くいってたんですけど…。アントン・ハイセルが足を引っ張ったというか。

——ハイセルの負債のために、その権利を売却されたらしいですね。

啓介　レストランもそうですね。アントン・ハイセルがおかしくなってすべて手放してしまいましたけど、アントン・ハイセルは現在、ちゃんと事業として成り立ってるんですよ。

——いまではアガリスクの販売を手掛けていて、かなりの成功を収めてらっしゃるんですよね。

啓介　おかげさまで。いまは名義変更して、アントン・バイオテックという会社になってましてね。アントン・ハイセルは今年で22周年になるのかな。昔は〝いつ倒産するのか？〟だなんて、新聞や雑誌で叩かれていたもんですけど（笑）。アントン・バイオテックのアガリスクは、品質的には世界一になってるんですよ。

——ある意味で、猪木さんの世界戦略は達成されたわけですね。

啓介　業界でのアントン・バイオテックの評価は高いんですよ。ブラジルでは工場とかも整備されておりまして、昔を知ってる人はビックリしますね。

——どうしても、大失敗に終わった事業のイメージが根強いですからね（笑）。

啓介　もちろん事業の内容というのは、（アントン・ハイセルの頃とは）いろいろと変わってましてね。岡山にある林原生物科学研究所の協力がありまして、現在のアガリスクに至っているわけです。

——つまり、アントン・ハイセルで培った技術を移行したわけですよね。

１９８０年当時、ブラジル政府はサト

伝説の永久電機御披露目会見！　アントン総帥の場合、何をやっても大抵は伝説になるのだが、これぞ“伝説の中の伝説”と断言できるプレミア会見だったのだ。惜しくも失敗に終わったが、翌日の各スポーツ紙は永久電機の存在を大々的に報道（その後は一切黙殺）。『東スポ』に至っては一面トップでデカデカと掲載した。さすがは『東スポ』だ！

電機が公開されたら
株式市場にも影響が出るでしょう

猪木　元気ですかーーーッ!?（報道陣や国内企業関係者ばかりのためレスポンスなし）。〝元気が売り物〟アントニオ猪木！　エ〜、今日は**異種格闘技戦**というか、リングに上がるような緊張をしています。そこに御案内のようにですね、エネルギーも天然水も使わない自己発電装置ということで。今日に至るまでいろいろみなさんから「何の発表があるんだ？」と、スポーツ記者のみなさんも含めて質問があったんですけど。これはホントに世の中の常識にないことという。私は日頃、自分を〝非常識〟と言っておりますが、まさに世界においてというか、**エネルギーの常識にないことが起こりました！**　私は少年時代、ブラジルに移民しまして、そこで暮らしているうちに環境問題に興味を持ったり、あるいはエネルギーという問題に興味を持ちまして。その都度、大変技術としては進化している途中なんですが、やはりまだ世の出るに

2004.3.7
『Girls SHOCK』

ウキビからアルコールを絞り出して、それをエネルギーとして活用するプランを進めていたが、絞り出す課程で発生するアルコール廃液と絞りカスが公害問題となっていた。廃棄された農業地からは農作物が採れなくなってしまったのだ。アントンハイセルとは、その廃液＆絞りカスに酵素菌を加えて発酵させ、牛の再生飼料に転用。その再生飼料を食べた牛のフンを有機肥料とし、農業生産の向上と家畜の増産を目論み、世界の食料危機問題解決までをも視野に入れるという、壮大なるプロジエクトだったのだ。

——そもそも、啓介さんが新日本の営業やアントン・トレーディングに関わったのは、どういう経緯があったんですか？

啓介　それはボクが日本の大学に留学しようとブラジルから戻ってきたのが、ちょうど会長が日本プロレスから除名されて新日本プロレスを旗揚げしたときでね。それに巻き込まれるかたちで新日本プロレスの営業部に入ったんですよ。

——絶妙のタイミングだったんですね。

啓介　で、ボクはビザの関係で2年に一度、ブラジルに戻らないといけなかったんですよ。そのたびに蝶の羽とか牛の毛皮だとか、ブラジルのお土産を持って帰ってきてたんです。それがそこそこ高く売れるから、じゃあ商売をやるかと。

——啓介さんのお土産がアントン・トレーディング設立の発端で、最終的にはアントン・ハイセルにも繋がっていくわけですか（笑）。

啓介　始まりはそうでしたね。アントン・ハイセルの計画自体は、どっかの銀行の支店長からの紹介でしたけどね。

——ハイセルの計画を聞いたときはどう思いましたか？

啓介　我々もブラジルの牛の状況は知ってましたから。実際にブラジル行って、再生飼料を牛に食べさせたらみるみるうちに肥えるから、これは上手くいくかと思ったんですけど……事業として成立するのはまったく別なんですよね。

——発明が成功しても、採算ベースに乗らないと意味はないですよね。

啓介　それにアントン・ハイセル初期の技術というのは問題が多くてね。まったく実らなかったんですよ。

——そうだったんですか（笑）。

啓介　ホントはこういうことを言っちゃダメなんだろうけど、やっぱりしっかりとした基礎を持ってる専門家と、町の発明家とでは全然違うわけですよ。

——つまり、ハイセルは町の発明家に任せていたってことですか！

啓介　それもひとつの問題でしたね。ボクはアントン・ハイセルが途中でおかしくなってから、先の話にも出ましたけど、岡山の林原生物化学研究所で勉強させられたんですよ。微生物とはこういうもんだと。

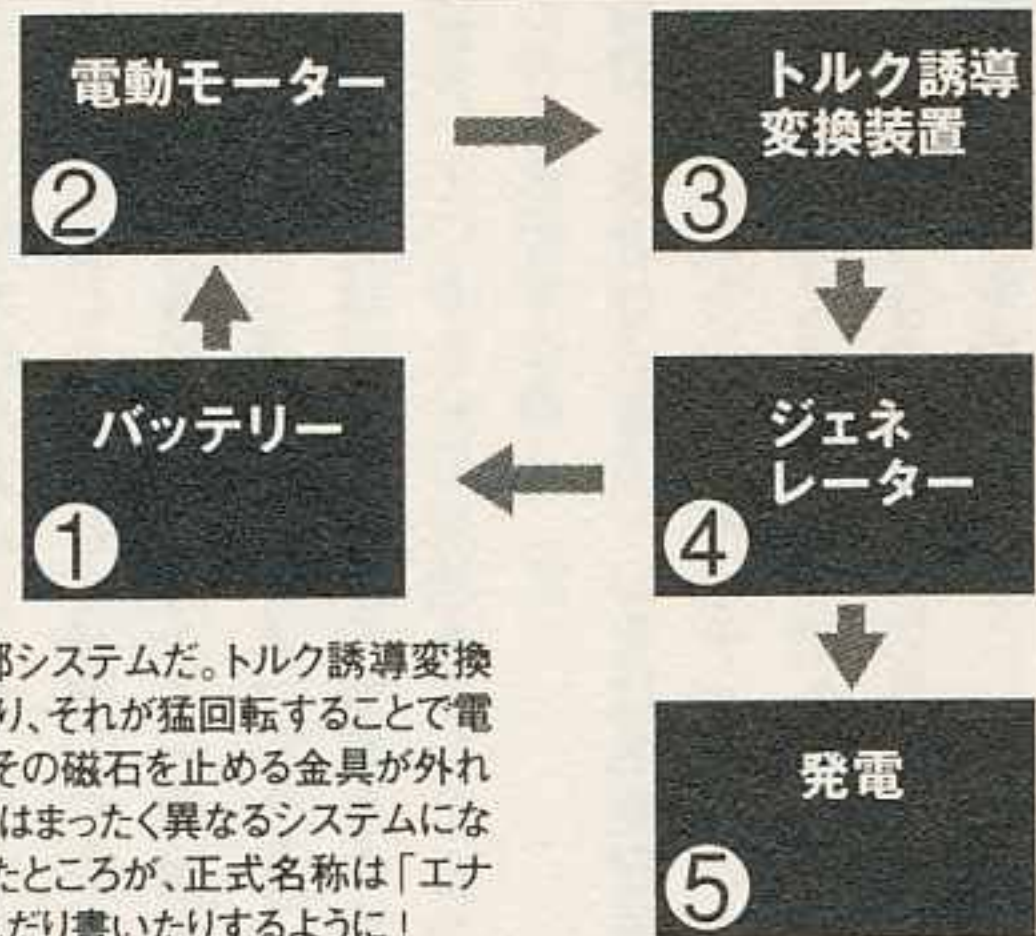
——啓介さん自らアントン・ハイセルの研究をされたんですかね。

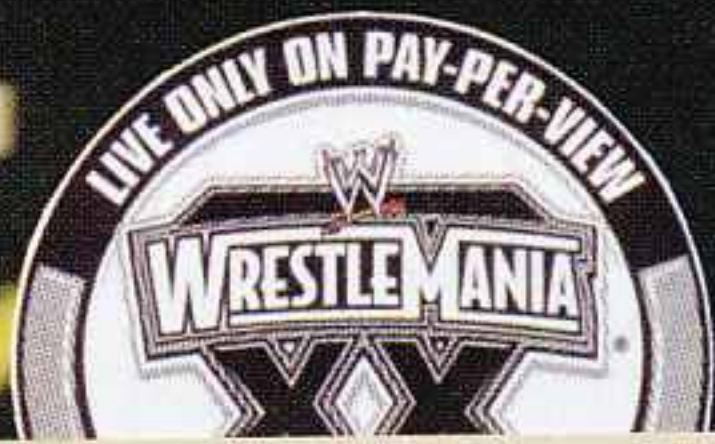
啓介　そうです。そこで専門家にいろいろ教わって、それなりに知識を持ってくると、いままで何でこんなバカなことをやってきたんだろうと、いろいろわかってきたわけですよ。

国内のあらゆる企業関係者、一般誌、大手新聞記者が固唾を呑んで見守る中、永久電機のスイッチを押すアントン総帥。歴史的な瞬間だけにアントン総帥の顔にも緊張が走るが、電気は走らず。残念な結果に！

世界がひっくり返る大発明だから公にできないことが多いんですよ

これが2年前の永久電機内部システムだ！

①バッテリー → ②電動モーター → ③トルク誘導変換装置 → ④ジェネレーター → ⑤発電

これが2年前に開発されていた当時の電機内部システムだ。トルク誘導変換装置にはプロペラ型の磁石が取り付けられており、それが猛回転することで電力を発生する仕組みとなっていた（会見の際にその磁石を止める金具が外れてしまった）。このたび完成した電機は、この図とはまったく異なるシステムになるといわれる。さしずめ“新・永久電機”と言ったところが、正式名称は「エナライズ」に決定。これからは「エナライズ」と呼んだり書いたりするように！

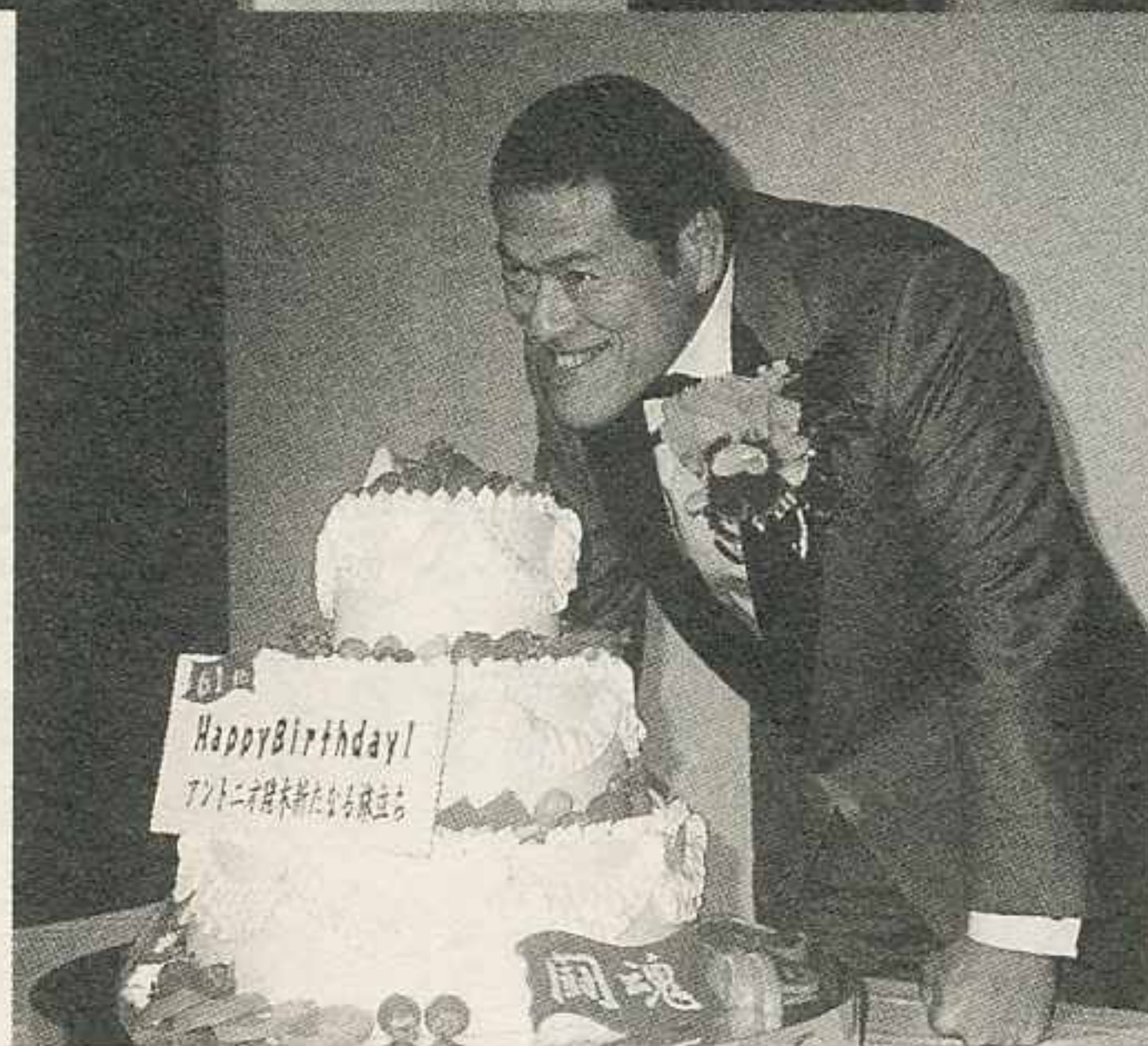
は力不足というか、コスト的には大変高くて市場価格にならないというか。そういうことで世界全体として見たときに、とにかくこういうものがないだろうかということで（誘導発電装置の発明者と）大変な出会いを頂きまして。私は**コーヒーベルト地帯という——これは私が勝手に命名したんですが**——北緯20度、南緯20度、赤道を境にコーヒーが出来る地帯のことなんです。そこにいる人たちが一番貧困層、あるいは飢餓に直面している。たとえば、そういうところの子供たちの夢は何かというと、1つは**テレビが見たい**。戦後、（日本では）力道山という人がテレビのブラウン管に登場して、我々は（力道山の活躍を見るために）テレビがほしいという夢がありましたが、まさにいま途上国というところはテレビすらも見たことがない。ぜひテレビを見たいという夢があります。それにはエネルギーがなければテレビが見れないわけですから、そういうところにテレビを持っていったとしても（見れない）。これから御紹介しますけど、こういう（誘導電動）装置に接続すればテレビも見れますよと。そしてビデオテープでもセットすれば教育番組にもなる。そういうことでですね、私の夢はこういう装置を持って行って明かりを灯す。**世界**

——一向に計画が進まない理由が明らかになった、と（笑）。
啓介　わかってきたわけですよ。町の発明家がいい加減なこともね（笑）。
——でも、すでに莫大な資金が投入されていたわけですよね。
啓介　されていた。もっと早く勉強してればねえ。
——最終的にはどれくらいの資金が注ぎ込まれてたんですか？
啓介　総額で37億円かな（淡々と）。
——37億円!!　凄すぎる（笑）。
啓介　当時で考えたら凄いお金ですよ、本当に。
——猪木vsアリ戦で、アリのファイトマネーが10億とか20億とかって騒がれていたわけですからね（笑）。
啓介　もちろん、研究費以外にさまざまな諸経費もかかってますよ。たとえばブラジルに専門家や関係者を連れて行くにしても、ブラジルに渡るのにエコノミーで70万円ぐらいかかった時代に、関係者たちはファーストクラスで飛んでいったわけですから。
——すべてにおいてビッグスケールなプロジェクトだったんですね（笑）。それだけの資金が投入されていたから、新日本プロレスの売り上げが流用されてるじゃないかということで、内部クーデターに繋がったわけですよね。
啓介　いや、新日本プロレスそのものからは、お金は一銭も出てないのよ。アントニオ猪木が自宅を手放したりとか、いろんなところから金策したんであってね。ボクに関しても金銭にまつわる変な噂が流れてましたけど、そんな事実は一切ありません。
——みんな疑心暗鬼になっていたわけですか？
啓介　どうなんでしょうねえ。ボクはそれこそ資金繰りに忙しくてね、プロレスを見る余裕もなかったから。
——金策に関しては、お兄さんの快守さんも「九州の事業家に土下座して5億円借りた」らしくて、かなり大変だったみたいですね。
啓介　まあ、快守の兄貴が関わったのは末期の頃ですからね。ボクは最初から関わっていたから、さらに大変でしたよ。やっぱり一番の苦労は資金繰り。理解してくれる方々はほんのわずかでしたから。

発電失敗！　内部を調査すると、重要な金具が外れているのが発覚した。「ボルトでビシッと締めれば、こういうことにはならないですから！」とアントンは言うものの、科学の常識を覆す大発明の金具が、まさか接着剤で付けられていたことに記者陣は戸惑いを隠せなかった。

KEISUKE　INOKI

——画期的な事業であればあるほど、理解を得ることは難しくなってきますからね。
啓介　新間（寿）さんにも駆けずり廻ってもらったし、あんとき関わった人間はみんな厳しい立場に立たされましたねえ（笑）。
——そんな失敗にもめげずに、猪木さんは様々な事業にチャレンジしていくわけですけど。その原動力は何だと思いますか？
啓介　それはブラジル移民時代の生活がアントニオ猪木の基礎になってるんじゃないかと思いますね。我々はブラジルに移民して、コーヒー園で1年半、綿と落花生の栽培で1年半、丸々3年間農作業してるわけですけど。それこそ電気もないところで、靴もなくなり裸足の生活をしてたんです。
——なるほど！　電気もない生活をしていたからこそ、猪木さんがあれだけ永久電機に情熱を注ぐわけですね！
啓介　絶対にブラジル農園時代の影響は強いと思いますよ。いまの日本では想像もつかない生活でしたから。それでも移民したグループの中では、まだいいほうだったと聞いてます。もっと苦労された人たちもいたんですよ。
——逃げ出した移民が農園主に撃ち殺されたケースもあったらしいですね。
啓介　夜中に逃げていった人たちもいましたね。我々がいた農園は、言わば奴隷のシステムになっていましたから。
——奴隷のシステムですか！
啓介　簡単に説明すると、農園はいわゆる部落になっていたというか、ひとつの街になっている。農園主の店がいろいろあって、そこで我々に物を売ってくれて外に行かなくても生活できるようになっていたんですね。で、物を買うときはすべて帳簿に付けられて働いた賃金から引かれるわけですけど。どうしてもお金が残らないようになって

に明かりを灯すことが私の長年の夢だったんですが、それがい**よいよ現実化**してまいりました。先ほど申しあげたとおり**エネルギーの法則にないことが起きちゃった**わけですから、どの**専門家たちに相談したとしても否定される。あり得ないんであれば現物を見てもらうしかありませんね**ということでですね、（同席したT技研所長のK）**先生には無理を言ったというか「とにかく急いで作れ！」**と。ンムフフ！　大変素晴らしいものを一日も早く世に出てもらって、これをこれからいろんな専門分野の人たちの力を借りながらですね、もう一歩進歩させるためにですね、**今日はいろいろ不十分な部分があるんですが**、みなさんに御披露目をしようということになりました。詳しいことについては先生に聞いてくだされればいいと思います。今日は**猪木の異種格闘技戦**においで頂きましてありがとうございました！

2004.3.7
『Girls SHOCK』

るんですよ。

――定価より高く売りつけたりして、どんなに働いても自立できない仕組みになっていたわけですか。

啓介　残らないならまだしも、借金が増えていくシステムになっていた。我々もドンドン借金が増えていきましてね。次に移った農園の方に借金を肩代わりしてもらったから、その農園を抜け出せたんですよ。

――奴隷のシステムから脱出できたわけですね。

啓介　肩代わりしてくれたのは日系の農園主でした。その農園に移って綿をやったんですけど、まったく収穫もできないような大失敗。そのあとに落花生栽培をやって成功したんです。あのころでいうと、サンパウロで家が7、8軒も買えるような成功でした。

――そんな経済的な余裕ができたから、猪木兄弟はスポーツに打ち込むようになったわけですか？

啓介　そうなんですよ。その日系人の農場にいるときに全伯陸上競技大会があったわけです。その大会で快守の兄貴と会長が兄弟揃って優勝したということで新聞にデカデカと載ったんですよ。それをたまたま読んだ力道山が「これは誰なんだ？」ということで会長に目をつけてね。とくに会長は人より背が高かったから、新聞の写真でも目立つわけですよ（笑）。

――そうしてプロレスラーの道が開かれていったわけですね。啓介さんも何かスポーツはやられてたんですか？

啓介　ボクはまだ9、10歳の子供だったんだけど。ウチの兄弟というのは、運動してないとイヤな顔をされるわけですよ（笑）。だから、空手をやったり陸上をやったりね。空手は十何年間やったかな。拓大で空手をやっていたグループが毎週のようにウチにやってきたもんだから、ついついボクもやらなくちゃいけない（笑）。

――つまり、無理矢理にやらされたわけですね（笑）。LYOTOさんの父であり空手家の町田嘉三さんも、猪木一家と同じ時期にブラジルに渡られたらしいですけど。何か接点があったみたいですね。

啓介　LYOTOのお父さんも空手のグループでしたからね。彼は日大の空手部でしたけど、我々とは結びつきはありましたよ。

――町田さんのことは写真でしか見たことはないですけど、強そうな面構えをしてますよね。

啓介　彼は空手の学生チャンピオンにもなったことありますからね。ブラジルに移民した日本人で、彼らのグループだけをNHKがずっとビデオ撮りしていてね。その模様は何度か放映されてます。そのグループには自殺した人とかもいるんだけど、彼は成功者のひとりですよ。

――LYOTOさんを猪木さんに紹介したのは啓介さんになるんですか？

啓介　リオの兄貴（宏育）が空手の師範をやってましてね。「LYOTOを紹介してくれ」ってことで電話が掛かってきたことがきっかけです。凄くいい子ですよ、LYOTOは。

――ボクらはデビューする前から追っかけているんですけど、LYOTOさんの性格はかなり穏やかですよね。

啓介　LYOTOの兄貴、知ってる？

――タケヒコさんとシンゾウさんですよね。シンゾウさんはかなり強いって聞いてますよ。

啓介　アメリカやカナダを含めたパンアメリカンの空手大会では、シンゾウとLYOTOが常に優勝を争っていたんですよ。世界選手権のときでもそうでしたね。

――LYOTOさんも「昔はシンゾウ兄貴に空手でまったく敵わなかった」って言ってましたよ。ただ、シンゾウさんはLYOTOさんより背が小さいんですよね。

啓介　そうなんですよ。シンゾウは顔はいいんですけどね。モテますよ、彼らは。

――啓介さんの若いころはどうだったんですか？

啓介　いやいや、ボクはマジメですか

2月20日、谷隼人が司会を務め、百瀬博教さんスティーブ・セガールもやってきたり、石井元館長が壇上から挨拶させられそうになったという、さすがは一寸先はハプニングなアントンの誕生日会。噂されていた永久電機の発表は、アントンいわく「ここで喋ってしまうと、特許が取りにくくなったりする」ため控えられた。

KEISUKE INOKI

アントン総帥の挨拶に続いて、電機の開発に携わったT技研所長・K先生からシステム説明がなされ、いよいよ電機の起動のスイッチ押されることに。集まった報道陣、国内の企業関係者の視線が電機及び、そこから接続されている電光板に注がれる中、アントン総帥がスイッチオン！　電機からは「グオォオォオォオォオーッ！」と、「磁場の音（アントン）」と呼ばれる起動音がうなりをたてる！　**ところが、電光板は一瞬たりとも点灯せず！**　どよめく会場！　慌ただしく電機の内部を点検する関係者！　原因を調査すると、内部でもっとも重要となる磁石装置にトラブルが発生！　なんと、その磁石を止めている金具が外れてしまっていたのだ。

じつはこの永久電機。午前中に行われた**世界各国の大使らへの御披露目時には発電**していたらしいが、その際、**調整不足**のために金具が外れてしまっており、その金具を**接着剤**で補強して当会見に臨んでいたというのだ。金具が外れているというのに、アントン総帥が**突然、起動スイッチを押すなど無茶なチャレンジ**も実行されたが電光板は点灯するわけがない。突然のアクシデントで、世紀の発明が世紀の茶番に!?　K先生からも**「なぜ永久エネルギーを生み出すのかはわからない。**早稲

WWE『レッスルマニアXX』MSG大会

ら（笑）。

——快守さんや猪木さんもかなり奥手だったらしいですね（笑）。話は戻りますけど、ブラジルの格闘技というと柔術も有名ですよね。啓介さんはやられなかったんですか?

啓介　いや、柔道はやったけど柔術はやらなかった。あの当時の柔術はケンカばかりするガラの悪い連中がやるもので、あまりいいイメージはなかったから。そのうちにグレイシーが出てきたんですけど、彼らは空手や柔道に挑戦したりしてね。あまり品がなかったというか。

——まったく護身術じゃなかったわけですか（笑）。

啓介　そうですねぇ（笑）。ボクはバーリ・トゥードとかもよく見ましたけど、格闘技はそんなに好きでも嫌いでもなかったんだよ。

——プロレスにもそんなに興味はなかったわけですか?

啓介　いや、さすがに兄弟がやってるんだからさ。それに新日本の営業をやっていたわけですから。興味がないとはいえないですよ。

——まあ、そうですよね（笑）。猪木さんのプロレスに対する情熱は、昔と比べてどうでしょうか?

啓介　いや、まったく変わらないよ。口ではいろいろ言ってるけど、それはプロレスを心配してるからであってね。彼は人一倍プロレスを愛していますよ。

——新日本の株を手放すという話も出てますけど……。

啓介　（即座に）そんなことはしないですよ。

——事業に専念することはない、と。

啓介　マスコミが面白おかしく書くようなことは違いますね。皆さん勘違いしちゃいけないのは、アントニオ猪木は決して金儲けをしようとなんて思ってないんですよ。アントン・ハイセルにしてもね、選手が引退したときのための基盤を作ろうと始めたわけです。アントニオ猪木が考えることは常に未知の世界であり、まったく新しい世界なんですよ。

——猪木さんはいつも時代の10歩先を独走してるから、我々凡人に理解できないのも無理はないですよねぇ。

啓介　考えが早いわけだよね。そして何年か前に考えたことが現実化してくる。いまは食肉の問題が世間を騒がれてますけど、アントニオ猪木は〝日本は必ず食料危機が来る〟と言ってたわ

昨年のブラジルに続いて、中国やラスベガスでの『ジャングル・ファイト』開催が予定されている。日本とはすっかり疎遠になっているが、我らがイズマイウにもぜひ活躍してもらいたい。自費渡航して観戦する姿は見たい!

今年の『ジャングル・ファイト』はラスベガスと中国で開催予定です

けですよ。そして、〝ちゃんと食料を供給してくる国はブラジルだよ〟と。そういうひらめきは凄いよねぇ。我々では想像がつかないことを前々からわかっているというか。

——最近では、パラオのサンゴ保護事業にも力を入れてるらしいですね。

啓介　ああ、それはサンゴの養殖だよ。サンゴは減少傾向にあるから、保護しつつ増やそうという計画らしいですね。ボクはサンゴには関わってないから、詳しくはわからないですけど。

——猪木さんは海洋関連の事業にかなり熱心ですよね。パラオのイルカ牧場プランとか、猪木さんがフィリピンによく行かれているのは、熱帯魚事業のためと聞いてますよ。

啓介　いや、サンゴ保護と熱帯魚は同じ事業なんです。フィリピンでは熱帯魚が乱獲されていて、かなり少なくなってるんですね。で、熱帯魚を増やそうにも、熱帯魚はサンゴが吐き出す酸素がないと生きていけない。サンゴは海の酸素装置だから、それを養殖することで熱帯魚や他の海洋生物を守ることになる。地球の酸素需要の問題にも繋がっていくわけですよ。

——さすがは猪木さんの事業です! 壮大かつ意義のあるプロジェクトなんですねぇ……。そして壮大といえば、なんといっても啓介さんが社長に就任された永久電機に尽きるわけですけど。

啓介　（身を乗り出して）あのね、アレはこういうことなんですよ。会長は今日に至るまで、ソーラーであるとかコンデンサーであるとか、いろんなものを手掛けてきたわけですけど。ボクはブラジルと日本を行ったり来たりしてるときに、そういう話（電機）を聞かされたんです。

——世紀の大発明があるぞ、と。

啓介　ウチ（アントン・バイオテック）の工場にはモーター関係の機械を五十

田の教授に相談している」などと衝撃的な告白も飛び出し、大いに記者陣を困惑させたが、それでもアントン総帥の自信はまったく揺るがない!

猪木　午前中は動いていたんですけどねぇ。オレのパワーで動かすか!? ダーッハッハッ! **掃除機と扇風機を同時に動かす予定**だったんですが、オレが急がしてしまったのが悪いね。まあ、いろんな事故というかアクシデントがあるというか。とりあえず、**ボルトをピシッって締めればこういうことになんない。**原因はわかっていますから。みなさんに「ザマアミロ!」って言うはずだったんですが、これじゃ「ザマアミロ!」とは言えないな。ンムフフフ! 一週間か十日ぐらい微調整しまして、できればもう一回御披露目の機会を頂きたいと思います。**それで動かないようだったら終わりだな!（他人事のように）**。まあ、こんなこともあるさ。新しいものが

2004.3.7
『Girls SHOCK』

以上も使ってますからね。電気代がタダになればいいかなという発想から、ボクは興味を持ったわけです。

――電気代をタダにしたい理由が始まりでしたか（笑）。

啓介　それでいろいろ話をしてるうちに、ボクにブラジルでの（電機）販売を任せるという話にもなったりして、最終的には社長になったわけですよ。

――ちなみにI．N．P．（電気会社の名称、Inoki Natural Powerの略）の前社長である宮本さんはどうされたんですか？

啓介　その人は顧問です。もう1人の顧問が猪木会長なんです。

――電機の開発担当者も交代されてると聞いてますけど。

啓介　いろいろ変わってるんですよ。アナタ、一昨年に大失敗した記者会見、知ってます？

――もちろんです！　ボクはあの御披露目会見の現場にいたんですよ。

啓介　ああ、そうでしたか（笑）。現在関わってる専門家は、あの当時開発に携わっていた人とは違うんですよ。

――あの当時はT技研所長のKさんがやられていたんですよね。

啓介　そう、Kさん。いまは木下先生といって、日立製作所の設計部で40年間働いていて、工場長もやられていた方がやっているんです。そのKさんが開発した機械に利用できる、効率の良いモータージェネレーターがないだろうかということで、1年半前に我々のスタッフが探し当てたんですよ。ボクが木下先生に会いに行って「このようなことはできますか？」と訊ねたら、木下先生は「できます」と。

――永久電機は動きますか！　Kさんは2年前の会見で「なぜ動くのかわからない。早稲田大学の教授に相談している」と、衝撃的な告白をしてましたけど（笑）。

啓介　ボクはその方をあんまりよくは知らないんですよ。一度しかお会いしてないですし。世の中に出すときに一番難しいのは、理論的に説明することなんですよ。説明が出来ないと、〝そんなことありえない〟と誰も信用しないですから。そうなると、技術者を（電機の）開発工場に連れて行くことは難しいんですよ。

――開発工場！　着々と事業化が進んでるわけですか！

啓介　現実に完成してるわけですから（キッパリ）。

――うわ～、鳥肌が立ってきましたよ！　2年前は「トルク誘電変換装置」という装置で、磁石の力で電気をつくるとのことでしたけど。基本システムは変わってないわけですか？

啓介　まったく違ったものになりますね。我々は「エナライズ」と呼んでるんですけど。

――名称は「エナライズ」！　今日からそう呼ぶように徹底します！

啓介　我々のモータージェネレーターは凄く効率が良いものですからね。モーターの世界も変わるし、発電器の世界も変わってしまう。発表されたら世界がひっくり返りますよ。

物静かな語り口で、アントン総帥や快守氏に見られる"ラテンの血"をまったく感じさせなかった啓介氏。ビジネスマン然とした風貌である。「エナライズ」が公開されれば、一躍時の人となるのは確実であろう。

電機の名称は「エナライズ」。（公開まで）あと数週間でしょう。

――プロレス業界では、アメリカ大資本の妨害もありえるって噂も流れてますよ。そんな噂がこの業界に流れてるのもおかしな話なんですけど（笑）。

啓介　これが公開されることによって、おかしくなる会社が世界中にあるわけですよ。株が大幅に下がる会社だって出てくるわけです。

――世界経済にも大影響を与えますか！

啓介　だから、あんまり公にできないことが多いんですよ……。

――猪木さんの誕生パーティーで公開を見送ったのも頷ける話なんですね！

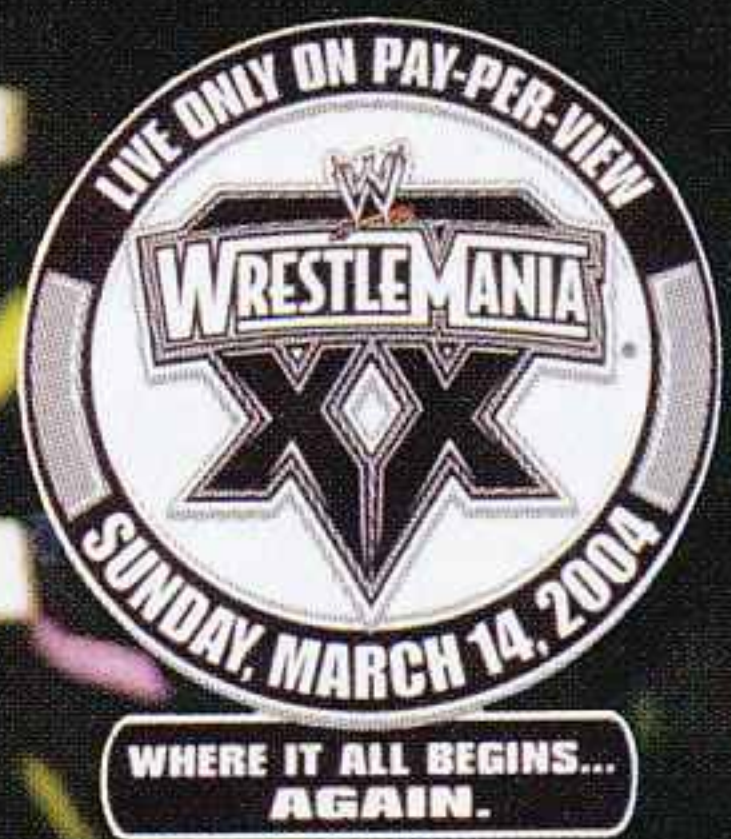
啓介　まあ、何にせよ、あと数週間でしょう。今日も木下先生に会ってきたんですけど、「見せますから」と言ってますから（キッパリ）。

――いやあ、公開を心待ちにしてます！　今日は興味深いお話、ありがとうございました！

【04年3月12日／都内某所にて収録】

できてくるときは。（永久電機の性能は）オレも確認しておりますから、全然心配はしておりません。**データも出てますから**。これは教科書問題にまでね（発展する発明ですから）。**エネルギーの法則というのが全部覆ってしまうんで、大変な反響がこれから起きると思います**。ンムフフフ！

こうして御披露目会見は幕を閉じたが、2年の歳月を経たいま読み返しても、アントン総帥の言葉はスーパーパワフル、すっかり熟成されたワインの如し！　このパワーと執念が実ったのか、永久電機はついに完成、近々公開発表されるという。インタビュー中に啓介氏が発言しているように、世界経済に大影響を与える発明のためか、ここまで秘密主義を貫くということは、裏を返せばすでに事業化の目処もついていることも予想される。世界中がアントン総帥を追いかけ回すのは時間の問題なのだ！

LIVE ONLY ON PAY-PER-VIEW
WRESTLEMANIA XX
SUNDAY, MARCH 14, 2004
WHERE IT ALL BEGINS... AGAIN.

WWE『レッスルマニアXX』MSG大会
今年は現地から徹底リポート!!

止まらない興奮、熱狂的な観客、驚きの連続、
そして感動的なハッピーエンド

レッスルマニアには日本のプロレスが失ったモノのすべてがある!!

構成／坂井ノブ
写真／George Napolitano
designed by matsu（Two Three）

扉の写真といい、この写真といい、ベノワの表情が本当にいい！　エディの笑顔も最高！薬物依存症で死の淵をさまよったエディを励ましたのはベノワの友情だったのだ。

復活したROCK'n'SOCK CONNECTIONは、じつに味わい深いタッグマッチを繰り広げた。ロック様は映画用に体を絞っているのか細く感じた。

とはいえ、ロックvsフレアーの絡みは最高!!　特にフレアーがロック様を寝かせて、フレアーウォークからのピープルズエルボーという最高にシビレる技を披露したのがたまらない。

クルーザー級オープン選手権では、王者チャボ・ゲレロJr.にタジリ、ミステリオ、キッドマンらが挑戦。華麗な空中戦が繰り広げられた。

見てみぃ、この紙吹雪の量!!　いま、写真を見返すだけでも興奮で体が震える本当にハッピーな瞬間だ。ハッピーエンドとはかくあるべし。

Photo:Takeshi Abe

『レッスルマニアXX』翌日の『RAW』でタッグを組んだベノワとHBKが握手！　タイトルを争ったHBKも、ベノワを王者として認めたのだ。

昨年11月の“生き埋めマッチ”で敗れたテイカーが墓堀人キャラで復活!! たいまつの中、「ゴーン、ゴーン」と鐘が鳴り響く旧テーマで入場！

今回、初めてニューヨークまで行き、WWEの熱を直接肌で感じてきた。日本のプロレス会場が失ってしまったものがすべてあった、と言っても過言ではないだろう。

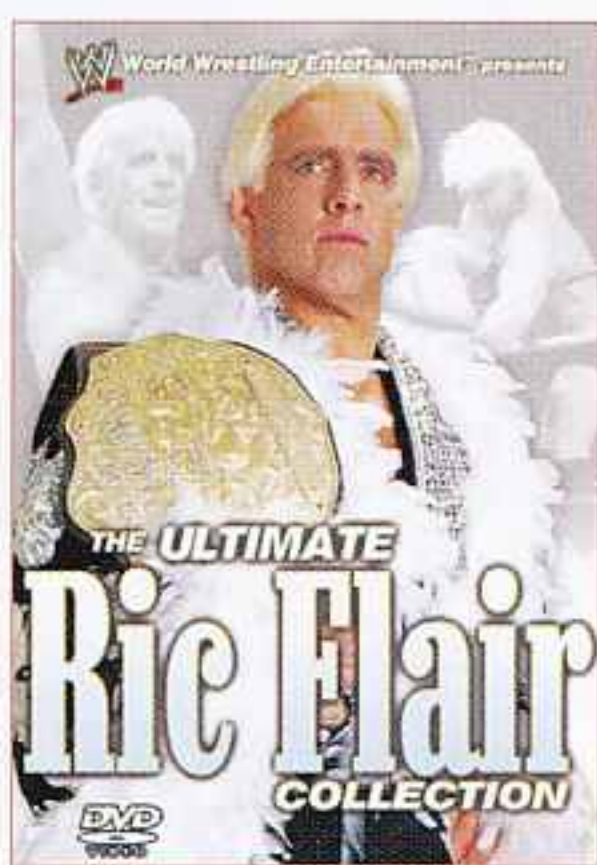
そもそも、試合前の会場内外に渦巻く熱気からして桁違いだった。まずマジソン・スクウェア・ガーデンに近づくと、あちこちから「Ｗｏｏｏｏ!!」「Ｗｈａｔ!?」と絶叫が聞こえてきた。試合開始の2時間以上前からおそるべきテンションで勝手に盛り上がっている。

今年の『レッスルマニアＸＸ』について、レスナーvsゴーバーというビッグネーム同士の試合だけを取り上げて「ブーイングの嵐」と評する向きもあるが、これは大間違い。なぜなら、この日の主役は紛れもなくクリス・ベノワだったからだ。ベノワを語らずに今年のレッスルマニアは語れない。また、レスナーvsゴーバーも“吊るし上げ”マッチという意味では大成功を収めていると言えるだろう。どんなスター選手だろうとファンは厳しい目でジャッジするのだ。こういったレスラーとファンの関係も日本のプロレス界には見受けられない。

メインイベント、世界ヘビー級選手権をかけたトリプルスレット・マッチでベノワはトリプルＨと“ＨＢＫ”ショーン・マイケルズと激突した。他の2人比べてしまうと、ベノワの知名度は確かに弱いかもしれない。だが、現在のＷＷＥで誰よりも高いクオリティの試合を高打率でしているのはベノワである。そのベノワがトリプルＨからタップを奪って勝利した瞬間、場内は一斉に爆発してベノワを祝福した。尋常ではない量の紙吹雪が舞い、カート・アングルからＷＷＥヘビー級王座を防衛したばかりの盟友エディ・ゲレロがリングに駆けつける。90年代前半の新日本プロレスで、それぞれペガサス・キッド、ブラック・タイガーとして“ジュ

必見！必見！必見！ 今月も最新DVDを各1名プレゼント！

『レッスルマニアXX』でロック様の必殺技ピープルズ・エルボーをパクったリック・フレアー。翌日の『RAW』ではエボリューション（トリプルHを除く）の面々と共にベノワ&HBKに挑んだのだが、ここでもベノワのチョップでフラフラと歩き、バタンと倒れるおなじみのムーブを披露して観客は大爆発していた。そんなわけで、キャリア30年の中でフレアーが築き上げてきた名勝負（ハーリー・レイス、リッキー・スティムボート、スティングなど）をDVD3枚組、約10時間に渡って収録した究極のフレアー・クロニクル超大作を大放出！　インタビューや様々な貴重な映像も収録してます。おなじみのフレアー・ムーブを思う存分堪能できるぞ！　間違いなく家宝級の逸品であると断言できます。DVDのみの販売となるので要注意。もう一本は昨年12月に行われたPPV大会『アルマゲドン』だ。『RAW』ブランドの死闘が満載！　どちらも絶賛発売中！

提供■ユークス

『リック・フレアー アルティメット・コレクション』（DVD3枚組み¥7800／本編337分　特典247分）偉大なる男の偉大なるDVD！　フレアームーブに震えろ!!

『アルマゲドン2003』（DVD¥3800　VHS¥5800／本編156分　DVD特典33分）トリプルHvsケインvsゴーバーのタイトルマッチは必見！

※このページのプレゼント応募方法はP143を参照!!

アメリカ取材日記

by坂井ノブ

3.14 16:55（日本時間）

成田空港よりユナイテッド航空でNYのJFK空港へ。機内で日本未公開のザ・ロック主演第2弾『RUN DOWN』を鑑賞（字幕なし）。南米のジャングルでクンフーの使い手と闘うロック様に燃える。ロック様のプロモーション映像のような痺れる映画だった。エンドロールには「EXSECTIVE PRODUCER」として「VINCE McMAHON」のクレジットがあった。

3.14 16:30（アメリカ東海岸時間）

ホテルに着くなりすぐに会場のMSGへ。ツアーで参加していたライターの阿部タケシ氏より「すごい人ですよ!! 入場規制がかかるかも」と聞き急いで会場前へ。世界各国から世界最大のプロレスの祭典に巡礼する人々でごった返していた。

3.15 17:00

近畿日本ツーリスト・永崎さんのご好意により観戦ツアーのバスに乗せていただき、ニュージャージー州コンチネンタル・エアライン・アリーナで行われる『RAW』へ。いつも『紙プロ』へ写真を提供してくれる大御所カメラマンのジョージ・ナポリターノさんよりチケットを2枚譲り受ける。ちなみに、この会場内でナポリターノさんとはこの会場で初めてお会いしたのだが、「おお、よく来たなぁ」と歓迎してくれた次の瞬間、「明日、俺の友達がストリップ・バーをオープンするからお前も来ないか？」。温かくも男らしい心遣いに感激。しかも、もらったチケットはプレス用の席で横にはなんとトム・プリチャードが座ってるではないか!!その横にはクリス・キャンディード（あのサニーちゃんの元旦那）もいる!!写真を撮らせてもらおうと近づくがTVのケーブルにつまづいてしまう。「おいおい、大事なケーブルなんだから気をつけてくれよ」とプリチャードに怒られたものの、気さくに写真を撮らせてくれた。ちなみに、プリチャードはストーンコールドのテーマ曲に併せて机をガンガン叩いてノリノリ。フレアーのおなじみのムーブには腹を抱えて大笑いしてました。

3.16 2:00

某国民的写真週刊誌の編集次長であるペイントマンと、あのJBエンジェルス・山崎五紀さんの旦那さんが経営する日本料理屋「GO」で合流。ここで『週プロ』で活躍中のフリーカメラマンのケイジ中山さんに遭遇、いきなりインタビューを敢行した。ほとんど表舞台に出てくることのなかった大物海外通信員の知られざる大仕事やプロレス観に激しく感銘を受ける。このインタビューは次号で大々的に掲載予定!! 乞うご期待!!

試合的には大して盛り上がらないものの、『PLAY BOYイブニングガウンマッチ』は急遽、ランジェリーマッチに変更!! そのフィニッシュ・シーンがこれだ!! 下着の下にTバックは反則だ、という声も。

ビクトリアとモーリーの髪切りマッチは、負けたモーリーが花道に設置された即席バーバーで丸刈りに!! 次のエディvsカートの入場の最中もギャーギャー言いながら刈られていた。

第1試合は大人気のシナがラップで観客を煽ってからビッグ・ショーと対戦。巨体を持ち上げ、必殺技FUで叩きつけて完勝。滑り出しから最高に盛り上がった。

Photo:Nobu Sakai

試合開始前のセレモニーはハーレムの少年合唱団による『America the beati-ful』。これで観客もひとつにまとまって大合唱、ムードは最高潮に！

ニアの時代〟を築いた2人はリング上でガッチリと抱擁した。2月のツアーで現在の新日本の映像を見たWWEの某エージェントは頭を抱えたという話もある。時代は変わった。日本のプロレス界が失ったものは、とてつもなく大きい。

WWEではブロック・レスナーとゴールドバーグの退団で〝怪物の時代〟が終わりを告げ、リング上のクオリティに重きを置いた〝達人の時代〟が幕を開けた。ビンスは翌日の『RAW』で「新しい『RAW』、新しい『SMACKDOWN!』、新しいWWEを我々が創る!!」と高らかに宣言!! 今までのWWEが築いてきたものをぶち壊すという意思表示だろうか、ディーバ同士のかったるい試合の最中に乱入して、一切の説明なしに「新しいWWE」に向けての演説をぶった。観客もそれに熱い声援を送り、新路線を歓迎した。

過去20年間、ビンスは『レッスルマニア』を通じてプロレスの概念を破壊し続けてきた。だが、20回目にしてWWEは『レッスルマニア』のロゴ（P65参照）に、こんな決意表明を入れている。「WHERE IT ALL BEGINS…AGAIN」。そう、もう一度、すべてはここから始まるのだ！ この確固たる信念こそ、いまの日本のプロレス界に最も足りないものだろう。

（文・坂井ノブ）

※このページのプレゼント応募方法はP143を参照!!

ネタバレ通信 Vol.13

毎度おなじみの裏ネタ密売座談会、今回は初のアメリカ収録!

レッスルマニアを最後にレスナーがWWE退団!

叙似位　レスナーの退団はビックリしましたねぇ。すでに先月のこのページでレスナーが不満を持ってるってネタは書いてたんですけど。

何時男　まさか、こんな急展開になるとは思いませんでしたね。

叙似位　どうやらNFLのミネソタ・バイキングス入団が有力視されてるみたいです。

何時男　普通、NFLで活躍した後でWWEに入るんですけど(笑)。

叙似位　ローレンス・テイラーとか、他にもいましたよね。

何時男　スポーツ・エンターテインメントの世界じゃなくて、スポーツの世界で自分を証明したいってことなんですか?

叙似位　ゴールドバーグも契約満了で退団するみたいですね。

何時男　何か揉めたんですか?

叙似位　ゴーバーの場合は単純に契約を更改しなかっただけ、という話ですよ。もともと1年契約ですから。でも、あんな終わり方をよく飲みましたよね(笑)。

派乱暴　また戻ってくる可能性はあるんじゃないんですか?

叙似位　これから先に再契約があるかもしれないですけど当面はアメリカでの俳優業と日本での『ハッスル』出場に専念するみたいですよ。まあ、ゴーバーに関しては『レッスルマニア』での離脱は決まってたからいいと思うんですけど、レスナーの離脱は急でしたからね。脚本を書き換えるのが大変だったと思いますよ。あと、ショックだったのはクリス・キャニオンが『レッスルマニアXX』後にリングの撤収をやってたことですよ!

何時男　それは切ない!

叙似位　WWE日本ツアーの時のえべっさんかと思いましたよ(笑)。

何時男　えべっさんは素顔で撤収やってたからファンは分からないですけどねぇ……。

叙似位　関係ないですけど、『レッスルマニアXX』でカートvsエディの試合が行われてる最中にキング(ジェリー・ローラー)が居眠りしてましたね。局地的に「キング」コールが起こってました(笑)。

何時男　もうお年寄りなんだからそっとしといてあげましょうよ!(笑)。

自家用飛行機を購入したという噂もあるレスナー、トレーニング時間不足のストレスはそこまで大きかったのか？　両者のWWE離脱をすでに知っていたファンは壮絶なブーイングでレスナーとゴーバーをなじり倒し、試合後ストーンコールドが両者にスタナーを見舞うと大歓声が起こった。

ROHに児童ポルノスキャンダル発生!?

叙似位　スキャンダラスな話題も多かった今年の『レッスルマニアXX』ですけど、その前日にとんでもないスキャンダルがあったんですよ。ROHの代表が児童ポルノ法違反で逮捕されちゃったんです。

派乱暴　ええ〜っ!?(笑)。

叙似位　もともとROHは母体がビデオ会社だったんですよね。『レッスルマニアXX』前日にニュージャージーでROHが大会を行ったんですけど、そんな状態でも、会場は超満員でしたよ。

派乱暴　「これで最後だ!」と思ってファンが詰め掛けたんですか?

叙似位　「どうなっちゃうんだろう?」って好奇心だけで集まった人とか、いろいろだと思いますけどね(笑)。でも、5〜6月の興行予定もアナウンスされて団体としては存続していくみたいなんで一安心です。

何時男　内容的には「01U$A」みたいなんですか?

叙似位　いやいや全然違いましたよ。もっとクレイジーでしたね。ほぼ全試合で「Holy shit!」(超スゲェ!)コールが起きてましたから。メインのフィニッシュなんて金網最上段から二段に重ねた机の上にドリル・ア・ホール・パイルドライバーでしたからね!

派乱暴　ツームストンじゃなくて?

叙似位　もう、机をバリバリ突き破ってマットに突き刺さってました

ペイントマン・ハズ・カムバック・トゥ・紙プロ!

かつて93年にアントニオ猪木スキャンダル記事を仕掛け、現在では国民的写真週刊誌『FRIDAY』の編集次長という管理職にありながら凄まじいテンションでWWEを追っかける男の中の男・仙波久幸氏。2月のWWE日本大会の打ち上げでもジェリコに顔面ペイントを食らい、「ペイントマン」としても絶賛活動中の仙波氏が、この度『レッスルマニアXX』が開催されたNYで"ロックの追っかけ世界一"の座を不動のものとした。世界を制した追っかけの妙味を味わいやがれ!

●『レッスルマニア』前日は、殿堂入りのパーティーがあったんだけど、僕はそこには行かずにダラダラと出待ちをしてたわけですよ。今回も事前に情報を入手して選手が泊まってるホテルにわざわざ泊まったからね。そしたら、「ロックが来たぞ〜」って声が聞こえるわけ。正直、その時はまだ追っかけ気分にはなってなかったんだけど、同行した人に「NYまで来といて追っかけないでどうするの?」って言われてねぇ。警備網をかいくぐってリムジンに乗り込んだロックに向かって、2002年5月に『スコーピオンキング』のプロモーションで来日した時に撮った2ショット写真を掲げてたのよ(A)。そしたら、リムジンの窓がサーッと開いて、ロックが僕だけに「JUST BRING IT!」のポーズを決めてくれるわけ。それで慌ててサインをもらったんだけど、マジックの準備が出来てなかったからインクの出が悪くて、サインが2回もしてあるのよ(笑)。

そこはそれで終わったんだけど、同行した人が「NYは渋滞が多いからリムジンを追いかければサインもらえるよ」って言うから、ここ数年で一番の全力疾走! それで、マンハッタンをずっと全力疾走で追いかけてたら本当に追いついちゃったのよ(笑)。先回りしてリムジンの窓をトントンって叩いてる外人のワンフー(=ファン)もいたけど、そういうのに対してはサインしてなかったから。そいつらが諦めて帰った後に僕がトントンってやったら、ロックは周りに他のファンがいないのを確認してから窓を開けてくれたわけですよ! それで

「♪アメ～リカ、アメ～リカ」と『レッスルマニアXX』開始前の「America the beatiful」が思わず口から出てくる今日この頃。『紙プロ』読者の皆さんはいかがお過ごしでしょうか？　我々、裏ネタ密売ブローカーのF.B.I.は全員が現地で『レッスルマニア20』と『RAW』を観戦！　取れたての産地直送裏ネタを現地NYで料理してきました。今回もネタバレOKな人だけ、必読！

■F.B.I.とは「踏み込んだところまで・バラしちゃって・いいかな？（いいとも－）」の略。何時男（なんじお）はプロレス業界の末端に潜伏中、叙似位（じょにー）は桁外れのパワーで圧倒的な情報量を誇り、派乱暴（ぱらんぼ）は裏方さんとしてWWEに携わる、WWEとアメリカンプロレスを愛してやまないズッコケ3人組だ。

から！　それと、ROHの会場にオックス・ベーカーとダスティ・ローデスが来てサイン会をやってたんですね。僕も並んでたんですけど、記念撮影やってるうちにオックス・ベーカーがどんどんヒートアップし始めて、僕の前の人なんか首を絞められてるんですよ（笑）。

派乱暴　素晴らしい（笑）。

叙似位　それで僕の番になったら、いきなりスリーパーホールドで絞められて、髪の毛に噛みつくんですよ！　10本ぐらい毛を引きちぎられて、恥ずかしいやら、痛いやら、嬉しいやらで大変でしたよ（笑）。

何時男　それはうらやましい！

叙似位　そんな調子で記念撮影してたら、オックス・ベーカーは試合開始の直前にローデスのサイン・ブースを急襲して、ムチャクチャにしちゃったんですけど（笑）。

何時男　ハハハハハ！　元気だなぁ。

叙似位　そのまま殴りあいながらリングまで移動してましたよ！

何時男　鶴見青果市場だ（笑）。

叙似位　さすがに「ジャスコ」コールは起きなかったですよ（笑）。観客も騒然でしたよ、「一体何が起こったんだ!?」って。メインの後にも2人で出てきて殴り合ってました。

派乱暴　その翌日、なぜか僕は世界中からWWEのライセンシーを集めた昼食会に出てきたんですよ。

何時男　おお、それは凄い！

派乱暴　『レッスルマニアXX』当日に行われたんですけど、主催がビンスのすぐ下のライセンシー担当の偉い人とリンダ・マクマホンだったんですよ。

叙似位　リンダが昼食を振る舞ってくれるんですか!?

何時男　リンダが「ちょっとごはん食べに来ない？」と（笑）。

叙似位　藤波かおり夫人ばりにお誘いするわけですね？

派乱暴　そこにサプライズでカート・アングルとジョン・シナとトーリーが来てサイン＆握手会があったんです。

何時男　なぜライセンシーを集めてサイン会をやってんだ!?（笑）。

派乱暴　さあ？（笑）。もうちょっとかしこまった感じの会議かと思ったら、海外のライセンシーは自分の家族まで連れてきてましたからね。アットホームなノリのパーティーでしたよ。でも、嫌だったなぁ。1人でサインを10回ぐらいもらってる日本人がいて、カートとかあからさまに嫌な顔してましたからね。日本人の評判ってこういうところで悪くなっちゃうんだなぁと思いましたよ。

何時男　カートはヒールターンしたから、印象が悪いとか？

派乱暴　あれは絶対に素でしたよ。

叙似位　カートも「ちょっとごはん食べに来ない？」って誘われたのかもしれないですよ（笑）。

派乱暴　いざ来て見たらサイン会やらされて……。

叙似位　「こんな会社やめてやる！」とか言ってるかも（笑）。

何時男　リンダとは接触したんですか？

叙似位　ええ、肩を組んで2ショットで写真を撮りましたよ。「一緒に写真を撮らない？」なんて声をかけてくれるから……。

何時男＆叙似位　うらやましい！

【3月某日、NYCコリアンタウンの焼肉屋にて収録】

『紙プロ』特派員ナンシーが掴んだアメプロの噂の噂

噂FILE

●デブラ、eBayで指輪を売る!
ストーンコールド・スティーブ・オースチンの元妻デブラが、インターネットオークションサイト「eBay」で、結婚指輪を出品！　入札開始価格は20,000USドル（約220万円）で、収益は「SafePlace」というDV（家庭内暴力）に反対する非営利団体に寄付されるという。

●トリプルH、ジェリコ、ゲレロも銀幕進出?
映画「ブレイド：トリニティ」を製作するニューラインシネマは“俳優”トリプルHの仕事振りを高評価しており、他の映画へのオファーも増えているという。トリプルHの好演技のおかげで、映画でWWEスターを映画に起用しよう動きが見えてきている。「フレディーvsジェイソン」の続編に、クリス・ジェリコがキャスティングされる予定。さらには、エディ・ゲレロも、何らかの映画に使いたいという話もあるらしい。WWEのチャンピオンが、映画ファンをも魅了してしまうのか!?

●エッジの激シブな近況
どうやら『RAW』入りが濃厚のエッジ。『レッスルマニアXX』後にトップのベビーフェイスという役割が与えられるとのこと。首と足の怪我で戦線離脱していたが、4月までには復帰する予定だ。

●去るものに同情なし!
ブロック・レスナーの退団に関して、他のレスラーの反応は「いい厄介払いだ！」「ココの良さが分かれば、すぐ戻ってくるだろう。」と、いたって冷静。しかも、セイブルと付き合って、家庭内不和が起こっているとの噂もある。

●WCWブランド復活か?
バックステージの噂によると、ビンス・マクマホンはもう一度WCWというブランド名を復活させようと考えているらしい。とはいえ、一度失敗したブランドを再び持ち出すとは思えないが、果たして？

●トーリーとセイブルって……
プレイボーイのカバーを飾ったトーリーとセイブルだが、写真で見るほどバックステージでは仲が良くない様子。この2人のブロンド美女は、バックステージで叫んだりなじり合ったりしていたとか。

●トリッシュのヒール転向には……
トリッシュ・ストラタスのヒール転向は、トリッシュ自身がWWEマネージメント部門に嘆願したらしい。当初WWEは危惧していたが、考えを変えヒール転向を認めたようだ。

ステイシーがまとも（かどうかは、判断が分かれるが）にプロレスやってる姿は珍しいので掲載。下着姿になると異常なまでのスタイルの良さが際立ちます。

「OH、ペイントマン！」って言ってくれて、『FRIDAY』にも掲載したマスカラスの2SHOTにサインしてくれたわけ（B）。今度はマジックもスタンバイOKだったから、ちゃんとしたサインをくれたんだよ。しかも「TO PAINTMAN」とまで書いてくれて（笑）。この「YOU なんとか」って書いてあるのはどんな意味か分からないんだけど、他のワンフーには殴り書きみたいなサインしかしてなかったからね（自慢げ）。

そしたら、急に信号が青になってリムジンが発進しちゃったの。ロックは写真を持ったままだったから、「わ～っ、待ってくれ～！」って今度は5番街から6番街まで汗だくで全力疾走ですよ(笑)。ようやく追いついて「やあ、悪かったね」ってロックから写真を返してもらって、「フォト、プリーズ！」ってお願いしたら「後でね」って言ってくれたんだよ。

それでホテルで帰り待ちしてたら、1時間半ぐらいしたらロックが帰ってきたわけ。ワンフーが150人ぐらいいるしガードマンもついてるから無理かなと思ったんだけど、一緒にいたホーガン・チルドレンのYOSSY佐藤君（本誌62号参照）が「NYまで来たんだから2SHOTを撮らないと」って背中を押してくれたんだよ。意を決してロックの進路に仁王立ちしたら「OH、ペイントマン！　OK！」って、そこでも僕だけに2SHOTを撮ってくれたんだよね（C）。しかもわざわざ進行方向とは逆を向いてくれてね、時間にしたら2秒ぐらいなんだけど（しみじみ）。

ロックはしばらく俳優に専念するみたいだけど、今度もし映画のプロモーションで来日する機会があれば、是非『FRIDAY』で取材したいよね。そこで初めてペイントマンの正体をロックに明かせたら最高だよなぁ（うっとり）。【談】

ビンス・マクマホンをあらゆる角度から徹底検証する新連載第2回

ビンス・マクマホンの KISS MY ASS CLUB Vol.2

我々はいまこそビンス・マクマホンのケツにキスをしなければならない!

ビンスは叫んだ!「KISS MY ASS!」と……

２００１年11月、ＷＷＥのリング上に一人の悪魔が立っていた。その名はビンス・マクマホン！　ＷＷＥ対アライアンス（ＷＣＷ＆ＥＣＷ連合軍）の抗争に終止符を打ったビンスは、ＷＷＥを裏切ったアライアンスの粛清を宣言！「ケツにキスする会」（＝ＫＩＳＳ　ＭＹ　ＡＳＳ　ＣＬＵＢ）の結成を高らかに宣言すると、アライアンスに寝返ったウィリアム・リーガルにケツ（ちなみに生尻）を突きつけキスを強要した。この他にもＪＲが犠牲者になる。トリッシュもケツ・キスの毒牙に襲われかけたがロック様が救出！　最後はビンスが、リキシのケツにキスをするというオチで幕を閉じた。買収したＷＣＷをＷＷＥ内でのヒールに仕立て上げ、アングルが終わると共に「キス・マイ・アス！」と叫ぶ、ぁの瞬間のビンスは最強のビジネスマンであり最高のヒールだったといえる。

3月はWWEのカレンダーの中でもいちばん大事な月。年間を通じて最大のイベント『レッスルマニア』が行われるからだ。過去数年、試合に出て自ら身体を張って『レッスルマニア』を盛り上げてきたビンスだが、20回記念の今年は試合に出場せず。それどころか、極悪オーナーキャラすらも捨てて、MSGの観客に向けて「Thank you for making WRESTLEMANIA!! Thank you for making WWE!!」とスピーチ。そして、翌日の『RAW』では早速、両ブランドの再編に着手。手際のよさ、決断のスピード、やはり最高でした。今月もそんなビンスに肉薄します！

ビンス・マクマホン
徹底論評
第2回

レッスルマニア開催にあたり ビンスは何を考えたのか？

文／長谷川博一

ビンビンビンビン！
　津軽三味線のバチさばきをイントロにして「ＫＩＳＳ ＭＹ ＡＳＳ ＣＬＵＢ」（山田詠美ふうに言えば「ひざまずいて尻をお舐め」？）第二回を始めることにしたい。日本に吉田兄弟がいるならばＮＹにはバシャム兄弟がいる。関係ないが。

　ＷＷＥ年に一度の大イベントといえば「レッスルマニア」。その第20回大会がＭＳＧで行われたばかり。現地で一部始終を目撃した阿部特派員（９万円の席を購入）＆坂井特派員（ダフ屋に４００ドル払い入場）の話を聞くと、会場はドッカンドッカンの連続。セレブな芸能人の出演もなく、自力の配役で臨んだ今回の第20回は、団体の地力を存分に発揮したものとなった。

　レッスルマニアが始まったのは85年３月。84年、シンディ・ローパーとルー・アルバーノのマネジャー抗争がＭＴＶでもオンエアされ、団体の知名度がプロレス村を越えて全国区に。ビンス企画のレスラーによる初のトークショー番組「チューズデイ・ナイト・タイタンズ」も好評。「レッスルマニア」直後の85年５月からはいよいよケーブル局ではなく全国ネットのＮＢＣにて「サタデーナイト・メインイベント」放送が開始。そうした一連のＴＶ戦略が、いずれも上げ潮の時期だった。イベントを思いついたきっかけをビンスは、こう語る。

「あれはリンダと休暇中のことだった。アメリカじゃないぞ、カリブ海だぞ。太陽の下で泳ぎ、愛を交わし、食事とお喋り。しかしそんなもの、私は10分で飽きてしまった。私はビーチを歩きながら、さらなるビジネスプランを考えた。フットボールの世界には『スーパーボウル』という大イベントがあるのに、レスリングにはない。1年間の始まり・もしくは集大成としての『スーパーボウル』級のイベントをやってみよう。そう思ったのだ」

　そのキャッチーなネーミングはリングアナのハワード・フィンケル（日本ツアーでもお馴染み）が思いついたものとか。一回目の「レッスルマニア」は当時、マット界史上最高の総計４００万ドルの収益を上げた。しかし今年の収益も半端じゃない。チケット収入だけでも２４０万ドルの売上げ。ＭＳＧ史上、最高を記録（チケット代も高額だが）。45・95ドルと高めの設定のＰＰＶも過去最高の世帯数を獲得したらしい。全世界16カ国のファンを会場に集め、当夜の模様は全世界90カ国でオンエアされることが決まっている。

　ブロック・レスナーの脱退は新世代のスーパースターを急いで輩出したい団体にとっては痛手のはずだが、ピンチをチャンスに変えるのがビンスのお家芸。雨降って地固まるというか、機を見るにビンス。早速始まるだろう諸々のテコ入れ策を、楽しみにしたい。転ぶ時にはバンプを取り（ダメージを最小限に押さえ）、起きる時はただでは済まないのがレスリングビジネス。

　ビンビン。逆境に強いビンス。その実例を、いくつか挙げておきたい。ビンスが父シニアから米メイン州バンカーという町のテリトリーを任されたのは73年。ある日、シニアはＴＶ放送が始まる何と20分前にリングアナを解雇してしまった。「どうするんだ⁉」と息子が聞くと父はしばし考え、命令した。「お前がやれ！」

　心構えもレッスンも何もなく、20分後にビンスはアナウンサーを務めた。しかし以来20年近く、ショウの実況はプロモーター業に続く、彼の第二の得意技となってしまった。力業にも程がある。

　映画『シャドウズ・オブ・ザ・レスリング』にも詳しい、ブレット・ハートＶＳショーン・マイケルズ戦が行われたのは97年の11月。ブレットはビンスの企んだスクリュー劇の餌食となり、王座を奪われた。ビンスへの非難が集中する。しかし舞台裏の葛藤が格好の記事ネタとなり、ファンがシナリオの成否に興味を示していることを知り、彼は閃く。大衆が怒りを露わにできる黒幕的存在を生めばいいのだ……。やがて、経営者としての評判とは別のビンス＝政治力を行使する大ヒール〝ミスター・マクマホン〟が誕生する。彼の好敵手はストーンコールド。両者の抗争は大評判となり、いよいよ２人が対戦という98年４月の『ＲＡＷ』放送で、ＷＷＥは83週続けて視聴率で敗退していたＷＣＷの『マンデー・ナイトロ』をようやく抜いた。カムバックの大立て役者はリングに上がるマクマホン本人。ブレットをスクリューした夜、ビンスはブレットに放送席でツバをかけられ、控え室で右こめかみを殴られている。しかし、その傷以上のビジネス的勝利を自力で手に入れたわけだ。こんな所が機を見るにビンス。突然だが、日本語の世界なら〝あい〟から始まる。美しい。しかし英語はＡＢから始まる。アブノーマルが当たり前なのである。

　最近の記者会見でのビンスの言葉。

「経営者が独断的ではいけない。繊細な感受性が必要で、まず初めに観客の気持ちを優先して事を運ばねばならない。我が社は人々と共に前進するのだ。幸い私の周りには家族だけでなく、間違った時には諭してくれるスタッフがいる。この会社が私そのものと思われている傾向があるが、私が今夜バスに轢かれたとしても何の問題も起こらないだろう。」

　衝突するのが自家用車でなくバス、と仮定するのがビンスのスケール感ではないか、と思うのである。身長１９０cm。体重１１３kg。体のデカさは武藤敬司並み。しかもグレープフルーツ並みの睾丸を持つ男（自称）。ビンスの大がかりな方向転換は、即ちスタントマンのいないアクション・アドベンチャー＝ＷＷＥの未来像を示唆するものになるだろう。ビンビン。

（了）

Photo:Takeshi Abe

ビンス・マクマホン目撃証言集

私は見た!!

ZERO-ONEと『ハッスル』のリングに元WWEスーパースターであるゴールダスト改めダスティ・ローデスJr.が登場した。つい最近までビンスとビジネスをしてきた現役レスラーに、体験談を聞いてみた。読まないとカ、カ、カ、感電しますよ、ホ、ホ、ホ、ホントに。

文／長谷川博一

今月の目撃者

ゴールダストとして活躍した
ダスティ・ローデスJr.

1964年4月11日、アメリカ・テキサス州オースチン出身。ご存知のとおり、往年の名レスラー“アメリカンドリーム”ダスティ・ローデスの息子。95年にゴールダストとしてWWEに初登場して以来、2003年までWWE（とWCW）で活躍した。現在はご覧のようなペイントをしてリングに登場している。

――「RAW」で毎週紹介されてた貴方の健康状態を心配していました（笑）。今、感電の具合はどうなんです？

「ナ、ナ、ナ、何んてことはないさ（と感電口調で）。しかし君、ゴールダストはもうこの世にいないんだよ…」

――が、が、合掌です。90年～、95年～、01年～。貴方は計3回、WWEのリングに上がっていますね。初めて会った時と今ではビンス・マクマホンへの印象は変わりましたか。

「初めて上がった時は確か父親のダスティ・ローデスと親子タッグを組んだっけ。あの頃のビンスは雲の上の存在。俺もとにかく仕事が欲しいグリーンボーイ。必死に試合をしたよ。印象が変わったかと聞かれたら、イエス。段々、息子や娘にビジネスを任せる部分が増えていくだろう。あそこはパワフルでハングリーな家庭だからね。何というか、ポリティカルなゲームが渦巻いてるんだよ。時には愚かなゲームなんだけど、一緒に遊んであげないと自分がスポイルされちゃうからね。ビンスの下で働くのは凄くハードなことだ」

――愚かなゲームの一例を教えて下さい。

「試合でヒジを怪我しちゃってね。2、3週間休んでた。医者はしばらく試合に出ちゃダメだ、と言うんだけど団体が待ってくれない。彼らは自分達のストーリーを進めていきたいからね。無理矢理、試合に出たら再び悪化して、今度は医者は“もう6週間休め”と言ってきた。その時点で彼らは俺をクビにしたんだよ。あそこには、たくさんのクリエイティブな作家チームがいる。俺が試合に出られなくなったら“お前が自分で何かストーリーを考えろ”って言ってきた。それは奴らの仕事で、何でこっちが考えなきゃダメなんだ、なんて憤慨したこともある」

――感電中のギャグというのは、つまり怪我の最中だった？

「イエス（笑）。ブッカーTとは上手くやってたし、俺はあれは楽しんだけどね。最初、あのスキットは一回きりだった。でも余りにもブッカーとといい感じだったんで、続いていった。やればやるほど面白くなっていったし、当時、俺ができるベストのことだった」

――今、アメリカではWWEが唯一のメジャー団体。それはレスラーにとっていいことですか、問題ですか。

「やっぱり競争が必要だと思う。TNAはレギュラーのTVを持たずPPVだけで頑張ろうとしてるけど、後はインディー団体だけで何もない。ビンスと親交を結ばなければすることがないという現状が、いいはずはないさ。だからこうして日本に来られて嬉しいよ」

――名前をダスティ・ローデスJr.に戻し、新たなテキサス・ローンスターのペインティングでの試合は今日で2日目（3／5取材）とか。日本のマットはどうです。

「こっちの方がイージーだし、楽しいよ。WWEサックス！」

――WWEサックス！　その言葉、頂きます。こんな風に成功を収めてスーパースターと呼ばれるようになった貴方を、日本のファンは初めて見るわけです。どんなファイトを見せてくれますか。

「かつてはダスティの息子でいることはプレッシャーがあったけど、今はもう時代が変わったろ。新しい時代の俺のファイトを見せたい。エルボー中心のファイトは親父に任せるよ。ゴールダストのムーブも自然に出るかもしれないし、子供達はペインティングが好きに違いないし」

――最後の質問です。マクマホン家には4人の家族がいますね。ビンス、リンダ、シェーン、ステファニー。

「それからハンター。トリプルHもいる」

――あ、ハンターも家族に入りますか。その5人の誕生日を貴方が知っていたとして、プレゼントを贈りたくなる人はいますか。

「誰もいない。誰にも何にも贈らない！」

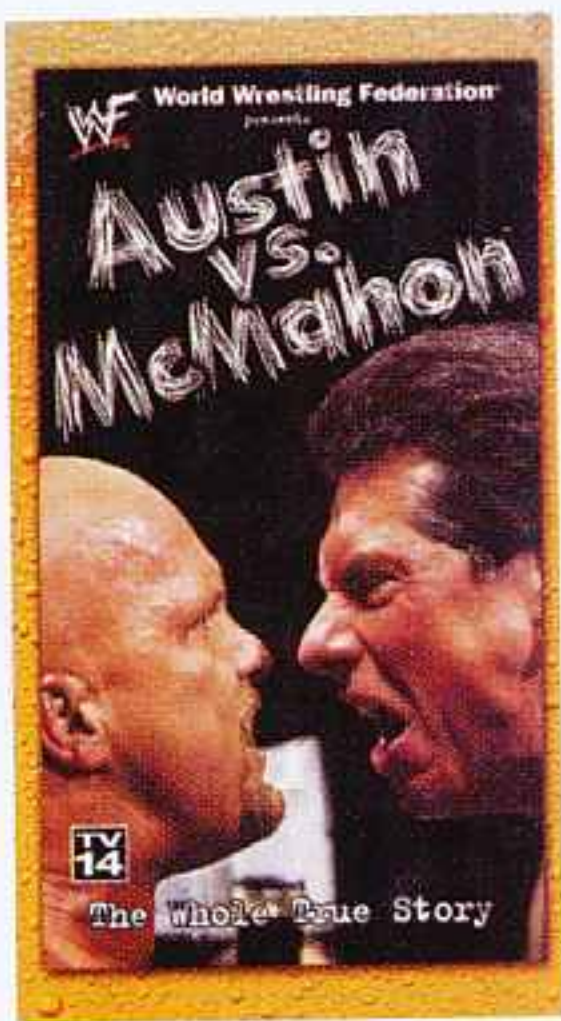
――即答が返りました（笑）。でもヒジが完治して、ビンスに“もう一回戻ってきてくれ”と頼まれたらどうします。考えてみる？

「イエス。ギャラをたくさん払ってくれるならね」

――アメリカ人だなあ（笑）。

（了）

ビンスの下にはポリティカルなゲームが渦巻いてる！

昨年1月にはWWE『RAW』ツアーでゴールダストとして来日、日本のファンを魅了した。

プロレス史を塗り替えた“大悪党ビンス”の誕生!!

Vince Archives

ストーンコールド自身はずっと否定していたが、『レッスルマニアXX』のリングでストーンコールドvsビンスの試合が行われるのではないか、という噂があった。ここ最近のWWEの隆盛を築いた抗争で、20世紀最後のドル箱カードとも言えるだろう。結局、ビンスは試合に出ず、ストーンコールドはレスナーvsゴーバーのレフェリーのみだった。もう一度、この2人が闘う時はしっかり伏線を張った上で、しかるべき大舞台で決着を付けて頂きたい。

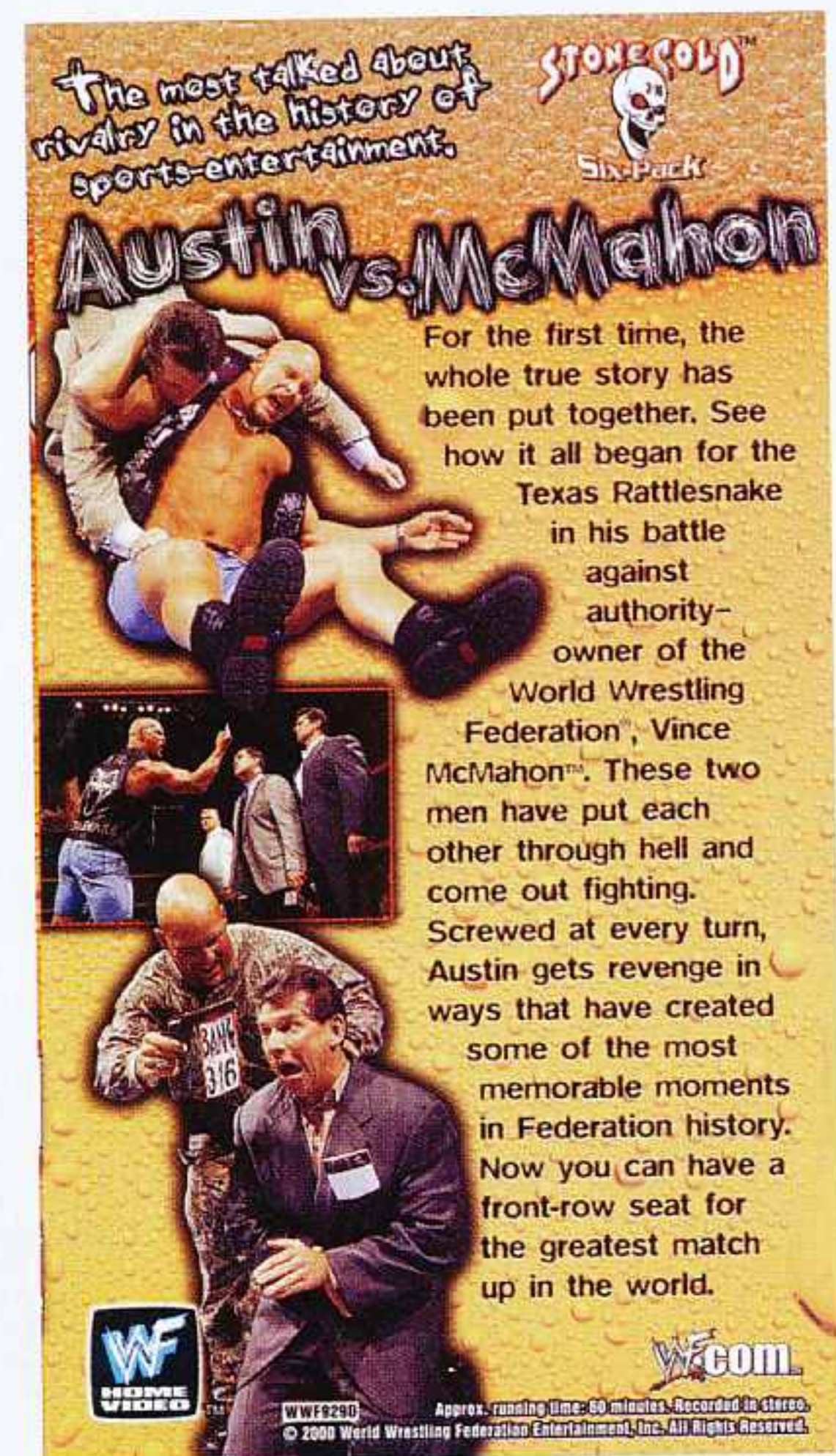
文／坂井ノブ

今回紹介する『Austin vs McMahon』は、プロレス業界を変革した2人の抗争を余すところなく収録した〝エンターテインメント・プロレスの聖典〟とも言うべき作品だ。

98年3月の『レッスルマニア14』でストーンコールドがショーン・マイケルズからWWE王座を奪取して以来、約1年4ヶ月に渡りプロレス史を塗り替えた2人の抗争がスタートする。

ヒール的な振る舞いでベビー的な人気を獲得したストーンコールドに対して、団体のオーナーであるマクマホンがヒールとして立ちはだかる。単なる勧善懲悪のストーリーだけではなく、労働者vs資本家という対立構造も孕んでいるのだ。自分の嫌な上司をビンスに、自身をストーンコールドに投影して、観客はこの抗争に熱狂した。

このカードがもし『レッスルマニアXX』で実現していたら、と改めて考えてみる。現在でもプロレス界で最高峰の人気を誇る2人だ。当然、その顔合わせには興奮せずにはいられないだろう。だが、いくら20回目のアニバーサリーの大会だからといって、簡単に組んで欲しくはない。なぜなら、この2人の抗争は大河ドラマだからだ。この2人が描き続けた壮大な〝線〟をたった一晩の〝点〟で再現するには無理がある。

このストーリーラインが最高のカタルシスを味わせてくれる瞬間は、ストーンコールドがビンスに対して反撃する場面だった。セメント車で高級スポーツカーを粉砕し、放水車でビールの海に沈め、入院中のところを医者に変装して襲い掛かりビンスのケツに点滴をブッ刺す……。本誌前号で阿部タケシ氏が取り上げたエンターテインメント宣言が97年12月なので、路線変更した直後のWWEが初期衝動で突っ走ってしまったようなムチャな場面が続出している。

プロモの可能性を極限まで広げた結果、約1年4ヶ月に渡る抗争の中で、試合におけるストーンコールドとビンスの直接対決は、たったの2度しかない。もともとアメリカのプロレスでは試合までの導入としてプロモを有効活用していたが、プロモの面白さが試合を上回るという逆転現象が起こってしまっているのだ。実際、この作品の中にも試合の場面はほとんど入っていない。本当の決着戦以外は試合をせずともプロレスは成り立つということを意味している。

この作品には専門家たちがこの抗争について分析するコメントが挟み込まれるのだが、実況アナウンサーの〝JR〟ことジム・ロスがビンスについて語っている。

「**He is playing himself**」

ビンスはビンス自身を演じている。つまり自分の中にあるビンスをより大きく見せているに過ぎない、ということなのだろう。作品中、ビジネスマン然としたビンスの顔がだんだんと悪人顔に変わっていく。より本性がムキ出しになる過程がたまらない。

また、WWF（当時）のTVディレクターであるカーウィン・シルフィーズはこう語っている。

「**ビンスはオースチンとの仕事をするのが好きだったみたいだ。なぜなら、彼らはとても似ているからね**」

それは、オースチンも「He is playing himself」だったということだ。ビンスと対立するまでのストーンコールドは平均的なプロレスラーだった。ビンスという敵を得ることで世界的なスーパースターの座にのし上った。ビンスも単なるオーナーだったのが、世紀の極悪人として世界中で人気を得るまでになった。化学反応としか言いようがない奇跡の抗争は一朝一夕に出来るものではない。現在までに、ビンスvsストーンコールドに匹敵するストーリーラインは現れていないことから見ても、この抗争のレベルの高さは明らかだ。

『レッスルマニアXX』翌日の『RAW』でビンスは「新しいWWEを作る」と高らかに宣言した。ストーンコールドもセミ・リタイヤ状態で、現在はシェリフ（保安官）としてリングとプロモに出場するのみ。プロモより試合で観客を魅了するクリス・ベノアとエディ・ゲレロが現在のチャンピオンだ。『Austin vs McMahon』の世界は、いつか見たガンダーラ、どこかにあるユートピアとなってしまったのだろうか？

オモチャの銃で脅した時のビンスの表情は最高。この時、ビンスは恐怖のあまり失禁しているのだ。この作品はビデオのみでの発売、輸入盤しか出ていない。

アメリカ土産を読者の皆様にプレゼント！

いまはマスクを脱いでしまったもののケインのマスク付きフィギュア。こちらも2名様に。P71の写真に写りこんだ蝶ネクタイ姿のケイン、最高だ。

同じくマスク付きフィギュア。こちらはレイ・ミステリオだ！　アメリカのトイザらスではこれが一番人気でした。こちらも2名様にプレゼント!!

『レッスルマニアXX』を記念したマスク付きフィギュア。ミック・フォーリーa.k.a.マンカインドを2名様に！「バン！　バン！」と応募しよう。

BACK

“ザ・ゲーム”ことトリプルHのTシャツ。トリプルHも今後は映画出演が増え、WWE出場の機会は減りそうな雰囲気。サイズはM。2名様に！

BACK

もう当分作られることはないであろうブロック・レスナーのTシャツ。いずれプレミアがつくかも。サイズはXLのみです。2名様に！

アメリカのキオスクで購入した『RAW』『SMACKDOWN!』の両マガジン、『RAW』パンフと無料スポーツ紙をセットで1名様に！

※このページのプレゼント応募方法はP143を参照!!

ヒール論

望月成晃

［闘龍門JAPAN 悪冠一色］

**“いい人”として、人気選手揃いの闘龍門JAPANにおいても
特に人気があったモッチーが、プロレスラー生活10周年を機に、
まさかのヒール再転向!「悪冠一色」を結成し、
かつてのヒール集団M2K以上のヒートを買いまくっている。
そんなモッチーに、いまなぜヒールが必要なのか。
そして真のヒールとは何かという、ヒール論を聞かせてもらった。**

聞き手／堀江ガンツ　撮影／森“モーリー”鷹博

designed by matsu（Two Three）

ESSAY ON "HEEL"

――遅ればせながらデビュー10周年おめでとうございます！　今日は、ヒールに再転向したのを機に、望月さんの「ヒール論」を伺おうと思ってやってきました。

望月　そうですか。やっぱり俺自身『紙プロ』でリング上の流れだけ語ってもしょうがないと思ってたんで、ヒール論、プロレス論をたっぷり語らせてもらいますよ。

――よろしくお願いします！　それにしても、望月さんの『紙プロ』登場も久しぶりですよね？

望月　M2K時代（第1次）以来だから、2年ぶりぐらいっスかね。ということは結局ね、ベビーフェースやってるときは『紙プロ』も俺には取材に来ない、これが答えかなと。

――別に他意はないんですけど……結果的にそうなっちゃいましたね（笑）。

望月　自分ではいろいろやったつもりだったんですけど、ベビーのころは音沙汰ナシで、ヒールターンしたら途端に取材が増えましたからね。だからベビーやめてホント清々しましたよ。

――じゃあ、ベビーフェースをやっていたこの2年間っていうのは、望月さんにとってどういう意味がありましたか？

望月　まぁ、真の意味で闘龍門の仲間になろうとしていたけれども、結局周りが認めてくれなかったっていうような2年間ですかね。

――仲間に入りたかったんですか？（笑）。

望月　入りたかったっていうか、最終的に引っ掛かってるのはそこかなと。どこまで行ってもやっぱり俺は外様なんだと痛感させられた2年間でしたからね。一昨年やった闘龍門JAPAN vs T2Pの対抗戦の時も俺にはテーマがなかったし。あの辺りからすでに「俺の居場所はここじゃねえな」と薄々感じ始めてましたから。

――確かに正規軍のリーダーやってるころっていうのは、端から見ていても、年長者として、損な役割を引き受けているような感じはちょっとしました。

望月　正直、そういう感じでしょう。しかも、せっかく人がそういう役目を引き受けて、「誰かヒールをやるだろう」と思ってベビーに回ってやったのに、結局みんないいとこ売りたがってね。ようやくマグナムがヒールをやるのかと思いきや、マスコミ批判辺りからおかしな空気になって。

――何か啓蒙活動を始めましたよね（笑）。

望月　マグナムはいいヒールになると思ったんですけどね。あいつは人に嫌われるオーラを天性に持ってる男なんで（笑）。

――「私生活がヒール」って言われてますからね（笑）。

望月　ただ、闘龍門を創った男として闘龍門を守らなきゃいけない部分がどうしてもあるのが、あいつのヒールとしての弱点ですよね。ということは、結局ヒールには向いてなかったんだろうなと。それから横須賀享なんかもヒールとしてムーブ的にはいいものを持ってるのに、身近なお客さんの声援に惑わされてるっていうか。やっぱりそういう方向に走りやがったから。

――ヒールを貫くより、目先の声援に手が伸びてしまったわけですか。

望月　ホントそうですよ。「目先の50人、100人を相手にするか、その後ろの何千人、何万人を相手にするか」って昔から言ってたんですけど、結局は目先の声援を拾ったってことでしょう。アラケン、（ドラゴ

どっかの団体見たいに
血ィ流せばヒールってもんじゃない

MASAKI MOCHIZUKI AN E

ン・）キッド、（セカンド）土井も一緒ですよ。正規軍からM2Kになっても結局はベビーフェース的な勝ち方しかできない連中でしたからね。だから「これじゃM2Kやってる意味ねーな」と思って見限ったんですけど、そうこうしているうちにヒールがいなくなって、スポーツライクな団体になってしまったのが去年の闘龍門ですよ。

――所属選手が総ベビーフェース化してしまったと。

望月　それって団体としては由々しき事態ですよね。ヒールがいないってことは、対立構造ができてないってことですから。そんな状況を危惧して「俺がヒールをやるしかないかな」と思い始めたのが去年の夏ぐらいなんですけど、そしたらちょうどそのころ近藤（修司）、ブラザー、大鷲っていうのが出てきて、「こいつらとならやれるんじゃないか」って思ったのが、悪冠一色のそもそもの始まりですね。

――望月さんが「こいつらとならやれる」と思ったのは、どんな部分なんですか？

望月　やっぱりT2Pのころから、ミラノやYOSSINOは、T2Pを守ろうとして闘っていたのが、結果的にJAPANのファンからヒール視されていただけだったのに対して、あいつらには天性のヒールの素質が見えましたから。もっと遡れば練習生の頃からトンパチだったし。結局、ヒールっていうのは〝いかに嫌われるか〟だと思うんですけど、ベビーフェースだらけになった闘龍門のリングで、あいつらだけはそれをやってましたからね。

――確かに旧はぐれ軍は観客から本物のヒートを買ってましたよね。

望月　ヒールは嫌われてなんぼ、客のヒートを買ってなんぼなんですよ。だから俺たちが目指すヒールっていうのは、ハンセン＆ブロディみたいなヒールでもないし、ブッチャーやシンみたいなヒールでもなく、新日本時代のラッシャー木村ですから！

ヒールは嫌われてなんぼ。だから俺たちは国際はぐれ軍団のラッシャー木村を目指す！

――国際はぐれ軍が理想ですか！　自宅で飼ってた犬が、心ないファンのイタズラによってノイローゼになるぐらいのヒール（笑）。

望月　そうです！（笑）。ああならなきゃいけないと思うんですよね。ただ、あの当時、ラッシャー木村がベビーのトップであるアントニオ猪木と五分でやってたかっていうと、結局は斬られる部分だけだったじゃないですか。だから、それプラス（ベビーを）実力でも上回るようになれば、真のヒールになれるんじゃないかなと。そこを俺たち悪冠一色は目指してるんですよ。

――望月さんがかつてやっていたオリジナルM2Kは、そういう意味ではまだ真のヒールじゃなかったわけですか？

望月　いい線まで行ったとは思うんですけどね。でも、駒沢でCIMAと決着戦やって俺が負けたとき、客が俺に対して「ザマーミロ！」って感じにならなかったじゃないですか。ホントのヒールだったら、負けてもっと喜ばれる存在にならなきゃいけなかったのに。そういう意味でヒールをやりきれてなかったんじゃないかなとは思いますね。

――確かに負けた時、潔く髪を刈られたことで、もう既に〝いいひと〟になってた感じですよね（笑）。

望月　やっぱり負けて哀愁が出ちゃってましたから（笑）。だから次に俺がベビーのトップと決着戦をやるのは何年後になるかわからないですけど、もしそこで俺が負け

1・31後楽園ホール。10周年記念マッチの試合中、モッチーは味方のアラケン、D・キッドを裏切り、対戦相手の「はぐれ軍（仮）」と結託。新たに「悪冠一色」を結成するという、まさかのヒールターンを行った。ちなみに「悪冠一色」の書はブラザー作。

たとしても、いかに客に同情されずに喜ばれるか。それがヒールを極めることじゃねーかなと思いますね。

――ヒールやるなら、そこまで徹底しなきゃダメだと。

望月　だからね、凶器使って血ィ出しゃあヒールってもんじゃあないですよ。今はどっかの団体でもアッチコッチで血ィ流してますけど。

――最近また流行り始めましたね（笑）。

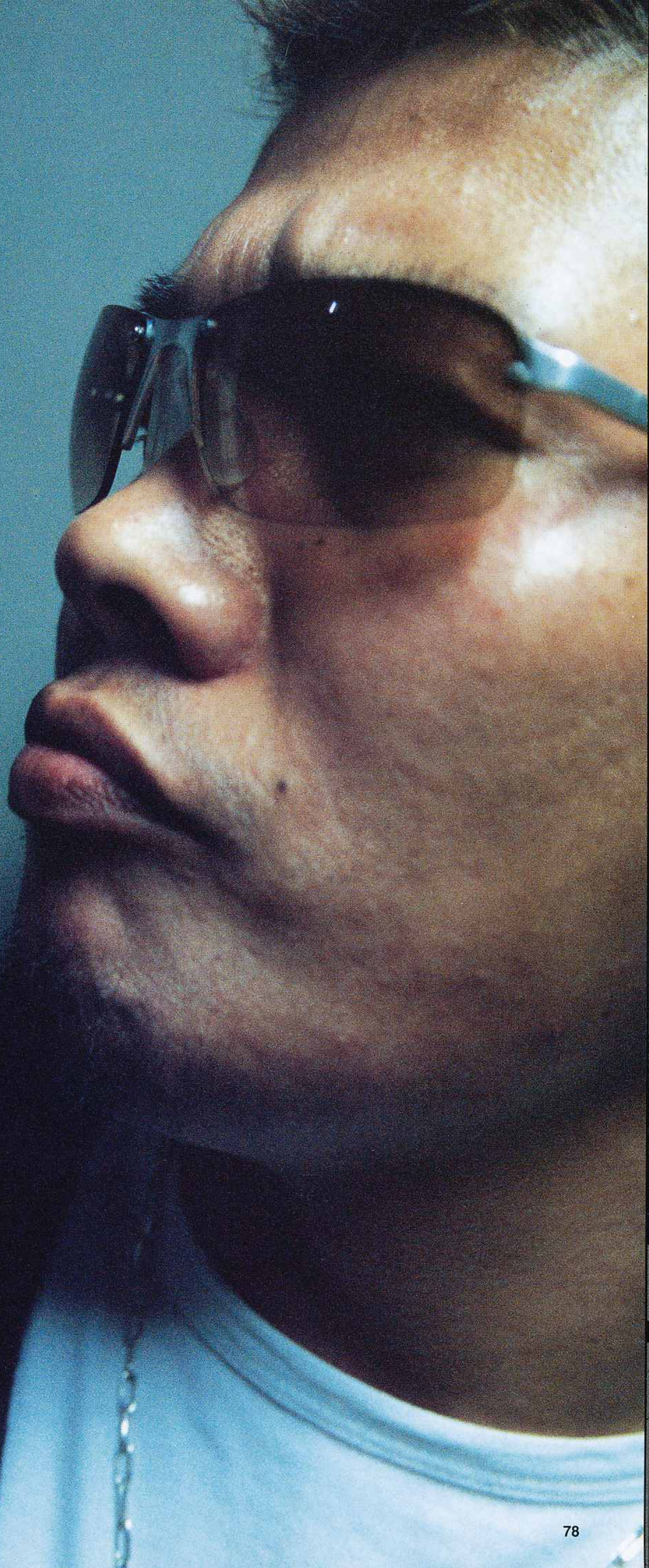
望月　みんな団体内にヒールがいないから、他団体と抗争するしかないわけじゃないですか。それが行き詰まって、ようやく団体内でヒールを作ってみても、いざヒートを取ろうとしたら流血させるしかない。しかも、あんだけ頻繁に血ィ出してちゃ、流血の意味がねーだろって。立派なおっきい団体から女子プロレスまでみんなそうですからね。

――見事にみんなそうですよね（笑）。裏を返せば、今この時代にヒールを作り出すのがいかに難しく、かつ重要かってことなんでしょうけど。

望月　だから敢えてそこに挑みたいっていうのはありますよね。俺も一回〝いい人〟っていうのを見せてからのヒールターンだし、難しい作業だということは分かってるんですよ。でもアイツらとならできるんじゃないかなって思うし、闘龍門にはベビーがウジャウジャ転がってるんで、策を練ればやれるっていう自信はありますよ。

――〝brother〟YASSHIは特にいいですよね。

望月　アイツはホントに勝つことを目的としないで嫌われることを目的としてやってる男なんでね、頼もしいですよ。「放送禁止用語は言うな」って注意してんのに、テ

「プロレス大賞」を取る日が来たらこっちから受賞拒否してやりたい

01年12月、最強のヒールとしてCIMAと敗者髪切りマッチに挑むも敗れたモッチーは、"儀式"を妨害せんとするM2Kのメンバーを制して、潔く丸坊主に。この堂々たる負けっぷりに拍手が送られたが、ヒールとしてはこれじゃ駄目だったという。

レビの生中継で言いますからね（笑）。

――ガハハハ！　合格です！（笑）。ところで、いま望月さんが、ヒールで意識してる現役の選手はいますか？

望月　正直いないですね。ただ、いま一番ヒールとして可能性を持ってるのは佐々木健介さんだと思いますよ。

――健介さんですか！（笑）。

望月　なぜ可能性があるかっていうのは、アドバイスしてるみたいで偉そうなんで言いませんけど。健介さんに限らず、中西（学）さんがヒールになったりとか、いまって時ならぬヒールターンブームですけど、一番大事なのはヒールをやるレスラー自身がホントに嫌われようとしてるかどうかですよね。ファンに同情買ってしまったらお終いなんで。

――そういった意味では、現在のプロレス界で一番ファンからヒートを買ってるのは髙田延彦さんだと思うんですけど。

望月　あぁ～、はいはいはい。

――髙田さんについてはどう思いますか？

望月　そうですねぇ、髙田さんと言えば俺がファン時代に一番憧れたレスラーでもあるんですけど……、ああいう本を出した上でリングに上がってきたら凄いことだと思います。でも、結局『ハッスル』がダメでも進むべき道があるじゃないですか、あの人たちには。

――そうですね。「髙田総統」が髙田延彦のすべてじゃないですからね。では、『ハッスル』というイベントについてはどう思いますか？

望月　あれも、やり方さえ間違えてなければ、凄いイベントになると思うんですよ。でもああいう感じでやってしまったらプロレスファンを敵に回さざるを得ないので、それが観客動員に表れたんじゃないかなとは思いますけどね。

――団体が丸ごとヒールになってますからね（笑）。

望月　それだけじゃなく、ベビーのつもりで参戦した団体までヒートを買ってしまうっていう恐れがあるじゃないですか（笑）。

――ありますねぇ（笑）。

望月　恐ろしいですよね（笑）。ただ、俺自身としては、"あの"髙田さんがヒール役をやるってことに対しては、凄く可能性があったと思うんですよ。でも、端から見てると、せっかくのその図式が、あまり"線"になってないんじゃないかなと。ＯＨ砲と髙田延彦が対立してるのはわかるけど、川田さんとかがどういう意図で出てるのかわからない。ただ試合をしに来てるだけに見えますよね？

――そんな匂いがプンプンしますよね（笑）。

望月　だから俺は髙田vs小川よりも、髙田vs川田という対立になったら凄いなと思います。橋本さんと小川さんだったら、最初からやりそうな雰囲気がありますよね。でも「ただ試合をしに来ただけ」っていう感じの川田さんを巻き込んだら、ホントに凄いものになるんじゃないかなって思いますよ。それか髙田vs長州まで行ったら最高でしょう（笑）。

――それは見たい（笑）。だから、せっかくのタレントを活かしきってない感はホントありますよね。

望月　結局、今の『ハッスル』はまだ、名前だけ集めてお客が入ると思ってやってるじゃないですか。でも、そんなプロレスは20年前に終わってるんですよね、猪木さんと馬場さんの時代に。今はその後にきたカードで見せるプロレス、試合内容で見せるプロレスすら終わっていて、団体の信用で呼ばないとお客さんは集まらないと思うんですよ。

――信用で客を呼ぶプロレスですか。

望月　要はカード発表をしなくてもチケットが売れるモノを目指さなきゃダメってことですよね。そのために団体内でも対立構造っていうのがしっかり出来ていなきゃいけない。そうすれば、プロレスは絶対死なないと思ってますから。

――実は『ハッスル』もそこを目指しているはずなんですけどねぇ……（笑）。

望月　え、そうなんですか⁉（笑）。

――そうらしいですよ。でも、いま現在はことプロレスファンの信用度が極めて低いんで（笑）、記者会見やったりして、スポーツ新聞向けにアングル展開するしかないみたいですけどね。

望月　逆にウチなんかは新聞相手にプロレスする気はサラサラないですけどね。まぁ、もとから載らないっていうのもあるんですけど（笑）。

――そういえば、なぜか闘龍門ってこれだけ人気があるのに新聞記事にはならないんですよね。それって気になりませんか？

望月　まったく気にしないですよ。所詮、頭の固い人たちばかりなんで、未来を買えないんだったら載せない結構！　だから、これは俺個人の意見ですけど、いつの日か『東スポ』のプロレス大賞を獲る日が来たら、受賞を拒否してやりたいなと思ってますから。

――プロレス大賞受賞拒否！　それは痛快ですねぇ（笑）。

望月　ハッキリ言って（会場に）来ない人、見てもいない人には何も語られたくないですから。ウチの取材には来ないで、自

あの髙田延彦がヒール役をやることに対しては凄く可能性があったと思う

称メジャー団体の地方大会とかにはしっかり行ってたりする人たちに、大賞だとか何だとか決められたくないですよ（笑）。

――ガハハハハ！　確かに（笑）。なぜか名前だけ〝メジャー〟とか言われてる団体には、とんでもない地方まで記者とカメラマンが行ってたりするんですよね。

望月　ホント、ビックリしますよ。ヘタすりゃ誰も取材に来てない時のウチの地方大会の方が入ってたりしますからね。（観客の）実数を見てくれってことですよ。この間の九州ツアーも苦戦したとこなかったですからね。2・6博多もスターレーン史上最高じゃないかっていうぐらいの入りでしたから。

――あれは凄い入りでしたよね。しかも、佐々木健介さんの出場は「X」として伏せられてたんで、闘龍門だけの力であれだけ入れたわけですからね。

望月　あの健介さんの参戦も、校長（ウルティモ・ドラゴン）は「新聞とれるかもしれないから、代々木（第2体育館＝4・28）まで引っ張った方がいいんじゃないか」って言ってたらしいんですよ。

――去年のストーカー市川 vs 高山善廣で『東スポ』の一面取ったときみたいに。

望月　でも、タイミング的には博多が最高だったし、新聞は相手にしてもしょうがない。だったら、向こうに「取材に行けばよかった」と思わせればいいってことでしょ。だから広報も事前に「健介さんが来ますから取材に来てください」とか言いませんでしたからね。

――いや、あれはボクも知らずに取材に行きましたけど、ホント博多まで行って良かったと思いましたよ（笑）。

望月　しかも、フロリダ・ブラザースに負けたんですよ、あの佐々木健介が！（笑）。こんな扱いができるのはウチだけですよ。そこを評価してもらいたいですよね（笑）。

――なるほど。では最後にそんな好調な闘龍門が、より大きくなるために、敢えて足りないところも聞いておこうと思うんですが。

望月　そうですね……足りないと言ったら、やっぱり殺伐としたもじゃないですか。SUWAがチャンピオンになって、そういう殺伐としたものが生まれるかなって思ったら、博多でマグナムに勝ったら「ありがとうございました」って言ってしまったんで、SUWAはもうベビーフェイスなんだなと。だから悪冠一色としては狙いやすいチャンピオンになったなという感じですね。まぁ、SUWAだけじゃなく、闘龍門が〝イケメン〟とか、そういう切り口でメディアに扱われるようになってから、それに反比例して闘いがなくなって来たと思うんで、そういった意味でもヒールが必要なんですよ。

――やっぱり、ホントに憎まれるヒールがいないと、観客も本気の感情が出て来ないですからね。

望月　だから、去年までの闘龍門は喜怒哀楽の〝怒〟が無かった。それが一番の問題だと思うんですよ。やっぱり結局、〝怒〟がなければ他の〝喜〟と〝楽〟が大きくならないから。それなのに、どっかのプロレス雑誌で「9月の東京武道館がアンハッピーエンドだったから、12月の代々木は4月の代々木と比べて客入りが落ちた」とか書きやがった記者がいたんですよ。

――あ、そんな記事がありましたか。

望月　ホントなにを言ってるんだと。アンハッピーエンドがあるから、ハッピーエンドがあるんだろうって。しかも、客が若干減ったっていうのは、12月は4月と比べて客も忙しいから来れなかった人が多かっただけで、プレイガイド売りは変わらないですからね。

――そりゃ見当違いも甚だしいですね（笑）。

望月　だから、そういうとんちんかんなご意見にはまったく耳を貸さず、これからも悪冠一色でバッドエンドを嫌というほど見せ続けてやりますよ。

――わかりました。では、これからも望月選手の仕掛けに期待します！

【04年3月某日／都内・某所にて収録】

もちづき・まさあき■1970年1月7日、東京都江東区出身。94年、北尾光司が主宰する北尾道場でタズを相手にデビュー。北尾引退により“武輝の魂”を受け継いだ後、闘龍門に参戦しヒール集団M2Kを結成。01年12月CIMAに敗れ、“いい人”に転向するが、今年、悪冠一色を結成し再び悪の道に進む。175cm、88kg。

EL NUMERO UNO日程

■3月
26日（金）神奈川・横浜赤レンガ倉庫　開始18:30
27日（土）長野・長野市運動公演総合体育館　開始18:30
28日（日）東京・ディファ有明　開始16:00
31日（水）山形・山形市総合スポーツセンター　開始18:30

■4月
2日（金）新潟・新潟フェイズ　開始18:30
3日（土）新潟・新潟フェイズ　開始18:30
4日（日）宮城・Zepp Sendai　開始16:00
6日（火）埼玉・熊谷市民体育館　開始18:30
10日（土）三重・四日市オーストラリア記念館　開始18:30
11日（日）静岡・アクトシティ浜松　開始17:30
14日（水）兵庫・姫路みなとドーム　開始18:30
15日（木）兵庫・神戸チキンジョージ　開始19:00
17日（土）富山・イベントプラザ富山　開始18:30
18日（日）岡山・卸センターオレンジホール　開始16:00
23日（金）石川・金沢流通会館　開始18:30
24日（土）京都・京都KBSホール　開始18:00
25日（日）愛知・名古屋国際会議場　開始18:00
※EL NUMERO UNO 2004 決勝トーナメント1回戦
28日（水）東京・国立代々木競技場第二体育館　開始18:30
※EL NUMERO UNO 2004 優勝決定戦

闘龍門JAPANがさらなる飛躍 企業3社とスポンサー契約締結!

強力なビジネスパートナーを得て、闘龍門がいっそうパワーアップ!! 3月10日、東京ドームホテルで記者会見が行われ、株式会社高尾、株式会社GEO、株式会社バンプレストの3社が今後闘龍門をスポンサードしていくことが正式に発表された。

会見には、長期休養中のマグナムTOKYOが統括事業責任者として出席。マグナムは「ある意味、会社からの挑戦だと思ってる」と、協力体制を得ることにより、リング内のクオリティー、大会内容がさらに求められていくということを受け止めてコメント。闘龍門オリジナルブランドの「DRAGON GATE」を立ち上げるバンプレストは女性スタッフを入れて企画・開発を行っていくと語った上で「これまでのプロレスグッズとは一味違った、女性にも受け入れられやすいグッズを作っていきたい」と続けた。

パチンコメーカー高尾でも、今後闘龍門の選手をキャラクターとして起用したパチンコ台の製作を企画しているという。キャラクター起用が検討されているということは、世間にも名が浸透しつつある証拠といえるだろう。闘龍門のさらなる飛躍に期待だ!

年末年始の引退騒動、
ファイナルロードを大・考・察!!

君はまだ本当のドラゴンを知らない！

藤波辰爾の正しい見方

藤波モノマネ第一人者が語る
真の姿とは？

ユリオカ超特Q
【お笑い芸人】

構成／ジャン斉藤　designed by nogu（Two three）

ユリオカ超特Q

「ボクがリストラ第一号です！」――昨年末、大晦日三大興行戦争に負けると劣らないドタバタ劇場を繰り広げたのは、我らがドラゴンである。そのゴールの見えなさ＆唐突な展開振りは、もはや壊れかけのジェットコースターの様相をていしていたが、はたして本年中に予定しているファイナルマッチはどうなるのか？　常に降格が危ぶまれる社長の座は？　ドラゴンモノマネの第一人者であり、お笑い芸人のユリオカ超特Qが、世界一のドラゴンLOVEを持って藤波辰爾のすべてを解き明した！

――今日は、新日本プロレス公認・藤波引退撤回運動のリーダーとして奮闘されたユリオカさんに、年末年始のドラゴン騒動についていろいろとお聞きしたいと思ってます！

ユリオカ　今回の騒動も、訳がわからないと首を傾げたファンは多かったでしょうね。

――はい！　相変わらず唐突に幕が開いて、ゴタゴタのうちに幕を閉じましたからね（笑）。5月の東京ドーム大会あたりでもまた一波乱ありそうなので、日本一のドラゴンファンのユリオカさんに、〝藤波辰爾の正しい見方〟をレクチャーしていただきたいんですよ。

ユリオカ　わかりました！　正直言って、ファンもいままで藤波さんが何度「（藤波のモノマネで）引退します！」って言ったかハッキリわからないでしょ？

――それは数え切れないです！　ファンのリアクションも「え？　引退!?」というより、とっくに「またかよ～（笑）」ってかんじになってますよ。

ユリオカ　だけど、今回だけはホントっぽかったんですよ！　藤波さんの表情もかなり暗かったですしね

――なぜか無精ヒゲを生やしていたことも、引退のリアリティを増したポイントでしたよね。

ユリオカ　人はヒゲを生やすときは悩んでるんですよ。ボクもちょっとわかるんですけど、人はヒゲを生やしたときは精神的な迷いがあるときだと思いますね。藤波さんはリチャード・バーンと闘ったときもたしかヒゲ生やしてましたよ。

――リチャード・バーン戦！　ガッツ石松さんから〝幻の右〟を伝授された藤波さんがボクシンググローブを付けて闘った、奇跡の異種格闘技戦ですね。

ユリオカ　あのときも藤波さんはドラゴンボンバーズ問題で悩んでいたんですよ。今回は猪木さんも引退を示唆したこともありましたし、藤波さんも去年の1・4東京ドーム以来試合をしてなかった。肉体改造をして、ジュニア戦士に戻って再登場するなんて振りもあったんですけど。

――4月頃に交通事故に遭ったことで復帰が遠のいたわけですよね。藤波さんがロッテの春期キャンプを訪問した翌日に、主砲と期待されていたロバート・ローズが突然退団したことが〝ドラゴンの呪い〟じゃないかと噂されたり、木村健吾さんが藤波さんを引退相手に指名したらむげに断ったり、新団体〝藤波ワールド〟構想を唐突にブチ上げたりと、リング外の話題には事欠きませんでしたけど。

ユリオカ　そして年末には胆石が発覚しましたよね。藤波さんは「それだけは言えない」って病名を隠してたじゃないですか？　ボク、下手したらガンなんじゃないかと思って……。

――あ、ボクもそう思いました！　倍賞（鉄夫、猪木事務所社長）さんも意味ありげに口を濁すし、かなり重い病気なんじゃないかって。

ユリオカ　命に関わる病気かと思ったら胆石だった。10年間ほったらかしにしていただけで、病院嫌いで診てもらわなかっただけという……。

――人騒がせにもほどがありますよ（笑）。

ユリオカ　（即座に）それもかわいい話じゃないですか！　病院嫌いの藤波社長というね。ボクなんかが偉そうに言うのも失礼なんですけど、藤波さんは人間的にかわいいんですよ。罪がないというか、だから許せちゃうんですよね。

――除去手術成功後の会見で「胆石を埋め込んだベルトを作りたい！」と言い出したのも、ユリオカさんからすればかわいい話なんですね（笑）。

ユリオカ　振り返れば、すべてかわいい話なんです。でも、それは振り返ればの話であってね、その時点では心配でしょうがないわけですよ！　「（藤波のモノマネで）ボクがリストラ第一号です！」って、突然言い出したりするわけですから。

――「リストラマッチに出れない」こと理由に自分の首を切るという、有史始まって以来のリストラ騒動ですね！　1・4のリストラマッチは、経営的にリストラすることは止むを得ないから、どうせならアングルに結びつけたというのが真相らしいですけど。

ユリオカ　猪木さんも「ホントのリストラはしない」と言ってましたよね。それでも藤波さんは真に受けて突っ走ったわけですよ！

01年12月26日に開催されたRADICAL創刊5周年イベント『紙プロボンバイエ』で、ユリオカさんは司会をつとめた。ユリオカさんはカツラを被ってドラゴン変化!!竹内宏介氏、金本浩二（試合後限定）などマニアックなモノマネも披露した。

年末年始ドラゴン引退騒動とは何か？

■11月4日　『東スポ』だけに引退を告白！

アントン総帥から〝内閣総辞職〟を突きつけられた11・3横浜アリーナ大会。その成否を報告するためにアントン滞在先のパラオに飛んだドラゴンは、いつの間にか自身の重大決意を告げるひとり旅に変更。その重大決意とは、現役から引退するということだったが、何より衝撃だったのはその決意を『東スポ』には激白するも、社員には何一つ知らせていなかったことである。どんな社長だよ。

■11月6日　正式に現役引退を表明

重大決意を会社に通しもせずに、『東スポ』に告白したフライング・ドラゴンがパラオから帰国。緊急記者会見で正式に引退を表明した。その席で「自分のワガママでマスコミに先に話した」と社員に詫びたが、〝プロレス界の動きをすべて『東スポ』で知る社長〟と揶揄されたドラゴンだ。きっと日ごろの感謝の意を含んでの『東スポ』先行告白だったに違いない。

3・7『ZSTフェザー級グラップリングトーナメント GF-T』
お台場／スタジオ・ドリームメーカー　観衆501人(超満員)

――つまり、社長なのに深い事情を知らなかったわけですか（笑）。当初は新日本サイドも藤波さんの引退をうまく転がしていこうという気配は見えたんですが、そのリストラ発言、そして猪木さんの介入を機にかなりゴダゴタしていきましたよね。

ユリオカ　藤波さんほどの名レスラーの引退話なのに、あまりにも密室で起こっているかんじはありましたね。我々を迷わせるのはたしかなんですよ。本人が「もう限界です！」って納得して引退してくれるなら、ファンとしては見守るしかないんですよ。ところが本人の意図とは関係なく、単純に言うと東京ドームや「猪木祭り」にお客が入らないから、藤波さんの引退を目玉にしようとする方向にも感じられたんです。藤波さんは人柱じゃないですけど、それを担った感じがしちゃったんですよ。

――ドラゴン柱！　生き埋めにされかけたわけですね。

ユリオカ　藤波さんは自ら犠牲になって身体を会社に差し出そうとしていた……。ところが、驚くことにまったく目玉になってないんですよ！

――引退発表会見をやったけど、どのスポーツ紙もベタ記事扱いでしたからね。マット界の功労者がそんな扱いでいいのかっていう（笑）。

ユリオカ　大晦日の三つ巴の興行戦争があって、藤波さんほどの選手の引退試合なのにないがしろにされていた感もあったんです。話題も何もなく、このまま引退しちゃったら、それこそ何のこっちゃと‼　それで、プロレスファンであり藤波ファンの親友に「最近の藤波さんの状況はどうなんだ？　試合もしないし、このまま引退しちゃうんじゃないか？」ってことを憂いて話してたんですね。そしたら彼が新日本の方と親しくて、ボクが言ってたことをそのまま伝えたんですよ。

――もしかして、その熱意が新日本に認められて、引退撤回企画が発動したわけですか？

ユリオカ　その通りなんですよ！　ボクもビックリしたんですけどね。

――そんな簡単に通るもんなんですねえ（笑）。

ユリオカ　社員の中にも藤波さんに引退してほしくないと思ってる方はいたんですけど、「ユリオカさんのような藤波ファンの方がアピールとしていいんじゃないか」と。それで新日本の事務所で記者会見をやったんですよ。

――そこには棚橋（弘至）さんも同席されたんですよね。

ユリオカ　棚橋選手も藤波さんの魂を受け継ぐ選手ですから。

92年6月28日、異種格闘技戦に備えて伊豆にて強化キャンプを張ったドラゴンは、練習に帯同したガッツ石松より“幻の右”を伝授された！　本番では場外乱闘や、トップロープからヒザ爆弾を仕掛けるなど、およそ格闘技色は薄かったりしたのはドラゴンらしい。

藤波さんは悩んでいるときにヒゲを生やすんです。リチャード・バーン戦のときもそうでした！

『紙プロ』は棚橋さんの言動を「どうも怪しい」って疑ってるみたいですけど。

――怪しいですねえ。引退阻止をだしに使ってノアのベルトを狙ったり、「藤波さんから帝王学を学びたい！」「シリーズが忙しくて片手間だったドラゴンストップを再開する」とか、遠回しにバカにしてるかのような言動が多いですよ。

ユリオカ　いや、それは違いますね！　棚橋選手は藤波さんのことが本当に大好きなんです。話を聞いたら、「どんな相手でもいい試合ができる藤波さんのレスリング、大技を使わなくても試合をつくる独特のリズムというか、そういう部分はホントに受け継いでいきたい」と言ってましたし。藤波さんを好きになるのはジュニア時代であり、長州さんとの名勝負数え唄であり、ベイダーと闘った時代であり、そして健介さんからIWGPを獲った時代であり……年代的にいろんな藤波さんの姿があると思うんで。棚橋選手の「藤波さんのいいところはまだまだ盗みたい」っていう気持ちは本音だと思いますけどね。

――ユリオカさんもそんな熱い思いを会見でぶちまけたわけですよね。

ユリオカ　とりあえず「藤波ファンよ、いまこそ立ち上がれ！　引退絶対反対です！」という熱いメッセージを送りました。それこそ『エンタの神様』とか『爆笑オンエアバトル』に出るよりも緊張しましたね。5回ぐらいかみましたよ！

――それほど緊張されたんですか。

ユリオカ　だって、藤波さんの記者会見の直後にやったんですよ。藤波さんが猪木さんの手紙を受け取った会見があったじゃないですか？

――猪木さんの「ばかやろう」じゃなくて「ばかやらう」の誤字で始まる直筆メッセージが届いたドラゴン会見ですね。

ユリオカ　猪木さんが「引退式は『猪木祭り』でやれ」って手紙が届いてるのに、ボクが「引退反対！」をブチあ

■11月7日　ケロがリングアナ拒否宣言

飛龍継承者・棚橋弘至がドラゴンの引退阻止宣言！「ノアからベルトを奪ってくるから現役を続けてほしい」と、引退をダシに使ってメチャクチャなことを言い出した。永田も棚橋アイデアにちゃっかり便乗。ケロこと田中リングアナは「中途半端な形で社長が引退を迎えたとしても、自分は断固コールはしたくありません」。そのままケロにも引退してもらいたかったが、結局両者とも現役続行するから世の中うまくいかないもんだ。

■12月10日　ドラゴン自爆会見

引退話がまったく話題にならないままに1ヶ月経過――。不気味な沈黙を破り、ドラゴンが衝撃発言を炸裂させた！　猪木事務所・倍賞鉄夫氏の1・4東京ドーム大会総合プロデューサー就任会見の席で、噂されていた“リストラ査定マッチ”が発表されると、無精ヒゲを薄汚く生やしたドラゴンが乱入。「いまの体調で試合はできない。リングに立てない以上、自らをリストラしたいと思います。まずはボクがリストラ1号です！」と、いきなりの自爆発言！　倍賞氏には寝耳に水だったらしく、「社長にあんなこと言わせていいのか！」と、周囲を怒鳴り散らす慌てようよ。倍賞氏がドラゴンに真意を問いただすと、なんとドラゴンは病に冒されていたこと

げてるわけですよ。

——とんでもないシチュエーションだったわけですね（笑）。事務所では藤波さんとお話はされたんですか？

ユリオカ　いや、してないですね。藤波さんは社長室に戻っちゃいましたから。ボクの会見のときには記者の方が30人ぐらいおられたんですけど。3、4人を除いてボクのことを御存知ないみたいなんですよ。

——「オマエは誰なんだ？」って空気が漂っていたわけですか。

ユリオカ　最後に知り合いの記者の方が「ユリオカさん、すみません。藤波さんのモノマネをして頂けますか？」と言うわけですよ。テレビカメラなんかないし、番組でも何でもないのに振られたんです。これはお笑い芸人として一番、人を笑わせづらい。自分ことを知らないわ、さっきまで藤波さんが会見しててピリピリしているわ。敷居が高いにも程があったんですよ。

——ドラゴン重病説も流れていた時期ですし、一歩間違えたら確実に怒られますよね。

ユリオカ　前田vsアンドレ戦の星野さんじゃないですけど、新日本の方に「やってもいいですか？　やってもいいですか？」って何度も聞きましたよ！　あんな場でモノマネやるっていうのは、ある意味シュートやるみたいなもんですからね。そんな状況で記者の方に「すいません。1・4東京ドームはどうでした？」って聞いてもらって、「（藤波のモノマネで）んー、まあ今回ねえ、いろんな永田の問題もありますけど、中西も一皮剥けて、ボクなんかもね……」ってやったら、なんと拍手が起こったんです！　昔の小橋vs三沢じゃないですけど、凄いモノを見た！　みたいな。

——いい話ですねえ（笑）。

ユリオカ　そこで初めてマスコミの方々と心が通じたというか。『週プロ』の記者の方も「会社に帰ったら、今日は凄いモノを見たって言いますよ」って言ってました。

——新日本も気を利かせて、モノマネやってるとこに藤波さんを登場させてくれたらもっと盛り上がったでしょうね。

ユリオカ　そんな『ものまね王座決定戦』じゃないんだから（笑）。

——ちなみに、藤波さんのモノマネは、本人の前でやられたことはあるんですか？

ユリオカ　一度パーティーでお会いしたときに、新日本の社員の方に「彼は芸人で藤波さんのモノマネをされてるんですよ」って紹介されて、藤波さんに「じゃあ、いまやってみて」って言われたんですよ。

——本人直々に！　天覧試合みたいなもんですね。

ユリオカ　ボクは「いやあ、できないです」ってモノマネで返したんですけど、「ああそうなんだ。じゃあまた今度見せてね」って言われちゃいました。あれはちょっとコケましたね（笑）。

——まったく気付いてなかった、と（笑）。

ユリオカ　（藤波）香織夫人はボクのこと御存知でして、「アナタ！　こちらの方がアナタのモノマネされてる方！」って紹介して下さって。あれは嬉しかったですねえ。

——藤波さんの長女の美有ちゃんと、長男の怜於南（れおな）君はプロゴルファーを目指してるそうですね。怜於南君は藤波さんが胆石手術した翌日に小学生ゴルフ大会があったらしくて、入院中の藤波さんから「頑張ってきなさい！」と、激励の電話があったと聞いてますよ。

ユリオカ　たしか自宅の隣がゴルフ場なんですよね。練習はしやすいし、実際にプロゴルファーを目指されてるらしいです。美有ちゃんは高校1年生ぐらいじゃないですか？

——いや、今年で高校3年生になられてます。KinKi Kidsのファンらしいですよ。ユリオカさんは美有ちゃんをご覧になったことあるんですか？

ユリオカ　美有ちゃんを見たことはありますよ。鼻は藤波さん似ですね。

——鼻はドラゴン似（笑）。

ユリオカ　でもすごくかわいいですよ！　奥さんと同じくスラッして背が高いですし、なにしろ美男美女カップルの娘さんですから。ボクも独身なんで、まぁドラゴンファミリー入りの可能性も。

——何を言い出してるんですか（笑）。

ユリオカ　決して可能性はゼロではないんで！　その辺も今後のテーマとして、ボクもゴルフ始めようかなと。

——期待してます（笑）。で、話は戻り

藤波さんは猪木さんと絡めるのが嬉しくてしょうがないんですよ

詳しくは本文中にも触れられているが、これがユリオカさんが愕然したといわれるドラゴンスマイルだ!!　12・31『猪木祭り』を宣伝したいアントンと、1・4東京ドームを宣伝したい新日本サイドの思惑がはまったことから、久しくなかったアントン後楽園ホール登場が実現。互いにチケットを渡し合うパフォーマンスを興じたのだ。

が発覚。こうして引退問題は、いつの間にかリストラ＆病気問題にすり替わっていくのである。

■12月18日　『猪木祭り』でドラゴン引退式浮上

カードが出揃わない『猪木祭り』の大混乱に、使えるモノは馬鹿でも使えとばかりにドラゴン引退式をブチ上げたのはアントン総帥。そんなメッセージを受けたドラゴンは、「『猪木祭り』に出向くつもりはあるが、自分の身を置くところは新日本プロレス。最高の幕引きを考えているなら、1・4ドームでレスリングシューズを履いて、試合のできる格好でお待ちしたい」と、ちゃっかりアントン戦をブチ上げた！

■12月18日　ユリオカ超特Q〝引退撤回運動〟会見

ターザン山本応援シートに続いて、正気の沙汰とは思えない新日本の仰天プラン！　なんとユリオカ超特Qが、新日本の後押しを受けて〝藤波引退撤回運動〟を開始することが明らかになった。同席した棚橋も「シリーズが忙しくてウヤムヤになっていた」と、ほったらかしにしていた引退撤回運動の再開を宣言した。

3・7『ZSTフェザー級グラップリングトーナメント GF-T』

お台場／スタジオ・ドリームメーカー　観衆501人(超満員)

ますけど、今回の撤回運動中に藤波さん本人とはお話はされたんですか？

ユリオカ　12月23日の後楽園ホール大会で、ボクが引退反対署名運動をしてたんですよ。そうしたら若いファンが「ボクはまだホントのドラゴンの勇姿を見てません！」「まだまだ引退は早い！」とか、熱い思いをぶつけてきて。オールドファンは「藤波さんを観てプロレスが好きになった」とか書いてくるわけですよ。普通は署名なんかやったら誰も書いてくんないでしょ。ボクだって参加しないですよ。だけどプロレスファンというのは、ホントに熱いメッセージを自ら書き込んでくれてありがたいなって思っていたら、ちょうど藤波さんが来られたんですよ！

——絶妙のタイミングですね。

ユリオカ　藤波さんに「(藤波のモノマネで）悪いね。寒くない？　大丈夫？　無理しないでね」って言われましたよ。ボクが好きでやってるのに、わざわざありがたいなと思って。

——その後楽園大会のリング上で、藤波さんは猪木さんと『猪木祭り』と1・4ドーム大会のチケットの交換をしたんですよね。

ユリオカ　その時点で、『猪木祭り』での藤波さんの企画がどういうものになるのかはわかりませんでしたけども。藤波さんは猪木さんに無理矢理言われて、引退式なんかやる気もないのに神戸に呼び出されてると思っていたんですよ。本人も絶対にイヤだなと思っていたはずなんです。

——あの一連の騒動の中で、猪木さんは「『猪木祭り』で引退式！」と命令はするけど、藤波さんは「1・4で猪木戦！」と言い張るだけで、まったく噛み合ってなかったですしね。

ユリオカ　だから、後楽園で猪木さんに呼び出されたときも「猪木さん、ホントは引退したくないんですよ」っていう顔でリングに登場するかと思っていたら、なんと藤波さん満面の笑みですよ！　しかも今年一番の！

——「リストラ第一号！」発言の暗さは微塵もなかった、と（笑）。

『猪木祭り』ドラゴン引退式、リングシューズを持参しなかったドラゴンにアントンが怒りの一撃！　もはや写真だけ見ると、ドラゴンの間抜けさが浮き彫りになる単なる2コマギャグ漫画の世界だが、『猪木祭り』でもっとも声援を集めたのは、このズッコケ師弟劇だったのである。

ユリオカ超特Q

ユリオカ　ボクもさすがにズッコケましたよ。ボクと藤波さんにとって、猪木さんは共通の敵じゃなかったんですかと！

——引退反対運動してる者としては力が抜けますよね。

ユリオカ　ただ、藤波さんの気持ちもわからないでもないんですよ。ボクは今年の大晦日は三つ巴興行戦争があったのに、テツ＆トモを追いかけて紅白（歌合戦）に出演するという、プロレス者としては意外な選択になってしまったんですけど。楽屋のテレビで『猪木祭り』を見ましたが、藤波さんと猪木さんのエキシビジョンマッチを喜んで見てしまうわけです。昭和ファンの性なんですよねえ。

——あのエキシビジョンマッチが『猪木祭り』で一番沸いたそうですね。インパクト的には最後の暴動騒ぎも凄かったんですけど。

ユリオカ　で、藤波さんしても、猪木さんと絡めるのが嬉しくてしょうがないわけですよ。藤波さんはレスラーになって社長になっても、猪木さんへの憧れを忘れられない少年の心があるんですよ。

——藤波さんはいまだに猪木さんに会うと直立不動らしいですもんね。

ユリオカ　いくら猪木さんが憧れとはいえ、人間のイヤなところや好きになれない部分は絶対にあるじゃないですか。そこを見続けたら、その憧れは絶対に減っていくと思うんですよ。

——藤波さんは猪木さんから酷い仕打ちをされ続けてますから、いい加減イヤになっても不思議じゃないですよ。

ユリオカ　それでも猪木さんの目の前に立った瞬間、藤波少年に戻っちゃうんです。イヤなところとか腹が立ったこともあったかもしんないけど、それはそれとして猪木さんの素晴らしいところは絶対消えてなくならないという、純粋な心を藤波さんは残してるんですよ。もう目がキラキラしてましたもん！

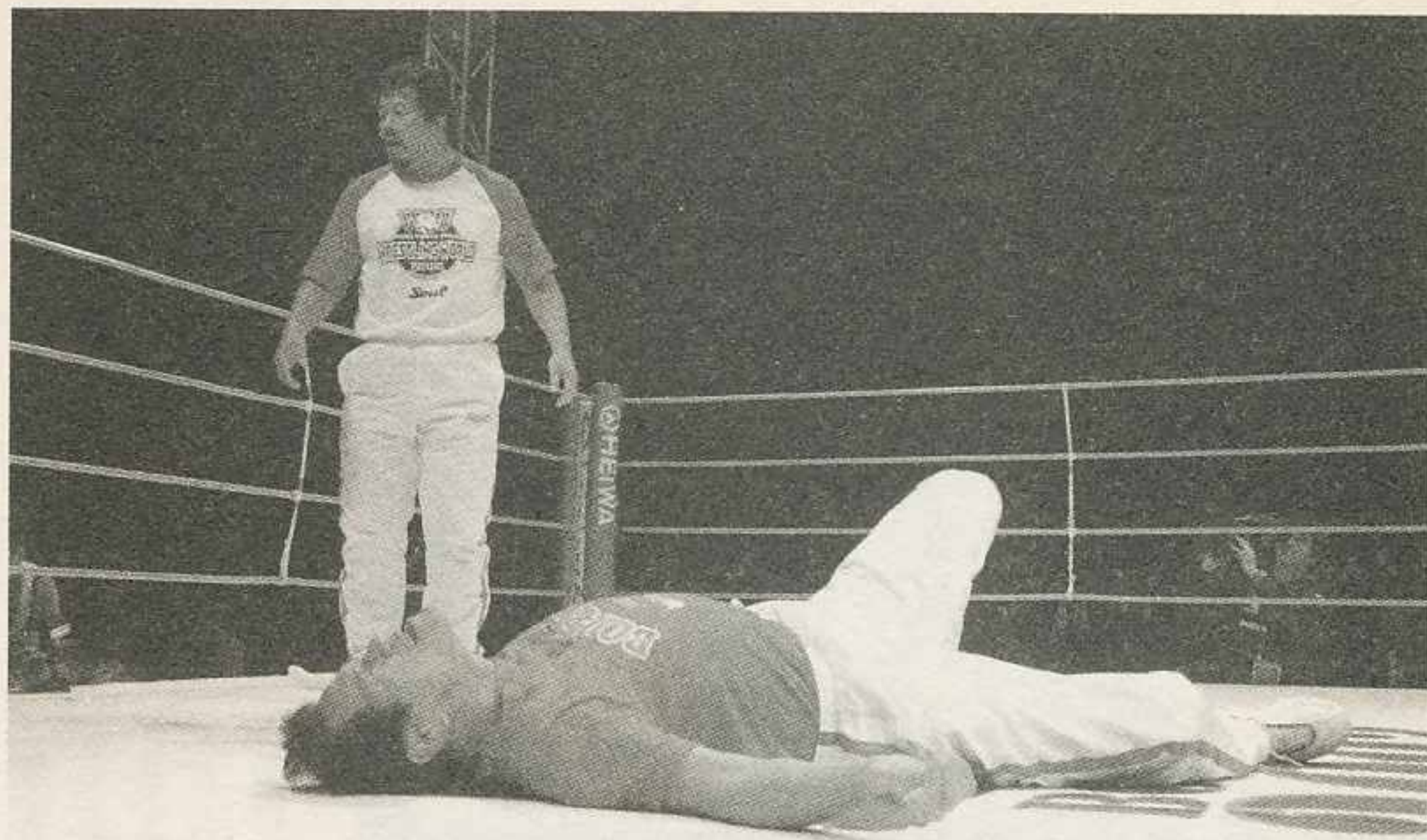
■12月18日　病のドラゴン健康商品CMに登場

病魔に冒されているドラゴンが、健康商品会社「グレコ」のCMモデルに起用された。その模様は試合会場のビジョンなどで公開されるというが、新日本HPでもその撮影風景を確認できる。健康とは縁遠いドラゴンの風貌はとにかく必見だ！

■12月23日　新日本後楽園大会

アントン総帥が新日本プロレスの後楽園大会に来場。『猪木祭り』での引退式を呼び掛けていたドラゴンに、12列31番目の『猪木祭り』チケットを手渡すパフォーマンス（ドラゴンはお返しに1・4ドームの1列4番目のチケットを手渡した）。ところが大暴動寸前まで陥った『猪木祭り』百八つビンタ開始前、アントンが「12列31番目の方、出てきてください！」と呼び掛けても、ドラゴンは姿を現さない辻褄の合わなさぶり！　とっとと東京に帰ったか？　自分がアピールできれば、あとは野となれ山となれのドラゴンなのであった。

■12月31日『猪木祭り』ドラゴン引退式

伝説の興行となった『猪木祭り』でドラゴン引退式が行われたが、リングシューズを持参しなかった

——猪木さんを前にしたら満面笑みを浮かべてもしょうがない、と。

ユリオカ　ボクも藤波さんを見て「なぜボクたちの気持ちをわかってくれないんですか？」とガッカリすることがあるかもしれないけど、藤波さんがボクらに与えてくれた夢の部分はなくならない。ボクもそこだけは藤波イズムなんです！（キッパリ）。

——どんなに失望しても、憧れは捨てないのが藤波イズム！

ユリオカ　1月4日のときも、藤波さんはリングシューズも履いて、一張羅のガウン着て、手首にテーピングまで巻いて、猪木さんと闘えると思って嬉しそうに入場してきたんですよ……。ところが、リングで「（藤波のモノマネで）猪木さん、出て来て下さい！」って叫んだら、猪木さんはビジョンから「出て行かないよ～ん」みたいなこと言い出して、藤波さんの悲しげな顔が東京ドームの大画面にアップ。それを見てドームの観客は大爆笑ですよ！

——ワハハハ！　藤波さんの呆然とした顔がビジョンに映し出されて、誰もが大笑いしたそうですね（笑）。

ユリオカ　ボクだけは笑ってません！（キッパリ）。ボクはスタンド席にいたんですけど、ダッグアウトに消えていく藤波さんの目前にいつの間にか駆け寄ってましたね。「藤波さん、これでいいのか！」と心の中で叫んで……。

——爆笑の渦の中、唯一悲痛な思いを忍ばせていた、と。

ユリオカ　全国各地にたくさんいると思いますけど、いまの時代、藤波ファンであり続けることはすごく大変ですよ（しみじみと）。

——結局、「病気を治して頑張れ！」という猪木さんのメッセージを受けて、藤波さんは引退撤回を宣言しましたが、スポーツ紙の報道はホントに酷かったですよ。「藤波やっぱり引退撤回！」とか、わざわざ〝やっぱり〟付きの見出しで報じていたりして。

ユリオカ　というか、『紙プロ』さんが一番ヒドイですよ！

——それは十分に理解してます（笑）。でも、ある意味で公平な報道がモットーとする専門誌やスポーツ紙がここまで書くかって疑問はあるじゃないですか？

ユリオカ　まあ、面白いからしょうがないですけど。あんだけ面白かったら、どこか拾いたくなるっていう気持ちは、芸人として十分に分かります（笑）。

——ただ、本人にどこまで自覚があるのかは本当に疑問ですよね。

ユリオカ　つまり、藤波さんはピシャリとシャッターを閉めれない人なんですよ。シャッターってピシャリと勢いよく閉めたら、反動で開いちゃうじゃないですか？　たとえば「（藤波のモノマネで）絶対に認めん！」と思いきり否定しちゃうから、勢いがつきすぎちゃって隙間ができちゃうタイプなんですよ。

——ドラゴンシャッター理論！　それは新説です！

ユリオカ　引退発言にしても勢いが付きすぎて隙間ができてしまうから、絶対に引退するわけがないんです。

——1月4日に引退して、5月のドームでカムバックするなんて噂もありましたけど。

ユリオカ　いや、ボクは藤波さんが長州さんみたいになってほしくない気持ちもあるんです。天下の長州力といえども、引退して復帰したらカッコ悪いじゃないですか。言ってみれば、結婚式挙げてみんなに御祝儀もらったのに、すぐに離婚するみたいなもんなんですよ。2回も3回も結婚式やって離婚されたらね、その度に「おめでとう！」って言った人、これはたまったもんじゃないですよ。でも、藤波さんの場合は違う。毎回婚約破棄なんです！

——結婚式前日に毎回キャンセル（笑）。

ユリオカ　そりゃ周りは呆れるかもしれないですよ。でも、御祝儀払わなくていいんですから誰にも迷惑はかけてないわけですよ。毎回、挙式の日取りだけは連絡が来るんですけど、直前になると「都合により延期となりました」ってかんじですね。

アントンの暴挙にドラゴンも反撃!!　最後はチョークスリーパーで絞め落とした！　大晦日の夜に“なぁ～にがやりたいんだコラ!!”という話だが、面白いから問題なし!!　それにしても、オロオロするドラゴンの佇まいはたまらないぞ。

ユリオカ超特Q

ドラゴンにアントンが激怒！いきなり張り倒されたドラゴンは逆ギレスリーパーホールドでアントンを絞め落としたが、アントンは担架で運ばれる直前、平然と起きあがり、「死んで花実が咲くものか！　オレは死なねぇぞ！」ということで、長いあいだアリガトウ！」とドラゴンを慰労。続いておなじみの「道」を朗読し、藤波引退の華としたが、ドラゴンは聞く耳持たずに「この続きは1月4日にお願いします！」と、東京ドームでの引退試合をしつこく要求！「ということで、ヨッシャー！」と勝手に締めくくった。ということで、まったく噛み合ってない師弟劇なのですが、面白いから問題なし。ヨッシャー！

■1月4日　ドラゴンやっぱり引退撤回

新日本東京ドーム大会、ドラゴンはリング上から「猪木さん、来てください！」とアントンを呼び掛けたが、アントンはオーロラビジョンから「俺は行かない。体を治して、若い選手に背中をみせてやってほしい」と、愛のあるメッセージ。棚橋もリングに現れ、「体を治してオレと闘って下さい」と引退撤回を望んだ。これを受けてドラゴンはついに引退を撤回！「猪木さんはボクの先の先を読んで、ファンの反感を買ったとしても出てこなかったんだと思う」など、まったくアテにならない深読みコメントを残したのであった。ちなみに、この場でドラゴンが胆石手術のために入院することも明かされた。

――それにしても、延期が多すぎやしませんか？
ユリオカ　いやいや、優柔不断でいい加減かもしれませんけど、人の道としてはそっちの方が可愛げがあるだろうと。だいたいね、「藤波さんはコンニャクだ、優柔不断だ」とか言ってますけど、これはマスコミやファンの方に言いたい！　藤波さんが社長になってから、どんだけ話題を提供してくれたんですかっていう話ですよ。とくに『紙プロ』!!
――ワハハハ！　いや、それはおっしゃるとおりです！　ウチも藤波さんのおかげでかなりのページが埋まってますからね（笑）。
ユリオカ　猪木さんの話題と比べたら、藤波さんの話題って可愛げがあるじゃないですか。楽しめるじゃないですか！　プロレス界からすればすごくOKなことだと思いますよ。ボクらも結局、人生って嬉しいこと悲しいことありますけど、藤波さんって人間味が溢れ過ぎてる人ですから、藤波さんのコメントで一喜一憂できるわけですよ。
――退院後の会見でも「嘘つきになりたくないから引退はする」と、非常に興味深いというか、「散々嘘は付いてるだろう！」って突っ込みたくなるコメントを残してますよ。
ユリオカ　いや、藤波さんはいままで嘘はついてないんです！　ボクはそう言いたいですね。
――というと？
ユリオカ　何回撤回しても一緒ですから。いまさら撤回しても、もう別にファンは気にしてないですよと！
――あ、そういう納得の仕方をしてるんですか（笑）。
ユリオカ　ボクらファンは藤波さんの本心をわかってますよと。で、藤波ファンというのは少し控えめなんです。〝犬は飼い主に似る〟じゃないですけど、結局ファンというのは、好きなレスラーの気質をちょっと受け継いでるところがあるんです。似ちゃうんですよ。長州ファンとか猪木ファンは人の意見を変えてでも「俺が正しい！」と人をねじ伏せる部分がありますよね。藤波ファンというのは人の意見を聞いちゃうんですよ。自分の意見を声高に語るようなタイプじゃないんです。
――藤波さんがドラゴンスープレックスを出す素振りは見せるけど、結局はやらないように、意見はしたいけど言わないのが藤波ファン。レスリング同様、受けのタイプなんですね。
ユリオカ　受けるだけ受けて、「これはどうだ？」っていう切り返し技を出している。相手の言い分を聞いちゃうわけですよ。「藤波さんに引退してほしくない。まだやれるよ！」と思う全国の藤波ファンは何十万人、何百万人いるかわからないけど、それを自らアドバルーン上げるタイプの人が少ないんです。なので僭越ながら、ボクが芸人という仕事をやらせて頂いてるので、自ら旗頭になってやるべきかなと。これはファンの飛龍革命！　途中で頓挫しないようにしないといけないですね。
――飛龍革命だけに（笑）。
ユリオカ　万が一、藤波さんが引退することになっても、ボクは東京ドームで引退してほしくないですね。大田区体育館で西村選手と闘って引退するなら納得いくんです。やっぱり新日本生誕の地である大田区体育館の薄暗いリングで闘う藤波辰爾というのが、ファンに一番しっくりくる引退試合だと思うんです。引退するならファンのためにやってもらいたい。猪木さん馬場さんの次の世代で、長州さんや天龍さん、鶴田さんと違って藤波さんというのは、格闘技経験のないプロレスファンがトップに立った最初の人じゃないですか？　ファンの気持ちが一番理解できる選手だと思うんです。
――「引退試合の1・4ドームは無料解放したい！」とか、ある意味で無茶苦茶な計画も提案したのも、ファンに対して感謝の気持ちが強いからこそだったんでしょうね。ところで、藤波さんといえば社長も兼ねてるわけですけど、社長業についてはいかがですか？
ユリオカ　それは難しいですねえ。正直ね、藤波ファンからしても、社長業が向いてるとは思えないような気がしますから。
――藤波さんが社長に就任してから選手や社員が20人以上も離脱してるわけですからね。ヤスカク（安田拡了）なんかは『週プロ』で、今年の新日本の契

引退相手にアントンを指名！　完全フル装備で登場を待ったドラゴンだったが、案の定スカされてしまい場内の観客は大爆笑!!　ドラゴンはオーロラビジョンからメッセージを送るアントンを虚しく見つめていたのであった……。

藤波さんの悲しげな顔がビジョンにアップ。それを見てドームの観客は大爆笑ですよ！

■1月9日　ドラゴン手術成功！

手術を無事成功したドラゴンが病床会見。「引退が先延ばしになってしまったので、いつかそれはやりたい。嘘つきだと言われたくないからね」とコメント。いまだに自分を〝嘘つき〟だと思っていないドラゴンの面の皮の厚さには脱帽するしかない。

■1月15日　仰天！　胆石ベルトプラン

ドラゴンが退院記者会見を開催。なんと摘出した胆石を埋め込んだ「胆石ベルトをつくりたい」と爆弾提案！　退院早々と脳ミソ手術も必要なほどの迷走を見せたわけだが、面白いからこのまま放っておくのが望ましい。

■1月23日　ドラゴン、選手契約解除

経営難のために全体で20％の年俸ダウンを図った新日本は、数名の選手のリストラも実施。選手の名前は伏せられる中、なぜかドラゴンだけは実名で発表！　ここまでくると、もはや新日本の嫌がらせとしか思えない。

約更改のときに藤波さんが入院中で不在だったから、思ったよりスムーズに事が進んだとか書いてたし、社長の立場は厳しくはありますよ。

ユリオカ　社員の気持ちはボクもわからないですけど、プロレス社会に一般社会を当てはめてはいけないでしょう！　オリジナルなものと思わなきゃ。

——それは納得です！　幻に終わった新日本株式上場計画に協力していた加治将一さんによれば、「チケットが何百枚も社内から消えてなくなることは頻繁」らしい会社だから、モラルなんか求めちゃダメですよね。そのいい加減さが面白いんでしょうし。

ユリオカ　逆に言うと藤波さんには、昔の新間（寿）さんみたいな参謀格が必要なんですよ。そういう人物が横にいると、藤波さんの存在がもっと輝いて社長というキャラがもっと立って、藤波さんは変わらなくても新日本は面白くなると思いますよ。

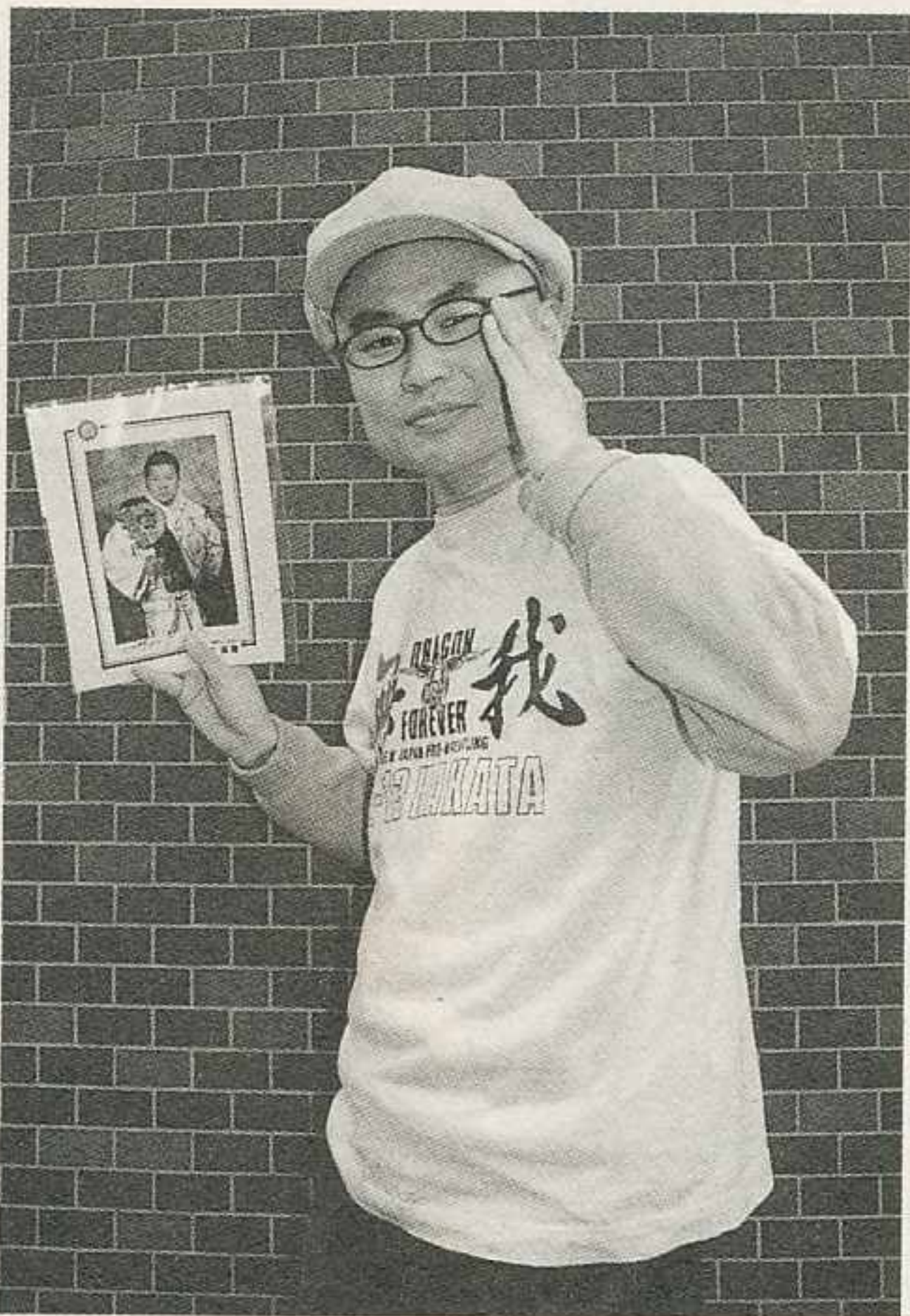
——何かしらもっとプッシュすべきではありますね。なぜか病人の藤波さんを健康商品会社のCMモデルに起用したのは面白かったんですけど（笑）。

ユリオカ　ボクからすれば「何でもっと藤波さんを出してくんないのか？」って思いがありますよ。藤波さんの行動で、一見辻褄が合わないところだけを見て笑っているかもしれませんけども。長州さんたちが辞めて新日本が危なくなったときに、藤波辰爾がいたからこそ新日本が生き残った部分があるじゃないですか？　藤波さんはつい面白いことをポロリと言っちゃいますけど、そういう藤波さんの功績を余りにも忘れ過ぎじゃないかと。

——長州さんも「藤波さんが辞めるとプロレス界がダメになる」って言ってましたしね。

ユリオカ　あんだけ『東スポ』で舌戦を繰り広げても、藤波がいたから長州があそこまでブレイクしたんであり、また逆も然りで。2人が感謝し合ってるっていう部分はあるでしょうから。藤波さんも長州さんに売り言葉に買い言葉で怒ったりしますけど、藤波さんって時間が経つとまたニュートラルな状態に戻りますから。

——長州さんに「あれだけ何も知らない社長はいない！」とまで噛みつかれたのに、のちに藤波さんは「WJの旗揚げ戦を観戦に行きたい！」と呑気に言ってたわけですからね。

ユリオカ　その辺の人の良さが、我が強いプロレス界の中では損してる部分なのかもしんないですけどね。だからそういう部分を我々が理解して応援してあげなきゃいけないなと。逆に言えば、そんな藤波さんを独り占めできて嬉しいですよ！　こうやって藤波さんを応援できるのは幸せです。

——みんなが中邑真輔に走るので、ドラゴンを独占させていただきます！　と。

ユリオカ　「俺が応援しなくてどうすんだ!?」という使命感に駆られますからね。プロレスファンになった醍醐味を一番感じますよ。それにしても、今年中には試合をしてほしいですよね。

——一応、次が引退試合になるそうですけど、ユリオカさんの予想では引退はしないと？

ユリオカ　しないですね。よくカウントダウンじゃなくてカウントアップだなんて言われてますけど。カウントアップでいいと思いますし、引退十番勝負をいまから始めて、年間2試合ぐらいで10年ぐらい掛けてやればいいんじゃないですかね。

——ジャンボ鶴田十番勝負並のスパンですね（笑）。

ユリオカ　そうですそうです。飛龍十番勝負も最後の試合だけかなり時間が空いてましたから。「あれ？　まだ八番まででしかやってなかったっけ？」みたいな感じでゆっくりやればいいんじゃないですかね。ドリー・ファンクJrやボブ・バックランド、西村選手とか、藤波さん好みの選手と闘ってくれればいいんじゃないかなと思ってます。

——ユリオカさんが藤波さん本人と絡むこともありえますか？

ユリオカ　いや、ボクはそういう立場はあんまり。ボクは藤波さんと知り合いになりたくないですから。あくまでもファンの立場で、藤波さんが猪木さんに憧れるように、どんなことがあっても大好きな気持ちを持ち続けたいんで。影ながらサポートしていきたいし、しかもありがたいことにモノマネをさせて頂いてると。それがサポートになってるかどうかわからないんですけど（笑）、そこにドラゴンLOVEは溢れてるんですよ。ネットとかだと酷い書き込みがありまして、「動けなくなったドラゴンを応援しているユリオカ超特Qっていう人は、ホントの藤波ファンであるはずがない。売名行為だ！」と。売名行為というアプローチも逆に凄いなと思って。だったら、普通にお笑いの番組とかテレビに出るよって話ですよ。

——たしかにそうですよね（笑）。

ユリオカ　「アイツがファンなわけない」とか、書いてる意味がわからないんですけど。アナタの方が逆に藤波さんに失礼だろうと。ボクなんかは、いまどき珍しいぐらい純粋なファンだっていうんですよ！（怒）。

——ここまで藤波さんのことを考えてるのはユリオカさんぐらいですよ！　最後に、一番の謎である藤波さんの現役を続けるパワーというか、現役にこだわる理由は何だと思いますか？

ユリオカ　それは自分が憧れていた夢の舞台、夢の世界がプロレス界だからですよ。いまでもプロレスラーになりたかった頃のプロレスファンのままなんです。それならば、大好きなプロレスを辞めれるわけないじゃないですか。まだまだプロレスをやることが藤波さんの人生であり、幸せでもあるんです。藤波さんはやめませんよ。それを暖かく見守るのが我々の役割なんです！

——よ～くわかりました！　ボクらも藤波さんの生き様をずっと追いかけ続けます！

ユリオカ　アイ・ネバー・ギブアップッ!!（ドラゴンのモノマネで）。

【04年2月某日／都内某所にて収録】

【ゆりおか・ちょうとっきゅう】ドラゴンモノマネ第一人者のお笑い芸人。日本テレビ「エンタの神様」、NHK「爆笑オンエアバトル」など多数出演。ユリオカ超特Qの着ボイス情報【i-mode】i Menu→メニューリスト→着信メロディ→JYOSOUND→ボケ声＆ボケ音声【J-SKY】J-フォンメニュー→J-スカイメイン→着信メロディ→JYOSOUND→ボイス・効果音【SKY PerfecTV携帯サイト】http://mobile.skyperfectv.co.jp./cgi-bin/voice/index.cgi

藤波さんが社長になってから どれだけの話題を提供したかって話ですよ!!

3・7『ZSTフェザー級グラップリングトーナメント GF-T』
お台場／スタジオ・ドリームメーカー　観衆501人(超満員)

"足関十段" 今成離脱!!
盟友・矢野卓見も同調!
ZSTに何が起こったのか!?

渦中の今成を直撃!

さらばZST四兄弟……

文＆写真／堀江ガンツ

繰り広げても、藤波がいたから長州が

には試合をしてほしいですよね。

ンの立場で、藤波さんが猪木さんに憧

【04年2月某日／都内某所にて収録】

「あんなことされたら、もうZSTには上がれないし、上がらない！」

3・7『GT-F』の翌日、"足関十段"今成正和はそう吐き捨てた。

ZSTが初めて開催する組技限定の大会『フェザー級グラップリング・トーナメント・GT-F』。いずれも組技に自信を持つ軽量級の猛者8名で行われたこの大会は、"小さなヴォルク・ハン"の異名を持つ所英男が見事優勝。1回戦で元修斗世界王者・大石ジャッカル真丈を破ったのを皮切りに、準決勝で松本秀彦、決勝で若林次郎とサンボ勢を連破する快進撃だったが、試合後、コメントブースに姿を現した所が最初に発した言葉は「今成さんに勝ってないので、優勝した気がしない…」だった。そう、優勝候補の筆頭と目され、所が「決勝で闘いたい」と願っていた今成は、1回戦で姿を消していたのだ。彼の言う"あんなことをされて"。

◇

「(勝者、若林！　とコールされた)直後は、言ってる意味がわからなくて、呆然としてしまいましたね。何を言ってるのかな？っていうくらいで。わけがわからなかった」

そのときの心境をそう振り返った今成。

今大会、今成は一回戦でサンビストの若林次郎と対戦。5分2Rをフルに闘いタップこそ奪えなかったものの、1R、2Rともに1回ずつ強烈な三角絞めでタップ寸前まで追い込んでいたこともあり、2R終了のゴングが鳴ると自分の勝利を確信していた。

しかし、ジャッジが下した判定は2-1で「若林勝利」。観客が不満の声を挙げ、勝った若林自身が「負けたと思った」という試合展開の中での判定であったが、ジャッジは若林の積極性と何度かアキレス腱固めの形に入った「キャッチ」の回数を評価したという。

俺にとってZSTは特別な存在だった。だから俺が一番残念に思ってますよ

判定が下った後、今成は無表情でリングを降りる。これはもちろん判定に納得したわけでなく、前記のとおりリングアナの言っている意味がわからないほどショックを受けたからだった。この後、今成は残りの試合を観ることなく、ノーコメントで会場を後にする。

そして、試合翌日、少し頭が冷静になったところで、前日の試合を振り返ってもらった。

「いま振り返って考えても……負けてないんですよね俺は。どう考えても。極められそうになった場面もないし、痛くないモノにキャッチもクソもないでしょう。あんな先っちょだけ持ってても極まらないし、何の危機感もありませんでしたから」

今成はそう言って、若林に優勢点がつけられたとされる「キャッチ」自体を否定する。

確かに今成は、何度か若林にアキレスを取られているが、その都度、表情も変えずに切り返しており、これを「関節技が極まりそうな状態」を意味する「キャッチ」とすることには疑問が残る。では、若林の「積極性」についてはどうだろう。

「積極性というのは極めにいくことに対しての積極性じゃないんですか？　ただ足持って極まんないアキレスかけてる振りするのが積極性なのか、ちゃんとした一本取れる技を狙って闘うのが積極性なのか。"積極性"で向こうを評価するなら、もうそういう"演技力"の違いなのかなって思う。若林選手が悪いわけじゃもちろんないですけどね」

そう断固として判定に異を唱えた今成。しかし、今成と言えばもともと一本勝ちを信条とし、判定についてはめったに口を出さない男。その彼がここまで判定結果に固執するのには、それなりの理由がある。

その理由とは、ジャッジの中に、対戦相手の若林が所属するSKアブソリュートの松本天心氏がいたことだ。

これこそが今成の言う"あんなこと"だった。

「だからミスジャッジとは根本的に違うんですよ。ジャッジの人選からしておかしい。それで向こうに入れてるんだから勘ぐりたくもなりますよね」

このジャッジに松本天心氏がいたことに対して、今成は「政治的なものを感じる」とまで言う。

というのも、実は今成&矢野のチーム・イリホリや所属するROKEN、烏合会と松本天心氏は必ずしも良い関係ではない。この日も、ジェネシス・トーナメントでセコンドについた今成のマネージャー的存在である鬼木に対して、

【トーナメント1回戦】
○若林次郎[判定 2-1]今成正和●
今成が1Rにアームバー、2Rに三角絞めでそれぞれタップ寸前に追い込むも、ジャッジは若林の積極性を評価。優勝候補・今成が1回戦で姿を消す波乱となった。それにしても、写真を見てもわかるように、レフェリーがストップする寸前まで極まっている技が判定に反映されないとは……

優勝は所英男！
3・7GT-F PUTI REVIEW

【トーナメント1回戦】
○ジェフ・カラン[1R1分29秒、三角絞め]エヴァルダス・プネビュチス●
※リトアニアの柔道王エヴァスダスがジェフを抱え上げ豪快にテイクダウンするが、下になったジェフはすかさず三角絞めで捉え、エヴァルダスはたまらずタップ。

【トーナメント1回戦】
○松本秀彦[判定 3-0]朝日昇●
サンボ世界2位の松本と足関節技には定評がある"奇人"朝日の一戦は、終始有利なポジションを取った松本が判定勝ち。朝日は2R終了間際にアキレスを極めるが時すでに遅し。

【トーナメント1回戦】
○所英男[判定 3-0]大石"JACKAL"真丈●
ZST・GP1回戦のリマッチは、所がグラウンドで動きまくり、足関節やチョークを積極的に仕掛け、フルマークの判定で元修斗世界王者を返り討ち！　この2連勝は大きい!!

松本氏がジャッジ席から怒鳴り散らす姿が目撃されるなど、それは関係者の中では周知の事実だった。その松本氏をわざわざジャッジとして入れたことで、今成はZSTに対して不信感を抱き、その松本氏によるまさかの判定結果に爆発してしまったのだ。

松本氏がジャッジに入ったことを、ZSTの上原広報は「当初、予定していた豊永稔さんが来れなくなったため」と説明する。しかし、こういう状況になってしまった以上、結果的にそれは配慮が欠いていたと言わざるを得ないだろう。

「ZSTはあれでいいと思ってやってるんだから、俺にとってZSTは特別な存在だったけど、向こうにとってみたら、単なる使い捨てのイチ選手だったってことでしょう」

今回の一件をそう結論付けた今成。アウトローなイメージの彼の口から「ZSTは特別な存在だった」という言葉が出たことは意外だったが、総合格闘家を目指して初期UFOの門を叩いてから、ずっと裏街道を歩いてきた今成にとって、ZSTは初めて「自分の団体」と思えるリングだったのだ。

2R終盤、今成は若林にアキレスを取られたが、ご覧のように涼しい顔。この後、キッチリ切り返してみせた。しかし、この余裕がアダとなってしまったのか……？

そして今回の『GF-T』も、そのZSTが自分のために開いてくれたような大会とあって、練習も凄まじい追い込みようだったという。それだけに反動も大きく、今成の心は完全に切れてしまった……。

しかし、ZSTが本当に今成を「使い捨ての選手」と思っていたかと言えば、そうとは言えない。それは、この『GT-F』が事実上、今成をエースにした大会であることや、第2回の『ZST・GP』を今回と同じ今成の体重に合うフェザー級でやる構想もあるということからも十分伺える。ZSTはZSTで今成に大きな期待を寄せていたのだ。ところが、それがほんのボタンの掛け違いで、修復できない状況になってしまった——。

このインタビューのあと、今成はZST側と会談を持ったが、お互いの主張が平行線をたどり、物別れに終わってしまう。そして正式にZST離脱を表明。また「今成側」として、この会談に同席した（そして一番しゃべりまくった）矢野卓見も今成と同調しZSTを去る決意をしたという。

「前から4人の中で俺だけちょっと違うっていうのはあったんですよね。やっぱり他の3人と違って俺はリングス出じゃないから。四兄弟と言っても俺だけ〝親が違う〟みたいな（笑）」

そう言って笑う今成。しかし、ZSTは矢野、今成、所、小谷の〝四兄弟〟だったからこそ、絶妙なバランスで魅力的だったことは紛れもない事実だ。ZST側ももちろんそれを承知しており、あえて矢野と今成の「離脱」という発表はせず、今後も折を見て、誠意を持ってオファーを出していくという。

最後に今の気持ちを今成に聞いてみた。

「ホント今回のことは俺自身が一番残念に思ってますよ。でも、もう過ぎたことなんで、考えてもしょうがない。ま、優勝した所英男に風俗でもおごってもらいますよ（笑）」

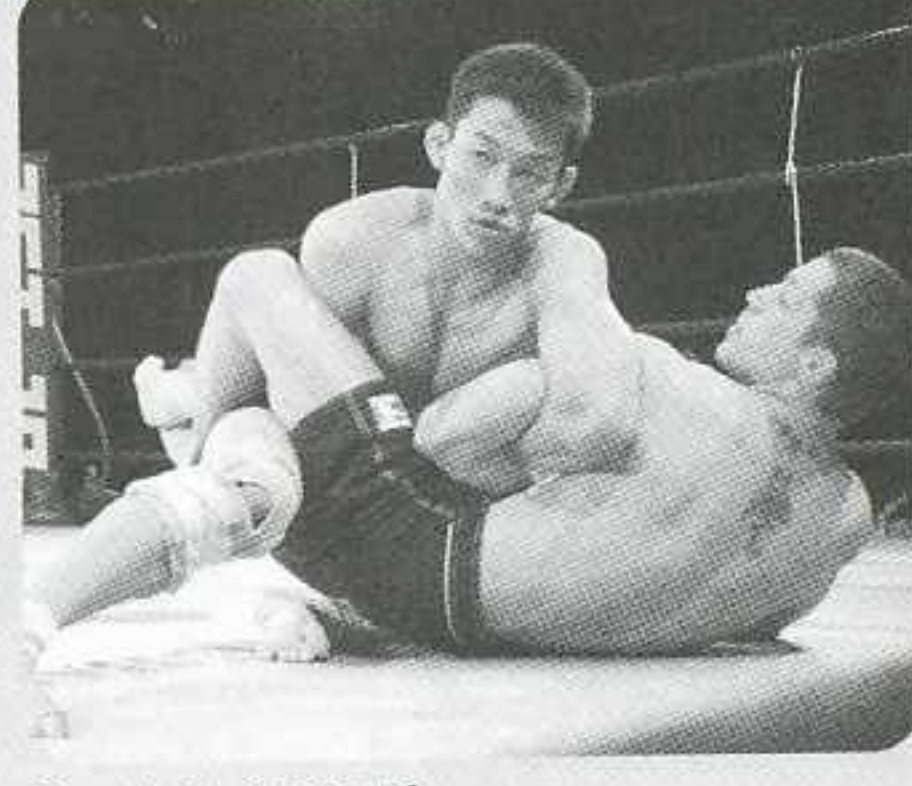
◇

こうしてZSTでの活動に一応のピリオドを打った今成は、『GT-F』の11日後、早くも3・20 clubDEEP福岡大会に出場。グラップリング・タッグマッチで烏合会の辻昌樹と組み、パンクラス稲垣組の前田吉朗&武重賢司と対戦し、見事、いま注目度急上昇中の前田吉朗から得意の足関で一本を奪い溜飲を下げた。

今成はこれからも足関を武器に、格闘技界を腕一本で渡り歩いていくだろう。今は、その道の途中にZSTのリングがあることを願うのみだ。

【ライト級ワンマッチ ZSTルール】
○レミギウス・モリカビチュス[1R1分48秒、KO]内山貴博●
この日、唯一の総合(ZST)ルール。恐怖の打撃を誇るモリカが倒れた内山の顔面を蹴ってイエローをもらう場面もあったが、強烈な左フックでまたしても秒殺KO勝ち！ 強い!!

【トーナメント決勝】
○所英男[2R2分39秒、裸絞め]若林次郎●
所が若林を終始スピードで翻弄。執拗に仕掛けたスリーパーが2Rでついに極まり、フェザー級寝技ナンバー1の座は、尻の穴……もとい、大穴・所が見事に勝ち取った。

【トーナメント準決勝】
○所英男[判定 2-1]松本秀彦●
序盤苦戦した所が持ち前のスタミナで後半盛り返し、2R終了間際には松本の背中に飛び乗ってのスリーパーを仕掛け逆転勝ち。サンボ同士の決勝戦となるのを阻止した。

【トーナメント準決勝】
○若林次郎[判定 2-1]ジェフ・カラン●
今大会のベストマッチと呼び声の高い至高の寝技合戦は、カランが1Rに三角絞めを極めかけるが、2Rにアキレス、ヒザ十字でキャッチを奪った若林が僅差の判定勝ち。

Radical Back Number

前田の言霊が弾け飛ぶ!! 「紙の前田日明」

くわしくは本誌Back Number参照!

インタビューという名の鉄拳突!
ナマの日明、読ませたろか!!

バックナンバーは電話で注文できます!!

03-3403-5142

【平日15:00～22:00 (株)ダブルクロス】

『紙の前田日明』と併せてどうぞ!!

no.16 前田日明、引退後初のロングインタビュー!
"人類最強"カレリン戦を振り返る!!
- ●リングススタイル独占宣言　田村潔司
- ●環境問題を『紙プロ』で語る!!　アントニオ猪木
- ●完全無欠の怪物!!　語ろうジャンボ鶴田
- ●相撲多重アリバイ　石川孝志

'99.03 / 780yen

no.36 『KOKトーナメント』またしても大成功!
前田日明が田村、サク、猪木、PRIDEを語り倒す!!
- ●KOK大総括!　田村、ノゲイラ、金原インタビュー!
- ●ヴォルク・ハン――ノゲイラに狼の伝言
- ●純プロ復興の鍵を握る男　三沢光晴
- ●悪夢の『PRIDE.13』直前!　桜庭和志

'01.02 / 840yen

no.39 リングス存続騒動、大量退団、暴行疑惑、結婚疑惑……。
渦中の前田日明が全ての疑問に答える!!
- ●前田は是か非か?　前田座談会
- ●『PRIDE.15』出場決定!　桜庭和志
- ●壮絶なる格闘人生　藤原敏男
- ●プロレススーパースター列伝　田上明

'01.06/ 840yen

no.43 前田日明が語る真のバーリ・トゥードとは!?
UWF、PRIDE、格闘界をぶった斬る!!
- ●ランペイジに激勝!　桜庭復活インタビュー
- ●金ちゃん×サスケの新日本プロレス学校同窓会
- ●最強のパフォーマー　須藤元気初登場
- ●野武士がUWFを語る　中野巽耀

'01.10 / 840yen

---

no.05 表紙 高田延彦　'97.08 / 680yen

すべてはここから始まった!!
高田、ヒクソン戦へ……
- ●アイ・アム・プロレスラー宣言!!　高田延彦
- ●ドン荒川vs藤原喜明"昭和新日対談"
- ●前田日明の大好評人生相談『人生は語らず』
- ●世界格闘技連盟とは何か!?

売り切れ寸前!!

no.15 表紙 小川直也　'99.02 / 840yen

リアル・アルティメット・クラッシュ!!
小川vs橋本"1・4事変"勃発!!
- ●あの"1・4事変"を徹底大検証!!
- ●"前田日明・最後の相手"アレキサンダー・カレリン
- ●引退記念雑談会「語ろうマサ・サイトー!」
- ●『S多重アリバイ』／佐野雄飛・編

no.24 表紙 アレク　'00.02 / 840yen

ノゲイラ、ダンヘン、田村、コピィロフが登場!!
伝説のKOK決勝トーナメント直前号!!
- ●リングスロシア幻想を掘り起こせ!!
- ●『紙プロ』的視点から送る「語ろう船木 vs ヒクソン!」
- ●驚ガクのUFO対談　サスケ×矢追純一
- ●ターザンが有刺鉄線デスマッチを敢行!?

売り切れ寸前!!

no.29 表紙 秋山準　'00.07 / 840yen

「格闘環境」は刻一刻と変化する!
ノア勢フルメンバーで登場!
- ●三沢、秋山『紙プロ』初登場!!
- ●プロレススーパースター列伝　仲野信市
- ●本誌独占ジャンボ鶴田夫人　真実を語る!!
- ●TKおかん

no.30 表紙 小川&村上&アントン　'00.08 / 840yen

サクvsヘンゾー戦直前!
燃えよ!　闘魂の火種!!
- ●平成のテロリスト　村上一成
- ●ケンドー・カシン暴言ファイル
- ●プロレススーパースター列伝　永源遙【前編】
- ●長州力座談会

売り切れ寸前!!

no.32 表紙 小川直也　'00.10 / 840yen

針はどちらに向くのか!?
新プロレスvs純プロレス開戦!
- ●田村潔司に快勝!　A・ホドリゴ・ノゲイラ
- ●ドラゴンの大爆笑10　藤波語録
- ●プロレススーパースター列伝　ラッシャー木村
- ●"和製カレリン"本田多聞

no.34 表紙 小川直也　'01.01 / 840yen

『猪木祭り』開幕ーッ!!　プロレスは「闘い」を忘れたときに老いていく!
- ●UFCミドル級王者　ティト・オーティズ
- ●プロレススーパースター列伝　ミスターヒト
- ●修斗から『猪木祭り』へ!　宇野薫
- ●ボブチャンチン&オバチャンチン

no.35 表紙 サクマシン(イラスト)　'01.02 / 840yen

「純プロレス」を考え倒せ!
500人アンケートも実施!　徹底検証号
- ●ZERO-ONE本格始動　橋本真也
- ●プロレススーパースター列伝　ジョー樋口
- ●"ノアの怪物"杉浦貴
- ●UFCの巨人　ランディ・クゥートアー

no.37 表紙 小川直也(イラスト)　'01.04 / 840yen

小川と三沢が遂に絡んだ!!
純プロレス戦国絵巻
- ●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る!
- ●アブダビコンバット2001一大探検記!
- ●シュート活字×ファンタジー活字
- ●他に比類なきプロレスがWWFにはある!

no.38 表紙 高田(イラスト)　'01.05 / 840yen

小川と長州、どちらが孤独だったのか!?
- ●忘れ物の正体は――。高田延彦
- ●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子　E・ヒョードル
- ●プロレススーパースター列伝　阿修羅原
- ●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー

no.40 表紙 アントン総帥　'01.07 / 880yen

猪木軍vsK-1に見たいものは"地上最強のプロレス"
- ●蘇れ!Uインター&キングダム伝説!　高山善廣×金原弘光
- ●熱いこの叫びを聞け!　大谷晋二郎
- ●プロレススーパースター列伝　グラン浜田
- ●グラバカの核弾頭　郷野聡寛

no.41 表紙 ビンス・マクマホン　'01.08 / 880yen

Can you カミングアウト?
"最後の黒船"WWF襲来!
- ●リングス10周年!　ヴォルク・ハンが振り返る
- ●真樹日佐夫×三池崇史　巨頭対談が実現!
- ●W☆INGの真実・茨城清志
- ●毒舌知能犯　秋山準語録

no.42 表紙 アントン総帥　'01.09 / 880yen

猪木なら何をやっても許されるのか!?
- ●ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
- ●"ヒャッホーの真実"辻よしなり
- ●蘇れ!UWFインター伝説!!　高山善廣×宮戸優光×金原弘光
- ●誇り高きルチャ戦士　ルチャカツ・クン・リー

no.44 表紙 桜庭&シウバ　'01.11 / 880yen

サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か?
- ●その修羅場の数々!　シーザー武志
- ●怪物伝承対談!　高山善廣&杉浦貴
- ●ハンス・ナイマン&ディック・フライ
- ●闘龍門大特集

no.45 表紙 アントン総帥　'01.12 / 880yen

「K-1vs猪木軍」命懸けのエンターテイメント!!
- ●悪魔の書、現る!　ミスター高橋
- ●ジェラルド・ゴルドー人生相談
- ●プロレススパースター列伝　グレート小鹿
- ●語録で振り返るマット界2001

no.47 表紙 ビンス・マクマホン　'02.02 / 880yen

WWE日本侵攻5秒前!
- ●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
- ●噂の馳浩が新日分裂からミスター高橋本までを語る!
- ●第一次リングス閉幕特集
- ●プロレススーパースター列伝　ストロング金剛よ!!

no.48 表紙 桜庭和志　'02.03 / 880yen

見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
- ●奇跡のメガトン対談!　小川直也 vs ノゲイラ&スペーヒー
- ●和田最強伝説が遂に現実に!　語り部・金原弘光
- ●伝説の男が笑撃の登場!　ジョー・サン
- ●WWEを知る男　ウォーリー山口

no.49 表紙 ミルコ&ヒクソン&小川&桜庭　'02.04 / 880yen

究極の格闘技大戦争勃発!!
マット界灼熱の噂!
- ●和田さん快勝記念対談!　高山&金原&和田
- ●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
- ●破壊王も火のヤリ特訓!　小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行!
- ●ビッシビシいくわよ!!　小畑千代

no.50 表紙 桜庭和志　'02.05 / 880yen

サクが笑えば、世界が笑う!!
- ●「地方初世界」開始!　小川直也&橋本真也
- ●リングスロシア軍団の軌跡
- ●パンクラス取材解禁!　菊田、"尾崎の野郎"が登場!
- ●ギョ!?　I編集長が新日本に三くだり半!

no.51 表紙 橋本真也　'02.06 / 880yen

ZERO-ONEに願いを!
- ●両国国技館だよ、全員集合!　橋本真也
- ●『PRIDE』の魅力をマン開!　小池栄子
- ●天才が悩みに答える!　武藤敬司人生相談
- ●新・超獣　ザ・プレデター

no.52 表紙 OH砲　'02.07 / 880yen

見えない鎖を引きちぎれ!
小川直也リング外での暗闘!!
- ●全身プロレスラー・高山善廣
- ●USAの渡世人ドン・フライ
- ●『PRIDE』侵攻開始!!　ロシアン・トップチーム
- ●戦慄の『LEGEND』前夜!

no.53 表紙 桜庭和志　'02.08 / 880yen

世紀のビックイベント『Dynamite!』直前大解剖!!
- ●ノーフィアー×無謀美・対談!!　高山善廣×美濃輪育久
- ●独占肉弾スクープ!　マット・ガファリ
- ●爆裂!　川村社長ガチンコ語録!
- ●偽造王の知られざる半生!　一宮章一

no.54 表紙 ノゲイラ　'02.08 / 880yen

不平等の時代を克服した英雄ノゲイラ!!
- ●"首の皮一枚"ホイス&エリオグレイシー
- ●"青い目のケンシロウ"ジョシュ・バーネット
- ●純プロ頂上対談!　武藤敬司×ウルティモ・ドラゴン
- ●猪木とは何か?　アントン実兄・猪木快守

no.55 表紙 高田延彦&田村潔司　'02.09 / 880yen

高田×田村!!
夢幻大の真剣勝負が実現!!
- ●「真剣勝負」発言から7年!!　田村潔司
- ●実力者、遂に『PRIDE』登場!　金原弘光
- ●メガトン級の強さと面白さ!!　ボブ・サップ
- ●靖国神社で興行開催!!　佐山聡

売り切れ寸前!!

※代引きについてはP144を参照してください。

本誌 Back Number

no.08 '94.01
特集 さらば新日本プロレス
仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが「紙プロ」初登場！ 20ページにも及ぶ大特集！

700yen⇒350yen 50%OFF

no.13 '95.03
特集 道場破りとは何か?
安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！ 山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦

780yen⇒390yen 50%OFF

no.14 '95.04
特集 神秘とは何か?
佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.15 '95.05
特集 インディペンデントの逆襲
あんた誰？ 山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／K－とは何か？ 石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのK－1三兄弟（当時）インタビュー

780yen⇒390yen 50%OFF

no.16 '96.06
特集 新日本凸凹大学校
「紙プロ」的・昭和新日本プロレス大検証！ マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！ 糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！

780yen⇒390yen 50%OFF

no.17 '95.07
特集 実況パワフル北朝鮮
あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！ アントニオ猪木＆永島勝司・村松友視・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」

780yen⇒390yen 50%OFF

no.19 '95.09
特集 さようなら紙のプロレス
『紙プロ』を偲んで… ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会

780yen⇒390yen 50%OFF

極真魂溢れる16人を直撃! 完売間近
極真とは何か?
松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廬山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏

1530yen⇒800yen 50%OFF

"燃える情念"石川雄規、初の自叙伝!! '00.04
情念〜夢一途なり〜石川雄規
『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長・石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆十書き下ろし！ 自称"世界一の猪木信者"石川社長が、あまねく全ての人に捧げる珠玉の一冊！ 情念とは何かが分かる本である。

2100yen（送料込み）

みんなで遊べる付録付き!! '01.04
さくぼん
『PRIDE』の会場でも大人気!! サクのすべてがよくわかる桜庭和志初のインタビュー集！ 花くま先生の「サクラバの汁」、特製シールやポスター、動く必殺技「炎のコマ」「炎の人力車」、サクマシン立体組お面など付録がこれでもか！とばかりに付いています！

総238ページ

1500yen（送料込み）

インタビューという名の鉄拳史 完売間近
紙の前田日明
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！ 引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！
プロレス、UWF、そしてリングスとは何か？／大山倍達とは何か？／激白！プライドとは何か？／特別対談 撃墜王・坂井三郎×前田「勝負師とは何か？」／特別対談 イエローキャブ社長・野田義治×前田「巨乳とは何か？」／『バカの壁』著者・養老孟司×前田「脳みそとは何か？」／大和魂檄談・エンセン井上×前田 他、珠玉のインタビュー＆対談が多数収録!!

2000yen（税金・送料込み）

---

no.56 表紙 Uインター '02.10／840yen

愛すべき若気の至り!! 受け継げ、Uインターの蒼き魂!!
- 田村戦直前!! 高田の覚悟を読み解け! 高田延彦
- 蘇れ! Uインター伝説!! 安生&金原&高山
- 高田×田村、観る側の覚悟!! 浅草キッド
- 『紙プロ』に風がふくぜぇ〜! 鈴木みのる

no.57 表紙 高山善廣 '02.11／840yen

一瞬の11・24!! 高田延彦引退試合を大総括!!
- サップと地球規模のタイマン勝負!! 高山善廣
- 新たなる"U"が始動!! 田村潔司
- 悪魔の書、再び! ミスター高橋×大槻ケンヂ
- "北尾戦・セメントマッチの真実" ジョン・テンタ

no.58 表紙 武藤&船木 '03.01／880yen

新春特大号!!「明日、また生きるぞ!」な対談の大連発!!
- 夢幻のファンタジー対談 武藤敬司×船木誠勝
- Uスタイル対談 田村潔司×高阪剛
- Uインター座談会 宮戸×安生×鈴木健
- カルガリー師弟対談 ミスターヒト×ハシフ・カーン

no.59 表紙 ヒョードル '03.02／880yen

吹けよ!呼べよ嵐!! マット界新風景が見えてきた!!
- いざノゲイラ戦!! E・ヒョードル
- アメリカン・ドリーム ダスティ・ローデス
- 爆発!! WJマグマ語録
- 吉田道場の秘密兵器 中村和裕

no.60 表紙 ヒョードル '03.03／880yen

英雄、変貌好む!! 『PRIDE』RE・BORN!!
- ノゲイラ撃破!! E・ヒョードル
- 驚愕の格闘芸術対談!! 武藤敬司×須藤元気
- あのマーシーがすべてを告白!! 田代まさし
- 全日本中継の真実!! 倉持隆夫

no.61 表紙 OH砲 '03.04／880yen

5・2仁義ある闘い!! やっちゃうぞバカヤロー!!
- 裏番組をブッ飛ばせ! 橋本真也×小川直也
- 1年間の沈黙を破った!! ヴォルク・ハン
- プロレス・格闘技クロスオーバー対談 エンセン井上×金原弘光
- リングス・リトアニア特集

no.62 表紙 ミルコ '03.05／880yen

誰でもいいからミルコのクビをカッ斬ってみろ!!
- ヴァーと笑顔で初登場!! 佐々木健介
- 現役復帰間近!? 船木誠勝
- ホントに大爆発!! 橋本真也
- 新日本バードを徹底検証!!

no.63 表紙 OH砲（イラスト） '03.06／880yen

吉田秀彦が大英断! ミドル級GP出陣!
- 「お前は男だ」劇場炸裂! 高田延彦
- 『PRIDE』REBORNを大総括!!
- 憂国の虎 ザ・マスク・オブ・タイガー
- 芸能界一の川田番 ダチョウ倶楽部

no.64 表紙 桜庭&田村 '03.07／900yen

灼熱の『PRIDEミドル級GP』直前号!!
- "異次元格闘技戦戦" 田村潔司×吉田秀彦を大展望!!
- 『PRIDEミドル級GP』出場全選手インタビュー
- ミスター高橋の盟友が放つ"猪木の裏側"
- スマックガール・ビキニ特写!!

no.65 表紙 ミルコ '03.08／880yen

ヒョードル×ミルコ、闘争本能世界一決定戦!!
- "最後の皇帝"燃え上がる! ヒョードル
- "反逆の妖刀"、遂に皇帝へ!! ミルコ
- 吉田秀彦戦の"謎"に迫る! 田村潔司
- 闘魂ストーカーを捕獲! イズマイウ

no.66 表紙 ミルコ '03.09／880yen

ミルコ、『武士道』電撃出陣! もはや誰にも止められない!!
- 緊急独占インタビュー! ミルコ
- マッハの野望を砕いた"赤い暗殺者"登場!! 長南亮
- "天才空手少年"VT秒殺デビュー!! 中嶋勝彦
- 『東スポ』とは何か? 柴田惣一

no.67 表紙 シウバ&吉田 '03.10／880yen

吉田とシウバ、いざ激突!! 衣(ギ)は赤く染まるか!?
- ノゲイラ戦に向けて緊急インタビュー! ミルコ
- "柔術超獣"復活へ!! ノゲイラ
- 『PRIDEミドル級GP』決勝戦出場全選手インタビュー
- アントン"疑惑の時代"を知る男 加治将一

no.68 表紙 高田&桜庭&曙&猪木 他 '03.11／880yen

人類史上稀にみる"大晦日・格闘技大戦"!! 白黒ハッキリ決めようやーッ!!
- 大晦日三つ巴決戦に出撃宣言! 高田延彦
- 曙とは何者か!? 語ろう、曙!!
- 一年ぶりの勝利でニコニコインタビュー 桜庭和志
- "野良犬"『紙プロ』初登場! 小林 聡

no.69 表紙 OH砲 '03.12／900yen

大晦日・格闘技大戦&1・4プロレス戦争直前!! 年末年始もドゥ・ザ・ハッスル!!
- 出てこい! 泣き虫!! 橋本真也&小川直也
- 『泣き虫』著者登場! 金子達仁
- 語ろうU-STYLE 特別ゲスト 田村潔司
- アイ アム リアルプロレスラー 美濃輪育久

no.70 表紙 ミルコ '04.01／880yen

年末格闘技大戦&1・4プロレス戦争大総括!! OH、ゴーバー登場!『ハッスル』とは何か!?
- PRIDE征服宣言! ミルコ
- シウバに宣戦布告! 近藤有己
- ド真ん中の真実を語る! 佐々木健介&北斗晶
- 発表! 紙プロ大賞&マット界語録2003

no.71 表紙 OH砲&高田 '04.02／880yen

プロレスよ、踊れ! 3・7『ハッスル2』は大フィーバー!!
- 『PRIDE GP』優勝宣言! ミルコ&ノゲイラ
- 待望の『紙プロ』初登場! 川田利明
- 理想のプロレスを追い求める! AKIRA
- スクープ! 幻の猪木vsアミン戦の真実!!

通販申し込み方法

▼バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません。

★電話注文 03-3403-5142
★メール注文（代引きになります）
kapra@kamipro.com
★郵便振替
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
★現金書留 〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷
3-11-3-702
（株）ダブルクロス

▼郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。
※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

▼送料 1冊＝310円、2冊＝380円、3冊〜4冊＝450円、5冊＝520円、6冊以上＝700円

※代引きについてはP144を参照してください。

紙のプロレスRadical常備店

- ■アイドール新宿店
- ■新宿ファイター
- ■大山アメリカン
- ■プロレスマニア館
- ■チャンピオン
- ■リングスパレス
- ■バディスラム
- ■タコシェ
- ■レッスル池袋
- ■書泉ブックマート
- ■書泉ブックタワー
- ■書泉グランデ
- ■グレートアントニオ
- ■東京イサミ

『今年の総合での目標はドスJr.戦。
純プロでは健介さんとのタッグ。
でも自分のホームはU-STYLEです』

U-FILEでTAKE THE DREAM

佐々木恭介

U-FILE CAMP.com

ヴァーッとクァーッと佐々木恭介、『紙プロ』初見参!! 3・13U - STYLE大阪大会で師匠の田村潔司と初対戦した佐々木はファーストエスケープを奪うなど大健闘。3年前、パンクラスでデビューすると、リングス、『DEEP』、ZSTにBEST等々、様々な大会に参戦。それだけでは、とどまらずDDTやPWCといったインディー団体でも絶賛活躍中。それていて、あくまでもホームグラウンドはU - STYLEと言う佐々木の素顔に迫った!

聞き手／松澤チョロ　撮影／松本 崇

――U-FILEというと、田村さんを筆頭に上山さんや大久保ちゃんとか変わった人が多いっていうイメージがあるんですけど、やっぱり佐々木さんも相当変わってるんですよね？

恭介　いやいや、ボクは一番まともです（笑）。

――そうでしたか（笑）。でもそれは周りに比べればってことですよね？

恭介　それは言えませんけど（笑）。

――『紙プロ』の読者的には佐々木さんといえばU-STYLEや総合でのイメージが強いと思うんですが、DDTやPWCとか純プロレスでも活躍してるんですよね。

恭介　はい。やらせてもらってます。

――そんな佐々木さんなんですが、まずはU-FILEに入ったきっかけから聞かせてもらいたいんですけど。

恭介　自分はもともとは凄いプロレスファンっていうか、まあ新日本プロレスが大好きだったんですよ。

――バリバリの新日本プロレスファンでしたか（笑）。

恭介　はい（笑）。で、昔はインディーとかエンターテインメントプロレスっていうのは凄く嫌いだったんですよ。

――当時だったらFMWとかですかね。

恭介　あまり好きじゃなかったんですけど、自分がやり始めたら凄く面白いなと。最近はDDTとかPWCとかインディーの方が面白いですね。

――随分変わっちゃいましたね（笑）。

恭介　はい（笑）。でも高校生の頃は新日本派で、ずっと見てて、高校卒業してから大阪にある某プロレスジムに通ってた時期があったんですよ。

――大阪のジムというと、かなり限られますけど、栗栖さんのとこですか？

恭介　そうです。すぐ辞めちゃったんですけど（苦笑）。この間、PWCに出た時にお会いして、お詫びが出来たんで、心の引っかかりが取れましたね。

――それは良かったです。栗栖ジムは逃げ出すような形だったんですか？

恭介　逃げたっていうか、行かなくなったっていう感じで。そんな時に、たまたま田村さんのリングスでの試合を見て凄いなって思って。もともとはリングスとか格闘技系はあんまり好きじゃなかったんですよ。

――ホント、新日本が好きだったんですね（笑）。

恭介　はい（笑）。でも田村さんの試合を見て、もう一回やるならこの人のとこかなぁって思って東京に出てきてU-FILEに入ったんですよ。

――何かピピッと感じるものがあったわけですね。

恭介　ピピッとというか、ビビッと来ましたね（笑）。

――そうですか（笑）。で、佐々木さんの最初の格闘技歴は柔道ってことですけど、それはプロレスラーになるための第一歩っていう感じで？

恭介　そうですね。小学校の文集の将来の夢とかには〈プロレスラー〉って書いてましたからね。

――夢が叶ったと。ちなみに、当時、好きな選手は誰だったんですか？

恭介　一文字違いなんですけど……佐々木健介さんが好きでしたね（笑）。

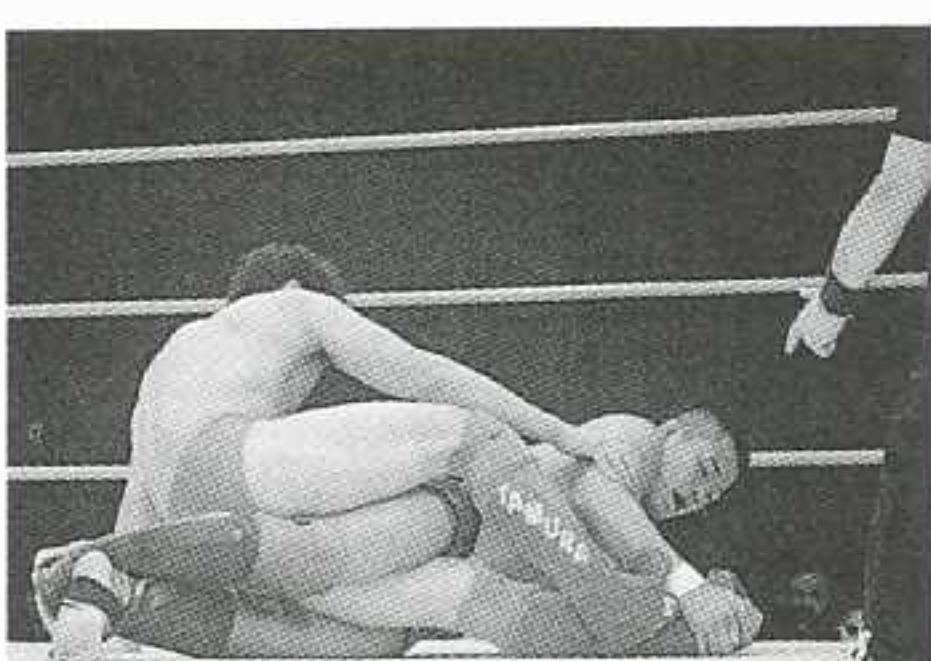
――確かに一文字違いですね（笑）。

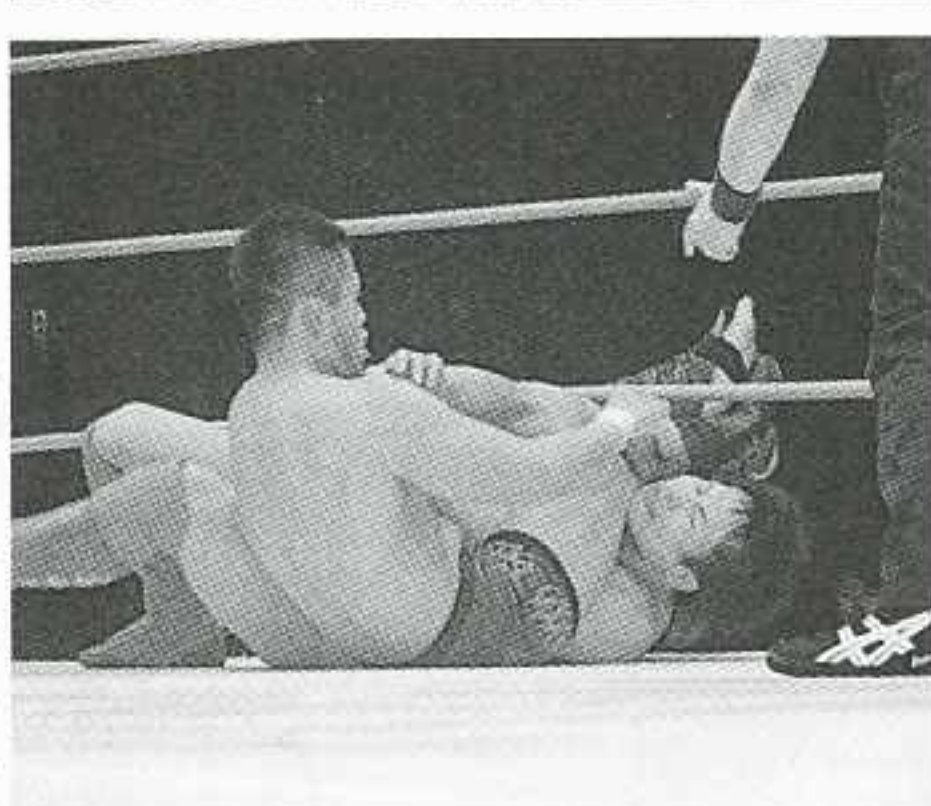
恭介　健介さんのファンクラブに入ってましたからね（笑）。

――そこまでのファンでしたか（笑）。でも、いまとなっては対戦の可能性も十分ありますよね。

佐々木、師匠・田村からファーストエスケープを奪うも最後は必殺の左ミドルでTKO!!

3・13『U-STYLE』
大阪・梅田ステラホール

デビューから3年足らずで、師匠・田村との初の一騎打ちに挑んだ佐々木は、試合開始直前、強烈な張り手をかまし会場をどよめかせる。これには田村も思わずニヤリ

序盤から臆することなく攻撃を仕掛けていった佐々木。グラウンドで回転体を見せると、一気にヒザ十字に捉え、なんと田村からファーストエスケープを奪取！

気合いの入ったいい表情を見せる佐々木だったが、起き上がった田村は、まだまだ余裕の表情。この余裕を消すことが出来るかが佐々木の腕の見せ所だ

再びグラウンドで動き回る両者だったが、一瞬の隙をつき佐々木が腕十字を極めると田村は慌ててロープに手を伸ばしエスケープ。これには場内も大騒ぎとなった

ファースト&セカンドエスケープを奪われた田村も、ここからエンジン全開！　田村が鋭い打撃で立て続けにダウンを奪うと佐々木もアキレス腱固めでエスケープを奪い返すといった一進一退の攻防。しかし最後は伝家の宝刀・左ミドルで田村に軍配!!

試合後、田村は「頑張りが伝わってきた。ちょっとカチンと来て意地になった部分もあるけど、そこまで持っていかせた佐々木を称えたい」と評価。佐々木は涙を浮かべ「試合はよく覚えてないけど自分の気持ちは出せたと思う。これからもよろしくお願いします」

恭介　この前、DDTでご一緒させていただいて感動しましたね（ニッコリ）。

——正直、感動したと（笑）。昔は健介さんのようなレスラーを目指していたわけですか？

恭介　そうですね。凄く憧れてましたね。

——その後、田村さんの試合を見て感じるものがあって、東京へ出てきたということですけど、佐々木さんが入った頃ってU－FILEはどんな感じだったんですか？

恭介　まだプロ選手は田村さんと上山さんぐらいで、ジム生からはまだプロ選手はいなかった時期で、正直プロになれるのかなって思ってましたね。

——その頃って仕事は何をやってたんですか？

恭介　仕事はですね、一番長かったのがガソリンスタンドで、花屋のバイトは面接で落ちちゃいましたね（笑）。

——アハハハハ。ちなみに、いまは何か仕事はされてるんですか？

恭介　いまは、ここのジムでインストラクターをやりながらって感じで。

——なにげに、いま試合数はU－FILEで一番多いですからね。

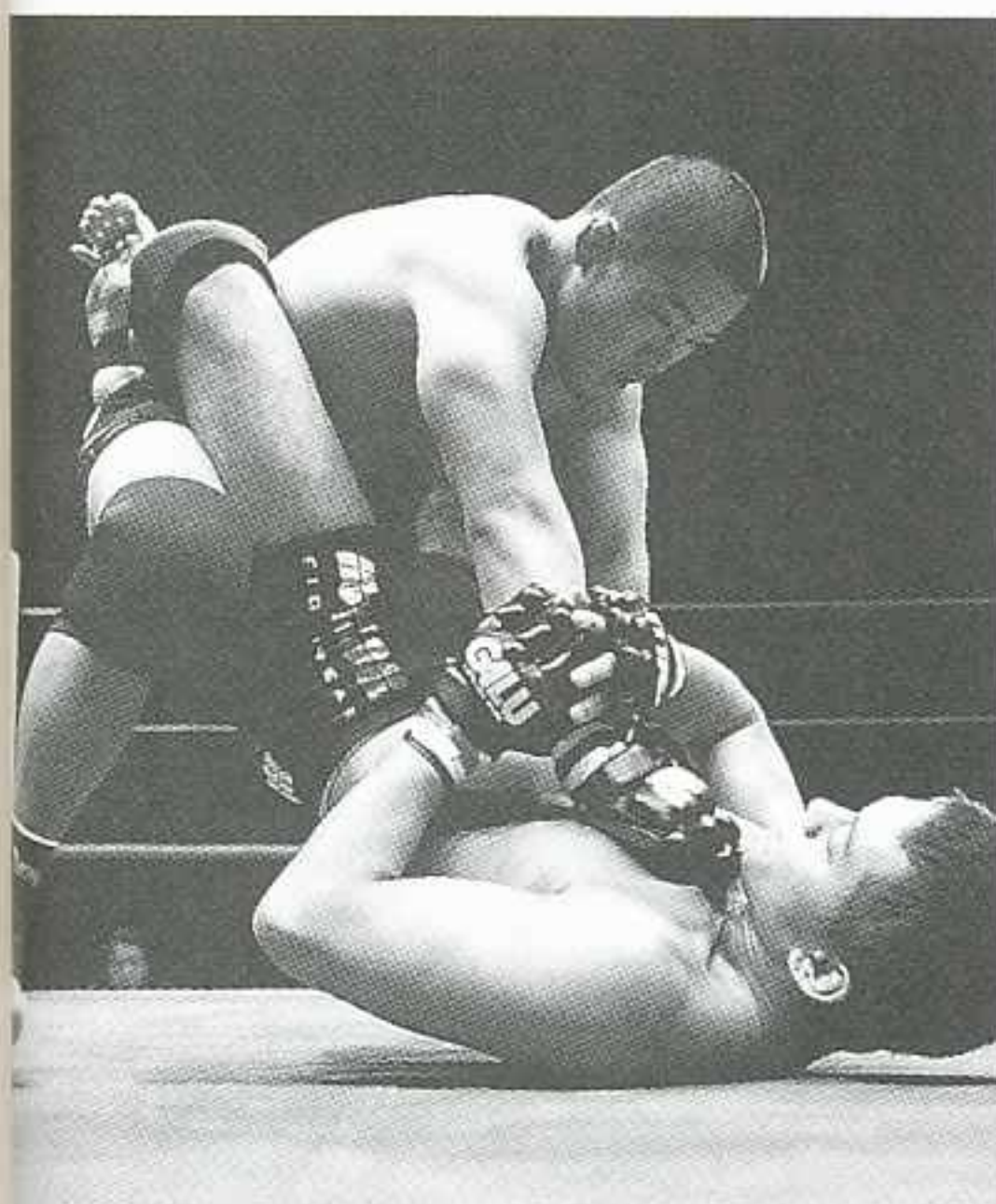
恭介　おかげさまで、はい（笑）。

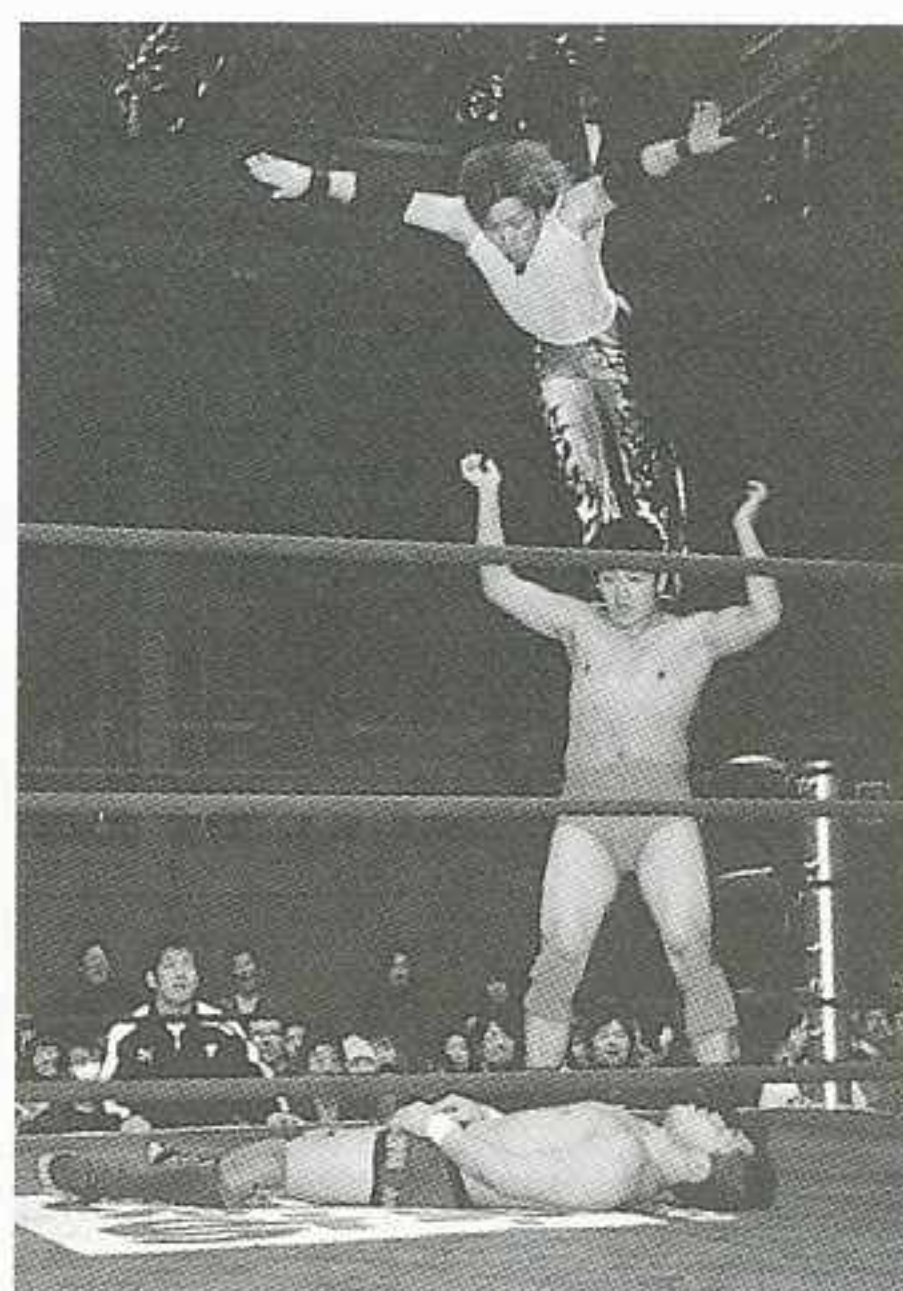
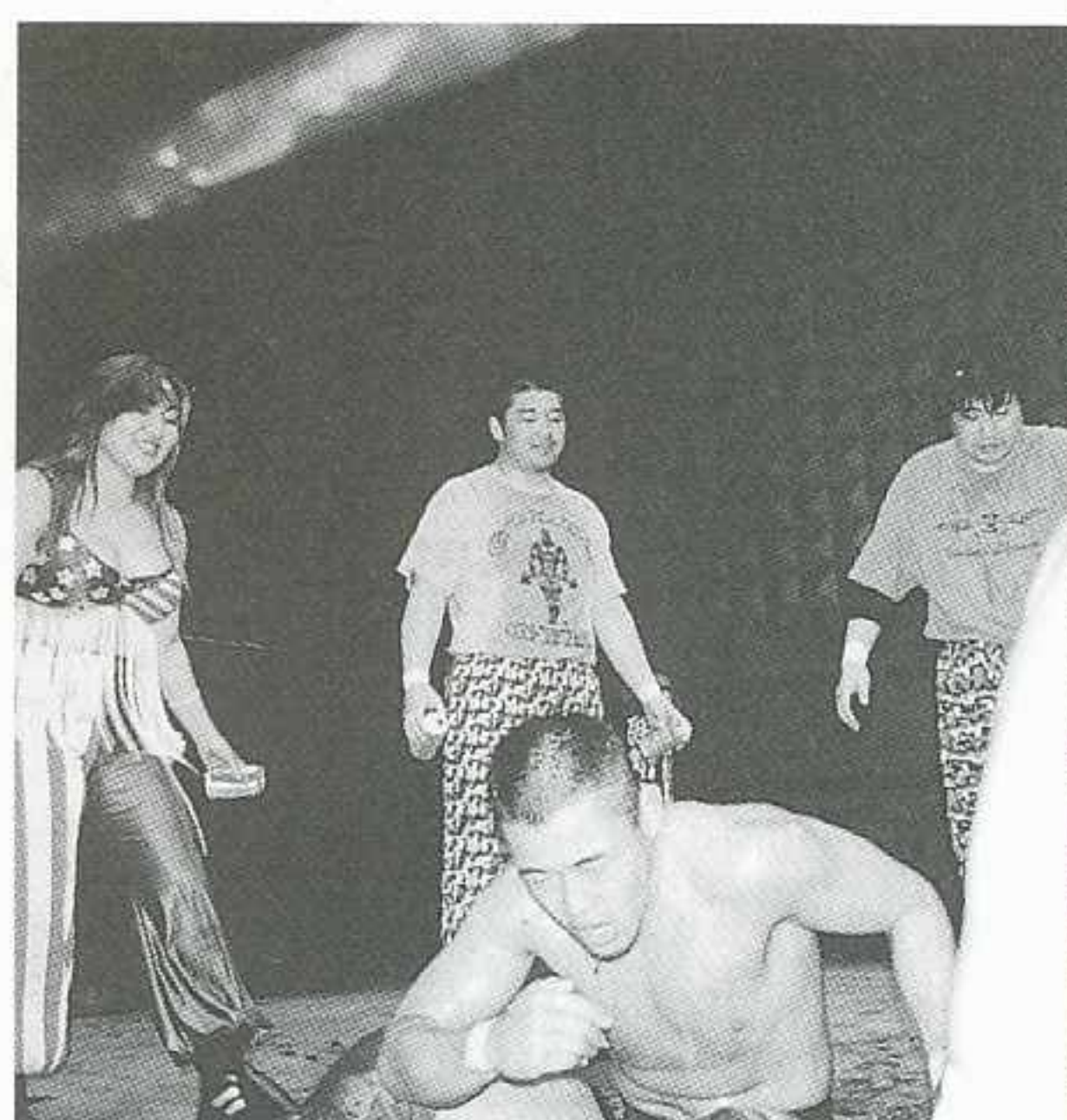
——ちょっと調べてみたんですけど、プロ興行で、佐々木さんの出場団体っていうのは現役選手の中でも1、2を争ってるんじゃないかなと思うんですよ。

恭介　そうなんですかね。でも、あまり取り上げられないんですけど（笑）。

——プロレス団体も含めるとTAKAみちのく選手とかに負けるとは思うんですけど、格闘技系では、リングス、パンクラス、『DEEP』にZST、デモリッションにプレミアムチャレンジ、さらにはイギリスでキックの試合にも出てますからね。ヤノタクか佐々木恭介かって感じですよ（笑）。

恭介　そうですね。でも大体、旗揚げ

昔は新日本ファンで、一文字違いの佐々木健介さんのファンクラブに入ってました（笑）

パンクラスでデビューした佐々木が次に上がったのがリングス。すでにKOKルールが採用されていたリングスで佐々木は後にパンクラスのネオブラ・トーナメントを制し、現在『DEEP』でも活躍している門馬秀貴と対戦し判定負けを喫している

今のところ村浜のU-STYLEでの最後の対戦相手となっている佐々木。その際は村浜の腕十字で敗れているが、キックルールの試合経験もある佐々木だけに、U-STYLE、純プロ、総合、キックと、どのルールでもいいから再戦が見たい！

DDTでは宇宙パワー、橋本友彦といった格闘技系の選手から男色ディーノや偽造王といった選手とも闘っている佐々木。憧れだった健介が参戦した日にはタッグ版ロイヤルランブルでタノムサク鳥羽とのコンビでMIKAMI組を下し優勝！

3・11PWC北沢大会でテキサス・ストーンコールド・コカコーラデスマッチに挑んだ佐々木。相手をフォールした後、350mmのコーラ2本を10秒以内に飲み干せば勝利という過酷なルールだったが、哀れ佐々木は試合後コーラまみれに

に呼ばれて次から呼ばれないっていうパターンなんですけど（笑）。

——それはまずいですよ！（笑）。で、ビビッと来た田村さんは実際会ってみてどんな印象を受けました？

恭介　最初の頃は凄く緊張して、あまり喋れなかったんで、会う度に「顔が怖いよ！」ってツッコまれてましたね（笑）。

——なんか言いそうですね（笑）。

恭介　でも、思ったよりイメージは違いましたね。もっとマジメっていうか、堅い人かなぁって思ってたんで（笑）。

——リング上と普段の姿は全然違いますからね（笑）。でも入った頃ってU－STYLEも、まだなかった時期ですし、総合格闘技でデビューできたらなと思っていたわけですか？

恭介　ちょうど自分が入ったぐらいに、リングスがKOKルールに変わって、「なんだこれは？」とか思って（笑）。自分がやりたかったのはリングススタイルで、まだプロレス寄りじゃないですか？

——まあ、そうですね。

恭介　まさかU－FILEに入った時は自分がグローブ付けてバーリ・トゥードとかやるとは思ってなかったんで、ちょっとビックリしましたね。

——ある意味、田村さんと同じ様な心境だったんですね（笑）。

恭介　そうかもしれないですね（笑）。

——ファン時代は新日本みたいなプロレスと、リングススタイルと、バーリ・トゥードっていうのは自分の中では、こういうもんだって理解してたんですか？

恭介　そうですね。それぞれルールも違うし闘い方も違うんですけど、ボクの中では何やるにしても気持ちはプロレスと同じなんで、別に抵抗はなかったですね。やるなら全部っていうか、いろんなことやりたいなぁって思ってたんで。

——いまとなっては、いろんなことやりすぎですけどね（笑）。プロレスとU－STYLEと総合では、どれが一番得意だと思ってます？

恭介　まあ、自分のホームというか主になってるものっていうのは、やっぱU－STYLEだと思ってるんで。すべてU－STYLEを軸にして考えてるので、総合にしても純プロレスに出してもらうにしても気持ち的には全然変わんないですね。

——常に心のド真ん中にあるのはU－STYLEなんですね。

恭介　そうですね。ボクは『DEEP』に出るにしてもU－STYLEと同じ格好なんで。レガースも付けて出てるし。闘う気持ちは、総合でも純プロレスでもU－STYLEでも、とにかく面白い闘いが出来ればいいかなっていう意識でやってるんで。

——いま上がってるプロレス団体はDDTとPWCが中心になってますけど、DDTは佐々木さん的にはどうですか？

恭介　DDTは凄く好きですね。単純に見てて面白いですから。ファンとして見てても面白いし、やってても凄く面白いし、やり甲斐がありますね。でも一番最初に出た時に大ブーイングだったんですよ。それが凄くたまんなくて（笑）。

——ヒールに目覚めたわけですか（笑）。

恭介　ちょっと目覚めましたね（笑）。DDTは、お客さんもわかってるなぁっていうのがあるんで、こっちもやりやすいですね。やっぱ、シーンとしてるとやりにくいですからね（苦笑）。

——一方のPWCはいかがですか？

恭介　出させてもらってるっていうのを抜きでPWCも凄く面白いですね。

——田村さんもPWCはお気に入りみたいですからね（笑）。

恭介　そうみたいですね（笑）。PWCには最初、越後（隆＝現・ECHIKO）が出るはずだったんですけどケガをして、その代わりで出たんですよ。それ

一番弟子・木村の良さを引き出した坂田がシャチホコ固めでフィニッシュ!!

3・13『U-STYLE』
大阪・梅田ステラホール

W師弟対決が実現した今大会のセミで行われたEVOLUTIONの坂田亘vs木村直生戦。いまだ未勝利の木村だが、この日は刺青に負けない迫力で師匠に立ち向かい、敗れはしたものの「1勝すれば一気にいくんじゃないかな」と坂田の成長を認めた

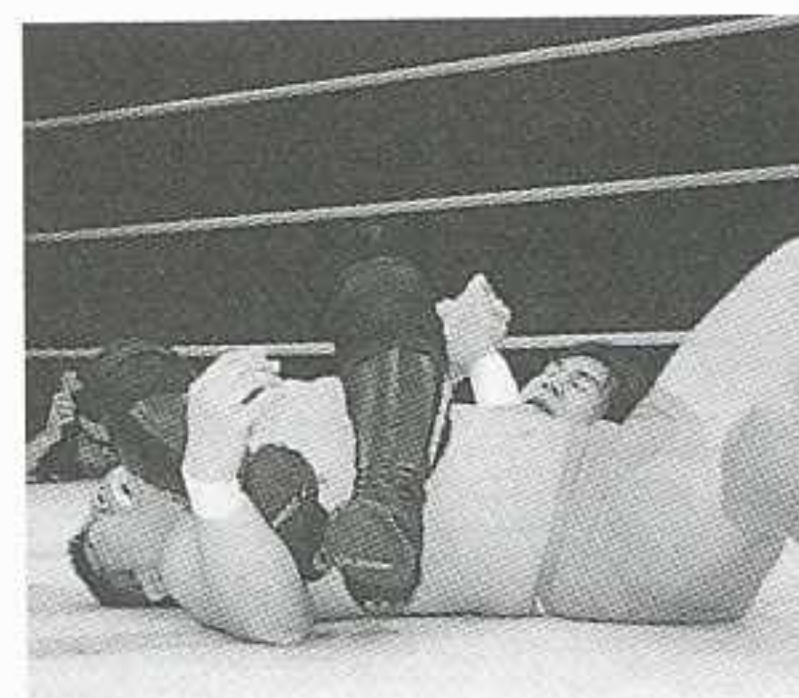
序盤から観るからに痛そうな打撃を弟子の木村にビッシビシと叩き込む坂田。タックルをがぶった坂田はゴッチ式パイルドライバーで木村の脳天をマットに突き刺した

なんとか一矢を報いたい木村は一瞬の隙をついてバックに回ると素早くスリーパーを極め坂田からロストポイントを奪取。師匠相手に、たしかな成長ぶりを見せつけた

2月の『武士道』でショーン・シャークに完敗した上山が第一試合で原学と対戦。得意のジャーマン連発で攻め込んだ原だったが、逆にジャーマン連発からアンクルホールドを極めた上山が再スタートを飾った

大阪vs東京対抗戦は大阪勢が全勝!!

U-STYLE初挑戦の池本誠知が側転＆バク転パスガードや回転体を披露し順応性をアピール。最後は東京出身だったことが発覚した（？）クラフターMに腕十字で勝利！

U-STYLEでもすっかりお馴染みとなった三島がオリジナルのコブラ固め等を駆使し地元でハッスル。大久保もダウンを奪うなど健闘するも最後は変形アームバーで涙

勢いと体格差を活かしベテランの冨宅をあと一歩という所まで追い込んだ伊藤。しかし最後は冨宅の三角絞めの前に無念のタップ、対抗戦は大阪勢の全勝という結果に

大阪vs東京3対3対抗戦の大将戦として行われた冨宅vs伊藤。重爆キックで冨宅を苦しめた伊藤だったが勢い余って反則の顔面蹴りを放ちイエローを喰らう

次回、4・28『U-STYLE』後楽園大会は他団体からの挑戦者を大募集!!

次回U-STYLEは4月28日（水）に後楽園ホールで開催されるが、今大会は他団体より出場希望選手を大募集！　資格は現在、格闘技選手として活動中の方で、体重及びにメジャー団体、インディー団体は問わず。選考は格闘技経験、戦績等で判断するとのこと。出場希望者は、名前・連絡先・所属団体・身長・体重・格闘技歴・戦績等を次の宛先まで。

問い合わせ】U-STYLE事務局（TEL.052-339-0303）まで。急げッ!!

がきっかけでいまに至ってます（笑）。

——話は全く変わるんですけど、前に上山さんが「佐々木は男好きです」って言ってたんですけど、実際はどうなんですか？

恭介　えっ、マジですか（笑）。い、いや自分は全然違いますよ！

——必要以上に否定するところが、ちょっと怪しいですね（笑）。

恭介　ホント違うんで勘弁してください（苦笑）。むしろ、越後の方が……。

——あ、そうなんですか（笑）。最近は越後さんはECHIKOとして女装キャラで頑張ってるんですよね。

恭介　越後はキャラだけじゃなくてホントにヤバイですからね。

——佐々木さんは、むしろ女好きだと？

恭介　むしろっていうか、普通ですよ（笑）。男は別に嫌いじゃないですよ。

——え？　男は嫌いじゃない!?（笑）。

恭介　嫌いじゃないや、嫌いですよ！

——なんか動揺してるみたいなので、次の質問にいかせてもらいます（笑）。

恭介　動揺してないですよ（笑）。

——普通に女好きの佐々木さんですが（笑）、この号の発売直後にタイトルマッチが決まったみたいじゃないですか？

恭介　そうなんですよ（笑）。

——MWFミドル級王者の長瀬館長とメインで対戦するんですよね。

恭介　はい。タイトルマッチはプロレスでは初なんですよ。アイアンマンもチャンピオンになってないですし（笑）。

——可能性は十分あるんでしょうけどね（笑）。どうですか、緊張してます？

恭介　う～ん、あまり緊張はしてないですけど、単純に勝ったらチャンピオンになれるんで楽しみですね（笑）。「タイトルマッチなんだけど出る？」って言われたんで「ぜひ！」ってことで決まったんですよ。

——簡単に決まるもんなんですね（笑）。佐々木さんはデビュー直後にイギリスでキックの試合に出てますけど、それもタイトルマッチだったんですよね。

恭介　それが格闘技で初のタイトルマッチでしたね。初キックの試合が、いきなりタイトルマッチでしたからね（笑）。

——それも凄い話です（笑）。その時は、どういった経緯で出たんですか？

恭介　たまたま、U-FILEに「誰かイギリスでの試合に出れないか？」って話が来てたらしくて。で、自分もたまたま行きたいなって思ってたんで。（笑）。

——旅行じゃないんですから（笑）。

恭介　その頃は寝技の方が得意で打撃はそこそこしかやってなかったんで、まさか自分は選ばれないだろうと思ってたら、「決まった」と言われて（笑）。しかも行って初めて知ったんですよ。タイトルマッチだって。

——向こうに着いて知ったんですか？

恭介　イギリスに着いて、街に出たらポスターが街中に貼ってて、自分の写真も出てたんですよ。で、相手の方を見たらベルトを持ってる黒人が写ってて、「これは何なんですか？」って聞いたら「タイトルマッチだ」って（笑）。

——アハハハ。結果的には見事にKOされちゃったみたいですけど（笑）。

恭介　はい。見事でしたね（笑）。

——で、デビューから2年ちょっとで憧れの田村さんとシングルで闘うところまで来たわけですけど、今現在の目標の選手というと誰になりますか？

恭介　そうですね。やっぱり、いまも田村さんですね。

——田村さんの凄さって佐々木さんから見て、どんなところですか？

恭介　やっぱり……強いんで。もちろん、それだけじゃないですし、なんとか追いつこうというか、あの域まで達したいと思ってるんですけどね。自分が言うのも何ですけど、他の選手と、やっぱり違うんですよ。

——具体的に言うと？

デカイ選手とやるのが好きなんです。ドスJr.にも勝つ自信があります！

恭介　よく天才って言われますけど、自分もやっぱりそうだなって思うんですよ。何が凄いって、それは凄すぎて言葉にできないんですけど（笑）、何をやればお客さんが盛り上がるとか、ここで何をやればいいのかっていうことが自然に分かってるっていうか。自分はまだ分かんないですから。やっぱり凄いです。

——とにかく田村さんは凄いと？（笑）。

恭介　何が凄いって言えばいいのか分かんないぐらい凄いです（笑）。

——なんとなくわかります（笑）。でも、田村さんって、あまり他人をホメない人ですけど、佐々木さんのことは「良くなってきてる」って言ってましたよ。

恭介　ありがたいですね。自分にはいつも、「しょっぱいよ」って言うんですけど（笑）。

——どっちが本音なんですかね（笑）。でも「アイツにはスター性が無い」とも言ってましたけど（笑）。

恭介　それは良く言われますね。「お前は顔が悪い」って（笑）。

——ヒドイこと言いますね（笑）。そういえば、佐々木さんは、安生さん的なポジションを狙ってると聞いたことがあるんですけど。

恭介　ポジションっていうか、安生さんの純プロレスの動きが好きなんですよ。動きとか勉強になるところが凄いあるんで。

——安生さんの動きを参考にしてると？

恭介　参考になりますね。結構、姑息なこととかしてるじゃないですか（笑）。

——確かに姑息なことしてますよね（笑）。

恭介　姑息っていうと失礼ですけど（笑）、ズル賢い戦法とかするじゃないですか。そういうところを真似たいなって思ってて。でも一回、安生さんに会った時に「ビデオ観て勉強させてもらってます」って挨拶したら「あんまりバカなビデオばかり観るんじゃないよ！」って言われましたね（笑）

——アハハハハ！　ちなみに総合での今年の目標は何か決まってますか？

恭介　今年やりたい人というか、自分の中で目標に掲げた選手がいるんですよ。ドス・カラスJr.なんですけど。

——なんでまたドスJr.なんですか？

恭介　単純に思っただけなんですけどね（笑）。自分としては自分よりでっかい人とやるのが好きなんですね。階級とかにはこだわりたくないんですよ。

——階級にこだわる人も多いですけど、佐々木さんは、この間の『DEEP』の鬼木戦とか、体重にはあまりこだわってないですよね。

恭介　そうですね。観てる人もそっちの方が面白いかなと思って。

——ただ、ドスJr.とは体重だけじゃなくて、身長差もかなりありますよね。正直、闘いづらくないですか？

恭介　そうなんですけど、デカイ人とやる時にはそれなりの闘い方があるんで。自分はそういう相手とやる方が得意なんですよ。同じ体重の人とより、デカイ相手の方がズル賢い戦法使ってスカしながら闘えるんで（笑）。

——それこそ安生さんのように（笑）。

恭介　そうですね（笑）。その方が面白い試合になると思うんですよ。

——やるんだったら総合ルールで？

恭介　ですね。プロレスでやっても普通っていうか、普通って言っちゃあアレなんですけど、総合でやるから面白いかなって思うんで。伊藤（博之）さんの仇を討つという意味でもやりたいなと。

——ただ、ドスJr.は『武士道』でのミルコ戦、『PRIDE27』での中村（和裕）戦と『DEEP』を卒業したみたいな感じになってるじゃないですか？　佐々木さんがドスJr.戦まで辿り着くには自分の存在をもっと上げないといけないですよね。

恭介　そうですね。そういう意味でも、なんとか今年中に組んでもらえるところまで自分を持っていきたいですね。

——当然、そこまで言うからには勝つ自信もあるんですね。

恭介　なんか、あるんですよね（笑）。

——人ごとみたいに言いますね（笑）。最近は『DEEP』をステップにして『武士道』出場を狙ってる選手が多いじゃないですか。興味はあります？

恭介　出れるものなら出たいですよね。いろんな団体を制覇したいんで（笑）。

——多団体男としてはそれも重要ですよね（笑）。純プロレスでの目標は何かありますか。一文字違いの佐々木健介と闘いたいとか？（笑）。

恭介　やりたいですねえ（笑）。でも、正直、闘うよりタッグを組みたいですね。この前、DDTで健介さんと健心さんが組んだ時、普通にファンの目で観てましたから（笑）。あと、「健介軍団に入ってハワイに行くか」って北斗さんが言ってたじゃないですか。自分も行こうと思いましたもん（笑）。

——「健心は見た目が似てるけど俺は名前が似てる。しかもファンクラブにも入ってた」ってアピールしてたら健介さんもグラッと来ると思いますよ（笑）。

恭介　可能性ありますかね？（笑）。是非タッグを組みたいです（笑）。

——PWCには、この間、永島専務が上がったんで健介さんが参戦することはないと思うんですけど（笑）。

恭介　そうですね（笑）。DDTかU-STYLEに出てもらえれば。

——U-STYLEで闘う健介さんも観たいところですね。

恭介　佐伯さんにお願いしてみようかな（笑）。

——では今年は佐々木健介さんに負けないぐらいの活躍を期待してます！

恭介　正直、頑張ります！（笑）。

【3月5日／U-FILE CAMP調布にて収録】

KYOSUKE SASAKI

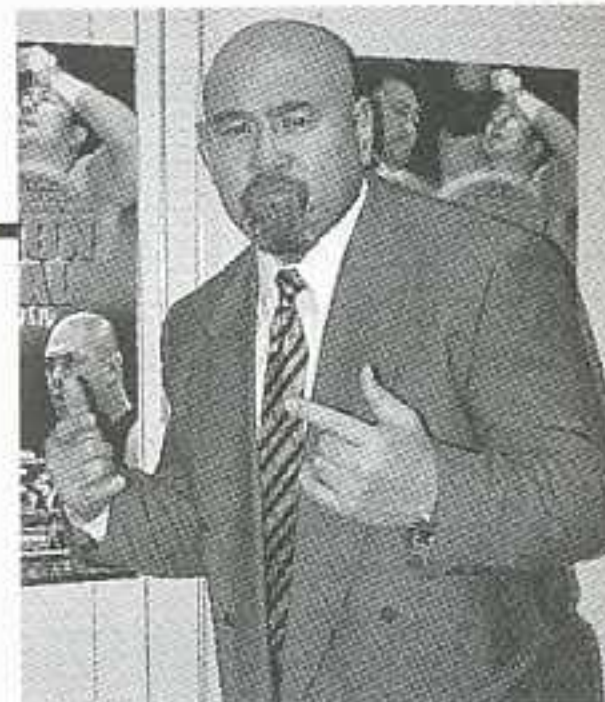
ささき・きょうすけ■1979年10月17日、愛媛県宇和島市出身。01年5月13日、パンクラスでの伊藤崇文戦でデビューし、その後はU-STYLEを中心に総合、純プロレスと幅広く活躍中。171cm、82kg。U-FILE CAMPでは佐々木を中心に純プロレスの大会「STYLE-E」を3月21日に旗揚げ。以後、毎月第1・第3日曜日の午後2時から西調布アリーナで定期的に開催することが決定した（入場料金は千円！）。なお、3月27日には「U-FILE 9」を開催。詳細はU-FILE登戸（044-932-0282）まで。扉写真のバイクはU-FILE卒業生・長南からの貰い物

リング内・リング外の情報を読者にお届けする

RADICAL情報局

春の惰眠を叩き起こす仰天情報が目白押し！

情報ページ担当のサイノです。先日、某ヤドカリさんに「あれ？　君は誰だっけ？」と訊ねられ、透明人間並の存在感の薄さを証明しました。こんな苦い経験がある方もない方も、情報ページがお薦めする興行に出掛ければ元気100億倍！　今月もいきますかーッ!!

Fight & Ticket　試合・大会情報

史上初の東京6大会『チャンピオン・カーニバル 2004』開催！

今年で23回目を迎える“春の恒例”チャンピオンカーニバル。“世界一過酷”と呼ばれる総当りリーグ戦は、2年ぶりに2リーグ制を採用。史上初の東京6大会で開催される。

注目はフリーとして古巣の全日本に参戦を果たす大森隆男。大森は2000年度の準優勝者で、参戦選手の中では川田に次ぐ7回目の出場となる。武藤敬司は「大森との絡みはどのカードも刺激的。小島（聡）戦はアニマルジム対決、川田（利明）、（太陽）ケアも元同門対決だしね」と期待を寄せ「参戦の経緯なんてどうでもいいだろ。大森が出るって言ってくれたんだから」と歓迎ムードで迎える構えだ。

また武藤は、天山広吉からIWGP王座を奪取した佐々木健介に参戦のラブコールを送り、リーグ戦初日の後楽園大会での対戦をアピールした。この対戦要求を受けて、19日にハワイから帰国した健介は「避ける理由はない。みんな食ってやる」と受諾。正式参戦の発表はボブ・サップとのIWGP防衛戦（3・28新日本プロレス両国大会）を終えてからとのことだが、残り1枠の“X”は健介になることが濃厚だ。健介の参戦にともない、北斗晶も再び全日本のリングに足を踏み入れる可能性もあるだけに、また一波乱起こりそうだ。

武藤、川田、小島、ケアの全日本勢に大森、健介を加えた豪華メンバーが揃った今年のチャンピオンカーニバル。　東京6大会という新機軸に、4月からテレビ東京でレギュラー放送開始という追い風を受け、全日本プロレスが大攻勢に打って出る!!

『チャンピオン・カーニバル2004～PLEASURE 6～』

■概要
◇**Aブロック**　武藤敬司、嵐、ジャマール、HOLD OUT CUP優勝者（3月28日木更津大会で決定）、X
◇**Bブロック**　川田利明、小島聡、太陽ケア、荒谷望誉、大森隆男
◇試合形式　リーグ戦はPWFルールによる30分1本勝負、優勝者決定トーナメントは時間無制限1本勝負とする（あらゆる勝ち…2点、あらゆる負け…0点、引き分け…1点）
※両者反則および両者リングアウトは0点とする。なお、各ブロックのリーグ全公式戦終了時点で上位2選手が同点のため3選手以上となった場合は、4月20日代々木第2体育館にて優勝者決定トーナメント進出戦を行うこととする。

■日程
◇4月10日（祝）東京・後楽園ホール／18:30　◇4月12日（月）東京・Zeep Tokyo／19:00
◇4月13日（火）東京・Zeep Tokyo／19:00　◇4月15日（木）東京・後楽園ホール／19:00
◇4月17日（土）東京・ディファ有明／18:30　◇4月20日（火）東京・代々木第二体育館／19:00

■問　全日本プロレス　03-3288-0610　■HP　http://oudou.co.jp

近藤有己参戦！ 3・29パンクラス後楽園大会

『男祭り』でマリオ・スペーヒーに激勝し、ヴァンダレイ・シウバ戦が期待される近藤有己が参戦！　シーザー・グレイシー・アカデミーの強豪スティーブ・ヒースと対戦する。近藤としては、シウバ戦実現のために勝利は必須条件。菊田を葬った必殺プルートが火を噴くのか!?　また現在5連勝中の渋谷修身が、佐々木有生をKOしたデビッド・テレルと激突する。ADCC3位、キックボクシング無敗とオールラウンドファイターのテレルを相手に渋谷はどう闘う!?

■日時　3月29日（月）開場17:30　開始時間 18:30
■会場　東京・後楽園ホール
■チケット（当日¥500up）　SS席 12000円／A席 9000円／B席 6500円／C席 5000円／D席 4000円／立見 3500円
■対戦カード
⑦【ライトヘビー級戦　5分3ラウンド】
近藤有己（パンクラスism）vs スティーブ・ヒース（シーザー・グレイシー・アカデミー）
⑥【スーパーヘビー級戦　5分3ラウンド】
高森啓吾（パンクラスMEGATON）vs 石井淳（超人クラブ）
⑤【ライトヘビー級戦　5分3ラウンド】
渋谷修身（パンクラスism）vs デビッド・テレル（シーザー・グレイシー・アカデミー）
④【ミドル級戦　5分3ラウンド】
石川英司（パンクラスGRABAKA）vs 北岡悟（パンクラスism）
③【ミドル級戦　5分2ラウンド】中西裕一（フリー）vs 佐藤光留（パンクラスism）
②【ミドル級戦】長谷川秀彦（SKアブソリュート）vs 梁正基（スタンド）
①【ライトヘビー級戦　5分2ラウンド】
佐藤光芳（パンクラスGRABAKA）vs 内藤征弥（A-3）
■HP　http://www.pancrase.co.jp/
■問　パンクラス　03-5792-0815

三島が、前田が、辻が大阪を熱くする!! 4・18『DEEP』大阪大会

『DEEP』が2度目の大阪進出！　地元大阪出身のファイターが大挙出場する中、メインを締めるのは昨年の大阪大会に続き三島☆ド根性ノ助。『PRIDE武士道』以来となる三島の総合ファイトに注目だ！　セミではデビュー以来8連勝中の前田吉朗が、修斗の梅村寛と対戦。パンクラスvs修斗の対抗戦となったこの闘いで、前田は連勝記録を伸ばすことができるか!?　そしてエキシビジョンながら辻結花vsしなしさとこが実現！　女子格界のトップ対決を見逃すな！

■日時　4月18日（日）　開場14:30　試合開始16:00
■会場　大阪・梅田ステラホール
（大阪府大阪市北区淀中1-1-88 梅田スカイタワー ウエスト3F）
■チケット（当日¥500up）　VIP 15000円（最前列）／SRS 10000円／指定A 8000円／指定B 6000円（完売）
■決定対戦カード
◎三島☆ド根性ノ助（総合格闘技道場コブラ会）vs ロバート・エマーソン
◎前田吉朗（パンクラス稲垣組）vs 梅村 寛（アライブ小牧）
◎池本誠知（ライルーツコナン）vs 長岡弘樹（横須賀総合格闘技DOBUITA）
◎大久保一樹（U-FILE CAMP.com）vs 奥山哮司（CMA京都成蹊館）
◎坪井淳浩（アライブ）vs 深見智之（CMA京都成蹊館）
◎杉内勇（Team Roken）vs 寺田功（ライルーツコナン）
◎花澤大介13（総合格闘技道場コブラ会）vs 浜村健（CMA京都成蹊館）
【エキシビションマッチ】
辻結花（総合格闘技 闇愚羅）vs しなしさとこ（フリー）
※他、フューチャーファイト6試合を予定
■HP　http://www.deep2001.com/
■問　DEEP事務局　Tel. 052-339-0303

シュートボクシングに小次郎参戦！ 4・18後楽園大会

『K-1 MAX』、『IKUSA』のリングで活躍中の小次郎が、シュートボクシングに初参戦！　名門・講堂学舎で柔道を学んだ経験がある小次郎は「今は柔道から離れてだいぶ経つが、レベル的に自分の方が上。このルールなら誰にも負ける気がしない」と豪語。シーザー会長も「参戦は個人的にとても嬉しい」と大歓迎。果たして小次郎はSBで結果を残せるのか？　メインには2月24日の『K-1 MAX』で武田幸三を追い詰めた緒形健一が登場！

■日時　4月18日（日）　開始時間17:15
■会場　東京・後楽園ホール
■チケット　RS席10000円／SS席7000円／S席6000円／A席5000円／B席4000円
■対戦カード
【シュートボクシングプロ公式戦フレッシュマンクラスルール・3分3R】
①太田義昭（シーザージム）vs 高橋英幸（仙台青葉ジム）　②石川剛司（シーザージム）vs 武士（仙台青葉ジム）　③鈴木雅史（風吹ジム）vs NIIZUMAX!（クロスポイント吉祥寺）　④渡邊和則（龍生塾）vs 高橋渉（高田道場）　⑤今井教行（シーザージム）vs 調整中　⑥菊池浩一（寝屋川ジム）vs 狩野治武（仙台青葉ジム）
【シュートボクシングプロ公式戦エキスパートクラスルール・3分5R】
⑦歌川暁文（U.W.Fスネークピットジャパン）vs ソーン・パナスィー（FIVE.RINGS.DOJO）
⑧小次郎（スクランブル渋谷）vs ナーコウ・スパイン（FIVE.RINGS.DOJO）
⑨後藤龍治（STEALTH）vs タイロン・スポーン（F.F.Carbin）
⑩緒形健一（シーザージム）vs 強豪X
■HP　http://www.shootboxing.org/
■問　シュートボクシング協会　03-3843-1212

M's Style 旗揚げ戦に、なんと星野総裁と永田裕志が!!

4月4日、M's Styleが旗揚げ戦を迎える。メインにはWWWAタッグ王者・浜田文子&高橋奈苗組が登場し、AKINO&中西百重と激突。そしてセミの吉田万里子&大向美智子と魔界魔女組との対戦には、魔界倶楽部総裁・星野勘太郎氏が来場する。なお、この大会の模様は『サムライTV』にて4月20日に放送され、ゲスト解説は永田裕志が務める。プロレスの未来を変えるため結成されたユニット・M's Styleは、低迷の続くプロレス界の起爆剤となり得るか？　旗揚げ戦を要チェック!!

M's Style 1st Contact『UNDER WORLD』
■日時　3月29日（月）開始時間 18:30（開場17:30）　■会場　東京・後楽園ホール
■チケット　特別RS席 10000円／RS席 7000円／A席 5000円／B席 4000円／スタンディング 3000円 中高生・自由席 1500円
■対戦カード　◎中西百重&AKINO vs 浜田文子（新間事務所）&高橋奈苗（全日本女子）
◎吉田万里子&大向美智子 vs 星野総裁率いる魔界魔女　◎納見佳容 vs 藤田愛（フリー）※特別レフェリー・府川由美
◎賀川照子 vs ボリショイ・キッド（JWP）　◎baby♥M vs 倉垣翼（JWP）
■問　M's style　03-5404-8248

GCMが女子格界に殴り込み!『CROSS SECTION』を開催!

『DEMOLITION』や『CONTENDERS』でお馴染みのGCMが「女子のための純粋なプロフェッショナルスポーツとしての格闘技の大会」をコンセプトに女子総合格闘技大会『CROSS SECTION』を旗揚げする。4月18日の第1回大会には下記の選手が出場を予定しており、辻結花、石原美和子、久保田有希、藪下めぐみ、高橋洋子らも出場候補選手に挙がっている。『SMACK GIRL』と『Love Impact』に続く第三の女子格大会に注目だ！

■日時　4月18日（日）　開始時間 17:00（開場16:00）
■会場　東京・お台場スタジオドリームメーカー
■チケット（当日¥500up）　RS席 6000円／A席 5000円／B席 4000円
■出場予定選手
大室奈緒子（和術慧舟會東京本部）、虎島尚子（RJW/Central）、浜島佳代子（Az柔術アカデミー）、
山田よう子（アームレスリング連盟）、　金子真理（禅道会）、WINDY智美（AJパブリックジム）
■問　GCMコミュニケーション　03-3538-5801　■HP　http://www.g-c-m.net/

山喧が1年ぶりの登場!復帰戦はムエタイ・ルール!!

昨年3月の『PRIDE.25』のアレク戦以来、リングから遠ざかっていた山本喧一が、4月11日のウィラサクレックジム（WSR）主催興行『M－1』でムエタイデビュー戦に挑む。正式にWSR所属選手となった山喧だが、オファーさえあればPRIDEや総合格闘技にも月一回のペースで打って出るとのこと。Uインター、リングス、UFC－J、PRIDEなどで活躍した山喧が、次はどんな闘いを見せてくれるのか？

『ウィラサクレック・ムエタイジム主催　第2回M-1 ムエタイチャレンジ』
■日時　4月11日（日）　試合開始14:00（開場13:30）
■会場　東京・ディファ有明　■チケット　B席 5000円
■対戦カード　⑲アトム山田（武勇会）vs ワンロップ・ウィラサクレック（WSR）
⑱山本喧一（WSR）vs デン・サックモンティー（タイ）　⑰ラジャサクレック・ソーワラピン（タイ）vs 赤羽秀一（WSR）　⑯【エキシビジョンマッチ】クンタップ・ウィラサクレック（タイ）vs 發田隆治（WSR）　⑮田中貴之（WSR）vs 高橋忠一郎（クロスポイント）　⑭長崎秀哉（WSR）vs 卯月昇龍（チームドラゴン）　⑬アサコ（SKVアラビア）vs 西田久美子（WSR）　⑫若山 力（チームピース）vs 井出 満（WSR）　⑪北山高与始（S-FACTORY）vs ジョーム（フリー）　⑩宮内宗行（Kインター柏）v 沼尻紀史（チームドラゴン）　⑨大内山隆（WSR）vs 加藤潤一（チームピース）　⑧タケシ（WSR）vs 竹津彰夕郎（バンゲリングベイ）　⑦細田由里子（WSR）vs 渡沼幸子（Kインター柏）　⑥弘中雅人（WSR）vs 染谷 誠（レグルス池袋）　⑤銭金 淳（バンゲリングベイ）vs 草柳茂明（TARGET）　④平野洋行（WSR）vs 甲斐 覚（ブリザード）　③柴崎征彦（WSR）vs 野村和宏（SKVアラビア）
②坂口正和（バンゲリングベイ）vs 見原智明（ブリザード）
①宮崎 篤（WSR）vs 細野岳範（チームドラゴン）
■山喧の公式HP　http://www.p-o-d.net/
■問　ウィラサクレック・ムエタイジム　03-3801-0464

石川屋興行第3弾!パンクラスからの刺客・冨宅参戦!!

串焼き石川屋主催興行第3弾！　メインにパンクラスMISSIONからの刺客・冨宅飛駈が登場し、"燃える情念"石川雄規が迎え撃つ。両者の遭遇は、共に藤原組に所属していた若手時代以来。越谷でゴッチイズムが爆発する！　セミはTAKAみちのくvs 臼田勝美。過去に名勝負を繰り広げた二人だけに期待大だ！

『石川屋興行vol.3 バチバチ前線上昇中』
■日時　4月11日（日）　試合開始17:00（開場16:00）　■会場　埼玉・越谷桂スタジオ
■チケット　SRS 5000円／自由席　3500円／小中学生 2000円（当日販売）
■対戦カード　◎石川雄規 vs 冨宅飛駈（パンクラスMISSION）
◎TAKAみちのく（K-DOJO）vs 臼田勝美（フリー）　◎タナカジュンジ（TEXAS BODYSHOP）vs 真霜拳號（K-DOJO）
■参加選手　原学、チョコボール向井（WEW）、黒田哲広（アパッチ）、倉島信行、竜司ウォルター、他
■HP　http://www.battlarts.jp/　■問　バトラーツ　0489-63-0005

真樹道場主催 第6回中部日本新人空手道選手権大会

"すてごろ"真樹日佐夫先生の主催する真樹道場が空手のオープントーナメントを開催する。出場選手を幅広く募集中なので、腕に覚えありの方、腕試ししたい方は下記の番号に今すぐ連絡を!!

■日時　5月23日（日）　開始時間 9:30（集合・計量 9:00）
■会場　愛知・岡崎市中央総合公園総合体育館 第2練成道場（東名岡崎インターより5分）　■参加費　5000円
■クラス　◎一般初級（1年未満）65kg未満・65kg以上（黒帯は出場不可）　◎一般中級　65kg未満・65kg以上（黒帯は出場不可）
◎高校生　軽・中量級62kg未満（黒帯は出場不可）／重量級75kg未満（黒帯は出場不可）※75kg以上または黒帯は一般への出場可能
◎女子（高校生以上）55kg未満・55kg以上（黒帯は出場不可）◎壮年（40歳以上）68kg未満・68kg以上（黒帯は出場不可）
■HP　http://www.mikanavi.com/sports/maki/　■問　真樹道場 愛知支部 支部長　篠原090-1620-1218

Movie&DVD

話題&最新作情報

ZST BEST BOUT

DVD・カラー223分
本体 5,600円+税（4月20日発売）

最強の軽量級はZSTが決める！　リングスからのKOKルールを継承し、好勝負の続出で日本格闘技界に確固たる地位を築いたZSTのベストDVDが4月20日発売される。旗揚げ戦からZST4までの4大会から選び抜かれた13試合と、ZSTエセ4兄弟、修斗、DEEP、ブラジル、アメリカ、オランダ、リトアニアから来襲した強豪の激突で大ブレイクしたZST－GPの全試合を収録。更に映像特典には『紙プロ』読者必見の花くま先生プロデビュー戦が！

■収録試合　ZST旗揚げ～ZST4　◎小谷直之 vs ミンダウガス・スミルノヴァス　◎矢野卓見&今成正和 vs レミギウス・モリカビュチス&ミンダウガス・スタンコス　◎所 英男 vs 中原太陽　◎矢野卓見 vs 梅木繁之　他9試合収録
■ZST GP OPENING STAGE　レミギウス・モリカビュチス vs メノー・ディクストラ／リッチ・クレメンティ vs アロイジオ・パロス／矢野卓見 vs イゴール・イサイキン／タクミ vs マーカス・アウレリロ／TAISHO vs ジェイソン・マックスウェル／今成正和 vs ジョージ・ガーゲル／所 英男 vs 大石"JACKAL"真丈／小谷直之 vs ミンダウガス・スミルノヴァス
■ZST GP FINAL STAGE　小谷直之 vs リッチ・クレメンティ／所 英男 vs TASHO／矢野卓見 vs レミギウス・モリカビュチス／今成正和 vs マーカス・アウレリロ／リッチ・クレメンティ vs TAISHO／レミギウス・モリカビュチス vs マーカス・アウレリロ／リッチ・クレメンティ vs マーカス・アウレリロ
■映像特典　花くまゆうさく vs 小松俊明　他1試合

泣きたいときは、リングで泣け! 女子プロ映画『ワイルド・フラワーズ』

監督：小松隆志／出演：岡田義徳・石川美津穂・鈴木美妃・高畑淳子・東城えみ・キューティー鈴木・つぐみ　ジャガー横田

岡田義徳主演の『ワイルド・フラワーズ』が4月17日（土）よりロードショー。石川美津穂を始めとするJDスター勢、藪下めぐみ、キューティー鈴木、ジャガー横田ら女子レスラーが多数出演。女子プロファン垂涎のガールズファイティング・スポ根ムービーだ。

特別鑑賞券（1500円）を購入すれば、JDスターの試合が当日指定席4000円のところ、特別割引価格2000円で観戦できる。特別鑑賞券、もしくは半券を握ってJDスターにゴー!!

■劇場　テアトル池袋（東京都豊島区南池袋1-19-5　TEL 03-3987-4311）
■料金　一般1800円（特別鑑賞券1500円）　■問　ライス タウン カンパニー　03-3568-6730

団体INDEX（50音順及びアルファベット順）

■猪木事務所
03-5468-5656
〒150-0001 東京都渋谷区東1-25-2 丸橋ビル4F
http://www.inokiism.com/

■大阪プロレス
06-6636-6672
〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
http://www.osaka-prowres.com

■キングダム・エルガイツ
0423-31-2797
〒206-0025 東京都多摩区永山1-17-10
http://homepage3.nifty.com/z-zone-kingdom/

■新日本プロレス
03-5468-3111
〒150-0011 東京都目黒区青葉台4丁目4番5号渋谷スリーサムビルヂング8F
http://www.njpw.co.jp/

■シュートボクシング(SB)協会
03-3843-1212
〒111-0033 東京都台東区花川戸2-2-8 ワコー花川戸ハイツ
http://www.shootboxing.org/

■掣圏道
042-544-6979
〒196-0013 東京都昭島市大神町1-2-22
http://www.seiken-do.com/

■全日本プロレス
03-3288-0610
〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-10 九段有楽ビル6F http://oudou.co.jp

■全日本女子プロレス
03-3493-6541
〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
http://www.zenjo.com

■大日本プロレス
045-937-0811
〒224-0053 神奈川県横浜市都筑区池辺町4347
http://www.bjw.co.jp/

■高田道場
03-5749-5030
〒142-0062 東京都品川区小山3丁目6-6 ワールドパレス武蔵小山1F&B1
http://www.takada-dojo.com/

■高山堂 03-5464-2806
〒150-0011 東京都渋谷区東2-17-12-501号
http://www.Takayama-do.com

■闘龍門JAPAN
078-333-9797
〒650-0004 兵庫県神戸市中央区中山手通2-3-18 メープル中山手201
http://www.gaora.co.jp/dragon/index.html

■ドリームステージエンターテインメント（PRIDE）
03-5464-1531
〒107-0061 東京都港区北青山3-12-9 花茂ビル3F
http://www.so-net.ne.jp/pride/

■バトラーツ
0489-63-0005
〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
http://www.battlarts.jp/

■パンクラス
03-5792-0815
〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
http://www.pancrase.co.jp/

■プロレスリング・ノア
03-3527-5311
〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
http://www.noah.co.jp

■冬木軍プロモーション
045-241-6381
〒231-0048 神奈川県横浜市中区蓬莱町2―247 SSビル310

■みちのくプロレス
019-626-1333
〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
http://thegreatsasuke.com

■A to Z 03-3678-7777
〒132-0013 東京都江戸川区江戸川1-6-2
http://www.AtoZ.ne.jp

■DDT 03-5360-6653
〒112-0002 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-26-5 代々木シティホームズ1005
http://www.ddtpro.com

■DEEP事務局
052-339-0303
〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
http://www.deep2001.com/

■FEG（K-1事務局）
03-3796-2977
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-18-22 S&T神宮前ビル3F
http://www.k-1.co.jp/

■GAEA JAPAN
03-5459-3101
〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1F
http://www.gaea-inc.com

■GCM COMUNICATION
03-3538-5801
〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
http://www.g-c-m.net/

■IWAジャパン
03-3352-3366
〒160-0004 東京都新宿区新宿2-15-13 第2中江ビル402
http://www.iwajapan.jp/

■JDスター
03-5524-2339
〒107-0052 東京都港区銀座1-8-21 第21中央ビル9F
http://www.jdstar.co.jp

■JWP 03-5849-2341
〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
http://www.jwp-produce.com/

■KAIENTAI DOJO
043-214-6960
〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町3-4-17
http://www.k-dojo.co.jp/

■LLPW 03-5228-4331
〒112-0014 東京都文京区関口1-24-6 朝日関口マンション1001号
http://www.llpw.co.jp/

■NEO 044-422-8344
〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
http://www.neoladies.com/

■SMACK GIRL実行委員会
090-1773-5647（担当・勝井）
〒156-0041 東京都世田谷区大原1-63-9 恒心ビル801 株式会社プロテック内
http://www.smackgirl.com/
info@smack girl.com

■U-FILE CAMP
044-932-0282
〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
http://www.u-filecamp.com/

■UFO 0467-82-2034
〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3-7-25-2F 株式会社エフ企画内

■UNW 03-3362-3014
〒164-0003 東京都中野区東中野4-4-5-311

■U.W.F. スネークピットジャパン
03-3337-1889
〒166-0002 東京都杉並区高円寺北2-15-1-2F
http://www.uwf-snakepit.com

■WJプロレス
03-3751-4546
〒146-0085 東京都大田区久が原3-31-1 いずみハイツ
http://www.wj-pro.net/

■WMF
049-239-3520
〒350-0812 埼玉県川越市下小坂536-18
http://www.e-rain.co.jp/wmf

■WWS 0495-24-6900
〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 レインボー本庄106

■ZERO-ONE
03-5730-3401
〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 寿ビル601
http://www.zero-one.to/top.html

■ZST 03-5321-9595
〒106-0023 東京都新宿区西新宿3-1-2 廣川ビル4F
http://www.zst.jp/

And Others その他情報

橋本真也イベントのお知らせ

3月28日のZERO－ONE静岡大会当日、橋本真也がトーク＆サイン会を行う。いつ何時、どこでもハッスル状態の破壊王のサインをもらって家宝にしよう！

■日時 3月28日（日）開始13:00
■会場 ラッキー会館袋井店（静岡県袋井市川井886-4）
■問 ラッキー会館袋井店 0538-44-3777

『ムーチャ・ルーチャ！』

ルチャバカ必見！ ルチャリブレの豪快なアクション・コメディアニメ『ムーチャ・ルーチャ！』がスカパーで絶賛放送中！ スポーツでもエンターテインメントでもない……ルチャリブレとは生き方そのものである!!

■放送時間 月～金 17:00～17:30、土・日 15:30～16:00
■スカイパーフェクTV!（274ch）、スカイパーフェクTV! 2（203ch）
■加入に関する問い合わせ スカイパーフェクTV! カスタマーセンター 0570-039-888（10:00～20:00）

『プロレススーパースター列伝』＃1～4

現在のプロレス界に多大なる影響を与えた名レスラー達のその後を追ったドキュメント番組。#1は序章、#2はキラー・コワルスキー、#3はバーン・ガニア、#4はバロン・フォン・ラシクとファン感涙のラインナップだ。真の男たちの濃縮した人生を体感しよう！

■放送日時 初回4月8日（木）から毎週木曜日21:00～22:00
■スカイパーフェクTV!（279ch MONDO21）
■番組に関する問い合わせ 03-5463-0789

15がパチスロ雑誌に新連載

現在発売中の『パチスロ7Jr.』（蒼竜社刊）4月号より、15が原案協力の新連載『女子スロ格闘家ストロベリー』と、コラム『15chanの一期一会』がスタート！ 負傷により欠場中の15だが、コラムによると、コンビニで痴漢を撃退したとのこと。復帰間近か!?

闘龍門・岡村社長が漫画になって登場！

『漫画実話ナックル』（ミリオン出版）5月号に、闘龍門JAPAN岡村隆志社長がモデルになった漫画『魂の掟』が掲載！ 男気が溢れまくる圧倒的な内容だ。マグナムやCIMAより男前に描かれた岡村社長にも注目だ!!

『紙プロ』も早売りしてます。格闘ショップ ファイターのHP完成！

格闘ショップ ファイターのホームページが遂にオープン！ 格闘技全般の用品はもちろん、オリジナルのTシャツ＆グッズなど充足のラインナップ。早速チェックだ！ 「インターネットは何者だ？」という方は来店して物色しよう。店内には大山総裁サイン色紙、"喧嘩十段"芦原館長グッズ、本宮ひろ志直筆原画などなど、数え切れないほどの激レアアイテムが鎮座してます。今回はHP開設記念として、芦原館長直弟子のファイター店長がオリジナルグッズを大盤振る舞い！ 読プレページへ急げ！

■住所 東京都新宿区新宿3-3-9 伍名館B1
■営業時間 12:00～20:00（火曜日のみ19:00まで）第3水曜日のみ休み
■問 03-3354-1903 ■HP http://www13.ocn.ne.jp/~fighter/

世界の覆面デザイナーROCKIN' JELLYBEANが初の個展を開催！

LAに活動拠点を移した仮面画伯・ROCKIN' JELLYBEAN。1990年から現在に至るまでの原画、the5678's やギターウルフなどインディー音楽シーンの初期フライヤー、カバーアート、Tシャツデザイン、歴代EROSTY POP!商品、歴代マスクなどを本邦初公開。独特の画風でイラスト界に新風を巻き起こす作品の数々を、直接肌で感じよう！

■日時 5月1日～6月27日（11:00～18:00）
■会場 Bape Gallery（東京都港区南青山5-5-82F）
■入場無料 ■問 03-5485-1560

ターザン山本と吉田豪の格闘二人祭!! vol.14

格闘技ファン全員集合！ 最強タッグ・ターザン＆吉田豪が豪華ゲストたちとガチで激突するトークバトル！ 前回のゲスト・健介も衝撃発言連発（『紙プロRADICAL』No.71参照）で大好評！ 今回は誰が乱入するのか!?

■日時 4月9日（金） 開場18:00 開始19:00
■会場 ロフトプラスワン ■料金 1800円（飲食別）
■出演 ターザン山本、吉田豪、豪華マル秘ゲストたちが乱入予定!!

WK NETWORKが無料メール会員募集！

修斗、パンクラス、DEEP、PRIDE、UFC、ZST、SMACK GIALなど、様々な舞台に選手を派遣するWK NETWORKが無料メール会員を募集！ WK NETWORK関連の試合、イベント、グッズの情報が随時配信される。下記のアドレスに空メールを送れば完了だ！

■メールアドレス wk@club-n.jp ■問 クラブニッポン事務局 03-3231-2070

紙プロHand 更新・最新情報

宇宙一面白い携帯サイト『紙プロHand』では、365日（今年は366日）毎日休まずメルマガを配信中!! その日に起きた大会・ニュース・事件、サイトの更新状況をお知らせしている。4月1日アップの着メロは、辻ちゃんこと辻結花の入場テーマ、男色ディーノのテーマ、ジャイアント馬場さんのテーマの計3曲!! 今月から格闘家コラムに長南亮が登場、フリー宣言とともに暴言も連発!? 吉田豪コラムもスリリングに毎週更新中!! 写真は3月1日アップのUDG王者・SUWA待画!! この他にも闘龍門待画多数アリ、SUWAコラムも要チェック!! 中川画伯カレンダー待画も毎月更新中!!

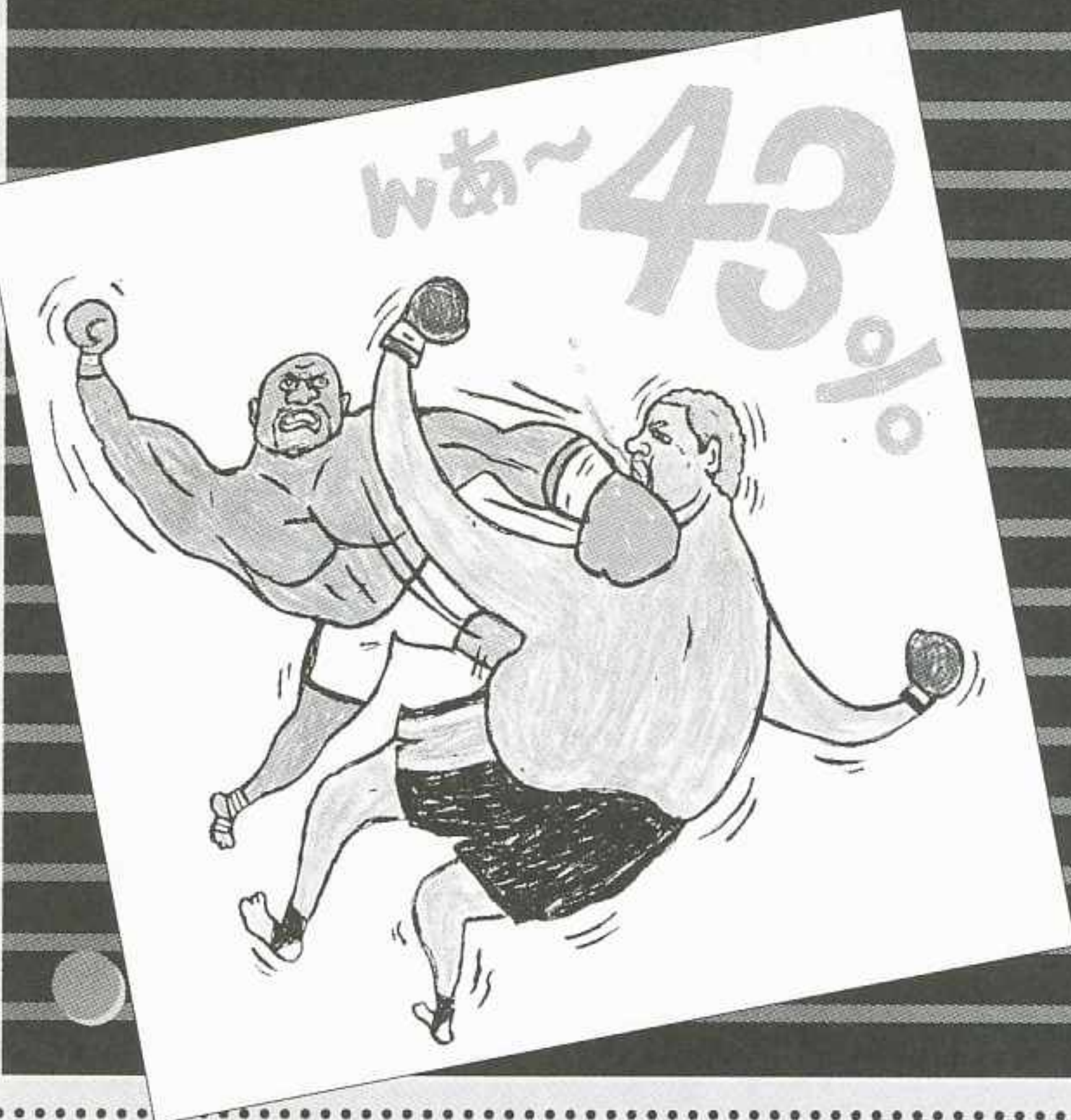
紙プロHand				
Docomo	i Menu	メニューリスト	スポーツ	格闘技／大相撲
au/TU-KA	EZトップメニュー	カテゴリで探す	スポーツ	格闘技
vodafone	メインメニュー	ボーダフォン・ライブ	スポーツ	格闘技

祝ひな祭り！ あられも飛び交う読者ページ

紙プロ元気大学

スモーノブ周辺で不幸が続いたり、チョロさんがさっき車にひかれかけたりと、悪いこと続きの『紙プロ』。ノブさんのアメリカ出張で増えた仕事を深夜片づけながら、人はこういうときに宗教に走るのかな、と感じている読者ページ担当&電気部のささきぃです。宗教には走らないよ、なぜって私が神様だから（←もっと良くない）。さ、冗談はこれくらいにして、今月もそろそろ始めましょうか。それでは、はじまりはじまり。

（東京都・ミタ・カイト）➡ごらんのとおり曙 vs サップ。先月掲載できなくてゴメンなさい。「うまいなぁ」と、斉野（新人・ピンピネーラさんのおもちゃ）が感心してました。この号が発売される翌日に武蔵と対決されているはずの曙、はたして張り手は反則なのか否か。

内回 校巡

『紙プロ』71号 面白かった記事

【佐々木健介〝ボルケーノ〟スペシャル】

★正直、健介のページはすべて良かった。正直大好き！ 次号の健介宅特集楽しみ!!

（宮崎県・甲斐正行・29歳・会社員）

➡かつては「嫌いな選手」ベスト3に必ずランクインしていた佐々木健介選手。かわいさにヴァーッとヤラれてしまった人たちが続出し、とうとう面白かった記事・ナンバーワンに輝きました！ 以下、順不同でお送りします。

【世紀の興行師・康芳夫インタビュー】

★自分の周りには絶対いない人。ファンタジーを具現化する異能の人となりがよく表れた、秀逸なインタビュー。

（兵庫県・阿部茂・35歳・会社員）

➡トラと空手家を闘わせようとするような人は確かに、そうそう周りにいないでしょうね。**「康さんのインタビューが『紙プロ』に出るなんて……」**という、マニアックな方たちからのリアクションも大きかったです。

【ピンピネーラインタビュー】

★『紙プロ』流新人教育に、現代の日本人が失いつつある仕事に対する厳しさを見て、感動しました。

（埼玉県・矢島博司・38歳・会社員）

➡チョロさんは「あちこちで『よくあんなことできますね』とか言われるけど、あんなの俺は毎月やったっていいんだけどね」と、何事もなさそうに語っていました。お前も男だ！

『紙プロ』71号 つまらなかった記事

【紙プロ元気大学】

★元気がない。

（群馬県・田部井堅二・36歳・会社員）

➡了解しました。ここからは元気出していきます。ガッツでガッツン、ガッツンだぁー！

【『ハッスル』について】

★『ヤングアニマル』という雑誌で大槻ケンヂさんが金子達仁さんと対談してたのですが、金子さんが『ハッスル1』に絡むという話が出てたそうです。私個人としては、オーケンが高田軍に入り、観客に向かって「お前ら、モテないオーラが出ててキモいんだよ」とか言ってくれたら面白いのですが。

（北海道・安部正典・31歳・無職）

➡それは面白い。やってほしいアイデアですね。壮絶なブーイングが飛ぶだろうけど、盛り上がりそうだ。掟ポルシェ。さんには何らかの形でカラんでほしいですね。

今月の 『紙プロHand』調べ 好きなレスラー人気ランキング!!

- 1位 田村潔司
- 2位 桜庭和志
- 3位 橋本真也
- 4位 CIMA
- 5位 ミルコ・クロコップ

今月も携帯サイト「紙プロHand」上でのランキングをご紹介します。一時的に入れ替わる時があるものの、結果として上位3人は変わりナシ。佐々木健介票が伸びていますが、時期的に『PRIDE武士道』後だったためか、ミルコが5位の座を許しませんでした。本誌ハガキ票をプラスするとたぶんかなり上の順位に行くのではないかと思います。嫌いな選手はあいかわらずゴールドバーグの親友です。何がそんなに、とたまに思います。2位は何コラッ！でした。（2/16〜3/17アクセス分調べ）

紙プロ70号・読者が選ぶ 面白かった記事ベスト5

- 1位 佐々木健介、ボルケーノスペシャル
- 2位 康芳夫インタビュー
- 3位 ミルコ・クロコップインタビュー
- 4位 『PRIDE GP』噂の真相
- 5位 WWE上陸スペシャル

1位はダントツでイベントレポート、佐々木健介“ボルケーノ”スペシャル！ かわいさに圧倒されてしまった人たち、今月のお宅訪問はいかがでしたか？ 2位は虚実家・康芳夫インタビュー。吉田豪仕事に絶賛者多数です。3位はクロアチアの国会議員ミルコ・クロコップインタビュー。ミルコは最近笑顔が増えてきましたね。4位は誰しも気になる『PRIDE GP』出場メンバーの噂、続いてWWE上陸スペシャル。ていうかジャッキーとステイシーのナイスショット。6位はハッスル高田総統の“真の姿”初公開、ハッスル大図鑑、マット界展望座談会と続きました。

『紙プロ』70号 面白かった記事

【マット界語録2003】

★はやく来年のこの企画を読みたい。

（埼玉県・浅田太一・31歳・会社員）

➡気持ちはわかる。今年はもういくつか候補出てますかね。「ケンカ売ったの誰だ!? 俺か!?」とか。

【I編集長コラム】

★いつもサイコーです！ 木戸の〝殺し〟て……。

（東京都・後藤昌彦・30歳・自営）

➡『紙プロHand』コラムを読むと、どうも、グラウンドでの（強力な）極めの技術のことなども〝殺し〟と言うらしいとわかりはじめてきました。意味を重くとらえた上で流行らせたいです。今後、『PRIDE』の解説などでも「日本人選手には〝殺し〟がないですね」などと積極的に使って欲しいと願います。

その他のおたより

★前にパンクラスゲートに出た時松澤さんと顔を合わせましたが、黙殺されていたので『DEEP』の記事に載せてもらってびっくりしました。大将の門馬さんよりも大きい写真が2枚も載っていて更に驚きました。高田本部長まで観戦に来た大会に出ることが出来て非常に光栄でした。自分のあの大会の一番の見所は「松井vs長南が終わったと同時に関を立った高田本部長」でした。（後略）

（東京都・村田卓実・A-3所属）

➡スペースの都合で全て載せられずゴメンなさい。最近の『紙プロ』はいまいちでしたか。最後は**「自分とも闘い引き分けた佐藤力選手に惜敗した、花くま先生によろしくお伝えください」**とシメられてました。昔よく読者ページにご登場されていた、現在A-3ジムでご活躍の村田卓実選手です。前号の113ページをチェック。格通の選手名鑑は別人なので要注意。みんなで応援しましょう。

（神奈川県・稲葉聡）セルゲイ&ブスタマンチ。➡こちらも先月いただいていたハガキ。セルゲイ・ハリトーノフ、指人形にしたい感じです。

★ささきぃ様へ。「恋は下心・愛は真心」ですよ。

（静岡県・久保田潤・33歳・ヤドカリ焼店経営）

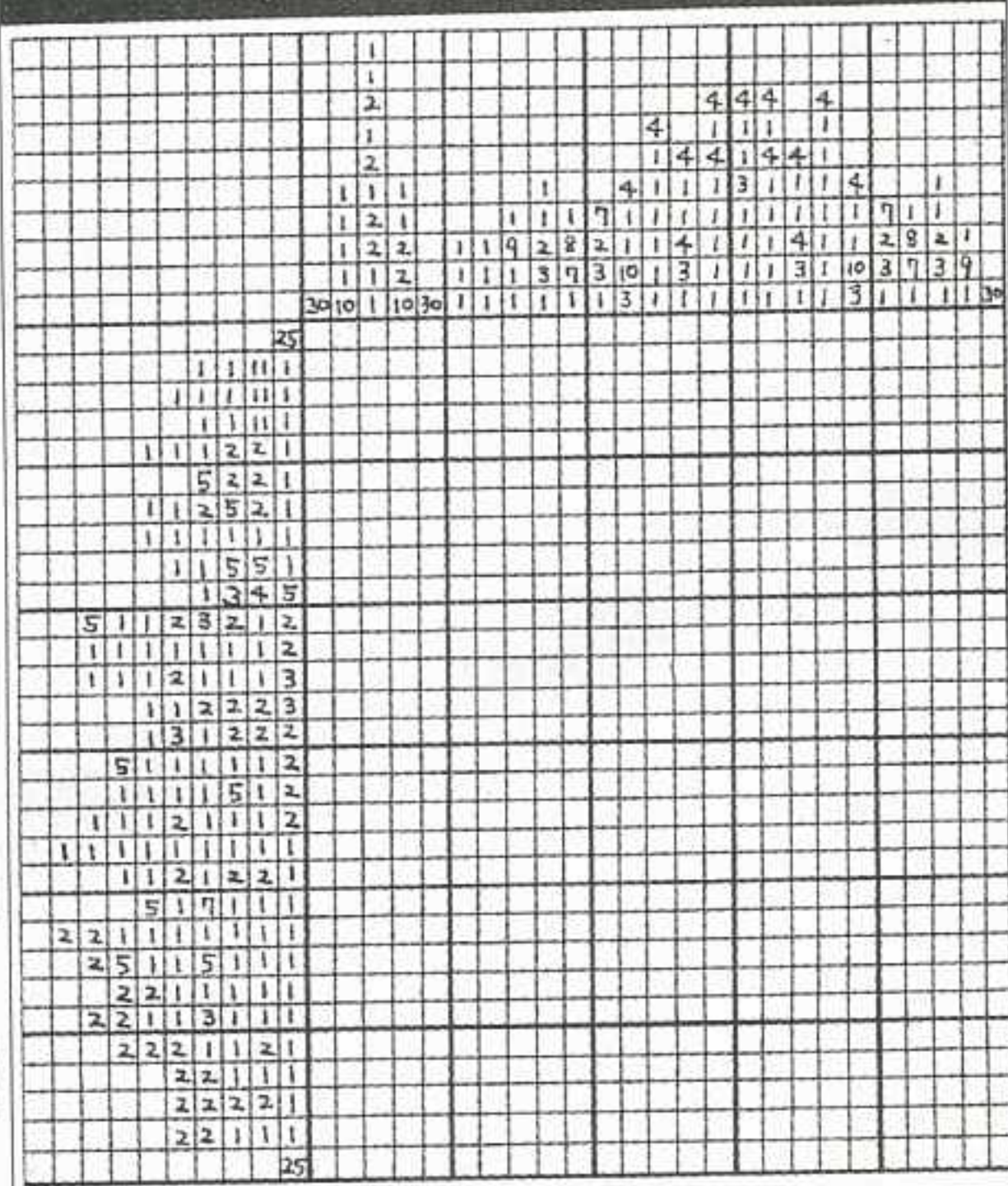
➡ふーん。

今月のステキな1枚

紙面に使う機会がないけれど、眠らせておくのが惜しい写真などを公開するこのコーナー。別に誰も期待してないだろうけど2回目です。携帯サイト『紙のプロレスHand』に『今週のステキな一枚』というコーナーがありますが、あれの雑誌版だと思っていただければOK牧場です。

3月8日、朝青龍のお兄さんことスミヤバザル公開練習時に練習場所となった広尾のパンクラス・ピーズラボ東京にて。各団体の道場・ジムには、団体のカラーや特徴が出るのではないかと思うのですが、ピーズラボのカベに貼ってあったこの言葉にはド肝ぬかれました。言葉の重みとともに、プロ意識とは何か、考えさせられました。すごい。（撮影者・ささきぃ）

突然ですがお絵かきロジック

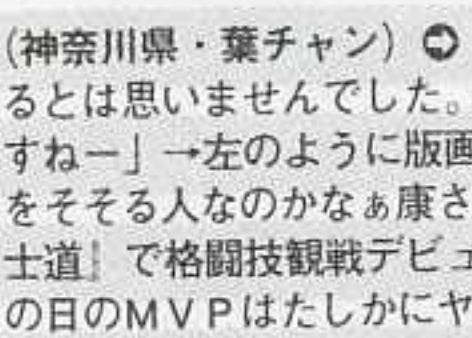
Quiz「もしもし？オレだよオレ」「？●●かい？」「そうだよ！●●だよ！」Puzzle

（大阪府・英加直純）➡突然ですがパズルです！　ロジックパズル、もしくはお絵かきロジックというやつですね。ルールは調べてやってみてください（投げっぱなし）。正解は次号掲載しますが、解けた方がいらっしゃったら、紙プロ元気大学内「追試」の係まで送ってきてください。先着1名になにかあげます。

（大阪府・英加直純）➡いつものとおり（？）切り絵です！　すげー。さそりの毒はキツかったようで、新潟ではちょっと残念でしたね、殺人医師。ＩＷＡ軍団がきっとカタキをうってくれると思います。浅野社長のイラスト見たいですね。どなたかお願いします。

追悼　ヘラクレス・ヘルナンデス

（埼玉県・中川雅博）➡3月6日（日本時間7日）、米フロリダ州タンパの自宅でヘラクレス・ヘルナンデス選手、ＷＷＥではハーキュリース選手（本名レイモンド・ヘルナンデス）が、心臓麻痺のためお亡くなりになりました。46歳でした。ノートンとのジュラシック・パワーズで第22代ＩＷＧＰタッグ王座にも輝いてらっしゃいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。中川くん、力作をありがとう。

（東京都・福原統）➡普通にアンケートハガキとして届いたものなんですが、どっかで見たことあるような表書きだったので掲載します。…おまえ、アントニオ文生だろ！　違ってたら正直スマン（弱気）。

（北海道・小林少林）「ミルコはエース、そしてこの2人は『ＰＲＩＤＥ．ＧＰ』の中心人物になると思う」➡なぜこの2人が手を組んでいるのか？　と思いましたが、そういうわけだったか。次にヒョードルと闘うのは誰なのか、それだけでも気になってしょうがない。はたして誰がヒョードルをたをすのか。

（神奈川県・葉チャン）➡「『紙プロ』に康さんが出るとは思いませんでした。もう康さん自身が宇宙ですねー」→左のように版画になったりもして、絵心をそそる人なのかなぁ康さん。わかる気もする。『武士道』で格闘技観戦デビューした葉チャンさん、あの日のＭＶＰははたしかにヤマヨシだったと思います。

今週の版画部作品展

（東京都・シンペイ・タナカ）

（神奈川県・稲葉聡）

➡読者ページあてにたくさん版画作品が届いたのでまとめて掲載でーす。左の2枚はイラストと同時に版画も送ってくれた稲葉さん、左は所がちょっと気の毒です。右は女性が版画になるのはめずらしいなと。「最近、うっかり油断をすると“ミルコもノゲイラに負けた時、こんな感じだったのかな…”と勝手に思いこんでいます」って、大観衆の中一本負けでもしましたか？　己に優しく生きましょう。上は消しゴム版画部あてで突然4枚も下さったシンペイ・タナカさん、クオリティも素晴らしいのですが人選にシビれました。康さんは名刺の裏側とかに入れたいですね。下のは藤田の肩固め？　これをわざわざ彫るところが偉いです。ナイス。

衣料部・Tシャツ自慢コーナー

（静岡県・目ガ覚メタロウ）「心の底から欲しかった『ほんとにジョーク』チャンピオンベルトＴシャツ、中川画伯よりいただきました。絢爛豪華なつくりに、とても感動しております。下ネタ反対！」➡おやおや素敵なＴシャツですね。ブリーフ姿で「下ネタ反対！」。矛盾こそが人間。しかし、チャンピオンベルトＴシャツが出来たということは、いつしかタイトルマッチなどが行われると考えてよいのでしょうか？　挑戦者の資格があるのは誰だ。これまでの掲載回数集計とかしたほうがいいのかな。

（愛知県・たっつぁん）➡おなじみたっつぁんさん。「ささきぃさん、これでかんべんしてください。『ほんとにジョーク』のハガキを取らないでください」と、カツアゲにあったようなコメントが書かれていました。これはちゃんと読者ページあてに届いたハガキです。今月はこれで勘弁します（えらそう）。ステキなイラストをありがとう。

おハガキ・お便り・メール大募集!!

先月号が出てから早速、「Ｍ−１」のビデオ、ありがとう中川画伯。笑い飯とフットボールアワーにゾッコンです。アンタッチャブルもステキでした。名乗り出てくれた山崎さんありがとう。あなたに幸あれ。ダイエット方法を教えてくれたＭ・Ｋさんありがとう。ともに頑張りましょう。皆様あってのささきぃ＆読者ページでございます。もう私ひとりの身体じゃないのね（妊婦？）。さてさて、『紙プロ元気大学』では皆様のお便りを常時募集しています。毎月10日ごろまでにいただけると、掲載される率が非常に高くなります。『紙プロ』を読んで感じたこと、ご意見、大会の感想、お便りの他、イラスト、その他すべての宛先は

メールは radical@kamipro.com
〒151-0051　東京都渋谷区千駄ケ谷3・11・3・702
（株）ダブルクロス　紙のプロレスRADICAL編集部　紙プロ元気大学「持つべきものは強い嫁」係まで。

★☆★携帯サイト『紙プロHand』からの投稿も出来ます！★☆★

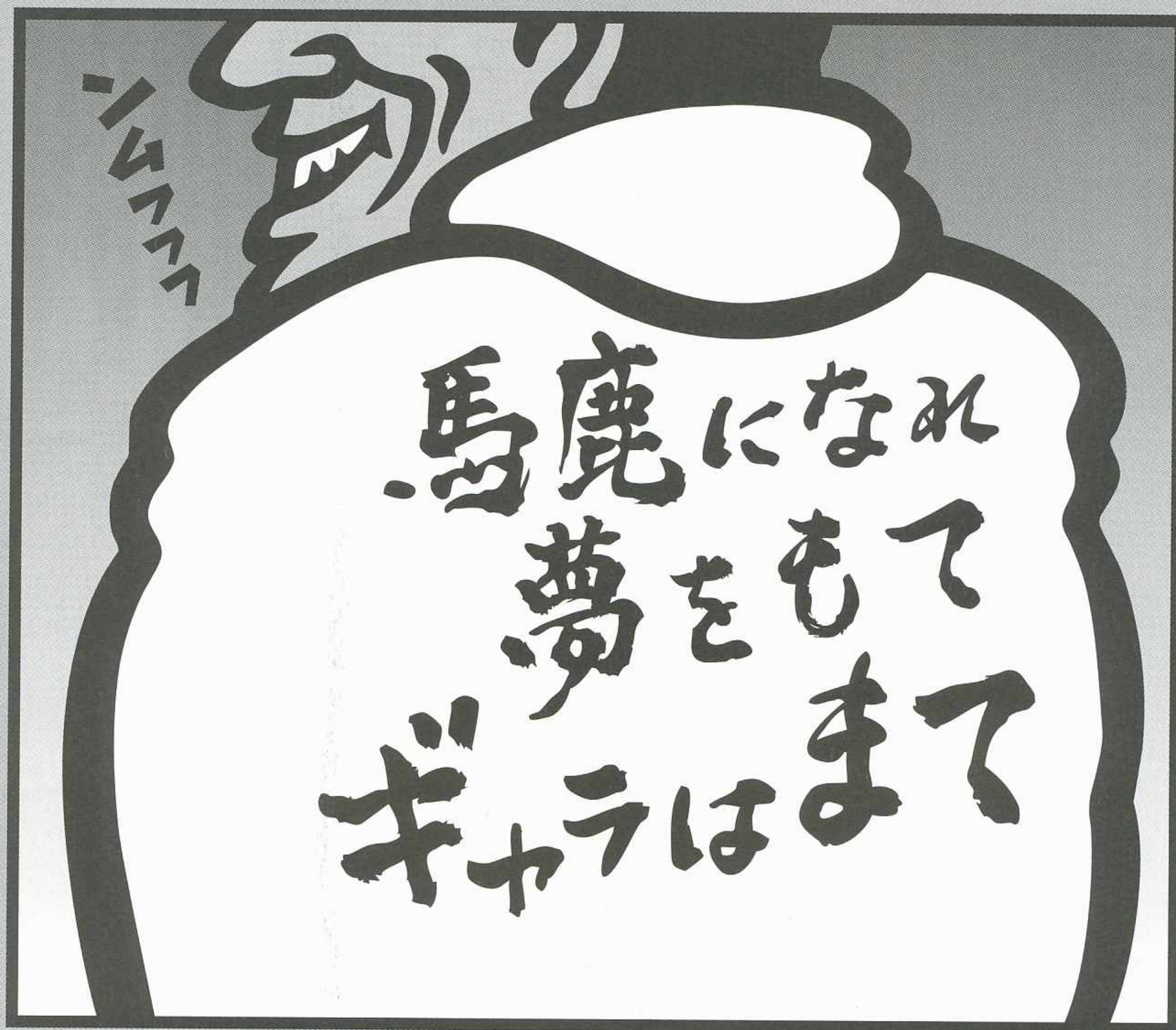
本名NGの方はペンネームを記入するのを忘れないよーに！　プレゼントコーナーあてのハガキも、内容によっては無断でこっちに載ってしまいます。匿名希望の人はその旨明記のこと。旬のネタは掲載率が高いです。

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第33回

ンムフフフ

馬鹿になれ
夢をもて
ギャラはまて

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

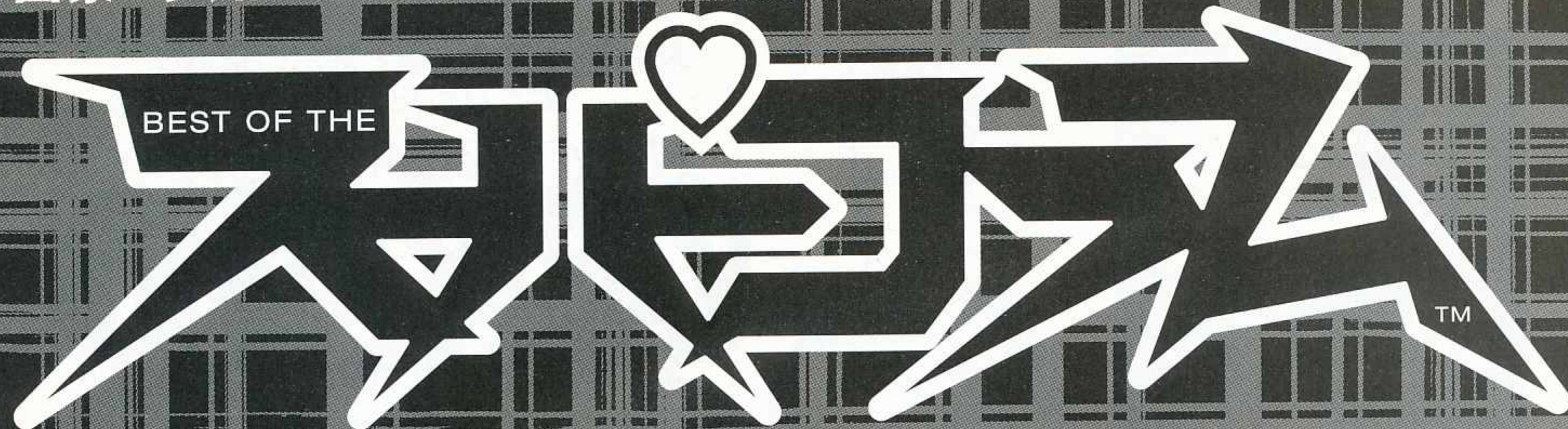
静岡県磐田郡　**目ガ覚メタロウ**

★目ガ覚メタロウさん、採用おめでとうございま〜す!!　「KYワカマツ&目出し帽の男」Tシャツ（M）。お楽しみに!!
★プリンター壊れちゃった…。『ほんとにジョーク』Tシャツの発送が遅くなってしまいゴメンナサイ。しばしお待ちあれ。
★花粉症がキツいです。鼻と目がシンドイです。集中力皆無の中川画伯の『ほんとにジョーク』にハガキを書こう!!　抽選で5名様に「手づくり缶バッヂ」、採用された方には「手づくりTシャツ」をプレゼント!!　希望Tシャツはプロレスラーじゃなくてもノー問題です。大変遅くなってしまいゴメンナサイ。皆さん、ハガキをビッシビシ送ってください。
★IT革命です。毎日更新。ノンキな日々…。『中吉』http://chu-kichi.jp/

➡前号のTシャツ ケンスキー

応募方法　プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ（S･M･L･XL）をハガキに書いて下さい。〈例〉ゼブラーマンのL

富豪2夢路＆中野たつあき出演の『紀雄の部屋』も要チェックです！

BEST OF THE スーパー・ズ™

これぞ無我！ 西村vsしゃこボクサー 実現!!

公開前から話題沸騰!!

西村修主演 『いかレスラー』の 全貌が次号明らかに!!

次号『紙プロ』では「プロレスと映画」特集を敢行！　新宿プロレスのレスラー勢が大挙出演の『シベリア超特急　欲望列車』や、DSE榊原代表が製作総指揮を務め話題の『殴者』、そして中島らも原作の『お父さんのバックドロップ』も映画化が決まるなど、いまプロレス＆格闘技関連の映画が熱い。中でも、西村修主演で公開前から注目を集めているのが『えびボクサー』ならぬ『いかレスラー』。前号のインタビューも好評だったAKIRAや、高山善廣、さらには吉田豪、ターザン山本までもが出演しているこの映画について、おバカ映画の巨匠・河崎実監督にたっぷりと話をうかがってきます！

『鬼木祭り』での十段と前田の遭遇は、どうなったのかな

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

www.HANAKUMA.com

K-1MAXの映像はいまだ脳裏に残っている。チカチカってフラッシュバックするんだよね。あれはサブリミナルだったのかしら？　それにしてもKID凄かったなあ。キックに染まる前の今のうち、すぐに魔沙斗戦見たいね。

そんで毎回毎回面白いK-1MAXにくらべ、いつもいつも人々を憤慨させる日テレのK-1。あいかわらず腹立たしい番組作りの日テレだが、もうマヒしてなれた。今大会のミニチェックどこは、

●ウイリアムスのセコンドが、竹内出・三宅綾・浅野社長の異次元トリオ

●イグナショフの紹介VTRで、さんざん中邑へのヒザ流すが、けっして中邑の名を出さないのは、新日に気を使ってる？

●「スミヤバザルの身に一体なにが起こったのか!?」ってテロップが試合前に一瞬出てしまったが、あれは日テレお得意のサブリミナル？

この3つぐらいでしょうか。結局この日いちばん見ごたえあったのは、一時間前にTBS『さんまのからくりTV』での、黒人ボビーがグラバカでスパーする模様でした。

話変わりますが、こないだ私は、またも懲りずにZSTのジェネシスバウト（今回はトーナメント）に出ることになりました。前回はコピィロフモードでいったが引き分けてしまったので、今回は技術ネタ明かしDVDも発売され、今世界中でブームとなりつつあるマルセーロ・ガルシアモードでいこうと密かに決意。今大会のパンフやシャツのイラストに、ガルシアの得意組手を描いて、「今回、ガルシアチックにいきますよ」と、さりげなくメッセージ電波を送っていたのですが、電波をキャッチして気づいてくれた人いたでしょうか？

そしていざ試合。初戦の相手はリングドクターの網川先生。白衣で細みのイメージのはずが、いざ白衣脱ぎ組むと力強いので面食らいました。そんでセコンドのルミナさんばりに、奇襲で何度も足関や飛びつき狙ってくるので気が抜けません。それでもガルシアムーブで、なんとか勝てました。ありがとう、ガルシア！　もともとあんまり裸絞めしないスタイルの私（でも子供の頃はマーク・ルーイン好き）でしたが、アブダビでのあなたに魅せられてから、裸絞めもスパッと速くバックとっていけば、かっこいいなと目覚め、練習ですぐにパクって取り入れスタイルに幅が広がりました。ありがとさん。はやく、どこか日本のプロモーションはガルシア呼んでくれないかな。彼の魅力を発揮できる、打撃なしの試合でおねがいします（理想はコンテンダーズで宇野vsガルシア。桜庭戦も見たいが体重が？）。それか来年は、アブダビコンバットがついに日本でやるみたいだから、そんときいっぱい見れるのかしらね、王子さま？　生の王子さまも見てみたい。

さて次の試合は、何もできずいいとこなく負けて終了。さあ、これからが本日の目玉であるプロのほうのトーナメントを満喫しようと、心入れ替えて本戦を凝視。すると、なんといきなし足関十段・今成選手まさかの判定負け！　勝ちになった若林選手も含め、会場中が首をかしげる。そして大会中に十段は会場を去ったようで、これからどうなるんだ？という不安を抱きつつも大会は進む。目につくのは、ジェフ・カラン。強い！　うまい！　と好印象。これじゃ、KIDと判定までいったのうなずけます。若林vsカランは、両者すばらしく今大会のベストバウトではなかろうか。

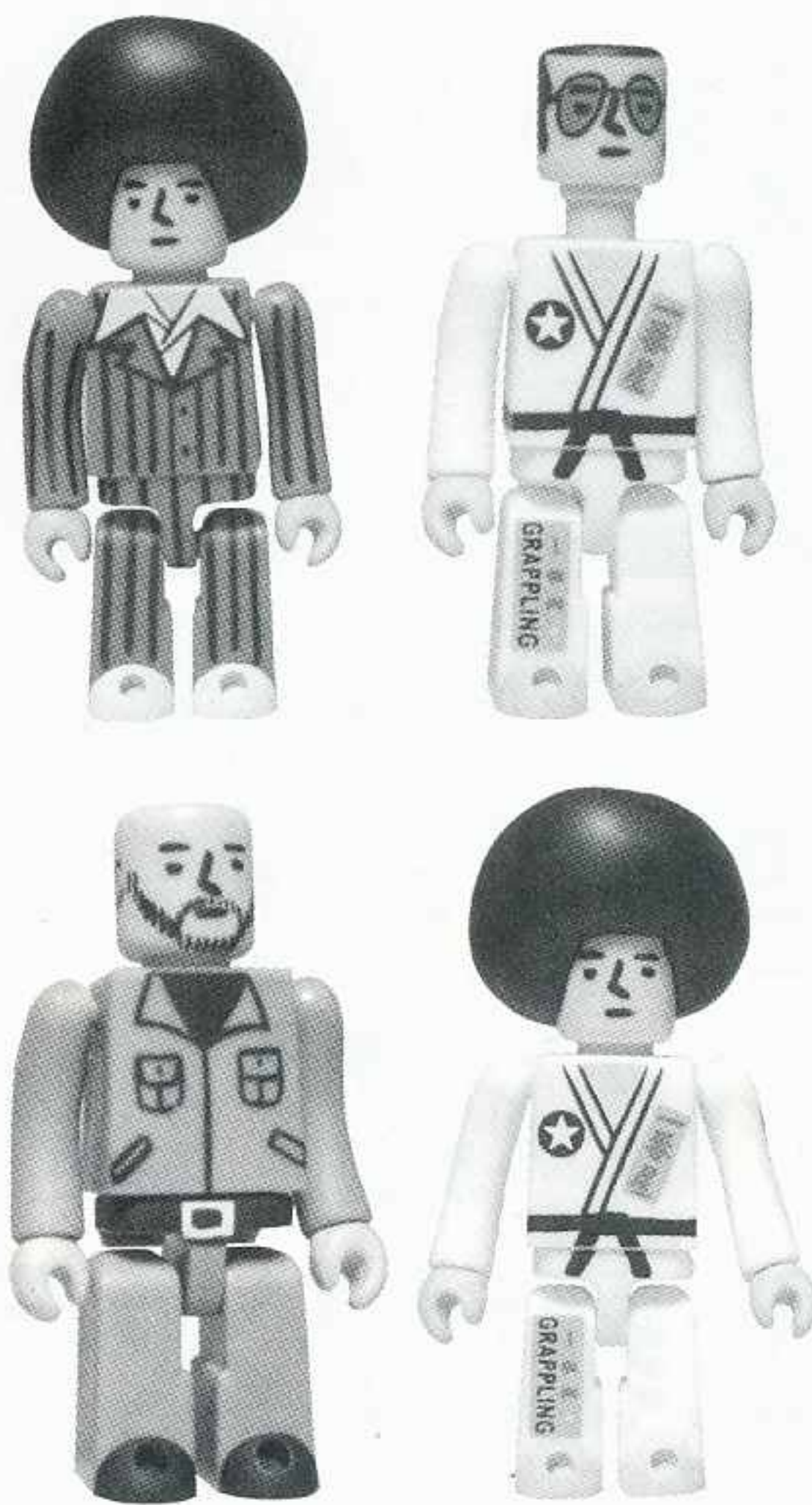
そして本日もっとも素晴らしかったのが、所選手。十段と矢野さんのイリホリが会場を去り不穏な空気感じる場において、四兄弟で唯一勝ち上がり一人でサンボ勢を相手にがんばるその姿は、感動的ですらあった。特に松本戦後、判定出る前から手をあげるそのポーズには、頼もしさが発光し輝いていた。なんかマンガの主人公みたいだった。大石戦は黙って見てたけど、松本戦の途中からおもわず声出して応援。決勝もきっちり一本で絞め、大会的にもいい締めでしたね。

しかし今後、ZSTからイリホリ脱退？という暗いニュースは、どうなっていくんだろうか。あの4人だったからうまく魅力的だったZST四兄弟であり、ZSTそのものの魅力だったと思うんだが……。

マーク・ルーイン

映画「いかレスラー」で西村主演！

かめレスラーでオファーきたらどうしよう…

Hanakuma Yuusaku
こないだパルコでやった清志郎ソロライヴの曲目を知って、行けばよかったと後悔

男道コーチ屋稼業 掟ポルシェ（ロマンポルシェ。）の業☆勝ちます

【ハッスル2】の巻

ハッスル……それは「発奮する」ということ。1・4さいたまスーパーアリーナで行われた『ハッスル1』で解説席に座らせていただいた俺だが、いきなり馴れないことをしたせいか無難な発言を繰り返すに終始し、今ひとつハッスルしきれていなかったのではないかと、あの日以来、自責の念にかられていた。何故ゴリラのマークのオリエンタルプロレスオフィシャルTシャツ（極太親父）を着用していかなかったか、何故リングサイドかぶりつきにいながら島田裕二に漬け物石大のウラン鉱石をぶつけてやれなかったのか等々、色々とショアッ！　以上ハッスル未満の己を恥じた。

自己嫌悪……ハッスル不足の自分を責めては酒浸りの日々。自暴自棄になり、個室マッサージ店で眼鏡をはずした水島新司に面影のよく似た熟女をわざと指名して本番行為を強要WITH半立ち&中折れし、「アラ、若いのに元気ないねえ。ウコンあるわよ」とババァの知恵袋的民間療法を施されてみたりもした。凹んでいる時だけに水島先生似熟女のなにげないやさしさにグッと来て目を潤ませている自分がいる……いかん、このままではババァの施しを愛情と錯覚して店外デートしてしまいそうだ。あねさん女房をもらうならまだいいが、あぶさん女房はちょっと……。

水島先生がくれた粉末ウコンのおかげで目を覚ました俺は、人生の至るところで発奮しながら生きる「ハッスル修行」を開始した。まず起床は早朝4時半。寝起きのたるんだ心に喝を入れるべくマーシャルアンプのスイッチをいれてフルボリュームでベースの朝練。課題曲はもちろんラフィン・ノーズの『ゲット・ザ・グローリー』。自らつま弾く軽快なメロディに胸も高鳴り、朝から拳を突き上げOiOiOi!!　早朝バズーカ並の爆音に驚いた隣の部屋の住人が凄い勢いでドンドンドンドン壁を叩いているが、そんなことでいちいちアンプのボリュームを絞るようではハッスルした生き方とはいえない。ここで音量を下げたら負けなので、そのまま気にせず2曲目、フラットバッカーの『ハード・ブロウ』に移行。「メタルもパンクも関係ねぇよ。カッコ良ければどっちでもいいんだ」というフラット・バッカーの基本姿勢はとてもハッスルしているといえよう。俺は断固支持だ。

と思ったら、今度は玄関チャイムが鳴っている。まだ日も昇らない早朝から突然の来客がある暮らし……なんとハッスルなことだろう！　喜び勇んでドアを開けると、そこには先端を鋭利に削ったこうもり傘をこちらに向けてもの凄い座った目つきで俺をにらみつけている隣の部屋の住人が立っていた。「今何時だと思ってんだ！　ぶっ殺すぞテメェ！」と言われても、はて、もどう対処していいかわからなくて困ってしまう。「ハッスルとは時間を問うものではないんでしょうがないんですよ」とですます調でしっとりとハッスルすることの重要性を訴えたのだが、傘で脇腹をブッスリ刺されてしまった。こんなこともあろうかと腹筋を鍛えておいたので大事には至らなかったが、「早朝から殺されかける体験」というのもまったくもって過剰にハッスルしていて感慨深い。

そんなこんなで月日を重ねて強靭なハッスル精神と学園祭バンドが出来る程度のベースの腕前を体得し、いよいよ3・7『ハッスル2』の日がやってきた。今回の解説こそ絶対にハッスルしてやる！　と固く胸に誓って横浜アリーナに到着。関係者用入場口をくぐろうとしたその時、係員の一人が俺を止めた。え？　チケットは持ってますかって？　……あ！　それって昔、UWFの会場に挑戦状持ってきた大仁田が神社長に言われたギャグのテンドンでしょ!?　入場からしてもうハッスルしちゃってるよ！　古今東西のプロレスネタでおもてなしってことですよね！　ん～、実にわかってらっしゃる！　でもチケットはさすがに持ってないっスね、俺、解説者だから。……なにっ、解説はドン荒川がやるって!?　一回でいきなりクビかよ俺！

なんか俺、前回『ハッスル1』の解説でマズイことでも言ったっけかなぁ……。「『泣き虫』が暴露本だって？　冗談じゃありませんよ！　大体この本に書いてあることなんて誰でも知ってることなんだから！　『全国の学校の校庭を芝生にする』っていうさわやか新党の選挙公約のことでしょ!?　そんなもんみんな知ってるっていうんですよ!!」っていうあたりかなぁ……。『泣き虫』の内容を紹介して売上に貢献しようとしたんですが、もっとうまく引用が出来ればよかったですね……申し訳ありませんでした……。それとも「マーク・コールマンは『PRIDE』での高田本部長（当時の呼称）との試合でもイイ動きしてましたからね！　リングスで言うところの回転体のような動きが実に素晴らしかった！　あのときからコールマンはプロレス向きな選手だと俺は見抜いていましたよ！」っていうあたりかなぁ……。リングスの話をあの場で持ち出したことに憤慨されているならどうも申し訳ありませんでした……。じゃあ、前解説者特権でSRS席で観戦させてもらいましょうか？　え？　クソして寝ろと？　了解です！　自分じゃ気が付かなかったけど実は俺、ちょっとハッスルしすぎちゃってたみたいですね！　ニャハハ～！　ハッスルハッスル！

ちなみに3・7『ハッスル2』の解説席には掟さんに代わってドン荒川と全日本の木原リングアナ、そしてマルチタレントの水嶋洋子（元ワンギャル）というラインナップ。まさに掟破りか!?

Okite Porushe
おきて・ぽるしぇ■ロマンポルシェ。ライブ予定！　3・28（日）新宿レッドクロス（問い合わせ）RED CLOTH 03・3202・5320、4・22（木）新宿ロフト（問い合わせ）LOFT 03・5272・0382。ニューアルバムは6月発売予定。

原タコヤキ君の大阪プロレスファン通信

ナニワの中のナニワな人たちがお送りするダイナマイトな関西コラム

まいど！「関西にプロレス熱を取り戻せ！」が合言葉のこのコーナー。大阪のプロレスファンにはおなじみのスポット、メキシコ料理『ブロディ』に行ってきました！ なぜかチョロ、マグナム北斗も一緒にワイワイと盛り上がってきましたよ～。

★

――はじめまして！ いきなりですけど、ナンバさんは『紙プロ』は、ご存知なんですか？

ナンバ ちっちゃい頃から好きで観てますね。『バンバンビガロ』の興行でチョロさんのキャットファイトも観てますから（笑）。

――やっぱりお前はアホやな、チョロ（笑）。この店の名前は実はケンドーコバヤシ君から何度も聞いていたんですけど、そもそも始めたきっかけはなんやったんですか？

ナンバ いえ、個人的にプロレスが好きで、バーをはじめる時も屋号をプロレスにちなんだ名前にしたいなって思ってて。二軒目から自分の持ってるプロレスのビデオとか店内で流してたんですけど、そうすると、だんだん中にはかなりイタイお客さんが増えてきてしもて……。

マグナム わかる！ 俺も前、こんな店やってたけど、真顔で「私、天山大好きなんです！」って言うてくるファンとまともに喋れるか？

――ワハハ。それは言えるなあ（笑）。

ナンバ ちょっとそういうのに疲れたっていうのもあって。だってね、前田対アンドレ戦なんて一万回くらい観てるんですよ！

マグナム 俺、二回観たら飽きたわ。

――僕はさっき年末の猪木さんの108ビンタ暴動騒ぎをかけてもらいましたけど、あれは最高ですね（笑）。

マグナム 爆笑したね、ホンマ。

ナンバ ほんでここは名前は『ブロディ』のままですけど、あんまり店内をプロレスっぽくしてないんですよ。WWEとかルチャだったら映画を流してるような感じじゃないですか。いまはプロレスに興味がない人もたくさん来て下さってますね。

――やっぱりブルーザー・ブロディが一番好きやったんですか？

ナンバ いや、ホンマはローラン・ボックが一番好きなんですけど、ちょっとそれではお客さん来ぇへんかなと思って（笑）。

――確かに（笑）。タレントさんとかレスラーの方もよく来られるみたいですけど、どんな方がいらっしゃるんですか？

ナンバ 吉本の芸人さんとかが多いですけど、ちょっと前に水道橋博士も来られましたね。なんかけっこう人見知りな方なんですね。

マグナム 俺、博士と喋ったらいつも説教されるわ。「才能はあるんだから、ちゃんとしろ」って。

――マグナムさんはちょっとくらい怒られた方がええで（笑）。

ナンバ 選手ではメジャーの方はまず来ませんね。闘龍門の選手とか多いかな？ あと、ミスター・ヒトさんもつい最近来られましたよ。

チョロ え!? ハシフ・カーンに〝ハーフ・ダイ〟と言われて一時は死亡説も流れたヒトさんですか？

ナンバ 呼んだら来てくれると思いますよ。凄いですよ、安達さん。娘さんがカルガリーで結婚するいうて、向こうに行って、そのまま一年間いてはったんですよ（笑）。

チョロ 凄いなぁ（笑）。それで死亡説が流れたのか。破壊王も連絡を取りたかったみたいなんですけど、連絡がつかなかったみたいで。

ナンバ カルガリーに行ってから、安達さんは飼ってたメチャメチャでかいラブラドール（レトリバー）を、大阪の知り合いに「船便で送れ」いうて送らせたくらいだったんですよ。

――ワハハ！ もう日本に帰らんつもりやったんかな？

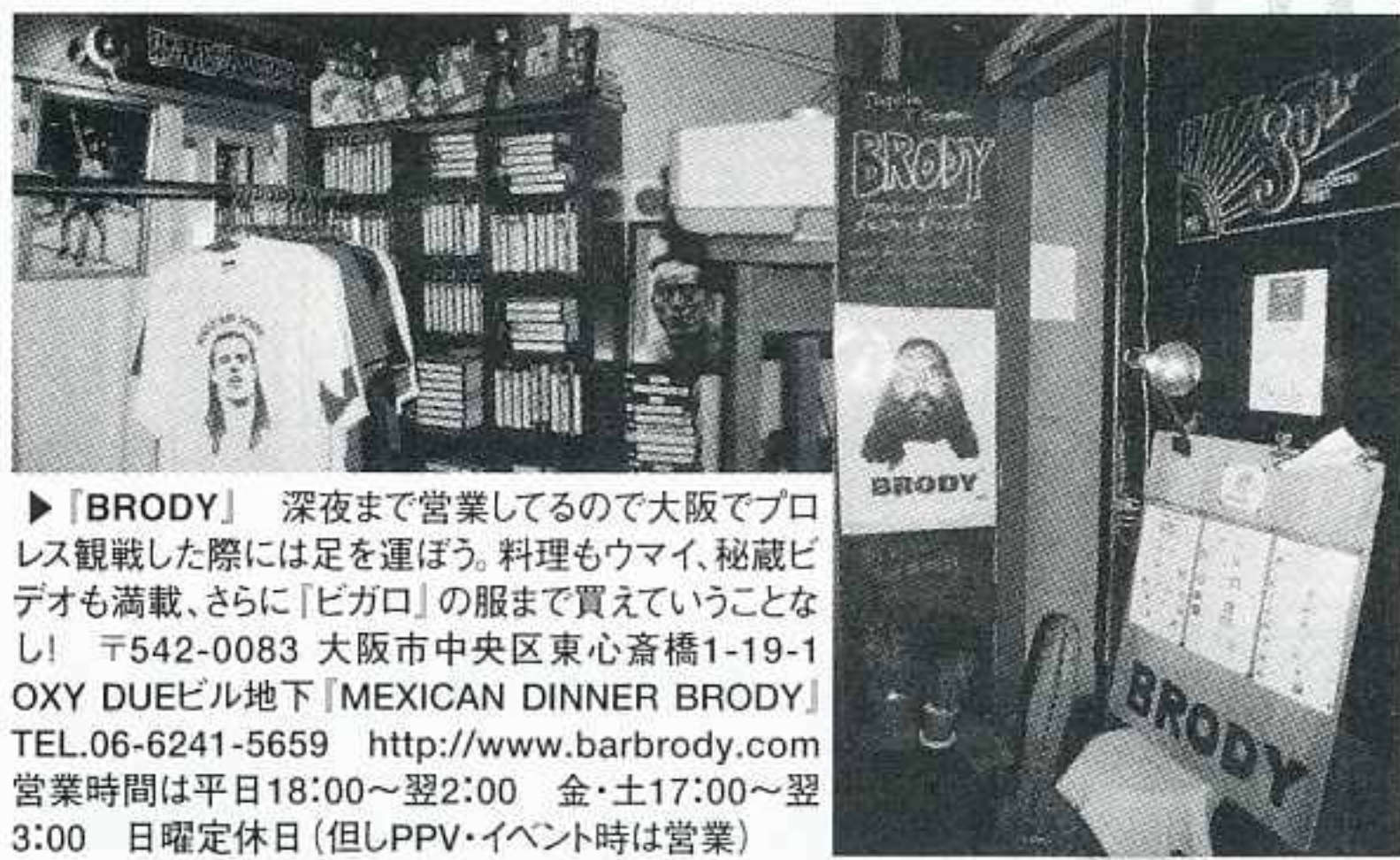
ナンバ 僕もそう思ったんですけど、10日前に帰ってきはりました。お好み焼き屋もまたやるみたいですよ。

――よし！ 来月のゲストは早くも決まりや（笑）。ではナンバさん、話がとっ散らかりましたけど、最後に一言お願いします！

ナンバ 店のつくりもそんなプロレスっぽくしてないんで、プロレスに興味のない人でも楽しんでいただけると思います。もちろん、プロレスファンも是非来てください。

――また来ます！ チョロ、ここは払っといてくれ！ ごちそうさん！

チョロ あわわわ。

取材日には近所に住んでるマグナム北斗（写真左。右はタコヤキ君）が初来店

▶『BRODY』 深夜まで営業してるので大阪でプロレス観戦した際には足を運ぼう。料理もウマイ、秘蔵ビデオも満載、さらに『ビガロ』の服まで買えていうことなし！ 〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-19-1 OXY DUEビル地下『MEXICAN DINNER BRODY』 TEL.06-6241-5659 http://www.barbrody.com 営業時間は平日18:00～翌2:00 金・土17:00～翌3:00 日曜定休日（但しPPV・イベント時は営業）

7th. GUEST

■ナンバ
弱火ギャグ満載のHP上のジャブ日記は必読。取材日の日記には「俺に連載もたしてくれたらいいのに。関西のプロレス業界の悪人と狂った客を紹介するコーナー」。やりますか－!?

タコヤキ日記

3.7 自宅で『ハッスル2』観戦。テレビ屋の端くれとしては、控室のコントをもっと丁寧に作ればよかったのではと思いました。

3.13 チョロ君の計らいでU-STYLE観戦。田村の試合だけ別格。ちゃんとプロレスとして成立しているというか、あれは断じてなんちゃってバーリ・トゥードではないですよ。その後、『ブロディ』取材。日帰りできなくなったチョロを自宅に泊めてやることに。「遠慮するな」と言ったら、本当に遠慮しないヤツの姿勢に「おめぇはそれでいいや」と呟く。

3.14 自宅でK-1MMA観戦。ウイリアムスを秒殺したイグナショフにミルコを見ました。

3.16 角田信朗さんより連絡あり。なんでも今日のサッカーの試合で「君が代」を斉唱とのこと。さすがに美声でした。

原タコヤキ君 ちっちゃい頃の『紙プロ』編集者。前田日明デコピン事件やダミー編集長就任が有名（?）。現在は地元大阪でテレビの制作会社に勤務。最近気になるのは井上きびだんご君（Tシャツアーティスト）がお引越ししたこと。

金ちゃんのMONTHLY BOYA-KING COLUMN

なんでそ～なるの!?

第8回

ショックだったウィリアムスの敗北 プロレスラーは強いままでいてほしい

季節はすっかり春ということで、俺も復活に向けて急ピッチで動き出してるんだけど、その一環として、このたび個人事務所を設立しました。やっぱりフリーとしてやっていくなら窓口をちゃんと作らないとね。

ホントは高山君（高山善廣）の事務所・高山堂に入れてもらえるんじゃないかと思ってずっと待ってたんだけどさ、待てど暮らせどお話は来ないし。こっちからも「入れてよ！」ってお願いしたけど、「いや～、ウチは一人で手一杯ですよ」って高山社長に言われちゃったから、仕方なく自分で作ることにしたよ（笑）。

で、今回立ち上げた事務所の名前が『U・K・R』。最初は高山堂に対抗して「金原堂」にしようかとか、エンセンのE-FORCEに対抗してK-FORCEにしようとか色々考えたんだけどね。結局、これまで所属した団体（Uインター、キングダム、リングス）の頭文字を取って、『U・K・R』にしたんだ。ちょうどアルファベット3文字でいいでしょ？　これが安生さんだったら、5文字も6文字もつけなきゃならないから大変だと思うけど（笑）。

安生さんと言えば、いま佐々木健介さんと一緒に行動してるらしいけど、最近の健介さんは凄いね。だって、いきなりIWGP取っちゃうんだからビックリしたよ。

それにしても、なんでまた天山負けちゃうかな～。あれじゃトーナメントやった意味ないでしょう。せっかく一日に3試合勝ち抜いてチャンピオンになったのに、トーナメント1回戦で負けた人がすぐに挑戦して取っちゃうなんておかしいよ！

ホント天山かわいそうだな～。俺も3月の両国はてっきり天山vsボブ・サップだと思って、楽しみにしてたんだけどね。ビックリだよ。あり得ない！

そして俺が今月、天山の敗北以上にショックだったのが、K-1に出たスティーブ・ウィリアムス！

もう見たいような見たくないような感じでさぁ、テレビの前でドキドキしながら見てたんだけど、ヒザ蹴り一発だったもんな～。イグナショフを殺人バックドロップでぶん投げてほしかったんだけどね……。やっぱり俺はプロレスに憧れてこの世界に入ってきたからさ、特に昔見てたプロレスラーは強いままでいてほしいんだよね。

だってドクター・デスだよ！　猪木さんを病院送りにした男だよ！　それが何にもできないなんて、ホントにショックだよ～。

そう言いながらも「相手がピーター・アーツだったら勝ってたんじゃないか」とか思うようにして、無理やり自分を慰めてるんだけどね（笑）。ただ、プロレスラーがバーリ・トゥードに出るなら、少なくとも、もうちょっと傾向と対策を練ってから出てほしいよね。なんかあまりにも無策だからさ。みんなの夢を背負ってるんだから、出るからには頑張ってほしいよ！

俺なんかいまだに「ゲーリー（オブライト）が生きてたらどうだっただろう？」とか、「ジャンボ鶴（J・鶴田さん）だったらバックドロップ決めてくれる」とか思ってるからね。そういうファンのためにも、ホント頼むよ！

かつてはプロレス界最強説も唱えられたウィリアムスも年齢には勝てず、45歳のVTデビューは秒殺負けに終わってしまった。

あと、同じK-1JAPANで印象に残ったのはタイソンの弟かな。俺の大好きなタイソンの弟だっていうんで、凄く期待してたのにアレッ？　って感じだったんでビックリしたよ（笑）。

なんか変だな～と思って、翌日、大橋さん（大橋秀幸＝元ボクシング世界王者）に「あれホントの弟ですか？」って聞いたら「そんなわけないだろ」ってアッサリ言われてズッコケたんだけどね（笑）。ホントのところはどうなんだろう？

そんなタイソン弟（？）とは対照的に、K-1MAXに出た山本KIDのことは大橋さんも絶賛してたね。大橋さんはKIDの試合初めて見たらしいんだけど「あれはボクシングの世界チャンピオンになれる器だ」「あの階級であんなパンチはなかなか打てない」って言ってたからね。

俺も試合見てビックリしたけど、あの一家の身体能力は改めて凄いと思ったよ。美憂ちゃんと聖子ちゃんは残念だったけど、家族全員が世界レベルのレスラーなんだからね。それから一家揃って、最近エンセンの色に染まりつつあるのもビックリなんだけど（笑）。KIDなんか入場のムードからエンセンそっくりだもんね。奥さんの美憂ちゃんまで、なんかエンセンっぽくなってる気がするし（笑）。ホント、名実共に「大和魂一族」になってきてる感じがするよね（笑）。

あと、最後にひとつ。練習で高田道場に行ったら、久々に高田さんに会って「事務所設立おめでとう」って言ってもらえたんだよね。でも、俺は久々高田さんに会って緊張しちゃって、「お子さん誕生おめでとうございます」って言いはぐっちゃったんで、遅ればせながらこの場をお借りして言わせていただきます。

高田さん、お子さん誕生おめでとうございます！

Kanehara Hiromitsu

金原弘光の打撃セミナー、3月27日（土）、『PUREBRED京都』で行います！　参加希望の方は至急ご連絡ください。詳細は075-254-7777まで。

ザ・検証

ボクは赤羽に住んでいるのだが、この間、駅で前『週プロ』編集長の浜部さんを見かけた。芸能界一のプロレスファン、斉藤清六も赤羽在住でよくすれ違う（でも取材はダメとのこと）。先日は朝方、JDのMARUが女の子と仲良く話しているのを発見。しかし、ジムがあるのに田村の姿は見たことないなぁ。以上です（チョロ）

【今月の検証　椎名基樹】ウイリアムスがイグナショフ戦前に考えていたこと

なぜか理由はわからぬが、グっと心を掴まれる、サッカーU-23代表、山本JAPAN。サッカーそれ自体は、取り立ててどこがどーいいのか、ハッキリわからぬが、とにかく心を奪われてしまう。これって恋なの？この年になって、「好き」になるなんて驚きである（by地井武男）。こーゆーチームは、数年前のリーズ・ユナイテッド以来で、いや～若いってのはいいですな。

その山本JAPANの裏番組だったため、ほとんど見逃してしまった、K-1新潟大会。サッカーの試合が終わって、チャンネルを変えたら、ちょうど我らがDr. DEATH、スティーブ・ウイリアムスvsアレクセイ・イグナショフをやっていた。

プロレス一筋にやってきた男が、あのトシになってVTに挑む。なんと無謀なまでのプロ根性だろう。試合前、きっと、いろいろなことが頭の中を巡ったのではないか？

まず、スティーブが考えたことは、もちろん、盟友の殺人魚雷・テリー・ゴディのことだったはずだ。ああ、今、アイツが生きていてくれたら、きっと俺のセコンドについて、この控室に一緒にいただろうな。そして、アイツのことだから、きっと陽気にふるまってくれただろう。

スティーブ、あんなロシア野郎は、こーきて、こーきたら、こーして、こーやって、ちょちょいのちょいで、イチコロさ。なにせ、YOUには殺人バックドロップがあるからな。YOUの殺人バックドロップはまったく大したもんだぜ！　もっともMEのパワーボムには、ちょっと劣るけどな（笑）。そして、試合が終わったら、今日はニーガタだぜ。行きつけのジャパニーズ酒がうまい店に繰り出そうぜ！　ガーハハハッ！

なんて、言ったに違いないだろーな。

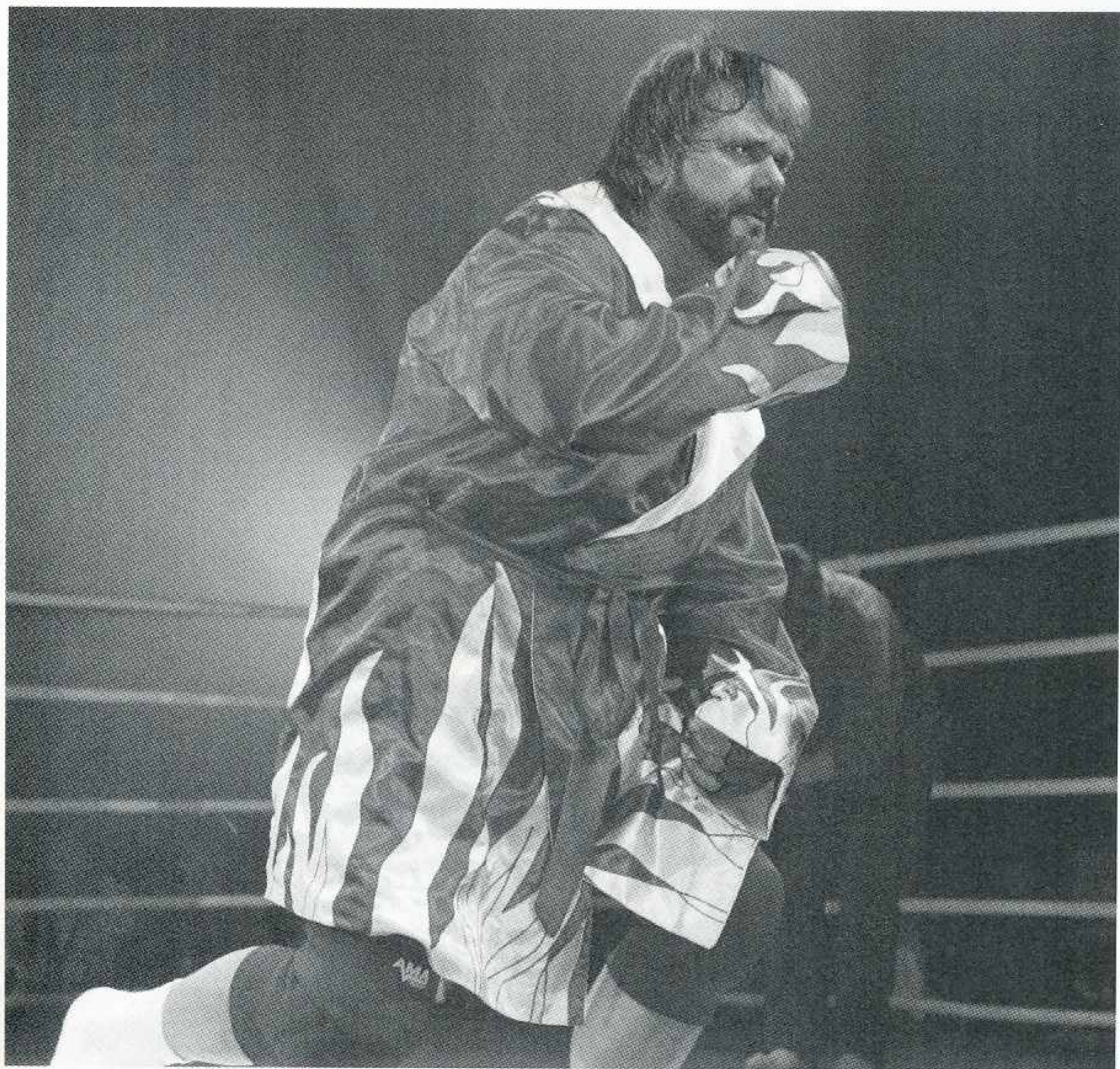
まったく、アイツがいないなんて、いまだに信じられないぜ。あんなにタフな野郎が、死んじまうなんてな。そーいえば、アイツのプロレスデビュー戦は、13歳くらいだったんだよな。まったく、クレイジーなヤツだぜ。でも、俺もこのトシで、ロシアの若造と人前でケンカしようってんだから、俺のクレイジーも大したモンだろ？　どうだい、テリー？　そうかい、笑ってくれるかい？　OK、テリー。やっぱり、お前は俺のハートの中に生きているぜ。じゃあ、行ってくるぜ。見ていてくれよ、あんなロシア野郎は、こーきたら、こーやって、こーして、こうで、ちょちょいのちょいさ！

なんてことを考えていたに違いない。さらに、

それにしても俺達のビジネスも変わっちまったよな。俺達が愛したジャパンのマットはどこに行っちまたんだろうな？　このK-1とかいう、なんだかよくわからないジャパニーズ・イングリッシュの名前の団体が、俺が一度は心血を注いだ、ニュージャパンを呑み込んじまっているように見えるじゃねえか。それになんだい？　あのサップという、オカマ野郎は。アイツに何ができるってんだ？　スティーブ的には、全然理解できねえぜ。おっと、俺も若者言葉をいつの間にか使っちまってる。よーするに、時代の流れには勝てねえってことか。まあ、俺もヤングボーイの時は結構ショッパかったからな。サップのことをとやかく言えたモンじゃねえよな。ニュージャパンで、イノキをバックドロップで失神させちまって、そのままカバーに入って、カウント3入る直前で、自分で失神しているイノキの肩も上げたこともあったっけ。ありゃ、ちょっとマズったな。

などとも考えていたハズだ。

そんなこんなで、Dr. DEATHはあっけなく負けた。試合後、スティーブの胸に去来した思いを想像することは、試合前と違い、まったく想像できない。

K-1新潟大会は、誰かのプロレス観が色濃く反映した大会に見えたが、「この後、スミヤバザルに異変が!?」のテロップとは逆に、そいつの頭の中は、20年前となんら変化がない、古くさいモノのように感じるのであった。

試合前、タックルのかまえを反復していたウイリアムスだったが、イグナショフのヒザ蹴りで秒殺KO！　ドクター・デス・デス

【今月の検証　せき詩郎】
後藤達俊は、どんなマイクアピールをしたのか

よく見る夢があった。

小、中学校を過ごした町を歩いている夢だ。北海道の片隅にある小さな町だ。

懐かしい道を、ただ歩いているだけの夢だったのだが、いつもその道の先にある場所にたどり着かないうちに目が覚めた。そのため道の先にあるものが何なのかわからなかった。

やがて年月と共に記憶は薄くなっていき、夢で見る記憶もあやふやになっていった。いつしか歩いているうちに別の町の風景に置き換わっていることもあった。起きたあと、あの道はどこで曲がれば良かったのだっただろうか、あの店があったのはこの道だっただろうかと考えてみるのだが、はっきりと思い出せることはなかった。その道の先に何があったのか、それさえもわからなくなっていった。

道の先にあるもの。それを確かめるためだけに私は昔住んでいた町を訪れた。

空港からタクシーにのる。雪と氷の色しかない景色を抜け、目的の町の駅前で私はタクシーを降りた。駅前に何軒かあった喫茶店はすべて潰れていた。操作が難しくて必死に練習したクレイジークライマーがあった店は、ドアに釘が打ち付けられていた。その横には今にも倒れそうな民宿と書かれた看板があった。唯一、人の気配がするバス待合所では、ストーブの上にあるやかんのお湯が沸く音だけが聞こえた。

人々が雪を踏みしめて出来た細い道を歩いていくと、記憶が少しずつ鮮明になっていくのがわかった。例えば雪のある景色、町の音、空の色、風の匂いなど、絶えずそのいずれかが「あの時もこうだった」という記憶を引き出していった。

私はゆっくりと歩いた。

初めてエロ本を買った店があった。スターリンのレコードをわざわざ注文して取り寄せた店があった。

変形学生服を買った店があった。

上級生から何に使うかわからないカンパを求められた場所があった。

「チェッカーズみたくするかい?」といわれた理髪店があった。

記憶の中ではどれも鮮やかな色彩であったのだが、目に映るのはすべて、老朽化して灰色になっていた。

昔よく遊んだ友達の家の前に着く。二階の窓を見あげると、そこから今にも友達が顔を出してくるような気がした。だが、人が住んでいる気配はもうなかった。何年も野ざらしになっているのか、空気の抜けたボロボロのサッカーボールが雪に埋もれていた。

夢ではいつもたどり着くことのできない目的地はもうすぐであった。頭の中の地図がはっきりとしてくる。近道さえも思い出した。この細い路地を抜けると、そこに思い出の場所が広がる。そのはずだった。

しかし、目の前に現れたのはパチンコ店だった。駐車場がだだっ広い大型パチンコ店がそこにあった。

あまりの景色の変わりように驚いた。同時に今まで感じなかった寒さが身に染みた。久々に歩いたためか足の疲れもあった。私はそのパチンコ店に入り、少し休むことにした。

北海道の人は冬になるとやることがないのかもしれない。大きな店内であったがほとんどのシマは人で埋まっていた。とりあえずトイレに向かおうと店内を歩いていると、客が一人もいないシマがあった。台の上に表示されている回転数をみると、どの台も0回転のままであった。台のガラスの向こうでは眉毛がつりあがったジャイアント馬場の役物がこっちを睨んでいた。

その店では『CRアッポー』がまだ健在であった。『CRアッポー』、アッポーからもわかるようにもちろんジャイアント馬場をモチーフにした機種だ。それほど昔の機種ではないのだが、ほとんど見かけることはないのではないか。私も実物を見るのはこれが初めてだった。

「主人がリングに代わり、パチンコ台で復活できて感激」と元子夫人が話し、渕が「馬場さんから受けたいろんな攻撃のダメージを思い出した」と涙ぐみ、川田にいたっては「馬場さんに見られてるみたいで変な気分だね」と微妙なコメントを出したこの台。プロレスファンならやらずに帰れるわけがない。私は回りが良さそうな台を見つけ、座ることにした。

まったく情報なしの状態だったために、どの予告が熱くて、どのリーチが信頼度が高いのかさえもわからない。私はただダラダラとまわし続けた。台が古いためか、ハンドルが緩い。固定したいものの、500円玉でも固定できないほどだった。その辺りまで馬場級ということなのだろうか。ほとんどデジタルを見ることなく、私はハンドル固定に四苦八苦していた。

その時だった。リーチがかかった。ハンドルを何とか固定し見てみると、クイズ番組のような画面に切り替わっていて、解答席には馬場が座っていた。やがてクイズが出題された。このクイズに馬場が正解すれば大当たりとなるようだった。

『馬場さんの身長は約何メートル?』

それは少しでもプロレスを知っている人なら簡単に答えられるものだった。もしかしたらプロレスを知らなくても答えられる可能性があるようなクイズだ。しかも解答席にいるのは馬場本人だ。間違えるわけがない。答えは2だ。「2」と馬場が答えれば2のぞろ目で大当たりだ。

しかし画面の中の馬場は「5」と答えた。

リーチは終わり、再び静かに淡々とデジタルが回り始めた。私はしばらく馬場の言った答えが頭から離れなかった。

「身長約5メートルか……」

そう思いながら、上を見た。5メートルってどのくらいなんだろうか、と。

見上げた先には窓があった。窓から景色は見えなかった。外はいつの間にかもう暗くなっていたのだ。

夜になりまた一段と寒さが厳しくなるだろう。店に入ってきた客のメガネが急激な温度差で曇っていた。この後、私は結局閉店間際までパチンコを打ち続けることになる。まるでわざわざパチンコをするためだけにこの町を訪れたかのように。

それが、2月28日、後楽園ホールで後藤達俊が何年ぶりなのかわからない、まさかのマイクアピールをした日、私に起きた出来事だった……。

そういうわけで、今回は後藤のマイクアピールを記念して何か検証しようかと思ったのだが、その日会場に行っていないために、後藤がどんなマイクアピールをしたのかわからない。そこでみんなの力を借りることにします! 後藤がどんなマイクアピールをしたのかを吹きだしの中に書いて切り取って送ってください。とりあえず「こんなこと言ったんじゃないかなあ」と想像した例を挙げておくので、参考にして取り返しのつかないことになってください。

後藤がどんなマイクアピールをしたのか、みんなも考えよう!

例1
節子! これ、おはじきやろ! ドロップちゃうやんか!

例2
子供がまだ食ってる途中でしょうが!

例3
泣かなくて良い、泣かなくて良いよ、健次郎。わかってるよ、先生わかってるよ。

キリトリ

RADICAL CALENDAR

03 March

26 FRI.
全日本■宮城・多賀城市総合体育館(18:30)
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
みちのく■福島・福島市民体育館(18:30)
闘龍門■神奈川・横浜赤レンガ倉庫(18:30)
全女■愛知・常滑市民アリーナ(18:30)
LLPW■福岡・小倉北体育館(18:30)

27 SAT.
新日本■新潟・苗場プリンス(18:30)
全日本■宮城・石巻市総合体育館(18:30)
みちのく■岩手・一関文化センター体育館(18:30)
闘龍門■長野・長野市運動公演総合体育館(18:30)
大日本■徳島・アスティとくしま(18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
LLPW■宮崎・日南市多目的体育館(18:30)
K-1 WORLD GP■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(16:30)
全女■茨城・岩瀬町総合体育館(18:30)
GAEA■東京・KFCホール(18:00)

28 SUN.
新日本■東京・両国国技館(15:00)
ZERO-ONE■静岡・アクトシティ浜松(17:00)
全日本■千葉・木更津倉形ドーム(16:00)
みちのく■宮城・ZeppSendai(15:00)
闘龍門■東京・ディファ有明(16:00)
大日本■山口・山陽町青年の家 スポーツ協会体育館(14:00)
TAMA■東京・Z-ZONE永山(14:00)
LLPW■福岡・大川産業会館(17:30)
修斗■愛知・名古屋市鶴舞公会堂(15:00)
全女■青森・八戸市民体育館(18:30)
GAEA■大阪ドームスカイホール(18:00)
JDスター■東京・後楽園ホール(12:00)
JWP■東京・足立区神6仲良し広場(14:00)

29 MON.
全女■岩手・宮古市千徳地区体育館(18:30)
LLPW■熊本・興南会館(18:30)
パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)

30 TUE.
大日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
AtoZ■宮城・仙台市体育館サブアリーナ(18:30)

31 WED.
闘龍門■山形・山形市総合スポーツセンター(18:30)
DDT■東京・渋谷club ATOM(19:00)

04 April

1 THU.
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)

2 FRI.
闘龍門■新潟・新潟フェイズ(18:30)
大阪プロ■東京・国立代々木競技場第二体育館(18:00)
K-DOJO■岩手・北上市和賀多目的催事場(19:00)
全女■東京・お台場SDM(19:00)

3 SAT.
NOAH■東京・ディファ有明(18:00)
闘龍門■新潟・新潟フェイズ(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K-DOJO■宮城・Zepp Sendai(19:00)
AtoZ■東京・お台場SDM(18:00)

4 SUN.
NOAH■静岡・ツインメッセ静岡(17:00)
闘龍門■宮城・Zepp Sendai(16:00)
K-DOJO■岩手・宮古千徳地区体育館(19:00)
SPWF■秋田・西目町B&G海洋センター(14:30)
国際プロ■神奈川・鶴見青果市場(14:00)
ターザン後藤一派■埼玉・春日部インディーズアリーナ
埼玉プロ■東京・板橋小豆沢公園体育館 武道場(19:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(18:30)
M's Style■東京・ディファ有明(12:30)
AtoZ■千葉・横芝町B&G海洋センター(13:00)

6 TUE.
NOAH■愛知・名古屋国際会議場(18:30)
闘龍門■埼玉・熊谷市民体育館(18:30)

7 WED.
K-1 WORLD MAX■代々木第一体育館(18:00)

8 THU.
NOAH■岡山・岡山武道館(18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
DEMOLITION■東京・北沢タウンホール(18:00)

9 FRI.
新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
全女■香川・高松市総合体育館(18:30)
大日本■東京・北沢タウンホール(18:30)

10 SAT.
全日本■東京・後楽園ホール(18:30)
NOAH■金沢・石川県産業展示館(18:00)
闘龍門■三重・四日市オーストラリア記念館(18:30)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
全女■香川・坂出サティホール(18:30)
GAEA■岡山・卸センターオレンジホール(18:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(18:30)

11 SUN.
NOAH■京都・福知山市三段池公園総合体育館(17:00)
闘龍門■静岡・アクトシティ浜松(17:30)
バトラーツ■埼玉・桂スタジオ(17:00)
DDT■千葉・Blue Field(15:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(13:00)
東海プロ■愛知・名古屋市総合体育館 第三競技場(13:15)
西口プロ■栃木・CLUB i.n.g.(17:30)
全女■徳島・池田町総合体育館(17:00)
GAEA■岐阜・岐阜商工会議所大ホール(15:00)
NEO■東京・北沢タウンホール(17:00)
JDスター■東京・新木場1st RING(18:00)
修斗■大阪・大阪府立第二体育館(14:00)
CROSS SECTION■東京・お台場SDM(17:00)

12 MON.
全日本■東京・Zepp Tokyo(19:00)

13 TUE.
全日本■東京・Zepp Tokyo(19:00)
NOAH■広島・ふくやま産業交流館ビッグローズ(18:30)
全女■愛知・東海市民体育館(18:30)

14 WED.
NOAH■熊本・熊本興南会館(18:30)
闘龍門■兵庫・姫路みなとドーム(18:30)
NEO■富山・高岡テクノドーム(18:30)

15 THU.
全日本■東京・後楽園ホール(19:00)
NOAH■山口・海峡メッセ下関(18:30)
闘龍門■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)
DDT■北海道・函館金森ホール(18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)

16 FRI.
DDT■北海道・北見東トレーニングセンター(18:30)
全日本キック■東京・後楽園ホール(18:30)
修斗■東京・北沢タウンホール(18:30)

17 SAT.
新日本■大分・別府ビーコンプラザ(18:30)
全日本■東京・ディファ有明(18:30)
NOAH■鹿児島・鹿児島市民体育館(18:30)
闘龍門■富山・イベントプラザ富山(18:30)
DDT■北海道・札幌スポーツカフェ・エール(23:00)
大阪プロ■大阪・IMPホール(18:00)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
全女■東京・お台場SDM(18:00)
GAEA■福岡・博多スターレーン(18:00)

18 SUN.
ZERO-ONE■愛知・名古屋国際会議場(17:00)
NOAH■福岡・博多スターレーン(17:00)
闘龍門■岡山・卸センターオレンジホール(16:00)
DDT■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
GAEA■大阪・大阪ドームスカイホール(18:00)
JDスター■大阪・NGKスタジオ(13:00)
DEEP■大阪・梅田ステラホール(16:00)
シュートボクシング■東京・後楽園ホール(17:15)

19 MON.
新日本■鹿児島・鹿児島アリーナ(18:30)
ZERO-ONE■富山・テクノホール(18:30)

20 TUE.
新日本■熊本・熊本興南会館(18:30)
全日本■東京・代々木第二体育館(19:00)
NOAH■愛媛・テクスポート今治(18:30)

21 WED.
新日本■山口・小野田市民館体育ホール(18:30)
ZERO-ONE■長崎・佐世保市体育文化館(18:30)
NOAH■大阪・大阪府立体育会館第二競技場(18:00)
DDT■東京・渋谷club ATOM(19:00)

22 THU.
ZERO-ONE■長崎・大村市体育文化センター(18:30)

23 FRI.
新日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
闘龍門■石川・金沢流通会館(18:30)
パンクラス■東京・後楽園ホール(18:30)

24 SAT.
新日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
ZERO-ONE■福岡・小倉北体育館(18:30)
闘龍門■京都・京都KBSホール(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(18:00)

25 SUN.
新日本■長崎・長崎県立総合体育館(15:00)
ZERO-ONE■福岡・博多スターレーン(16:00)
NOAH■東京・日本武道館(17:00)
WJ■神奈川・赤レンガ倉庫1号館(15:00)
闘龍門■愛知・名古屋国際会議場(18:00)
大阪プロ■大阪・デルフィンアリーナ(14:00)
K-DOJO■東京・ディファ有明(15:00)
PRIDE GP 2004■埼玉・さいたまスーパーアリーナ(16:00)
AtoZ■東京・AtoZ江戸川道場(15:00)
DEMOLITION■神奈川・赤レンガ倉庫1号館

26 MON.
新日本■山口・周南市総合スポーツセンター(18:30)
ZERO-ONE■愛媛・アイテムえひめ(18:30)

27 TUE.
新日本■広島・広島グリーンアリーナ 小アリーナ(18:30)
全女■愛知・常滑市民アリーナ(18:30)

28 WED.
ZERO-ONE■大阪・大阪府立体育会館第2競技場(18:30)
闘龍門■東京・国立代々木競技場第二体育館(18:30)
U-STYLE■東京・後楽園ホール(18:30)
AtoZ■茨城・鉾田町運動公園体育館(18:30)

29 THU.
新日本■鳥取・鳥取産業体育館(18:30)
みちのく■長野・飯田市勤労者体育センター(18:30)
大阪プロ■大阪・NGKスタジオ(15:00)
大日本■東京・後楽園ホール(18:30)
K-DOJO■千葉・BlueField(19:00)
JWP■東京・キネマ倶楽部(17:00)
NEO■東京・キネマ倶楽部(13:00)
JDスター■東京・後楽園ホール(12:00)

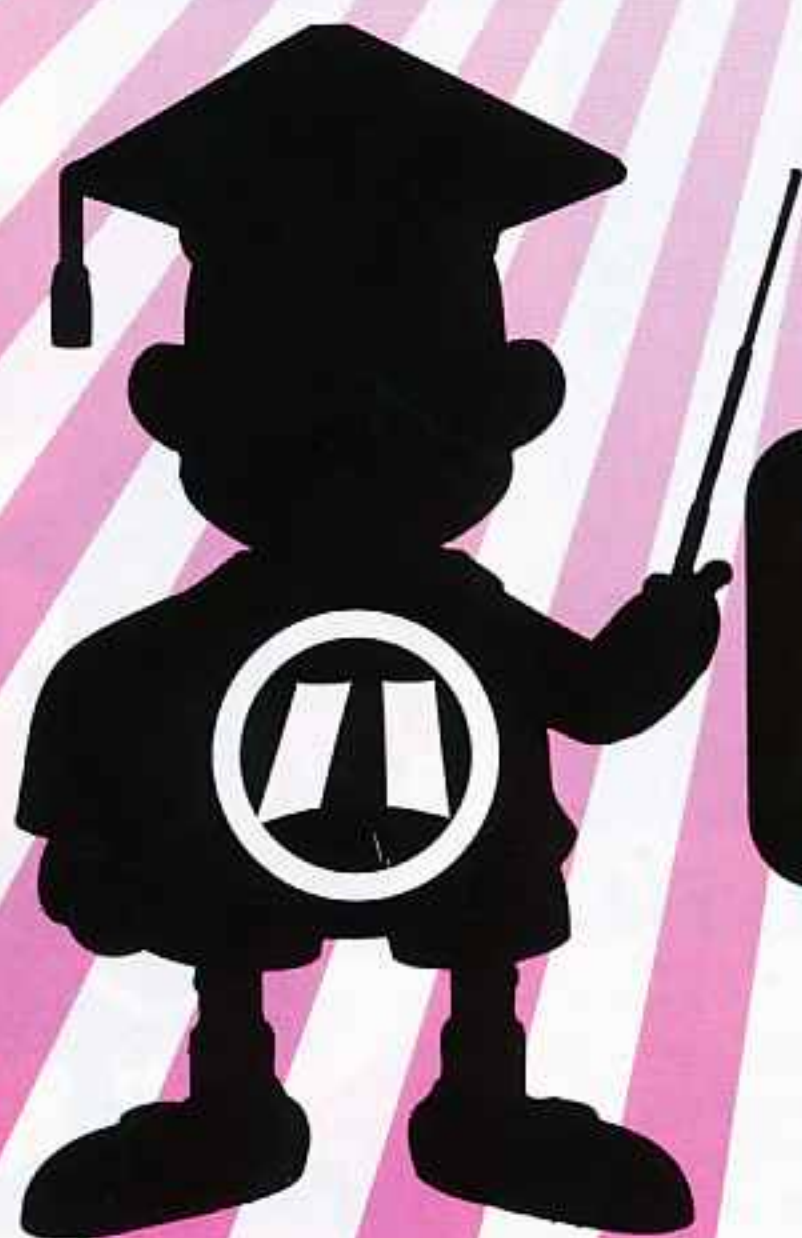
30 FRI.
ZERO-ONE■東京・後楽園ホール(18:30)
みちのく■松長野・本市本郷体育館(18:30)
GAEA■東京・国立代々木競技場第2体育館(18:30)

何がやりたいんだ、コラッ!!

「?」だらけの『ハッスル』もこれを読めば丸わかり!!

Q なんで髙田総統は、こんな格好してるの!?

Q なんでOH砲は、こんなに気合いが入っているの!?

Q なんで『ハッスル』のセットは、こんなに豪華なの!?

なぜなに『ハッスル2』

『ハッスル1』に続いて3·7『ハッスル2』も非難轟々のようじゃが、まだ観てない、触ってないという人や、逆に何があったか気になってしょうがないという人も多かろう。そんな人のために、わたくし、ハッスル博士が『ハッスル2』の全貌を解説するとしよう。兎にも角にもハッスルするんじゃ!

構成/ハッスル研究所　撮影/平工幸雄　designed by hisa (Two Three)

『ハッスル2』大会前

Q この3人は一体何をやってるの!?

A 3月2日、DSE事務所でハッスルイベントプロデューサーの島田裕二とハッスル事業主任の笹原圭一氏、全日本の木原リングアナが全カード発表記者会見をやっていると現れたのが小川選手じゃ。ハッスルポーズを強要されたヤドカリは構えだけ見せると同時に一目散に逃げ出してしまったよ

Q なんで、この2人はいつも偉そうなの!?

A 査定試合をクリアした小川選手の挑発を受けてZERO-ONEマット初登場となった髙田総統。場内から、ひっきりなしにブーイングが飛ぶ中、髙田総統は高飛車なマイクアピールを連発し観客の神経を逆撫で。いつも偉そうにしているんだからブーイングが飛ぶのも、まあ、しゃあないなと

Q なんで髙田総統はオーちゃんシールを破っているの!?

A 2・27DSE事務所で行われた会見に出席した髙田総統とヤドカリ島田。例によってチキン＆ポークに対し暴言三昧の髙田総統はヤドカリにオーちゃんシールを持ってこさせると、それを粉々に破り捨て、さらには2人揃って足で踏みつける暴挙に。これでは男とは言えないのぉ

なぜなに『ハッスル2』

Q オーちゃんは、この人たちに何をさせようとしているの!?

A 会見に乱入した小川選手はDSEの社員を集合させると「お前ら、普段『PRIDE』の仕事ばっかりしてんだろ?　全然『ハッスル』は普及してねえじゃねえか。今日は外でやるぞ!」と、オシャレな街、青山に連れ出して強制ハッスルをさせたんじゃ。それにしても小川選手は宣伝熱心じゃのぉ

Q なんで髙田総統はのけぞって絶叫しているの!?

A チキン呼ばわりしていた小川選手にド突かれた髙田総統は「お前の相手は俺じゃねえんだよ。コイツだよ!」とガファリの映像を流させると控室に直行。この後、小川選手は迂闊なマイクアピールをしてしまうんじゃが後の祭りじゃった

Q なんで中村専務がレフェリーをしているの!?

A 2・29両国大会での『ハッスル査定試合』に乱入しインチキレフェリングをしようとするヤドカリ島田をリングから引きずり下ろしたZERO-ONE中村専務。NWA公認レフェリーの資格を持つ中村専務は、この日がレフェリーデビューじゃった

Q モンスター・ジョーって一体、何者だったの!?

A カナダの闇柔道のブラックベルトを持つ180センチ、180キロの巨漢モンスター・ジョーを小川選手の『ハッスル査定試合』の相手として指名したヤドカリ島田。しかし、このジョーはとんだ一杯食わせ者、わずか5分足らずで敗れると即追放処分になってしまったんじゃ。立つんだジョー!!

試合開始前

Q この人たちは何をやっているの!?

A 『ハッスル1』同様、試合前にはビジョンを使った客いじりが行われとった。3月生まれのお客さんにはケーキとハッスルディーバからキスのプレゼントじゃ。うらやましい限りじゃのぉ。5月生まれの諸君、楽しみに待っとけよ。ちなみに今回の入場者数は10430人。またしても満員とはならなかったが、次こそは超パワーUPしとるじゃろ

Q 荒川さんは何をしているの!?

A 解説席にはハッスルOH軍応援団長としてドン荒川が登場したのじゃ。他には全日本の木原リングアナ、そして熱心なプロレスファンで、大会後に髙田総統から「的確なツッコミだったね」と絶賛されたマルチタレントの水嶋洋子ちゃん

Q このオネエちゃんたちは何者なの!?

A 前回に続き登場したのが4人のハッスルディーバじゃ。イエローキャブの野田社長プロデュースってことだったが、どうやら今回は忙しくて手が回らなかったみたいじゃ。しかし、客席では小池栄子がハッスルしとったぞ

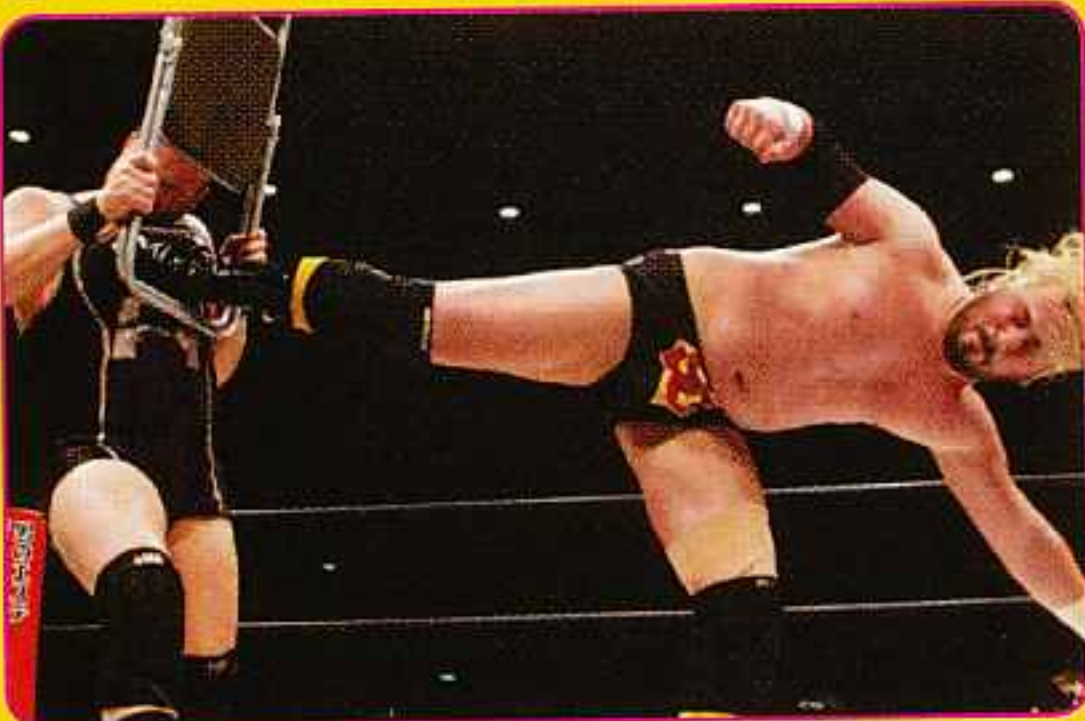
Q なんで『ハッスル』のセットは、こんなに豪華なの!?

A どうじゃ、この輝くばかりの豪華セットは?　リング上にはミラーボール、入場ゲートはこれまでの日本マットでは観たことのないような出来映えじゃろ。このセットに負けないように、選手も観客も次こそはハッスルするんじゃ

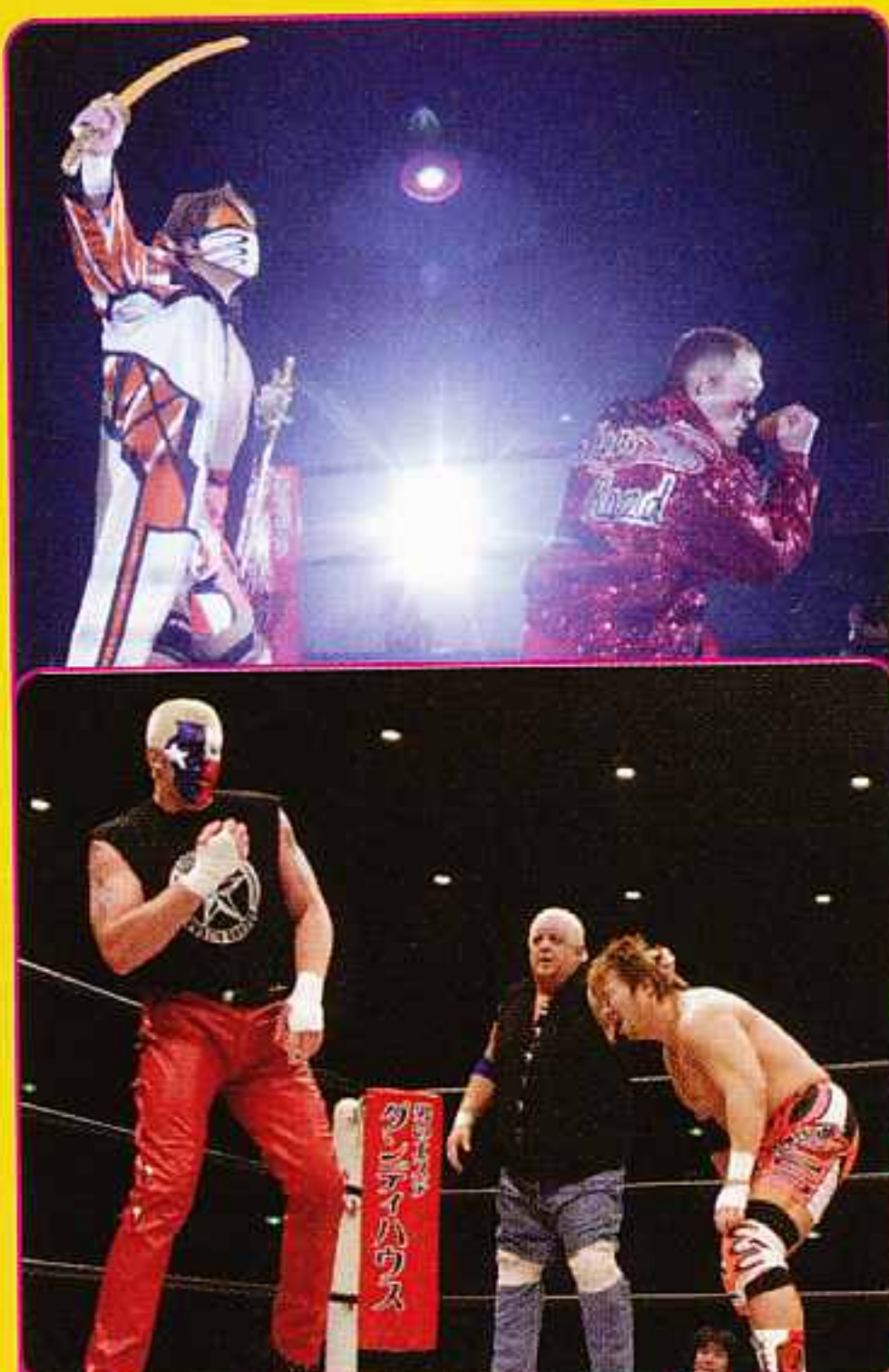
第1試合 イケメンvsアグリー

Q 本当に、この2人はイケメンなの!?

A イケメンvsアグリーとして第1試合に組まれたのがカズ＆スパンキーvsロウキー＆ホミサイドの一戦じゃ。早速、質問の答えだが、プロレス界の中では、この2人は文句なしのイケメンと言えるじゃろ。ピンピネーラには注意するんじゃな

第2試合 This is アメリカンプロレス

Q なんでコリノとアンダーソンが闘っているの!?

A しょっちゅうタッグを組んでる2人が、なぜ『ハッスル2』で闘ったかと？　それは簡単なことじゃよ。一見さんからマニアまで、アメリカンプロレスの良さを見せつけようという狙いなのじゃ。期待通りのハッスルぶりじゃったな

第3試合 日本のプロレスの教科書タッグvs世界のプロレスの教科書タッグ

Q なんで大谷と小島がタッグを組んでいるの!?

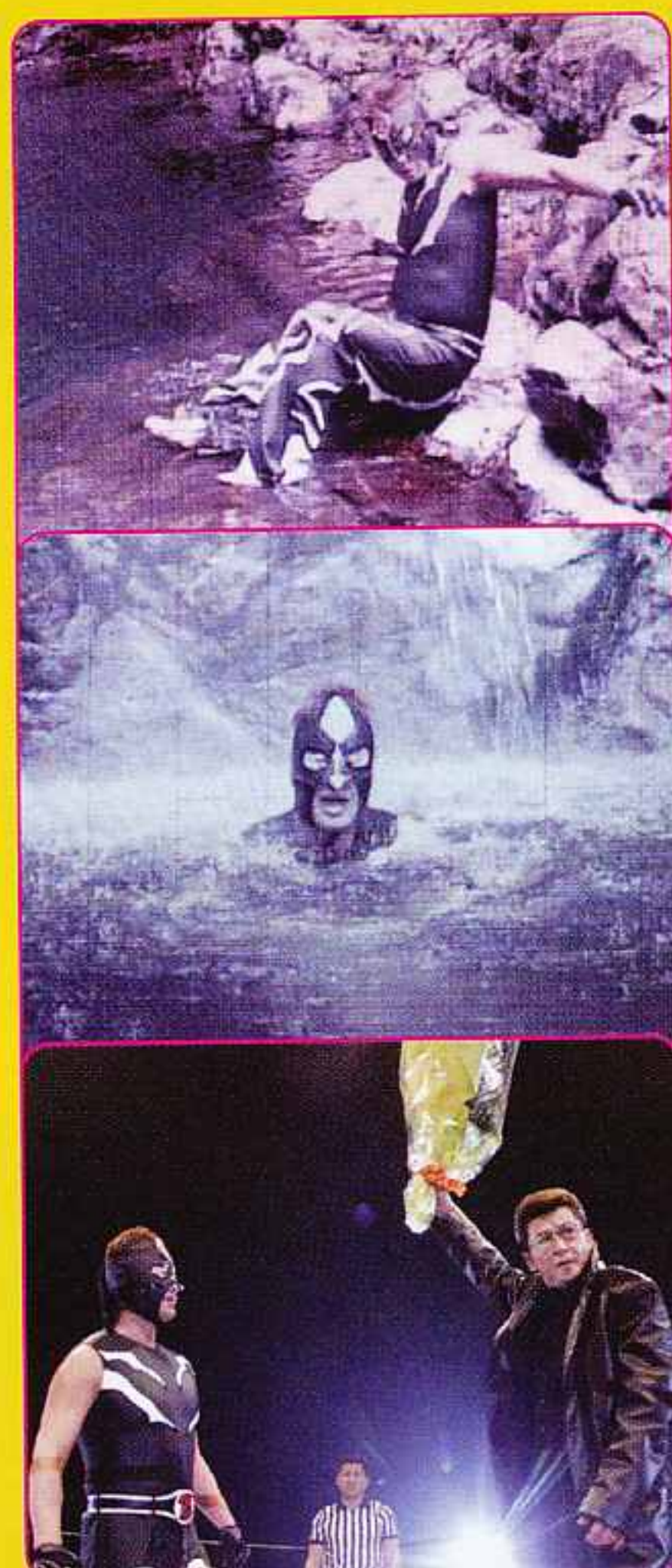
A 『ハッスル2』でのパートナーとしてラブコールを送っていた大谷選手に対し、3・5後楽園大会で一夜限りのとの条件つきで、これを了承したのが小島選手。試合ではローデス親子以上の連係を見せつけ勝利したものの、正直この2人なら、もっと客を沸かせられたはずじゃ

第4試合 長州力組vsゼブラーマン組

Q なんで長州は『ハッスル』に参戦したの!?

A 入場前の映像でコラコラ問答が必要以上に連発されたため長州は怒って帰るんじゃないかと心配したファンも多かったようじゃな。まあでも大会後「俺にハッスルのプロデューサをやらせろ」と言ってたぐらいだし、前からハッスルしたかったんじゃろ

Q なんでゼブラーマンはヒーローなのに弱いの!?

A ある意味、期待通りの活躍を見せた小笠原ゼブラだったが、最後は長州選手のラリアット一発で昇天。映画ゼブラーマンも最初は弱かったのでこれでいいのじゃ。最後は「次こそは白黒つけるぜ!」とキメポーズ。もう一丁じゃ

Q ゼブラーマンは何をやっているの!?

A 試合前、流された映像は映画のゼブラーマンよろしく滝で修行する小笠原ゼブラーマンの様子。しかし、滝に飛び込んだ小笠原ゼブラーマンは本気で溺れてしまったんじゃ。そんな中、今回も哀川翔さんが激励に駆け付けてくれたぞ

第5試合 超獣vs猛牛

Q プレデターはモンスター軍に入らないの!?

A ある意味、モンスター軍の誰よりもモンスターらしいプレデターだが、やはりZERO-ONEのトップ外人としてのプライドもあるんじゃろう。ただ、今回はボビッシュを蹴散らしたが、一寸先はハプニングのプロレス界、どうなることやら

第5試合 ハードコアマッチ

Q ハードコアマッチって、どういう試合なの!?

A とにかく会場の至る所で机やらイスやら人間が乱れ飛ぶのがハードコアマッチじゃ。中でもサブゥーはハッスルしまくりじゃった。対戦相手ならまだしも、客席やレフェリー目がけて本気でイスを投げよった。見てるこっちもヒヤヒヤしたわい

Q なんで、この3人はハッスルポーズをしているの!?

A いつもは観客と共にブリブラダンスで盛り上がる金村組の入場シーンじゃが、この日のキメポーズは「ハッスル×2」で場内からは大歓声。郷に入れば郷に従えとはよく言ったもんじゃな。とはいえ、試合後はアッサリ仲間割れしとったわ

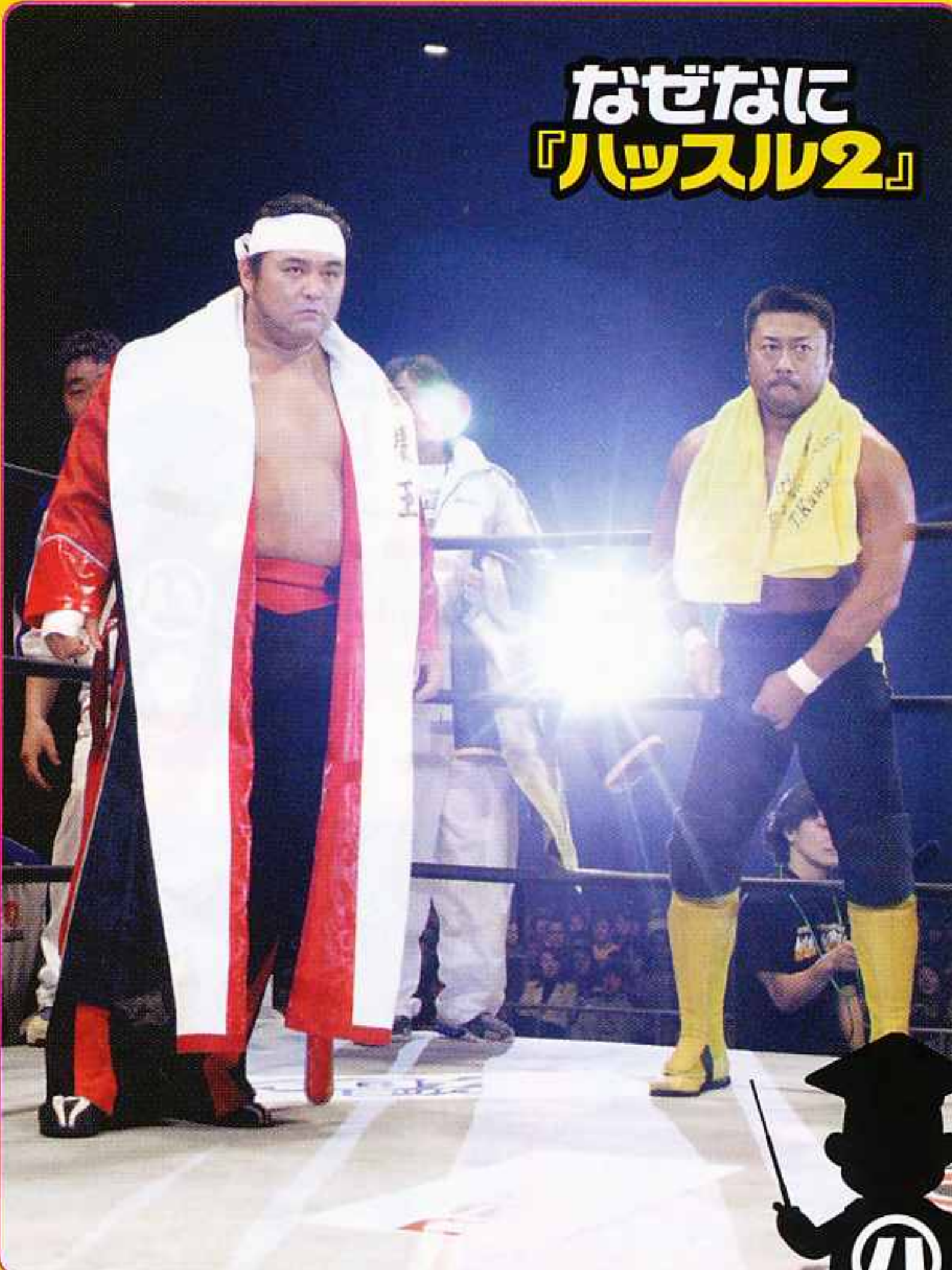
なぜなに『ハッスル2』

第6試合 橋本&川田 vs 髙田モンスター軍

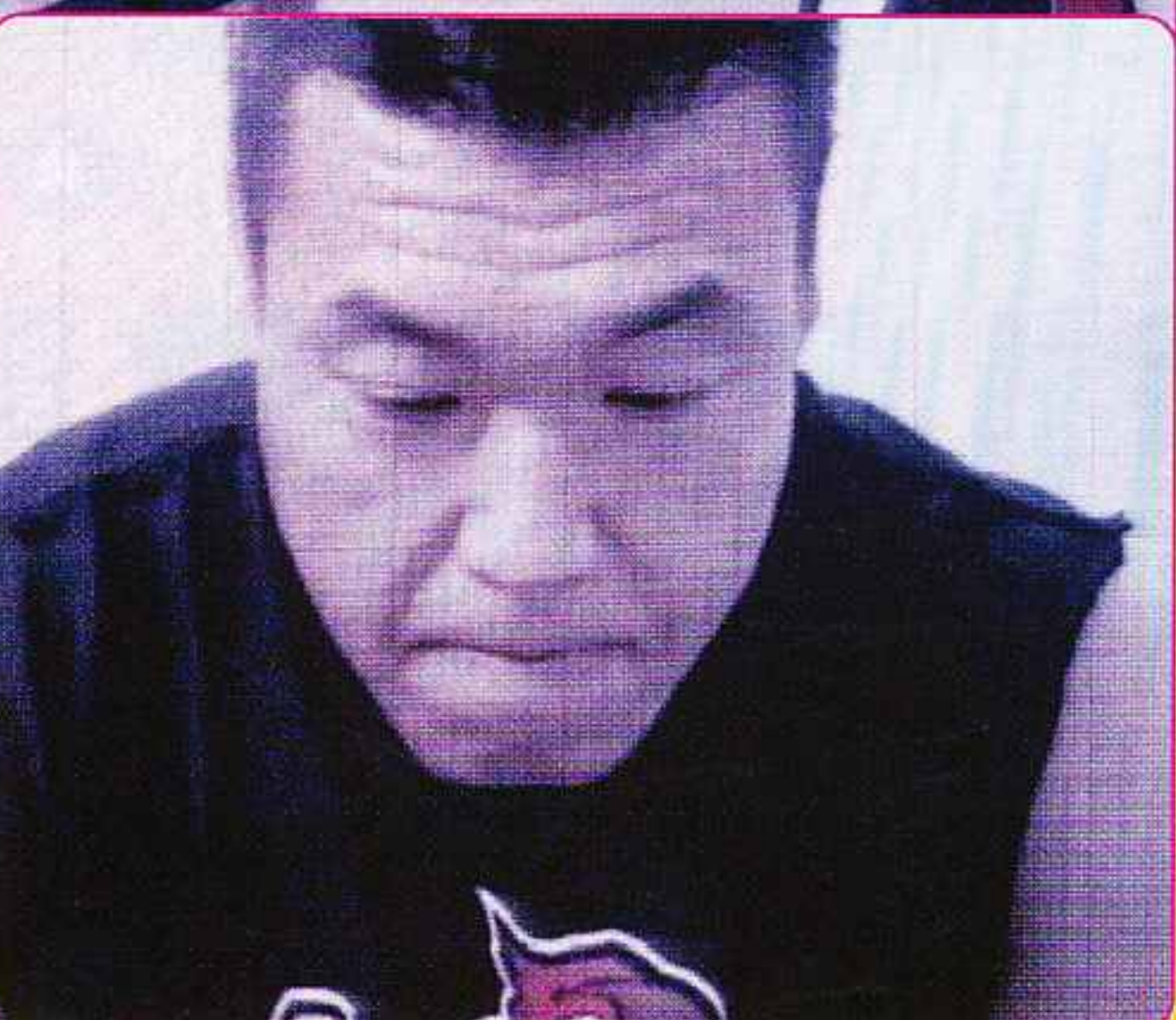
Q なんで破壊王と川田が組んで負けちゃうの!?

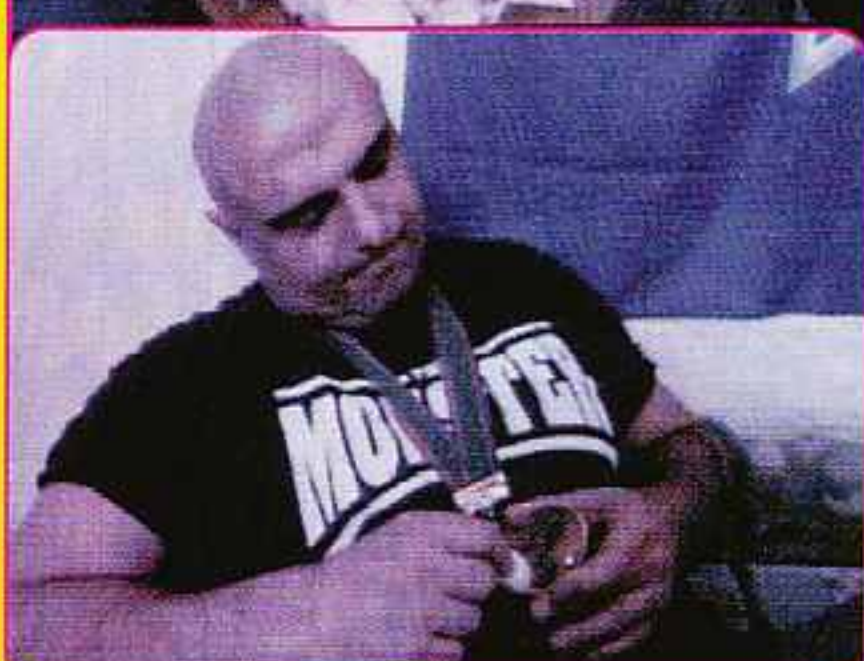
A いくら川田選手と橋本選手という日本屈指の実力者同士のタッグとはいえ、如何せん橋本選手の体調が悪すぎた。しかもモンスター・ジョーとは違い、実力者コールマン&ランデルマンが相手というのも敗因じゃろうな。次いってみよう!

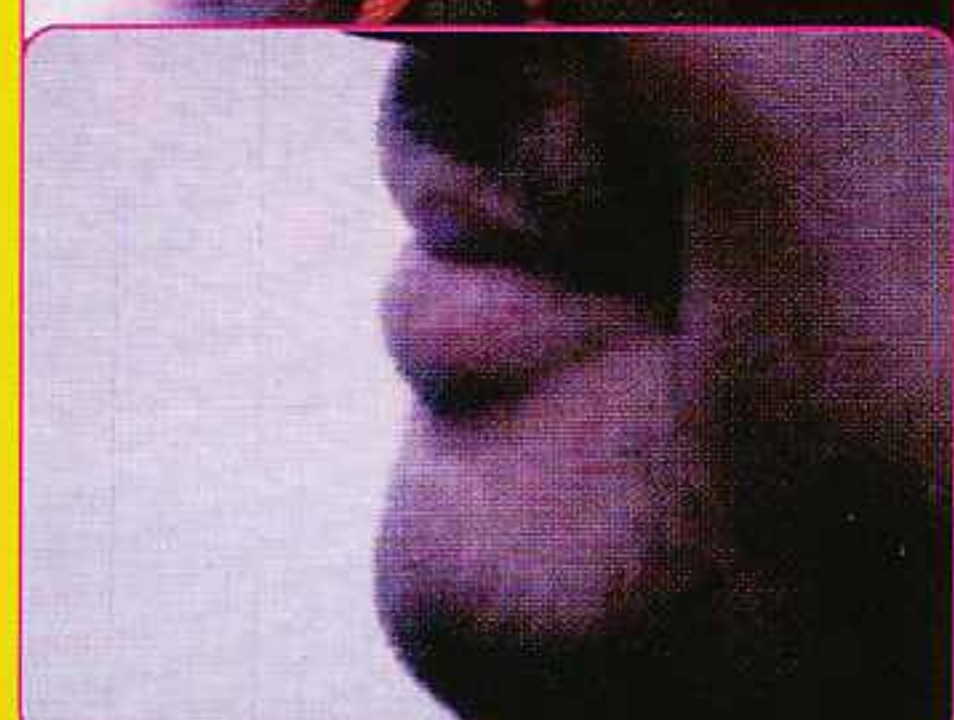
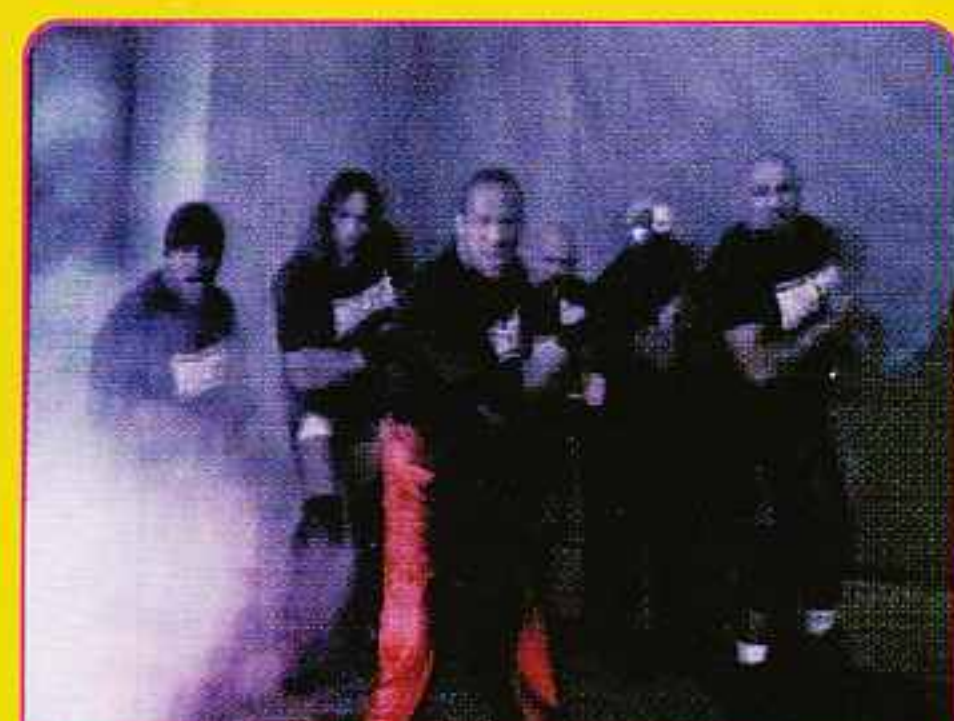
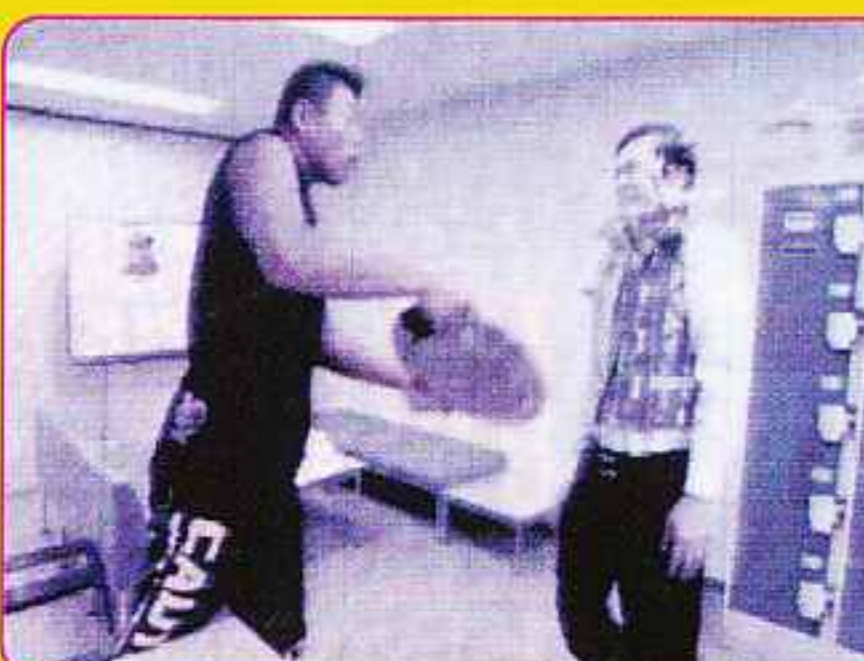
Q なんで破壊王はケガを押してまで闘うの!?

A 「ハッスルというのは裏返せば頑張りでもあり無理をするということでもあると思う。男としてプロレスラーとして橋本真也として、この試合には引けない俺の中の事情がある」と大会前に熱く語っていた橋本選手。そういう男なんじゃよ

Q なんで破壊王と川田がタッグを組んでいるの!?

A 三冠戦での闘いを通じ当人同士にしかわからない感情が芽生えたんじゃろ。大会前、橋本選手は「三冠王の足手まといというよりも、三冠王を差し置いて勝負を挑んでいくつもり」と意気込んでいたんだがのぉ。結論を言えばランデルマンのヒザ蹴りで敗れてしまったんじゃ

第6試合 OH砲 vs 髙田モンスター軍［控室ハッスル劇場］

Q オーちゃんは何を悩んでいるの!?

A 第五試合終了後、小川選手の控室にやってきた橋本選手は唐突に「プロレスラーって何だと思う? プロレスラーは裸一貫で勝負するもんだ。勝負も大事だけど、それを超えたところにプロレスラーの神髄があるんじゃないか? それをお前との最後の試合で感じたんや」とのメッセージ。小川選手は「プロレスラーか……」と呟きオープンフィンガーグローブを見つめていたんじゃ

Q ガファリは何を悩んでいるの!?

A 第2試合終了後、髙田モンスター軍の控室では山盛りのチキンをムシャムシャ食べまくるモンスターたちの姿が……その輪から外れたところで銀メダルを磨くガファリ。なぜか大減量して来日したガファリは悪に染まりきれない様子じゃ

Q 結局、髙田総統は何がやりたいの!?

A 試合開始前、ヤドカリがモンスター軍に号令をかけ、改めて髙田総統への忠誠心を確認。満足げの髙田総統は「私の野望は、暗くジメジメして面白くも何ともない、自分の殻に閉じこもった日本のプロレス界を制圧することだ」と訓示を行ったんじゃ。「そのとおり」と頷いちゃいけないぞ。この男、本気で日本のプロレス界を壊すつもりなんじゃ

Q オーちゃんは何をしているの!?

A 髙田総統からの贈り物を持って小川選手の控室へやってきたボーイ。中を開けると食べ終わったチキンの残骸。これには「I'm CHICKEN」の新作Tシャツを着た小川選手も激怒、ボーイの口に骨を突っ込み憂さ晴らしをしたってわけじゃよ

第7試合 小川直也 vs マット・ガファリ

Q なんで小川は6人も相手にしなきゃいけないの!?

A 悪賢い髙田総統は2・29ZERO-ONE両国大会での小川選手の「ガファリでも何人でもかかってこい」とのマイクアピールの揚げ足を取ってモンスターを続々とリングに送り込んだんじゃ。必死に抵抗したものの、これじゃあ、いくら小川選手でもどうにもならんよ

Q なんで小川は負けちゃったの!?

A さすがの小川選手もモンスター6人にヤドカリまで敵に回したら、どうあがいても勝ち目はなかった。リング下で頭を抱え悩み続けていたガファリもモンスターにせかされ、最後はガファリプレスで圧殺してしまった。破壊王と荒川さんだけじゃどうにもならない問題じゃよ

Q なんで小川はグローブを客席に投げたの!?

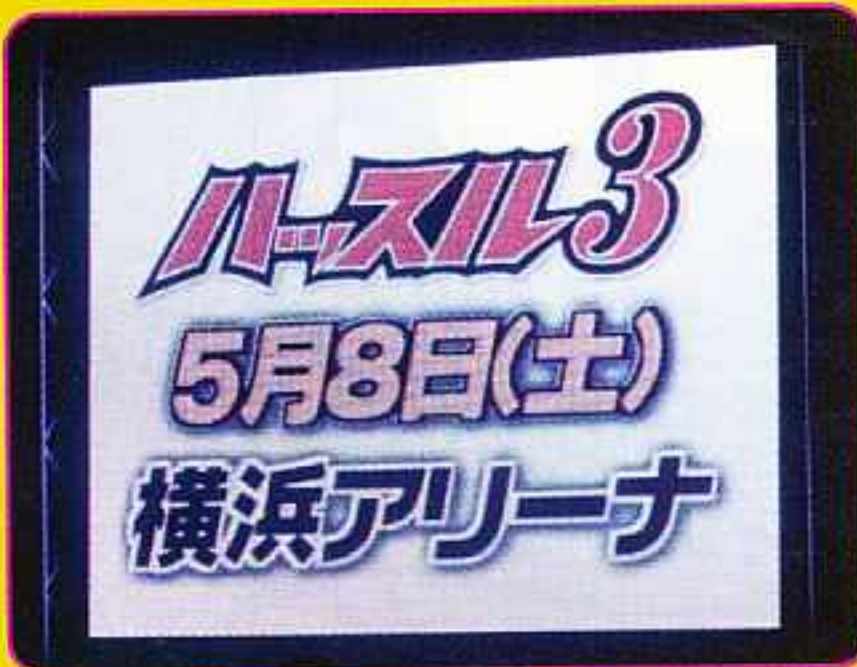
A 試合前に橋本選手からの哲学的な問いかけに小川選手は入場まで悩みまくっていたみたいじゃ。いざ試合となりゲートに姿を見せた小川選手が出した答えの1つが、これまで愛用していたグローブを手放すということじゃった

Q なんで髙田総統は、こんな格好をしているの!?

A どこで入手したのか、『紙プロ』前号では髙田総統のコスチューム姿のイラストが公開されておったが、髙田総統はホントにやりおった。『宇宙戦艦ヤマト』のデスラー総統ばりのコスチューム姿で日本のプロレス界をブッ潰すと宣言したのじゃ。完璧に悪魔に魂を売ってしまったんじゃよ

全試合終了後

Q 髙田総統は次に何をたくらんでいるの!?

A OH砲がハッスルポーズで強引に大会を締めた後、ビジョンに登場した髙田総統。「今日はほんの序の口ってところだ。モンスター軍には、まだまだ血に飢えた怪物が世界中にゴロゴロいる」と、不敵な笑みを浮かべつつ「今年中に君たちの大好きな日本のプロレス界を根こそぎブチ壊す!」と高笑い。この男、そうとうの悪玉じゃ。間違いないぞ!

ハッスル3
5月8日(土)
横浜アリーナ

Q ところで『ハッスル3』は、いつやるの!?

A いろんなことがありながら『ハッスル2』は幕を閉じたってわけじゃ。「何がやりたいんじゃ、コラァ!」とブーイングを飛ばしたお主も、これで見切るのは早すぎじゃ。5・8『ハッスル3』はトンデモナイことが起きるぞ! これも間違いない!!

Q なんでOH砲は、こんなに気合いが入っているの!?

A この2人の表情を観て何も感じないようではプロレスファン失格じゃ。確かに大会内容は満足のいくものではなかっただろうが、OH砲は髙田総統率いるモンスター軍をブッ倒すため、そして何より元気のなくなった日本のプロレス界の未来のために、なんと言われようとハッスルしていこうと強く誓っているのじゃ。答えを急ぐでない。では行くぞーッ! 3、2、1、ハッスルハッスル!!

Q 破壊王は試合後、何を言ってたの!?

A ボロボロなった小川選手を救出したのが、これまたケガでボロボロの橋本選手じゃった。怒号が渦巻く中、橋本選手は「髙田、コノヤローッ! 上からばっかモノ言ってんじゃねえ! お前、こんなプロレスが観たいのか!?」と怒りをブチまけたんじゃ

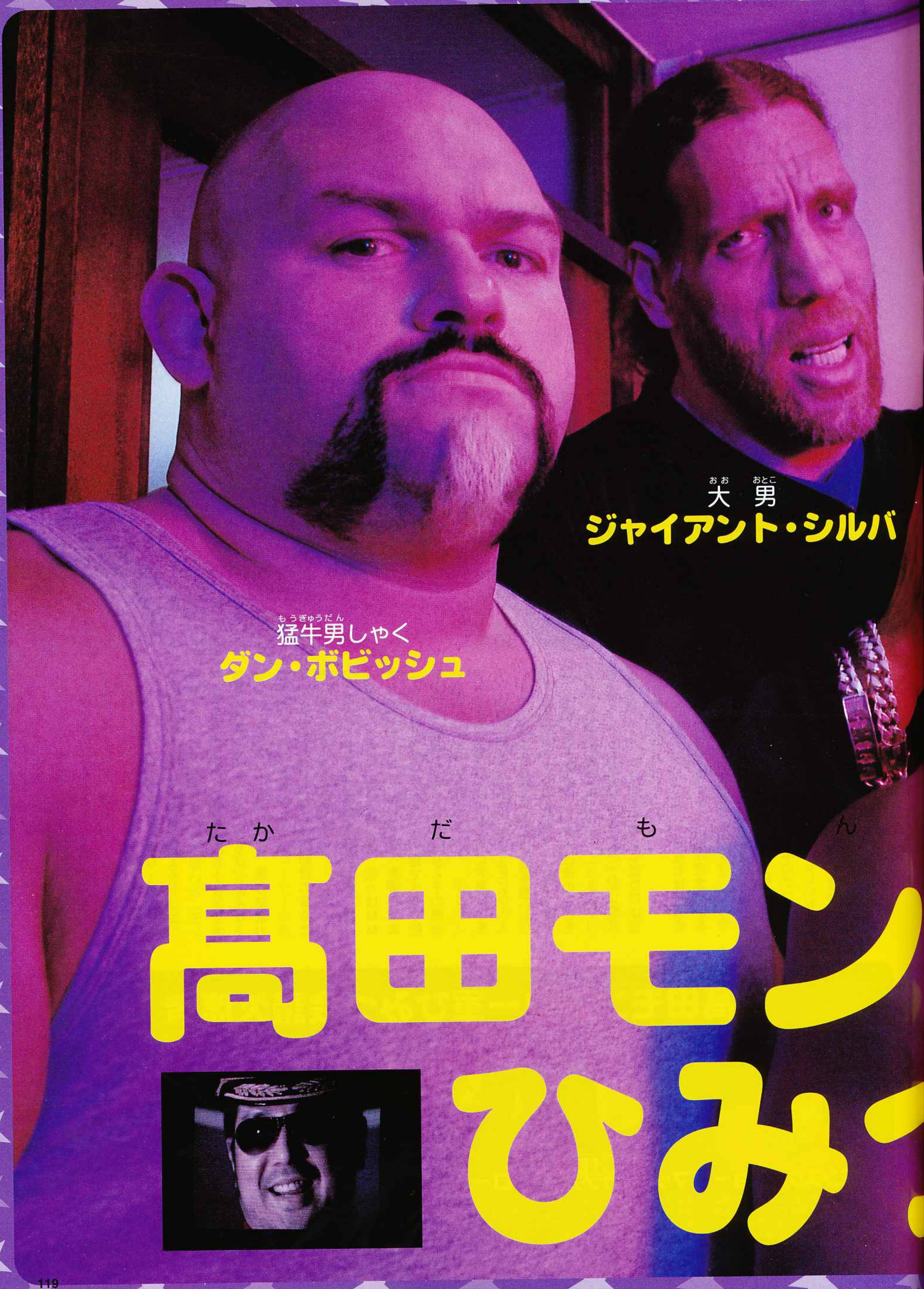
Q 小川は試合後、何を言ってたの!?

A 迷える巨象・ガファリの肉弾を浴び、『ハッスル1』に続き敗北を喫してしまった小川選手。マイクを握ると「髙田、そうきたのか!? この恨み絶対忘れねえからな! 絶対逃げねえぞ、コノヤロー!!」と復讐を誓っていたんじゃ。次は白黒つけてくれるじゃろ

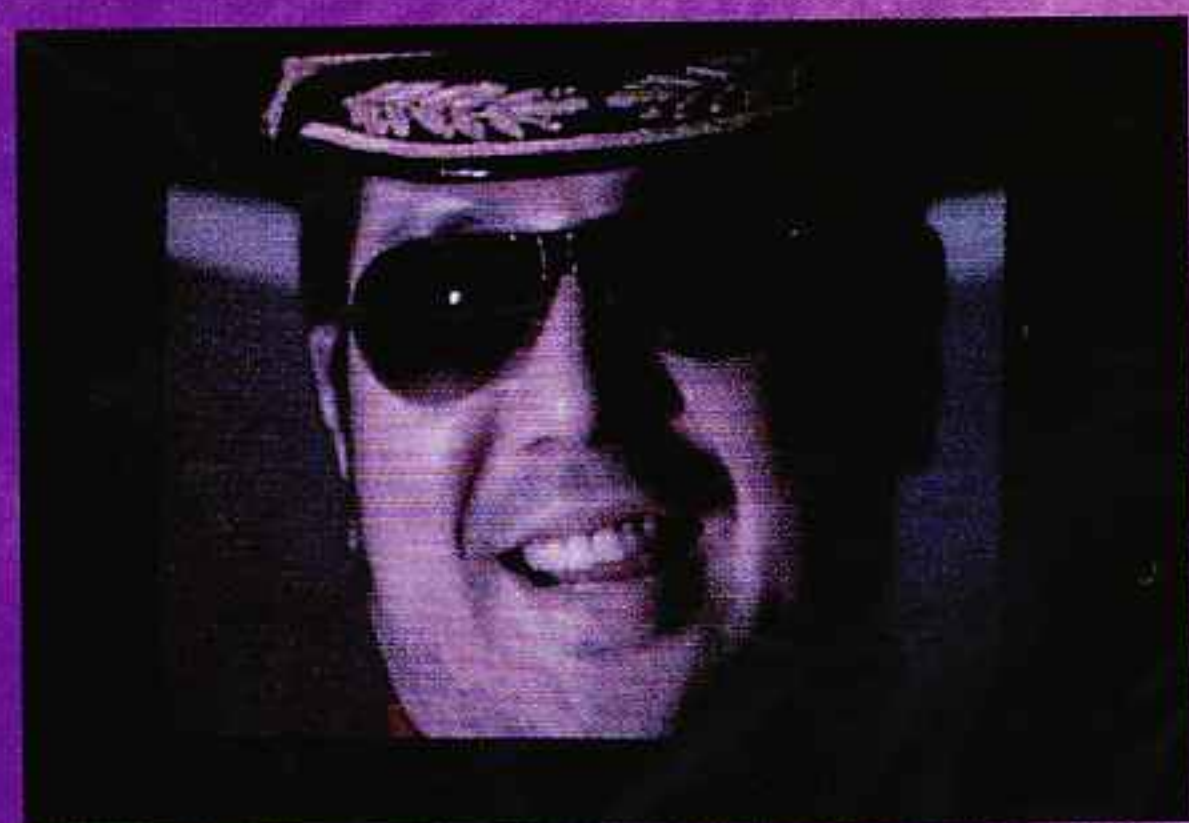
スター軍会議

究きょくの鉄つい
マーク・コールマン

リアル・ドンキーコング
ケビン・ランデルマン

潜入員／ジャン斉藤
撮影／松本崇
designed by hisa（Two Three）

大男
ジャイアント・シルバ

猛牛男しゃく
ダン・ボビッシュ

髙田モン
ひみ

—今日は『髙田モンスター軍』座談会ということで、皆さんモンスター戦士たちの悪企みなんかをお聞きしたいと思ってます！

コールマン ちょっと待ってくれ！〝悪企み〟だなんて人聞きが悪い言い方はしないでくれよ。私たち『髙田モンスター軍』は、日本のプロレスのために一生懸命闘ってるんだからね。

—は、はあ。優等生的な発言ですねえ。

コールマン 優等生も何も、私たちは本当に優れているんだよ（キッパリ）。

ボビッシュ まったくマークの言うとおりだ！ 強くてデカくてカッコ良くて、しかもリングを降りれば女の子に大モテ。これだけ完璧なチームは他にねえよな。

—女の子にも大モテ！ シルバさんもそうなんでしょうか？

シルバ そうだ。何か文句ある？（無表情で）。

—ま、まったくございません。で、今日は他の『モンスター軍』のメンバーたちの姿が見当たらないんですけども。ローデスJr.さんはどうされたんですか？

ボビッシュ ダスティンは浅草見物に行くって言ってたっけ。

—ランデルマンさんは？

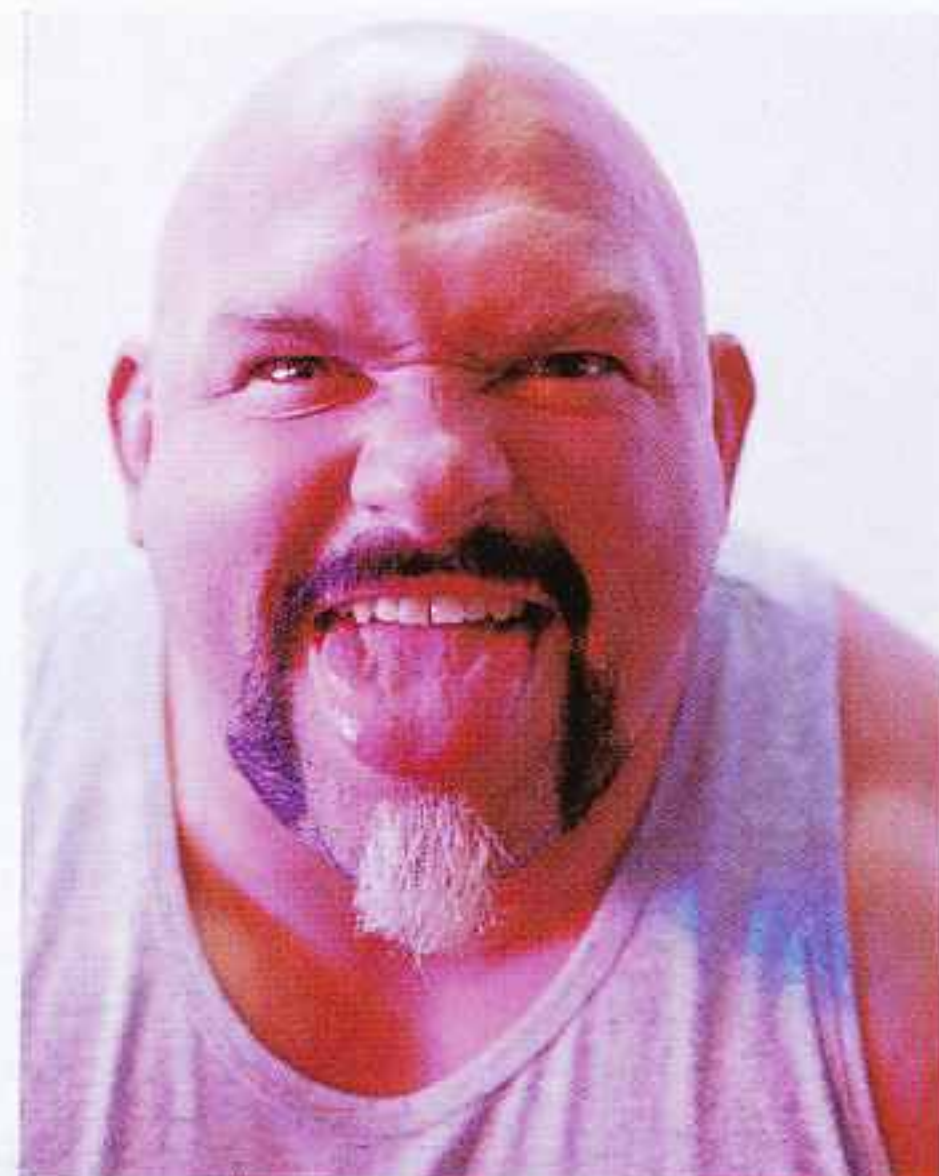
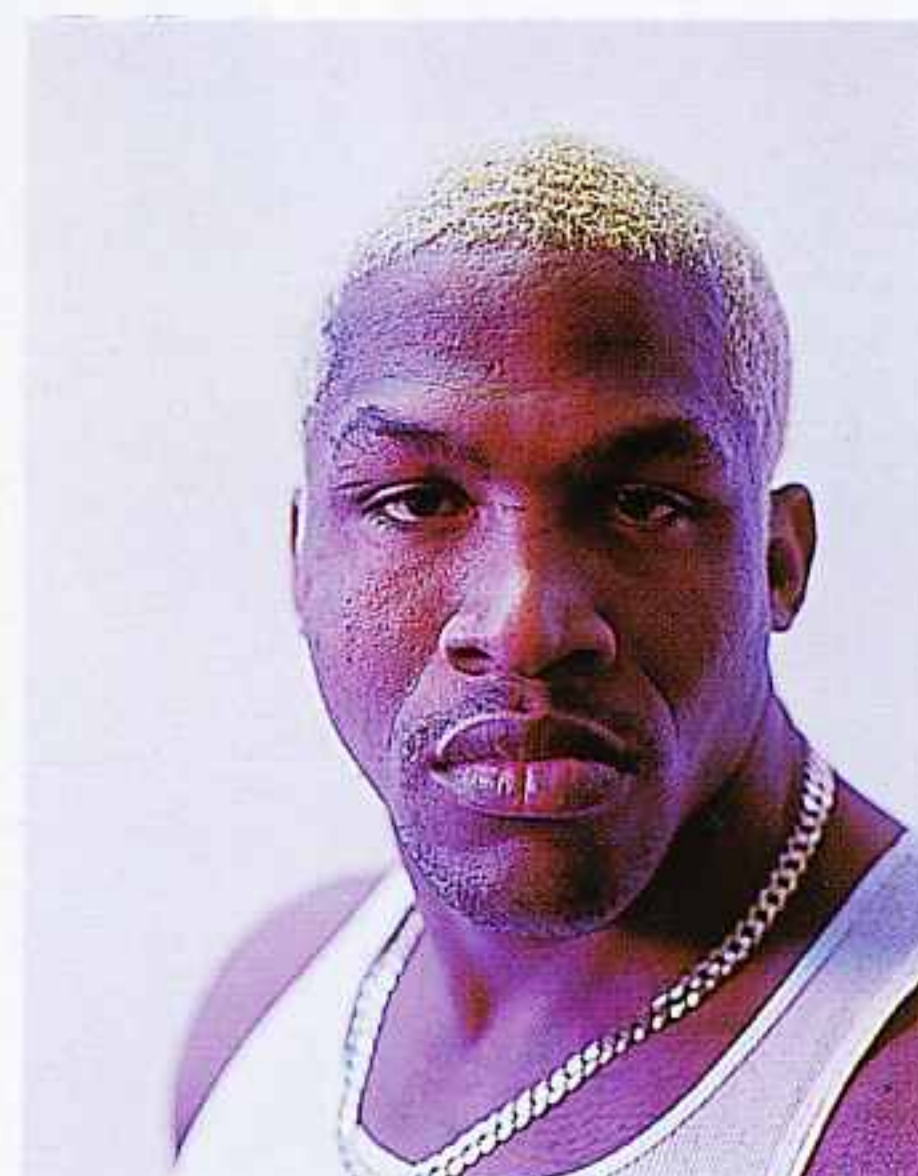
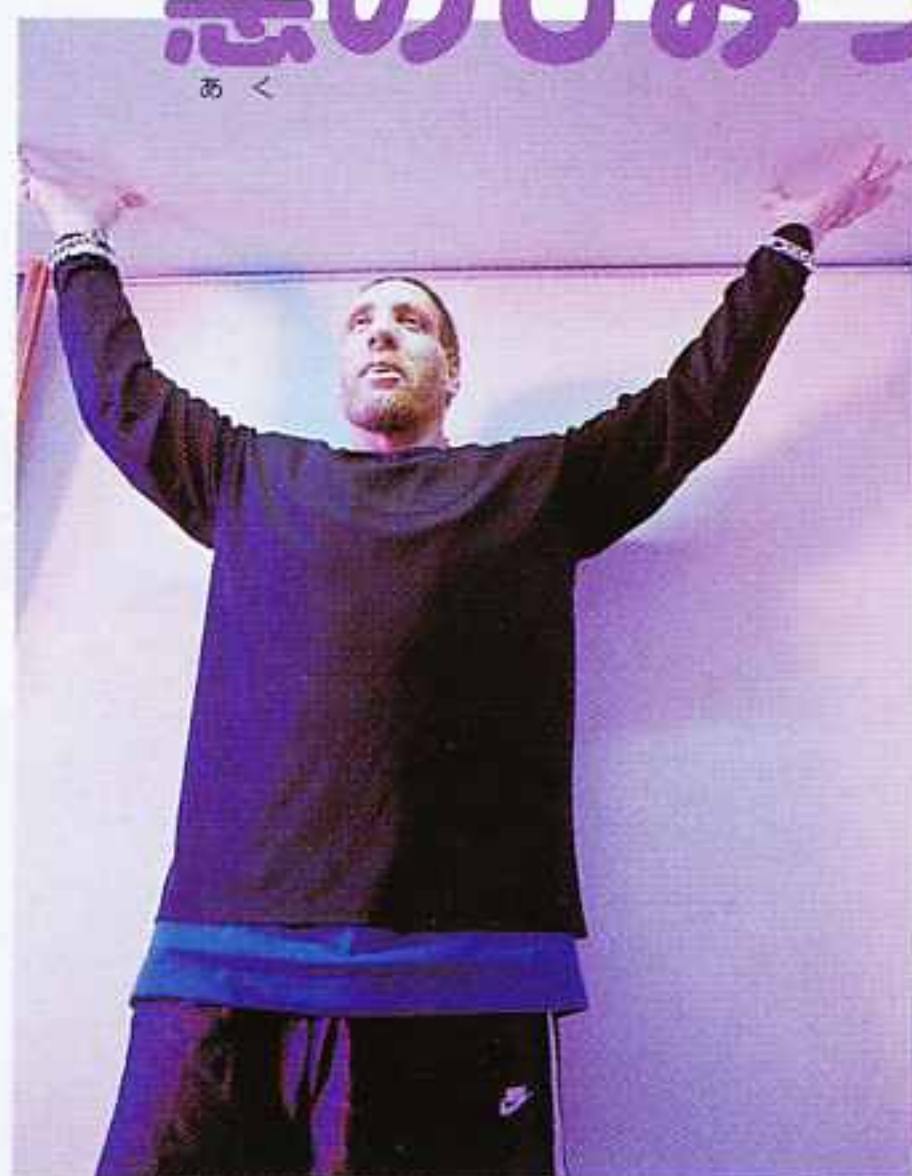
ボビッシュ ケビンは寝坊で遅刻！ 朝方まで六本木で遊びまくっていたからな。

—じゃあガファリさんは？

ボビッシュ 野郎のことなんか知るもんか！ きっと御自慢の銀メダルでもせっせと磨いてることだろうよ。

—あんまり統率がとれてないんですねえ。

ボビッシュ 何をぉ？ 髙田総統の命令ならともかくだ。オマエらライターの言うことを聞いて、いちいち全員集合なんかしてられねえよ。俺たちだけが来ただけでも感謝しろってんだコンチクショウ！

コールマン 誤解しないでほしいが、我々はケビンやローデスJr.たちとガッチリ連携は取れているよ。ただガファリの場合、彼はアメリカの英雄だっただろ？ そのぶんプライドが高いから、いまいちコミニーションが取りづらいんだよ。

髙田モンスター軍
悪のひみつ会議

ボビッシュ ガファリはZERO-ONEの控室でもひとりぼっちらしいからな。フン！

コールマン そんなガファリを除いた『モンスター軍』のメンバーたちは、リーダーである髙田総統の命令であるならば、どんなミッションでも全力で取り組む。鉄の結束力を誇っているんだよ。

—それにしても、なぜ髙田総統の命令にそれほど忠実なんですか？

コールマン それは髙田総統が一番、我々をうまく使ってくれるからだよ。我々はMMAでも活躍しているが、皆さんも御存知のようにプロレスのリングでも活躍できる才能を持っている。しかし、残念ながらその機会に恵まれていないんだ。

ボビッシュ 俺はWJであんなにド真ん中を突っ走っていたのに、呼ばれなくなった……。

シルバ 俺は『猪木祭り』で棺桶を担いだ。猪木さんと闘ってグッドパフォーマンスをした。しかし、日本のプロレス界は俺のことを評価してくれなかった……。

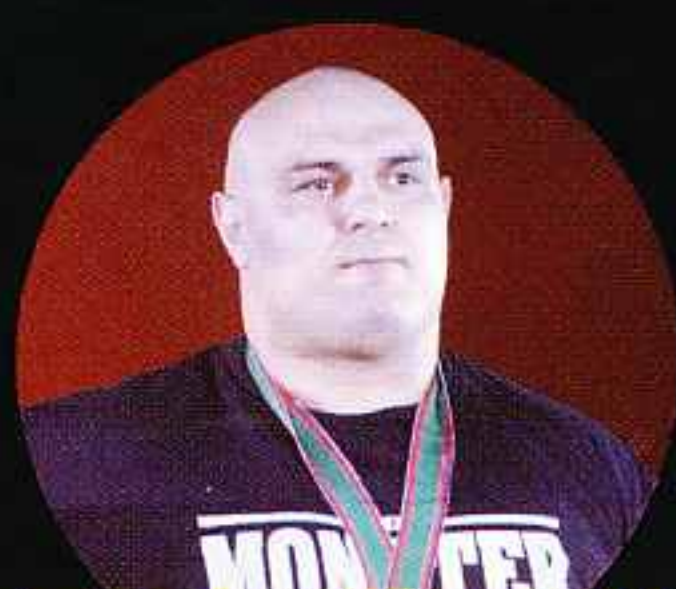
コールマン そんな我々の力を『ハッスル』で発揮させんとする髙田総統に従うのは当然のことなんだよ。

ボビッシュ 『ハッスル2』を見れば、俺たちの凄さがわかるだろ？ 俺は残念ながらプレデターに負けてしまったけどよ、マークはケビンとのタッグで、川田＆橋本というグレイトなチームを圧倒的に粉砕した！

コールマン 川田＆橋本は日本のプロレスファンからするとドリームタッグらしいから、それはそれは残念な結果になってしまったようだがね（ニヤリ）。

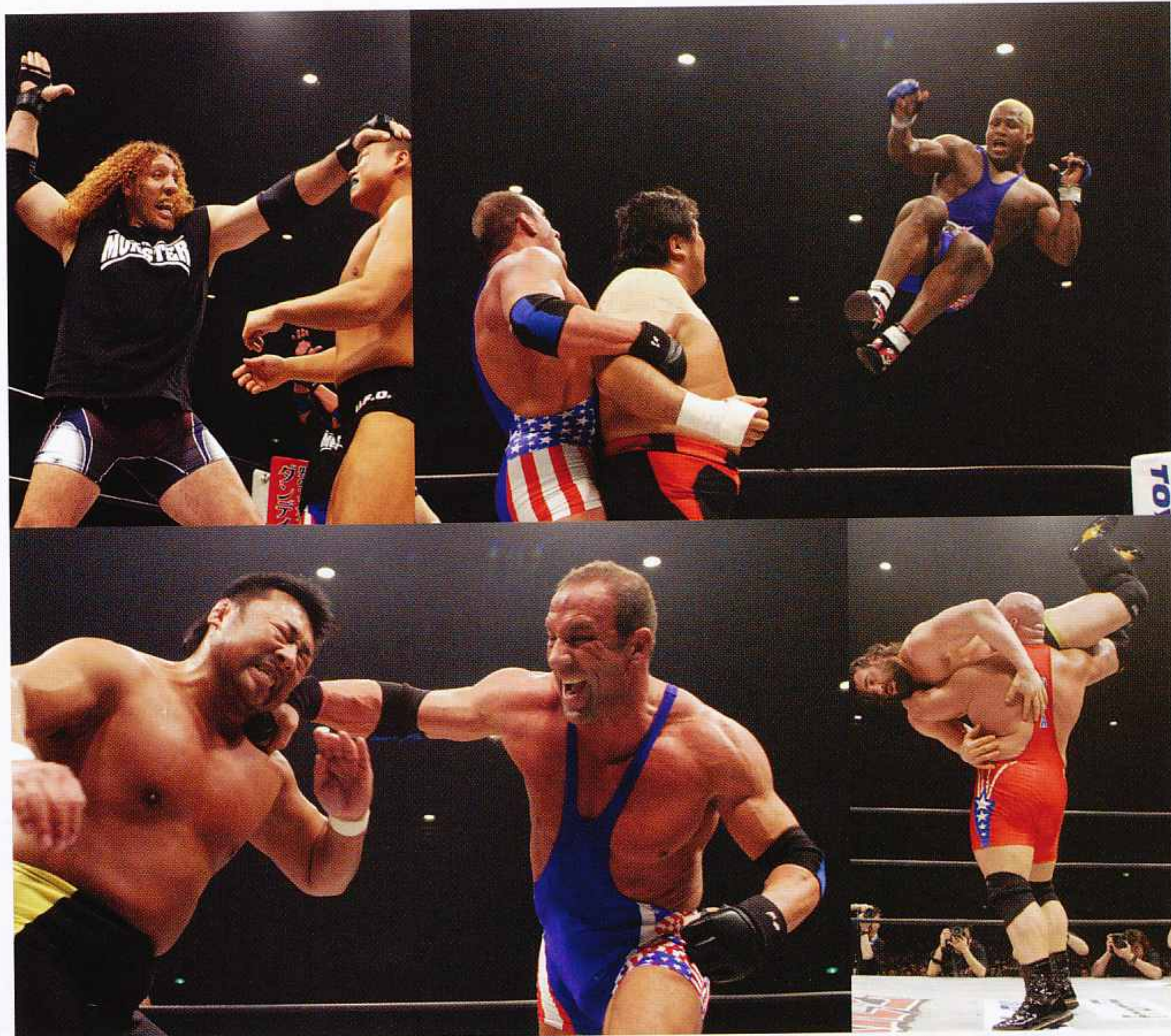
—でも、小川さん1人に対して『髙田モ

髙田モンスター軍ひみつ会議欠席者

モンスタージョー
〝闇柔道の使い手〟という梶原一騎テイスト溢れる肩書でしたが、ギョロ目にアッサリ負けました。あまりの弱さにヤドカリが逆ギレ、あえなく『モンスター軍』を追放されました。

マット・ガファリ
成田空港に来日するやいなや、何を勘違いしたのか「K-1！ K-1！」と〝禁断の言葉〟を連呼した不届きデブです。髙田総統からまったく信用されていないのも仕方がありませんね。

ローデスJr.
D・ローデスを父に持つサラブレッドです。「あの風ぼうで親父のどこが〝アメリカの夢〟なんだぁ？」なんて軽口たたいたら、女子供にだって情け無用の鉄けん制さいをお見舞いします。

島田レフェリー
悪の〝ヤドカリ〟レフェリーです。首にコルセットといえば横山元弁護士が有名でしたが、いまではヤドカリの代名詞なっています。ホントに首を痛めているのかは、総統さえも知りません。

髙田総統
日本プロレス界制圧を計画する『モンスター軍』のリーダーです。『ハッスル2』でその〝悪の本性〟をあらわしましたが、デスピサロのようにさらなる進化をはたす恐れもあります。

ンスター軍』が6人で襲いかかったのは、やり方、内容ともに評判悪いですよ。

コールマン　たしかに6vs1で闘うのはフェアじゃない。それは重々承知しているが、それはミスター小川が「何人でもかかってこい！」って吠えたからだ。慈悲深い髙田総統がミスター小川の要求に応えてやったまでなんだよ。

ボビッシュ　内容が悪いだなんてのはな、何もできなかったチキン（小川）が悪い。文句があるならチキンに言えって！

――シルバさんも同じ考えでしょうか？

シルバ　（まったくやりとりを聞かずに、前号『紙プロ』に掲載された〝オカマレスラー〟ピンピネーラのインタビュー見て）ガハハハハ！　これはキ●ガイなインタビューだ！

ボビッシュ　どれどれ？……うわっ！　気持ち悪いな～～。オマエんとこはハードゲイマガジンなのか？

――プロレス＆ＭＭＡマガジンです！　ほら、ここには小川さんも載ってますよ（ジミー鈴木との対談ページを見せる）。

ボビッシュ　ふ～ん。どうせチキンの野郎は偉そうなことをベラベラ喋ってるんだろ。アイツは本当に口だけは達者だからな。

シルバ　アイツは〝I am chiken〟Tシャツなんか着やがって、ホントに頭が悪いよ。言ってみれば、〝ボクはバ～カです〟という貼り紙を身体に張ってるようなもんだからな。自分をアピールしたいなら、試合でガンガン暴れろって話だ。

コールマン　つまり、ミスター小川はリング外でアピールし過ぎだし、ちょっと喋り過ぎなんだよ。その割にはリングに上がるとやけに大人しいだろ。

ボビッシュ　でも、タフガイだとは思うよ。

シルバ　何ぃ？　チキンを認めるのかぁ？

ボビッシュ　いやいや、チキンがタフなぶんだけ倒しがいがあるってことだよ。『ハッスル2』のやられ様を見てみぃ！　恥さらしとはあのことだっつうの（笑）。

【ランデルマンが遅れて登場】

ランデルマン　Hey,Brother!!　遅刻しちまったぜ。アハハハ！

――ランデルマンさん、さっそくですけど、『ハッスル2』の感想を聞かせてください！

ランデルマン　（無視して）俺はコーヒーが飲みたい！　いますぐ甘～いコーヒーが飲みたいなあ。

DSE女性広報　甘いコーヒーですか？

ランデルマン　そう！　ところでキミは甘いのかい？（ウインクしながら）。

DSE女性広報　ベリースイートです（笑）。

ランデルマン　じゃあ結婚してくれっ!!

――す、すいません。愛のささやきは取材のあとということで、『ハッスル2』のことなんですけど！

ランデルマン　『ハッスル2』？　激しいファイトでケガをしたから、みんな泣きながらホテルに帰ったぜ！

――泣き虫！　さすがは『髙田モンスター軍』（笑）。

ランデルマン　（即座に）このウスノロ！　俺たち『髙田モンスター軍』が泣くもんか。泣いたのはチキンやポークに決まってるだろ！

シルバ　ポークはケビンに負けたあと、いまにも涙が溢れそうだったぞ。

ランデルマン　鼻血も出してた！　ブタだけに鼻血ブーだよ。アハハハハ！

コールマン　おいおい、そんな失礼な言い方をするんじゃない。どんなに下等なレスラーでも決してバカにしちゃいけないよ。

ランデルマン　わかったよ！　ええと、橋本サン小川サンはメッチャ強い。でも、『髙田モンスター軍』のほうがもっともっと強い！　俺たちを倒すのは絶対無理だけど、勝つために無駄な努力をしてくれ！……こんな言い方でいいか、マーク？

コールマン　まあいいだろう。とにかく『髙田モンスター軍』は紳士たれだよ。

――『モンスター軍』は紳士でしたか（笑）。

コールマン　紳士の中の紳士なんだよ。私は小さい頃、人より身体が大きいためにイジメの標的にされていた。そんな経験があるから、絶対にイジメなんかはしないしね。

――でも、『髙田モンスター軍』は『ＯＨハッスル軍』をイジメてるように見えますよ。

ボビッシュ　まあ、イジメてるように見えるのは、それだけチキンやポークが弱っちいってことだろうな。

シルバ　俺もイジメてるだなんて思ってないなあ。俺はブラジル出身だけど、ブラジルは陽気な人間たちばかりだから、身体サイズや肌の色、能力の違いを理由にイジメたりなんかしないしな。

ランデルマン　あれ、シルバはブラジル出身

世界一悪い『髙田モンスター軍』が『ハッスル2』で大暴れしたことは、皆さんごぞんじですよね。シルバはギョロ目の頭をグイとワシづかみ。さすがの小川もたじたじでした。ランデルマンはご自慢のジャンプ力で観客をアッと驚かせました。デンジャラスKに鉄のこぶしを叩きこむのはコールマン選手。ボビッシュはプレデターに負けてしまいましたが、その135キロの巨体をヒョイと投げとばしました。これにはお客さんもロアングリです。

なのか？

シルバ　そうだよ。バスケットボールではブラジル代表で、バルセロナとソウル五輪に出場してるんだぜぇ（自慢げに）。

ランデルマン　ウッヒョーッ！　やるじゃねえかよ！

シルバ　ガッハッハッ！　いやあ、それほどのもんじゃねえよ（照）。

コールマン　私もレスリングでバルセロナ五輪に出てる。ミスター小川も柔道で五輪に出場しているよ。

シルバ　ああ、チキンは銀メダルだったのが悔しくて、表彰台に上がらなかったんだろ。

ランデルマン　銀メダルだから胸を張ればいいのに。ネガティブな奴！

ボビッシュ　ガファリのように、年中首にブラ下げてるのも問題だけどな！

ランデルマン　ところでシルバはジミー・スヌーカのことを知ってるか？

シルバ　知ってるよ。彼のグレイトなファイトは何度か見たことがあるよ。

ランデルマン　俺は彼の大ファンなんだよ！　シルバは誰のファンだったんだ？　やっぱりアンドレ（・ザ・ジャイアント）か？

シルバ　俺は俺のファンだよ（キッパリ）。アンドレの試合も何回か見たことはあるけど、素晴らしいファイトをしていたよ。まあ、いまは俺以外に「ジャイアント」を名乗れる奴はいないけどな。

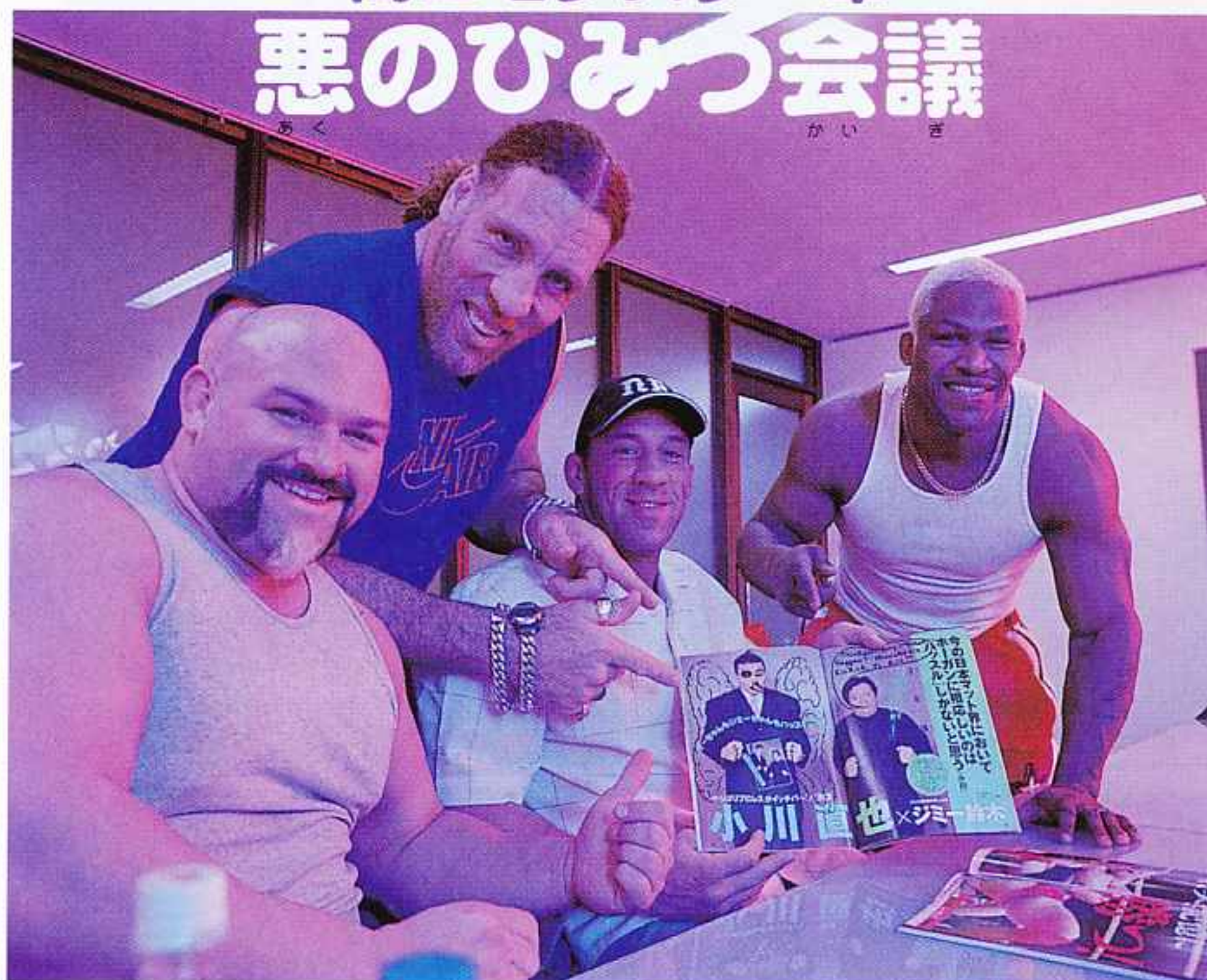
コールマン　でも、K―1にモンターニャ・シウバという巨人がいるらしいぞ。同じブラジル生まれらしいが知ってるかい？

シルバ　名前は聞いたことあるけど、モンタはたしか213センチなんだろ。俺は230センチ！　俺の勝ちだぁ！

ボビッシュ　そんなことより！　俺の娘の写真を見てくれ！　カワイイだろ？　今年で4歳になるんだよぉ。

シルバ　お、ホントにカワイイ。ダンに似なくて良かったなあ（笑）。

ボビッシュ　ガハハハ！　言ってくれるじゃねえかコンチクショウ！

髙田モンスター軍 悪のひみつ会議

リングを降りても『髙田モンスター軍』の暴走は止まりません。『ハッスル2』快勝のごほうびとして前号の『紙プロ』をプレゼントしたら、ギョロ目のページに落書きする始末です。調子に乗ってジミー鈴木さんにも筆を入れました。あげくのはてにはプレゼントしたのに置き忘れて帰るんだから、呆れて言葉も出ませんね（落書き入りの本誌は読者プレゼントします。応募要項はP143を参照！）

シルバ　俺にも息子と娘がいるんだよ。

――あ！　シルバさんは結婚してるんですか？

シルバ　（ギロリと睨んで）悪い？

――ま、まったく問題はございません（汗）。

シルバ　俺は18歳のときに結婚して、今年でちょうど20周年。俺の息子は18歳で、身長は小さくて190センチしかないんだ。

――十分大きいですよ（笑）。

ランデルマン　そうだよ、十分にデケエ！『モンスター軍』に入れちまえよ！

シルバ　いまはバスケットボールの選手だからな。引退したら考えさせるよ（笑）。

ボビッシュ　そういえば、ケビンにも娘がいるって聞いてるぞ。

ランデルマン　いるよ！　ワイフと離婚しちゃって、あんまり会えないけどさ……。

ボビッシュ　そ、それは悪いことを聞いたな……。

ランデルマン　いや、気にするなって……。

――う〜ん、まったく悪の会議らしくないぞ（笑）。

【コーヒー到着】

DSE女性広報　コーヒーをお持ちいたしました！

ランデルマン　結婚してくれ！　そして俺の娘を生んでくれ！

DSE女性広報　いきなり何を言ってるんですか（笑）。

ランデルマン　いや、キミがとってもセクシーなのがいけないんだよ。

DSE女性広報　サ、サンキュー（笑）。

――ハッスル寸前のところ申し訳ありませんが！　最後に『髙田モンスター軍』今後の抱負なんかをお聞きしたいんですけど。

コールマン　そうだな。髙田総統から命令されたミッションを忠実にこなして、ファンのド肝を抜くファイトをすることを約束する！

ボビッシュ　俺も！

シルバ　右に同じ！

ランデルマン　彼女（DSE女性広報）のために闘います！

――どんな理由だ（笑）。

ランデルマン　いやいや、だってチキンの野郎は、DSEの社員に卑猥なポーズを取らせてるんだろ？（腰を振って）。

――白昼の路上で強制ハッスルポーズを取らせてますね。

ランデルマン　失礼にも程がある！　チキンの魔の手から彼女を守ることが、髙田総統のためにも繋がるんだよ！

――でも、ハッスルポーズは浸透しつつありますよ。

コールマン　いや、我々は紳士の集団だからね。あんな下品なハッスルポーズじゃなくて、「ドゥ・ザ・ハッスル！」ポーズが流行るように頑張るよ。チキン＆ポークにも泣きながら「ドゥ・ザ・ハッスル！」をやらせることも約束する。

ボビッシュ　合い言葉はドゥ・ザ・ハッスルだってわけだ！

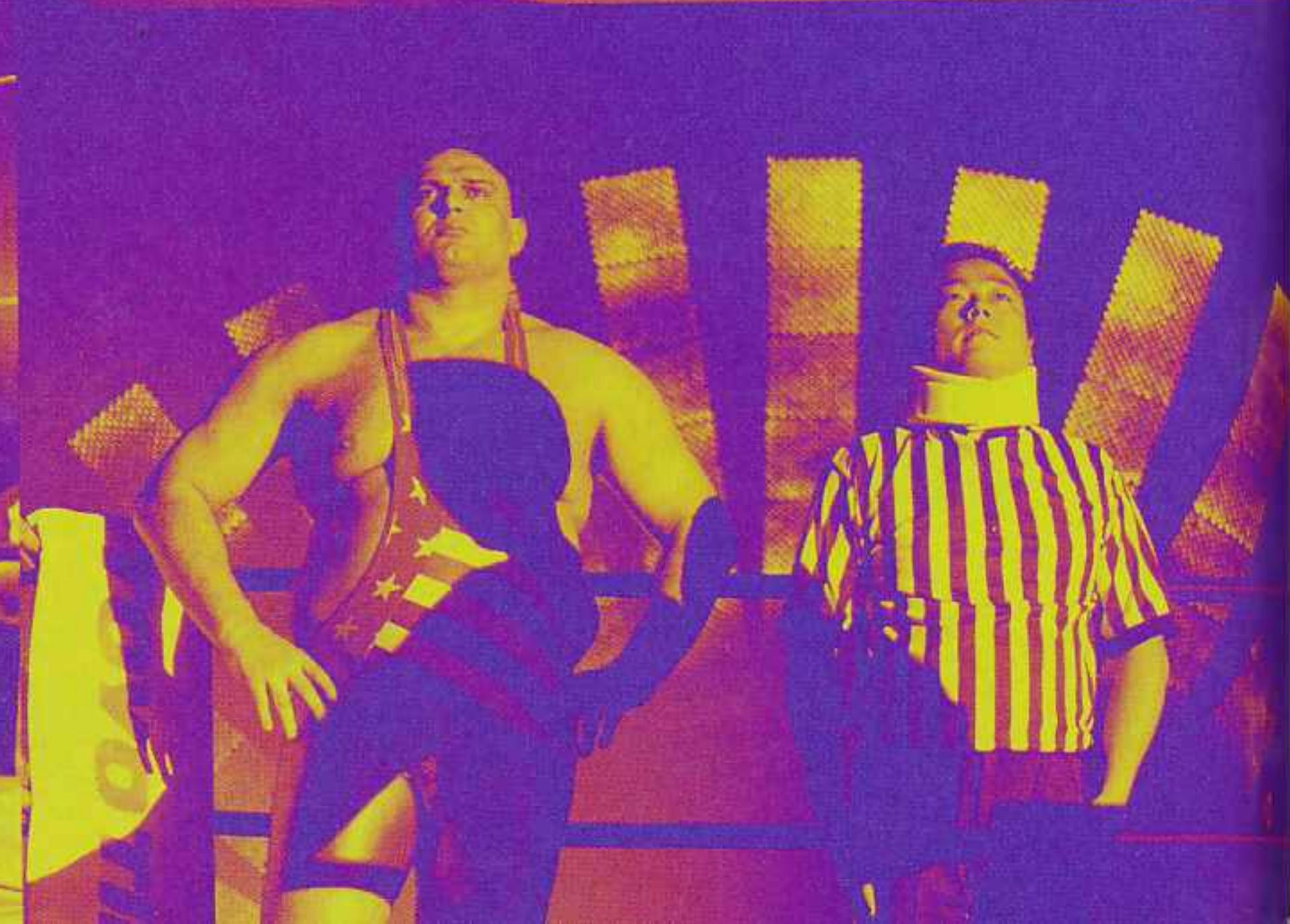
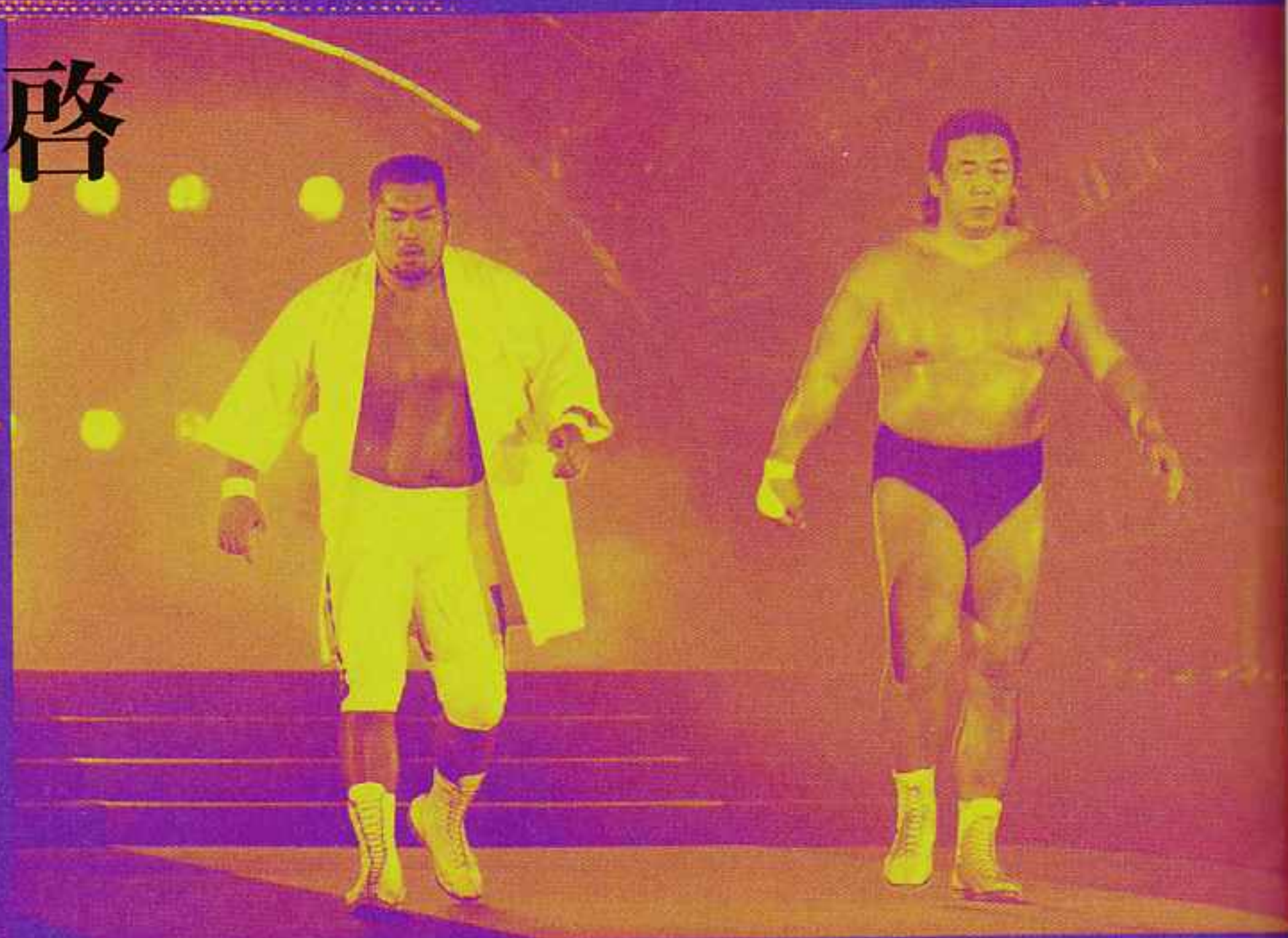
全員　ドゥ・ザ・ハッスル！

【04年3月8日／青山にある『髙田モンスター軍』アジトにて収録】

おやおや、ボビッシュが愛娘の写真を嬉しそうに見せてますね。ケビン＆マークは前夜の疲れが出たのかボーっとしています。まったくモンスターぶりは感じませんが油断は禁物です。女子はとくに注意しましょう。

言うちゃ悪いけど、I編集長が『ハッスル』直言!!

総統が仕組んだ『ハッスル2』の深淵

井上義啓

バカボンは脇に追いやってバカボンのパパを主役に据えた。それと同じ発想が『髙田モンスター軍』だ

『宇宙戦艦ヤマト』のデスラー総統には遠く及ばない。そうは言うものの、バルコニーに現れた異様な怪人は、それとわかる扮装をしていた。総統の帽子に黒いマント。肩には鷹をあしらったと思われる変てこなものがピョコンと乗っかっている。怪人は手にしたステッキで、これ見よがしに床をコツコツと叩いた……。

◇

2月19日のZERO-ONE・後楽園大会。ノーテンキな島田裕二PRIDEチーフレフェリーがリングに上がってエプロンに突っ立った。説明するまでもなく、ブーイングの嵐。ノーテンキ男は言った。

「髙田さんは『髙田モンスター軍』を結成して〝髙田総統〟になられました。私もイベントプロデューサーに承認されましたので、よろしく」

〈あの日の、あの変てこな〝意味不明〟はこれだったのだ〉

謎は二つあった。最初の謎はすぐ解けた。なぜ、髙田軍が正規の『髙田ハッスル軍』なるチーム名称を橋本、小川のOH砲に譲り渡し、ヒール丸出しの『髙田モンスター軍』と名乗ったかである。

「何でですやろな。意味がわかりませんワ。髙田軍が正規なんやから、『ハッスル』シリーズの主役に収まるのが当たり前でんがな。それを外敵のOH砲にあっさり、くれてやるなんて……。編集長（私の呼び名）、どう思われます？」

「髙田は――と言うより、榊原（信行・DSE代表）と島田は、DSE軍の中にOH砲や川田、武藤、長州なんかを取り込んで、『髙田ハッスル軍』とするつもりだった。しかし、それではインパクトが弱い。赤塚不二夫の『天才バカボン』ね。あれが出版された当初は全然、面白くなくて、編集者は頭を抱えた」

「………」

「みんなに意見を聞いて回ったところ、バカボンのパパが――欠けた前歯を剥き出しにして、年中、ステテコを履いたままという、あの『バカボンのパパなのダ！』だが、そのパパが面白いとウケていると分かった。そこで、主人公のバカボンは脇に追いやって、バカボンのパパを主役に持ってきた。それと同じ発想が、『髙田モンスター軍』だ」

「インパクトのないベビーフェースはいらんちゅうわけでんな」

「その通り。ヒールの『髙田モンスター軍』を前面に押し立てんことには、どうにもならないとなった。このため、『ハッスル軍』の名称がOH砲にタライ回しされたのだ」

かくいう〝大阪の馬鹿〟にも解せなかったのが、総統なる呼称であった。「ヒットラーをアレンジしたんやろうか、独裁者ということで……」

そうかも知れないと思った。話は、それだけのことなのだが、なぜ〝総統〟であったのかが、あの変てこな扮装を見て氷解した。

問題は、なぜ、れっきとしたDSE契約のPRIDEファイターたちをモンスターに凝したかである。『ハッスル』シリーズはプロレスの領域であって、失敗して撤退したとしても、本体の『PRIDE』に傷が付くことはない。しかし、それには、PRIDE戦士がヒーローである必要があった。仮にミルコ・クロコップ、アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ、エメリヤーエンコ・ヒョードル、ヴァンダレイ・シウバなどが『モンスター軍』に組み入れられて闘った後で、『ハッスル』が赤字倒産したとしたら、どうだろう。災いはDSEにも及ぶではないか。

こういうことだろうと〝大阪の馬鹿〟は考えた。

〈物事には、すべて二面性がある。猪木もそうだし、俺だってそうだ。『PRIDE』の男たちにも、見てくれはビーストだが、実際は常識もあり社会人としても立派に通用する連中が何人もいる。ジキル博士とハイド氏というより、美女と野獣。DSEの連中は、見てくれはビーストだが、実体はビシッとした男たちなんだという、いつも心に思っている言いたいことを声高に口に出して見せたのだ〉

プロレスラーがそうであった。リング上ではヤクザまがいなことをやっているが、マジで向き合ってみると、へェーと驚くことが多かった。前田日明などは典型的な例である。大学など無論、出ていない。社会人としての常識などまるで持ち合わせていないと信じ込んでいるファンは多いが、とんでもない思い違いであった。前田ほど、あらゆるジャンルの本を読破している男はいない。私は前田が読んだ本を知って赤面した。到底、前田の足元にも及ばないではないかと……。

身びいきではないのである。タイガー・ジェット・シンにしても、本当のことをバラすと、ちょっとやそっとではお目に掛かれないゼントルマンなのである。まさにジキル博士とハイド氏。それが、あの凶暴な男とされる〝狂虎〟シンの実体であった。

〈この命題はパフォーマーには理解しにくい。取って付けたこじつけと一笑に付されるのがオチだ〉

緊張感のまるでないジャイアント・シルバ。誰が見てもドンキーコングとしか見えないケビン・ランデルマン。それにマーク・コールマン、ダン・ボビッシュ、ダスティ・ローデスJr.。そして、腹回りが少しだけへこんだマット・ガファリおじさん。

私は、小川を袋叩きにしているモンスターたちをボンヤリ見た。よせばいいのに、ヤドカリまでが加わって、プロレスを演じていた。小川vsガファリのシングル対決の、これが、なれの果てであった。

しかし、ちゃんと説明はつく。小川が「何人でもかかって来いやァ！」と、ボーイソプラノでぶち上げた一言を、総統とヤドカリはき

手負いの橋本をしっかり負けさせた所に『ハッスル』の目指す〝リアルプロレス〟が確かにあった

ちんと利用したのである。『ハッスル2』には、このように、フン!と唇を歪めて吐き捨てられるプロレスの駄目な面を、どうにかフォロウし得る〝仕掛け〟が随所に施されていた。橋本がランデルマンのマウントパンチ、ヒザ蹴りの猛ラッシュにレフェリーストップで敗れ去ったのも、納得の中の一つである。

ハウスショーである以上、半分はエンタメだ。PRIDEシリーズではないプロレスなのだから当たり前であった。しかし、バカ丸出しといった低次元ではなかったところに、『ハッスル2』の真骨頂があった。

前出のプロ格者が聞いてきた。

「ブーイングやクスクス笑いが多かったと聞きましたで」

「当たり前だろう。正規軍はOHだ。高田やヤドカリ、それにケビンなんかのモンスター軍は外敵だ。外敵が出てきた途端にブーイングは起こる。ノアの試合会場に外敵である魔界倶楽部の星野なんかが出てきて、拍手で迎えられたら、それはパフォーマーの集団ではない。シューターの上の方の連中のやることでね。問題は〝リアルプロレス〟をどう表現して見せるかだった」

「〝リアルプロレス〟って何でんねん」

「プロレスなんだけども、これまでの駄目な部分がやたらと多いプロレスとは、ちょっと違いますよというね」

「………」

「橋本は『ハッスル2』の主役だ。小川もだ。それなのに、DSE首脳は、2人とも負けにしてしまった。小川の場合は不満の声も上がったようだが、さっき言った通りで、ちゃんと説明がつく。問題は橋本だ。誰が見たって橋本は勝てない。しかし、これまでのプロレスはシングルマッチでも、わざとレフェリーを突き飛ばしたり、セコンド同士の乱闘や、タッグパートナーの救出乱入などで無理やり勝たせてきた。今回も、それに決まっていると考えたマスコミ、ファンは多い。いや、ほとんどがそう考えたと断言してもいい。それを、きちんと橋本の負けにした。レフェリーへの暴行といった、ありふれた手ではなくね」

「その点は買ってまんのや。えらくまともなことをやったもんやと感心してますねん」

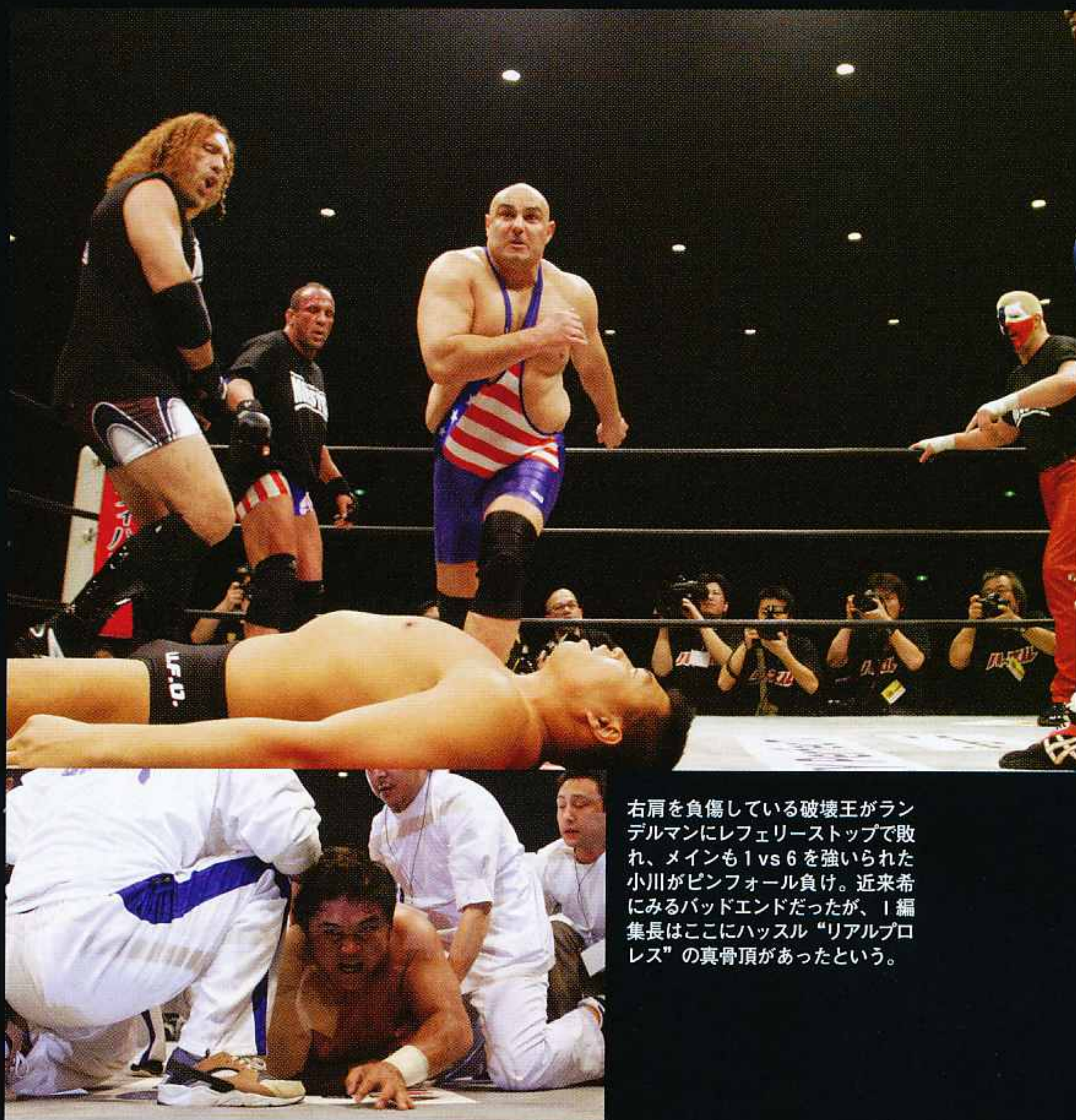
「だろう。勝つべきレスラーが勝つのではなく、負けるべきレスラーをきちんと負けにした。この点が『エンタメはプロレスだからやりますが、猿芝居はやりません。勝負はあくまで自然体でありまして、長州さんのような〝ド真ん中〟もありますし、橋本さんのような負けて当然の試合もきちんと負けにします』との『ハッスル』の主張が貫かれていて、小さな、小泉内閣のような改革にすぎないにしても、この点は評価されなければならない。やはり『W-1』の失敗が肥やしになっている。この調子だと、5月8日の『ハッスル3』も何とか成功するだろう。横アリに1万人を集めたというのだから立派なのだよ」

とにかく、プロレスの問題点は、現在のファンがブックサいっている駄目な点を思い切って捨てられるかどうかにある。ベテランのメーンイベンターたちをどうしても負けさせることが出来ない。このため、誰が見ても不自然な演出を取り込んで勝利者に持っていく。

これがプロレス斜陽化の元凶なのだ。『PRIDE』、K-1は勝つべき者が勝ち、負けるべき者が負けている。曙を八百長で勝たせたか。負けが込んでいる桜庭を無理やり勝ちに持っていったか。

プロレスのアップ作戦なんて簡単なことなのである。自然体をとことん取り入れた上でのエンタメ。闘龍門がなぜ支持を得ているかの理由がここにあった。演出だの筋書きだのを隠すから客の数がどんどん減っていくのである。エンタメでありますとハッキリ断った上で、不平不満や薄ら笑いの生じない、ビシッとした格闘技を見せる。WWEもこれに当てはまるのだ。

私は『ハッスル2』が行われた7日の夜、待ったなしの原稿を書いた。見出しが堂々と立つ記事ではない。長州が橋本と図って、『ハッスル3』をベースに、全日プロの川田を抱き込み、新日プロに対抗しうる、新しいプロレス集団を形成するのではないかとの趣旨であった。

この原稿は10日の深夜に書かれている。これまた、待ったなしの独断専行だが、この日のT紙に、長州が「俺が『ハッスル』のプロデューサーをやる」と語ったとの記事にホッとしながら、〈これで締めくくりにしよう〉とペンを置いたところだ。

右肩を負傷している破壊王がランデルマンにレフェリーストップで敗れ、メインも1vs6を強いられた小川がピンフォール負け。近来希にみるバッドエンドだったが、I編集長はここにハッスル〝リアルプロレス〟の真骨頂があったという。

WWEからハッスルを見る

締切間際だというのに「今年の『レッスルマニア』にはどうしても行く!」と言い張って、本当にアメリカまで行ってしまった本誌アメプロ担当&電気部のスモーノブに、まったく新しいリアル・プロレスの『ハッスル2』と、世界最大のプロレス祭典『レッスルマニア』を比較検証してもらいました。一体、『ハッスル』に足りないものとは何なのか?

(聞き手/ジャン斉藤)

――今日は『レッスルマニア』観戦帰りのWWE担当・スモーノブさんに、その感想を踏まえて『ハッスル』について語っていただこうかと。

ノブ いやぁ~、とにかく『レッスルマニア』は最高だった! もう何も思い残すことがないぐらいだよ……(遠い目)。

――そこまで燃え尽きましたか(笑)。

ノブ だから『ハッスル』と比較するのは難しいんだけど、敢えて比較しちゃうとイベント自体の完成度がまったく違うし、観客の熱も違う。『レッスルマニア』は開始前に、黒人の少年合唱団がリング上で「アメリカ ザ ビューティフル」というアメリカ人なら誰でも知ってるような歌を歌ってさ、会場中のみんなも起立して大合唱。みんなで「イェーッ!」って盛り上がったところにドカンドカン花火が上がるんだよ。そこに"俺様ラッパー"のジョン・シナが出てきてラップして、ビッグショーに勝つという、滑り出しからして最高に気持ち良かったんだよ。

――スタートから盛り上がりは沸点に達してるわけですね。

ノブ 『ハッスル』は観客を乗せるんじゃなくて、いきなり観客をいじるところから始まるから(笑)。日本のプロレス興行って、力道山時代から受け継がれる相撲式のままで右肩上がりで、第1試合からメインに向けて徐々に盛り上がっていくでしょ? 『ハッスル』の場合は、そんな相撲式の興行スタイルから脱却しようという心意気は感じるけど、まだ最高とは言い難い。日本の場合は難しいと思うけどね。君が代を歌えばいいかっていうと、そういうもんでもないだろうし。

――『ハッスル2』のメインがハッピーエンドじゃなかったことについてはどう思われますか?

ノブ アンハッピーでもないって感じかなぁ。とことん暗い結末ってわけじゃないもんね。『レッスルマニア』は最高にハッピーエンドだったけど。

――『レッスルマニア』と比べるのが間違ってるような気がしますね(笑)。不透明決着というか、アンハッピーに至るまでの過剰性に欠けてましたよ。

ノブ そうだね。オーちゃんと一緒に破壊王も『髙田モンスター軍』にボコボコにやられるとかね。最後に「ハッスルハッスル!!」をやるにしても、2人ともボロボロになりながらやった方が感情移入しやすかったと思うんだよ。

日本にエンタメは根付くのか?

――ノブさんは『紙プロHand』のコラムで「"日本人にエンターテインメント・プロレスは根付かない"という意見を僕は信じない。"日本語でロックは無理""日本語でラップは可能か!"という論議と同じように国民性の違いなどで語られるべきものではない」と書いてましたよね。

ノブ ただ、今回アメリカまで行ってみると、観客の熱に関しては国民性の違いも大きいなぁと痛感したよ。向こうの人たちはとにかく騒ぐから! たとえば、俺がタイムズスクエアでお土産を買うために「トイザらス」に入ったんだよ。で、ヒップホップがガンガン流れててさ、アフリカ系の女の子がノリノリでレジを打ってるんだよね。俺がレジの前に立っても、しばらく踊ってんの(笑)。でも、俺が持ってるミステリオのマスク付きフィギュアを見た途端、踊りも止めて仕事も忘れて「ちょっとちょっと、これミステリオのマスクよ!」って、2つぐらい隣のレジの子に駆け寄って騒いでるんだよ。

――仕事をナメてますよ、そのアフロ女は(笑)。

ノブ だけど、このノリは凄く大事だと思う! これは国民性の違いとしか言いようがないんだよ。ミステリオというかWWEがそこまでさせてしまうところもあるんだろうけどね。日本で髙田総統がめちゃくちゃブレイクして、「トイザらス」に髙田総統のフェギュアが置かれたと仮定すると……。

――すごい仮定ですね(笑)。可能性は十分あると思いますけど。

ノブ ただ、日本の「トイザらス」で店員の女の子が、髙田総統のフィギュアでそんなに騒ぐかといったら、そうはならないと思うし。やっぱ日本人はいろんなものに縛られ過ぎてるなぁと感じたね。だからといって、日本にエンターテインメント・プロレスが根付かないとは思わないんだよ。ノリが違うだけで、日本にだってエンターテインメントはあるからね。アメリカのエンターテインメント・プロレスをそのままストレートに持ち込むのではなく、日本流にアレンジすればいいだけの話だと思う。「一番いいのは浪花節だよ」って、武藤も言ってたし。日本に根付くとしたら、浪花節的な世界がいちばん感情移入しやすいと思うなぁ。だから『ハッスル』の手法はディスコじゃなくて演歌にすべき!

――国民に根付いてる文化をアレンジした方が溶け込みやすそうですね。

ノブ 破壊王だったらドリフ的な世界でもいいんだけどさ。

――ドリフといえば、頚部リンパ節ガンでお亡くなりになられたドリフターズのリーダー、いかりや長介さんのご冥福をお祈りしないといけませんね……。

ノブ 心からご冥福をお祈りします。いままでありがとう、長さん!! ……でね、あれだけ受け入れられたドリフにしても、もともと根っこにあるのはファンクだったでしょ。『ドリフのズンドコ節』とかやってたけど、あれもファンクが下敷きになってたからね。

――元バンドマンでアンカス・ヤングを完コピできるという噂もある本誌ハッスル編集長・山口日昇は以前、「輸入した専門的な音楽を『なんとかマンボ』とか『なんとかジルバ』とか一度歌謡曲に変換して、それをスターというフィルターを通して普及させてようとした」って言ってましたよ。

ノブ そうそう。そうやって変換することで泥臭いファンクが、日本でも通用したんだよね。アフロ・アメリカンが来日して必ず見るテレビは志村けんだって前から言われてるし、格闘技の世界でも外人選手はすぐ志村のマネするじゃん。ルッテンも「アイーン」とかってやってたし。そういえば最近、日本選手でも誰か「アイーン」やってたなぁ……?

―あ、破壊王だ！『ハッスル』は演歌的世界より、ドリフ的世界のほうが変換しやすいかも（笑）。

WWEのカミングアウト

―偶然とはいえ、『泣き虫』を発端とする『ハッスル』のスタートの仕方というのは、もっと評価してもいいかなとは思うんですよ。

ノブ 裏をバラした上で『ハッスル』を始めてるわけだからね。WWEにしても表と裏をきっちり分けて見せるから、その裏と表をひっくり返したときのインパクトが凄く大きいんだよ。たとえば2月の日本ツアーで、試合中にモーリーが「ケガをした」ってスタッフが慌てて救援にきたんだよ。スタッフに抱えられてモーリーがリングを降りる。観客も温かい拍手を送ってたんだけど、その瞬間にロープを開けてくれた対戦相手のリタをモーリーがバコーンって蹴っ飛ばしたんだよ。

―それはビックリしますねえ（笑）。

ノブ 『ハッスル』もプロレスの表裏をひっくり返して見せることで、面白くなる余地はあると思うんだよ。ただ、WWEもそこまでいくのに時間が掛かってる。97年12月に視聴者へ向けて「エンターテイメント宣言」してるわけだけど、85年に『レッスルマニア』を開始してから約12年間のタメがあったからこそ宣言できたわけだし。裏を見せ始めたのは、97年のブレッド・ハートのダブルクロス事件（リング外からショーン・マイケルズを勝たせるようにビンスが指示をした）が契機になったこともあるけどね。

―ブレッドのドキュメンタリー映画「レスリング・ウィズ・シャドウ」で、プロレスの仕組みが公になったわけですよね。

ノブ もともとWWEは完全にエンタメ路線に方向転換をしたくて、当時の象徴だったブレッドを切るために仕組んだ騙し討ちなんだけど。それでエンタメ路線の加速が付いた。プロレスはこういう世界だって説明がしやすくなったんだよね。ビンスにしても『レッスルマニア』を始めたときにレスラーや関係者から「お前は詐欺師だ。お前のやってることはフェイクだ！」って散々に非難されてるからね。そのときは、俳優のミスターTがホーガンと組んでパイパー&オンドーフ組と闘って、レフェリーがモハメド・アリなんだけど……。

―メチャクチャ面白そうなメンツですね。当時は叩かれたわけですか？

ノブ WWEの『レッスルマニア・オフィシャル・インサイダーズ・ストーリー』って本を読む限りでは、ビンスは叩かれていたみたいだね。それでも「我々がやっていることはエンターテインメントだ。それも今までにない高い次元でスポーツとエンターテインメントを融合させたものだ。この仕事をこなすことがどれだけ労力を費やすか君たちは分かっていない」って反論してたみたいだけど。これ、髙田総統とか榊原代表に、そっくりそのまんま言ってもらいたいよ。

破壊なくして創造なし

ノブ ただ、今回の『レッスルマニア』を見て思ったのが、WWEは方向転換しようとしてるってこと。いままでのWWEは派手な演出とかムチャクチャなストーリーラインってイメージだったけど、試合を重視し始めたんだよ。

―『RAW』と『SMACKDOWN!』でドラフトするんですよね？

ノブ そう。象徴的なのは、いちばん試合が上手いエディ・ゲレロとクリス・ベノワが、それぞれのブランドでチャンピオンになったこと。もちろんストーリーラインを練りこむ作業もするんだろうけど、これからは試合のクオリティーを上げていくことに力を注ぐと思うんだよ。WWEは散々プロレスを壊してきたじゃん。85年『レッスルマニア』を始めて、97年にエンタメ宣言して、さらに暴走して。そして今年は新たに作り直そうとしている。破壊の後にまた創造しようとしてるからね。まさしく破壊なくして創造なし。『ハッスル』もまず壊すことが必要だよ。

―でも、『ハッスル』は他のプロレス団体に協力してもらって成り立つプロモーションですよ。団体だったら自前の選手の方向性を完全にコントロールできますけど、現状では、従来のプロレスにいろいろと貼り付ける作業になりますよね。

ノブ WWEのようにひとつのストーリーラインに乗って巡業して、PPVで儲けるやり方は無理だよね。『ハッスル』に何を壊してほしいかといえば、猪木さんを頂点とする格闘プロレスや、プロレス最強幻想じゃない？ いまだに悪い意味で守ってる人たちがいっぱいいる。髙田は真っ先に壊したけどさ。

―小川も暴走王スタイルの象徴であったグローブを捨てましたよね。

ノブ オーちゃんは強さのイメージを捨てる必要はないけれど、別の方向でもいけることをアピールしてほしいんだよ。〝プロレスは格闘技である〟というーつのテーゼみたいなモノを壊してほしいね。プロレスと格闘技を融合させるんじゃなくて、プロレスとエンターテインメントを融合させる。そのためにプロモを取り込んで試合に至るまでの演出を強化していくことはいいことだと思うよ。

―かつての猪木vs蝶野の札幌劇場なんかにしても、より映像化していったほういいわけですか？

ノブ う〜ん。猪木さんはまた特別だからなあ。

―猪木さんはアドリブ芸人ですからね（笑）。逆にこれまでの日本のプロレスの面白さというのは、そのアドリブの面白さでもありましたよね。

ノブ いや、それは限界にきてるでしょ。猪木さんもワンパターンになっちゃってるし。だったら「ハッスル」は計算されたプロモでいったほうがいい。

『ハッスル』に整合性がない？

―最後に『ハッスル』に対する各専門誌の報道なんですけど。

ノブ 『ゴング』は比較的アングル通りに書いてるよね。

―『週プロ』の藤本かずまさ氏は「なぜ髙田総統のもとにモンスターたちが集結したのか」「整合性がない」と言ってるわけですが。

ノブ ふ〜〜ん。じゃあ魔界倶楽部の目的って何？

―もちろん新日本プロレス転覆に決まってますよ！（笑）。

ノブ じゃあ、そこにボブ・サップがなぜ加わるの？「整合性がない」なんていったら、叩くべきプロレス団体は他にもいっぱいあるんじゃない？『ハッスル』は『泣き虫』を基点とする流れをちゃんと作ってるでしょ。そもそも整合性があるからプロレスが面白いのかっていう話になるんだけど。

―蝶野の裏切りにいくら辻褄があっていようが興味ないですね（笑）。

ノブ 『ハッスル』もいまは無理があるように思えることも、のちのち整合性が出てくるかもしれないし、それを狙ってるフシも随所に見えるしね。日本のプロレスと同じように報道するのは難しいと思うけどさ。『ハッスル』を伝えるには芸能マスコミ的なやりとか映画業界的なやり方とか出来るでしょ？

―専門誌も方法論が問われてくるわけですね。

ノブ アメリカでは駅のキオスクにロウとスマックの両マガジンがあったり、コンビニなんかにはそれ以外にも2〜3種類のプロレス雑誌が並んでたよ。

―ビジネスとしては可能性はないわけでもない、と。

ノブ 需要があればね。WWEなんて新聞なんかがイチイチ報道してるわけじゃないからね。熱があるファンは自分でウェブなりで調べて予習してくるわけだよ。『ハッスル』もそういう熱を持ったファンを育てるのは大事だと思う。ファンが入り込みやすいようにしてくれることを期待するよ！ あと最も『ハッスル』に言いたいのは、WWEのようにビールを飲みながら観戦できる会場でやること！（笑）。

―アルコールが許されるのは、ワイングラスが総統アイテムのひとつとなっている髙田だけですよ（笑）。

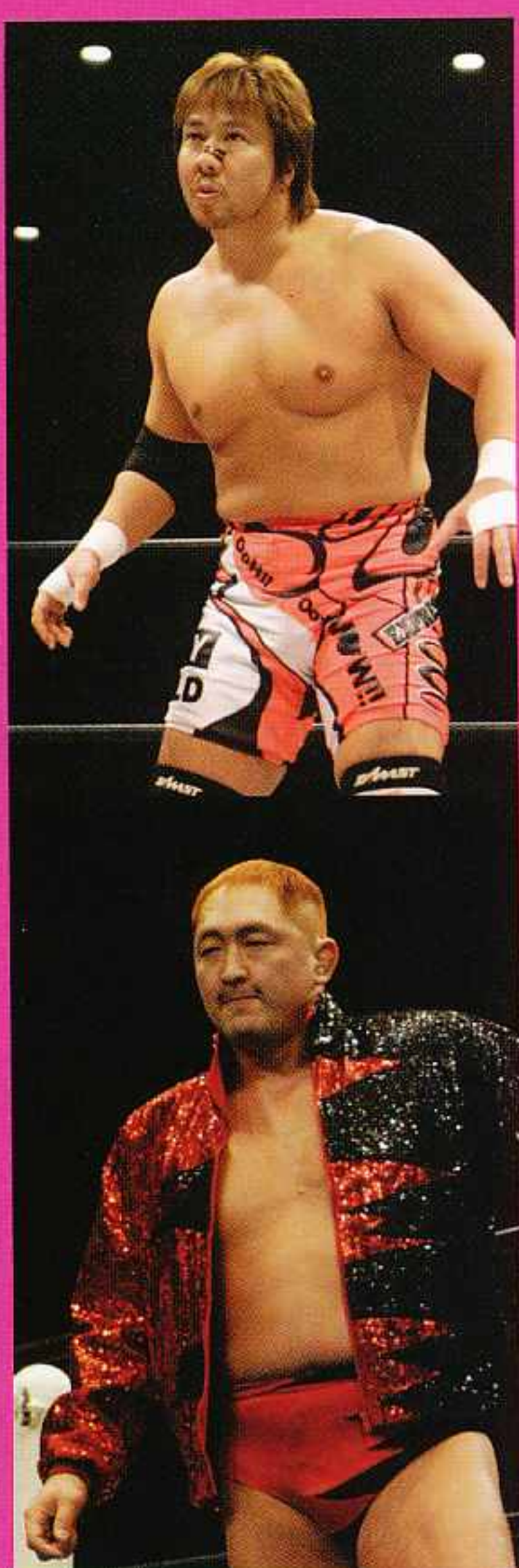
5・8『ハッスル3』〝例の計画〟が驚ガクの嵐を起こす!!

日本のプロレス界を根こそぎブチ壊す『髙田モンスター軍』に対抗するため――

敵艦見ユ、いざ発進!! 『ハッスル連合艦隊』結成!!

“正義の味方”がスーパーハッスル! 『OHハッスル軍』がパワーアップ!!

『ハッスル連合艦隊』に入っちゃうぞバカヤロー!? 大谷、小島の動向は?

まさか!? 長州、川田が『ハッスル連合艦隊』入り!?

あまりにも衝撃的な姿で観客の前に現れた髙田総統が葉巻をくゆらせながら「オイ、島田。例の件は進んでいるか?」と問いかける。島田〝ヤドカリ〟裕二プロデューサーは「はい! 着々と進んでいます。もう外堀は埋まっています」と薄笑い。そんな不気味なエンディングで3月7日『ハッスル2』は幕を閉じた。

「例の計画」とは一体何のことなのか? 「敵はリングの中のモンスターとは限らない」という髙田総統の言葉と、「外堀は埋まってます」というヤドカリ島田の言葉から推察するに、リングの中の制圧だけではなさそうだ。『PRIDE』統括本部長・髙田延彦とド太いパイプを持つと言われる髙田総統だけに、本当にプロレスを日本から消し去り、『PRIDE』=総合格闘技だけ隆盛すればいいという野望があるのではないか? という憶測も飛び交っているほどだ。

しかし、「例の計画」の奥にうごめくものは、現時点ではある意味遠大すぎて、まったく見えてこない。いつ何時、髙田総統の「例の計画」が表面に出るのか、注意深く見守る必要があるだろう。

いずれにしろ『ハッスル2』で「ハッスルOH軍」を完膚なきまでに叩きのめした「髙田モンスター軍」が、『ハッスル3』ではさらにパワーアップすることだけは間違いない。

こうなると、破壊王が手負いの現状では、やはりOH2人でモンスターたちに立ち向かうのは無理がありすぎる。現在、OH砲は数々の恩讐を超え、長州力や川田利明に連携を呼びかけている。

その動向がどう転んでいくかは予断を許さないが、これにより「ハッスルOH軍」は、デスラー総統に立ち向かった宇宙戦艦ヤマトの乗組員たちのように、「ハッスル連合艦隊」として、手に手を取ってスケールアップする可能性が出てきたのだ!

いや、そうでもしない限り、髙田総統の限りなく高いモチベーションには太刀打ちできないだろう。OHが必死に守ろうとしているプロレス界そのものは、いままさに自分の手で首を絞めて死にかけている真っ最中なのだ。「ハッスル連合艦隊」が結束力を高めていかない限り、日本のプロレス界の未来は限りなく暗いと言わざるを得ない。

髙田総統の「根こそぎ、日本のプロレス界をブチ壊す!」という野望が本気であると明らかになった以上、5・8『ハッスル3』はストーリーの大きなターニングポイントとなるはずだ。

これを見逃すということは、プロレス界の未来から目をそらすという行為でもあるのだ。ビビらずに、たじろがずに見るべし! ドゥ・ザ・ハッソー!!

3・7『ハッスル2』 東海テレビで高視聴率獲得!

3・7『ハッスル2』が「純度100%・新プロレス・ハッスル2」という番組タイトルで、3月14日の深夜24：30から25：55の時間帯に東海テレビより放映された。視聴率は最高6.9%、平均4.8%という高い数字を獲得!! 占拠率は23．9%で同時刻第1位に輝いた。ナビゲーターを務めた“ゆうこりん”こと小倉優子が視聴者を惹きつけたという声もあるが、世の中には山口日昇のように「小倉優子って●V女優?」などと失言を吐く、ゆうこりんを知らない輩が多数いるのは事実。一般層、『PRIDE』ファンには好評な『ハッスル』だけに、その魅力がそのまま視聴率に直結したと推測できる。

見てみ、このハッスルぶり！
この男、応援せずにいられない!!

「いまはこんな身体だけど、また、強い破壊王が帰ってくるよ。間違いない!!」（長井秀和調）

3周年記念興行として行われた2・29両国大会、そして3・7『ハッスル2』と、破壊王及びZERO－ONEが勝負を賭けた二大ビッグマッチは両大会ともに終了後、観客から不満の声が続出。その時リング上の破壊王は何を感じていたのか？　インタビューすべく3・17福島大会を訪れ破壊王の登場を待つも、約束の4時にはその姿のかけらもなし！　結局、本人が現れたのは大会開始後の7時半過ぎ。そんな破壊王に試合直前まで話を聞かせてもらいました

聞き手／松澤チョロ　撮影／平工幸雄

designed by hisa (Two Three)

祝 ZERO-ONE3周年突破インタビュー

橋本真也

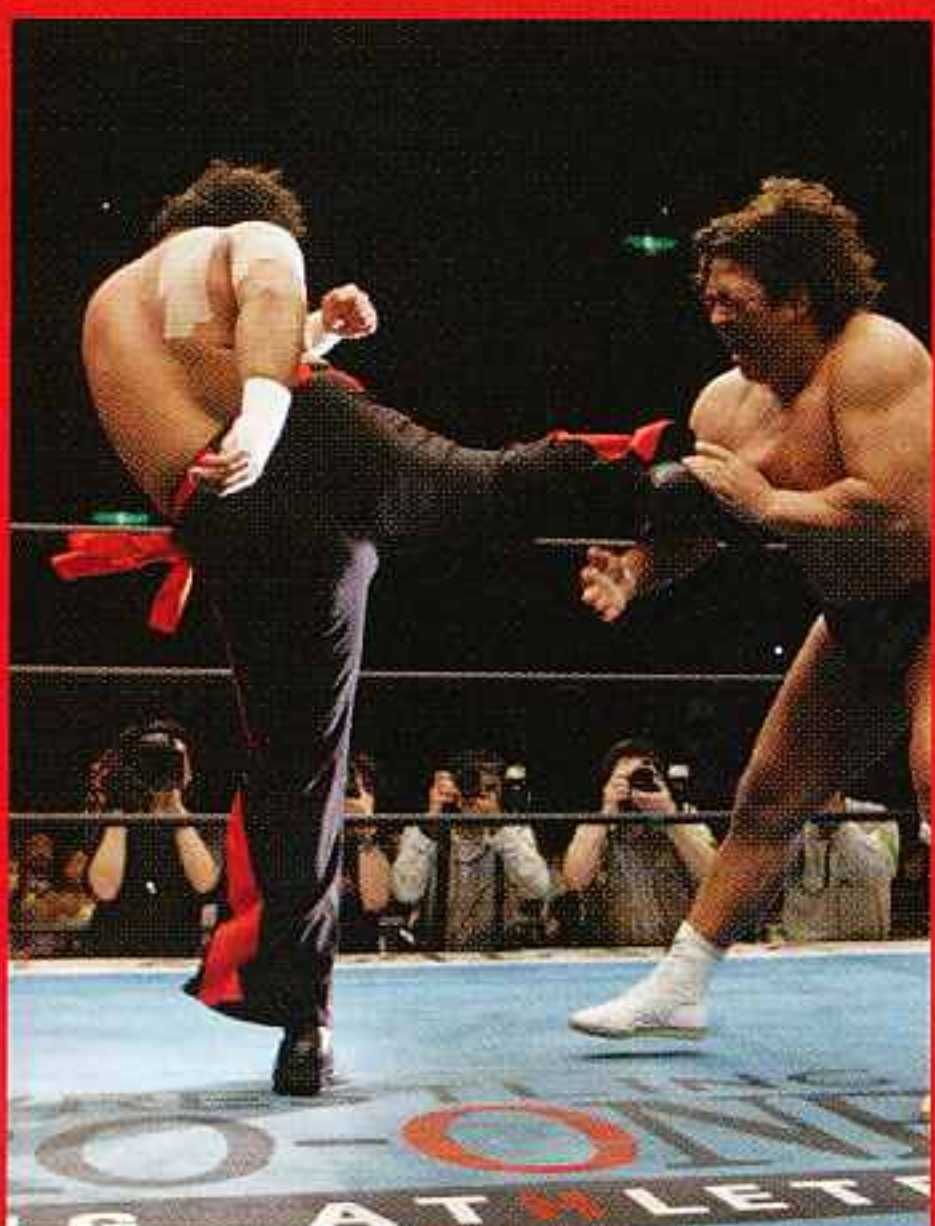
――橋本さんとも親交の深い杉本彩さんは最近、かなりハッスルしてますよね（笑）。
橋本 アレは凄いなぁ。見てて、やらしい気持ちになるよな。
――やりすぎって話もありますけど。
橋本 やりすぎや！ でも、やりすぎなんだけど見ちゃうんだよな。
――男の悲しい性ですね。
橋本 俺もテングになりたいと思ったよ（笑）。要するにエロスの中のエロスだろ。こんなことしてみたいっていう願望だよな。もうたまんねえよ！ だって、可愛いとか綺麗とかで見せてるんじゃないもんな。
――何なんですかね？
橋本 とにかく、やらしい！
――アハハハハ！
橋本 俺もそのうち一緒に共演したいな。
――SMシーンがあっても問題ないと？
橋本 そんなもん、喜んでやるよ！（笑）。
――さすが破壊王です！（笑）。同じくプロレス界でハッスルしてると言えば、やはり佐々木健介さんだと思うんですけど、橋本さん的にはどうですか？ IWGP王座まで獲っちゃいましたよ。
橋本 気にしてない！
――やっぱり興味はないんですね？
橋本 観てないからわからない。俺はな……アイツのことは言いたくもないんだよ、ハッキリ言ったら。言いたくもねえけど、まあ女房のおかげだと思うよ。
――みんな言いますよね。橋本さんも北斗さんとは北朝鮮で接点ありましたからね。
橋本 いや、変な意味じゃなくてな。多分そのひと言でわかる人がいっぱいいると思うよ。もちろん、健介の努力がどうのこうのもあるかもしれないけど、好き嫌いは別にしてな、やっぱり女房の功績だろうな。女房としての動き方というか、そういうのが大きいんじゃないか。
――やっぱり、引退しているとはいえプロレス頭は凄い人ですからね。
橋本 そう思うよ。ただ俺はアイツに関しては、それしか言いたくないんや。なんだかんだ言って絡まれたらたまらねえよ。
――……話題を変えます。いろいろと大変だったとは思いますが、3周年記念興行の両国大会と『ハッスル2』が終わったわけですが、いかがですか？
橋本 まあ、反省する点が多かったよな。それに、そん時そん時の次元的に考えれば、決していい次元というか、いい運気ではなかったとは思うし。
――それは橋本真也個人としてですか？
橋本 俺もそうだし、会社もそうだよな。プロレス界全部がそうなのかもしれないけど、3周年にあれだけの選手を揃えて、お客さんが入らないっていうのが現状。それはウチだけのせいじゃないかもしれない。みんなで潰し合ってるせいかもしれないけどな。川田戦から始まって、長州戦、で、『ハッスル』と続いて戦績も良くないしな。
――結果だけ見ると負け越しですからね。
橋本 ただ、俺なりに納得できてるところもあるし、よく乗り切ったなとは思ってるよ。川田戦が皮切りだったけど、川田戦で治りかけてたものが、また悪くなっちゃって、長州さんとの試合の時には朝から不整脈になったからな。
――あ、そうだったんですか⁉
橋本 それプラス、肩が外れたっていうのもあって。あの日はホント、「俺が一体何したよ？」って思ったぐらいだから。
――大事な時に、いろんなことが重なっちゃったんですね。
橋本 まあ試合でやられたことに関しては俺はいつも「覚えてろよ！」しかないし。ZERO−ONEで3年間やってきて、

2.29ZERO-ONE両国国技館

破壊王 地獄の2連戦

序盤から破壊王の負傷箇所の右肩を情け容赦なく攻めまくった長州。試合中盤、長州がコーナー最上段から雪崩式ブレーンバスターを連発すると破壊王は再度脱臼！

試合途中、右肩を再び痛めた破壊王に対し長州はリキラリアット3連発で勝負をかける。力無く崩れ落ちた破壊王だったが、なんとかキックアウト

唐突な結末に不満の声があがると「ドンドン言ってくれ。全部受け止めます。叱咤されようが嫌われようが体が動く限りリングに上がります！」

因縁の一騎打ちのフィニッシュは破壊王が放った左ミドル一発！ あまりにも呆気ない幕切れに会場からは「え〜？」との不満＆罵声が飛び交った

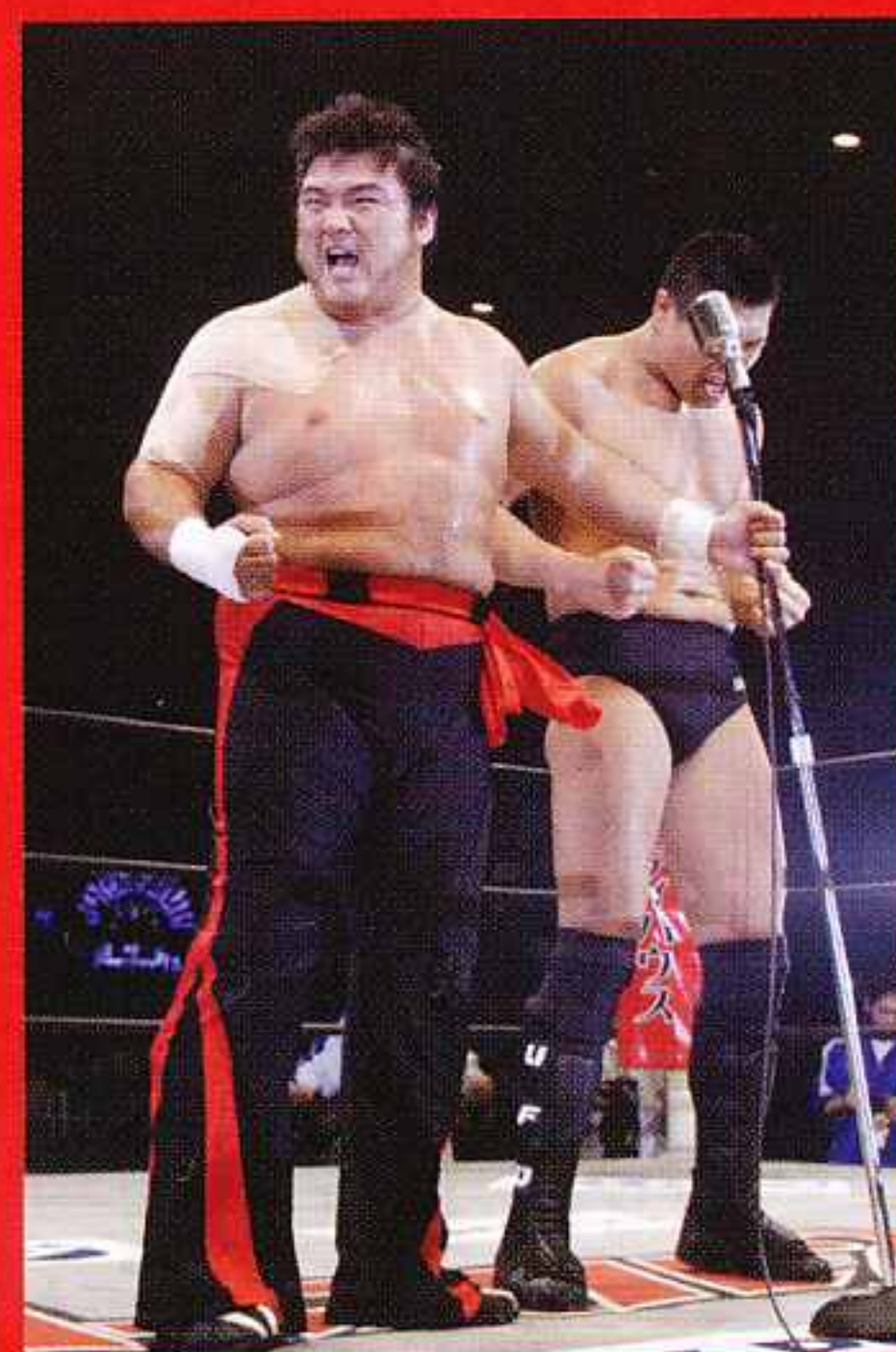
石の上にも3年だけど、石の上に3年でしっかり根付くことはできなかったな。
―橋本さん的にはできてないんですか？
橋本　いや、俺たちがしっかり、コケのようにへばりついていくつもりなんだけども、まあ簡単には認めてもらえないっていうか。それで最近、ビデオで3年間のヒストリーを観てた時に、あぁ、いろんなことやったなあと思ったけどな。
―旗揚げから現在までZERO―ONEはいろんなことやってきましたよね。
橋本　それがプロレス界の変化でもあるし、俺はやってきたことに後悔はないよ。後悔はないっちゅうか、何を後悔していいかわかんないし、後悔するつもりもないし。
―何を後悔していいかわからない（笑）。
橋本　きっと間違ったこともあっただろう。でも、そこに自分の気持ちがとどまるのも嫌だし。まあ小さく後悔することはあるよ、よ〜く思い出せばな（笑）。だけど、そこに気持ちを持っていかれず前を向いて歩いていくためには、やはり区切りは区切りとして、しっかりそれを甘んじて受けてね、次に繋げていこうって思ってますよ。
―両国での長州戦は試合内容は橋本さん自身も納得してないんでしょうけど、印象的だったのは試合後のマイクアピールで、ブーイングが飛び交う中、「何とでも言ってくれ！　すべて受け止める」って言ったのが凄く印象的でしたね。
橋本　俺からするとな、これから一番いいところを出そうとした時だからな。要はどうしても勝たなきゃいけないっていう気持ちがあったから、勝負を焦っちゃったっていうか、歌でいえばサビの部分を省略しちゃったような感じになっちゃったよな。
―確かにサビ前で止められちゃった感じはしましたね。
橋本　勝ったからいいっていうのもあるけど、プロレス的には、もっと望んでたものがあったよな。だから、勝敗だけでは、いまの時代……もちろん勝敗が一番大事だけど……それだけじゃなくて、やはり内容を見せていかないと。望んでるものが少しずつ変わってきたと思うし。
―それはあるかもしれませんね。
橋本　俺だってあんな勝ち方したくなかったっていう部分と、でも勝ちは勝ちっていう部分もあるしな。でも、それを乗り越えたところにプロレスはあるんだよ。長州力と橋本真也は、もう最後だと思って見に

Shinya Hashimoto

来た人もいるんだから。
―たくさんいたでしょうね。
橋本　ところが最後にならなかったんだよ。それも面白いなぁっていうね。俺があの時思ったのが、〝ここで終わることはできねえな〟って。あのオッサンとの関係っていう部分でな。というのはね、なんかのカルマじゃねえけどよぉ、なんか縁があんだよ（笑）。それしかねえんだよ。
―腐れ縁ってやつですかね（笑）。
橋本　ここで何で終わらねえんだと思って。なんでここで壊れるんだって。それも含めて縁なんじゃないかなって。そういうことを最近よく感じるんだよな。
―そういう歳なんですかね？
橋本　何、コラッ！（笑）。
―失礼しました。で、両国と対称的だったのが『ハッスル2』でのマイクアピールなんですけど。
橋本　『ハッスル』の時は本気で腹たったんだよ。直情してしもうた！
―どちらのアピールも橋本さんの素の感情が見えてグッと来ましたけどね。
橋本　いやいや、そのうち暴動になるんじゃねえかと思って（笑）。だけどな、黙ってられなかったんだよ。なぜかっていうと

3.7『ハッスル2』横浜アリーナ

破壊王 地獄の2連戦突破!!

右肩が動かなくても右足があるとばかりにコールマンに蹴りをブチ込んでいく破壊王。しかし、最後は負傷箇所を攻められ無念のレフェリーストップ

破壊王の髪型もリーゼント風になるぐらいの勢いでキメた最後のハッスルポーズ。モンスター軍の猛攻を浴びたオーちゃんも力の限りハッスルハッスル！

釈然としないままメインが終わると会場からは一斉にブーイング。客の1人の「金返せ」コールに激怒した破壊王は「もう来なくていい！」と激怒

髙田にひとつ言っておくよ『PRIDE』ルールでは絶対やらねえぞ！

な、試合結果云々っていうのは……悪いけどウチの興行じゃねえんだよ。

—確かにそうですよね（笑）。

橋本　それにメインは小川だしな（笑）。まあ、新しい試みでやろうとしたら、そりゃいろんな世論が飛び交うよ。特に『ハッスル』っていうのは、まだ見えてないから。

—〝何がやりたいんだ、コラッ！〟って思って観てる人も多いでしょうね。

橋本　一生懸命作ろうとしてるけど、作ろうとしてできるものがプロレスじゃないんだ。でも、その中でも考えてる選手が増えてきた。そういう状況の中で、お客さんは目利きに来てるわけだから。目利きとして観て将来性があるとかないとか観てくれればいいんだよ。それで、「金返せ！」って言うヤツがいただろ？

—その客相手に橋本さんはリング上からやりあってましたよね（笑）。

橋本　そんなヤジ、昔、随分聞いたなぁ、新日本時代（笑）。

—それこそ暴動がありましたからね。

橋本　あの頃はあの頃で違うんだけどな。ただ、いまのヤツらっていうのは本気で言うからな。だから、ついつい「金返すから帰れ！」って言っちゃったんや（笑）。

—マイクを使っての観客とのやりとりは、ある意味、新鮮でしたけどね（笑）。

橋本　俺はな、個人攻撃みたいなことは絶対やらないと思ってたんだよ。でも、あの時ばっかりはホントに頭に来たからな。それであとで聞いたら、そいつは「ハッスルハッスル！」ってやってたらしいよ（笑）。

—「金返せ！」と言いながら、序盤から客席でかなり盛り上がってたお客さんだったみたいですね（笑）。

橋本　だから、俺はあとで中村（祥之）に「金返してやるからここに連れて来い！」って言ったんだよ。俺が返す必要はなんもないんだけどな。

—まあ、そうですよね（笑）。

橋本　でもな、その怒りがあそこまで沸いてるってことは、ある意味、危機かもしれないけどな……。

—逆に可能性はあるってことですよね。

橋本　そういうことだよ。行く方向を間違えたら危ないけど、そうじゃなければ面白味はあると思うからな。

東村山限定「3、2、1、アイ～ン！」炸裂!!

小川のハッスル査定試合が組まれた2・27東村山大会の締めで破壊王から飛び出したのが「ハッスルハッスル！」ならぬ「3、2、1、アイ～ン！」。もちろん場内は一斉に「アイ～ン」ポーズで大盛り上がり。次回の東村山大会も要注目だ!!

—『ハッスル2』を観て、一番熱意というかハッスルぶりが伝わってきたのが小川さんと橋本さんだったと思うんですよ。

橋本　いや、俺はいつもと一緒だからな。

—悪の髙田モンスター軍がいて、OH砲は絶対的なヒーローというかベビーフェイスにならなきゃいけない舞台なのに……。

橋本　いや、そういう風に作り込むからおかしくなる部分もあるんだよ。みんな何時間も掛けていろんな知恵絞って考えてる人がいるんだろうし……それは俺もそうだしな。でも、「これでいい」っていうことは絶対ないんだよ。

—答えはないですからね。

橋本　だから、ダメだったらダメで修正するか、〝でもここに賭ける〟と思って先に進んでいくかっていうのはどういう風になるかはわかんないし。現場とオフィスの思い入れも微妙に違ってくるしな。

—それは昔から言われてますよね。

橋本　その辺は現場の人間に任せてやっていくしかないんじゃないかな。まあ、俺が小川に言ってやれるとすれば、あんまり細かく考えすぎるなってことだよな。

—小川さんは考えすぎだと？

橋本　だって、お前の魅力はなんだ？って言ったら「暴走王」だろって。

—それはそうですよね。小川さんがオープンフィンガーグローブを捨てたっていうのは、どう思われますか？

橋本　いや、どっちでもいいんだよ。

—どっちでもいいんですか？（笑）。

橋本　アイツは自分で脱皮しようとしてるだけだから、それはそれでいいんだよ。その気持ちを捨てて何かを拾うことになると思うから。

—捨てた分だけ……。

橋本　そう！　何かを拾うと思うんだよ、きっと。迷いの中からね。その後にフィンガーグローブ付けても前とは違うと思うよ。だから、俺は、いま取ったことに関してはこだわってない。だから、すぐ結果を求めちゃいかんって！　アイツはいま、迷いの中から出ようとしてるんだから。いろいろ試行錯誤してる最中なんだよ。俺は、それを細かすぎるって言ってるんだけどな（笑）。

—暴走王は暴走王らしくしてほしいと？

橋本　暴走王がスピードメーター守っちゃダメだろって。信号守ったらダメだろ！

—安全運転はしちゃいけないと。

橋本　ホント、安全運転なんかしてんじゃねえよ。俺も「破壊王」って言われてキレるのが信条だから。まだまだエネルギーは残ってるし、これからだと思うし。

—橋本さんは、常々プロレスラーは『仮面ライダー』のようなものって言ってましたけど、『ハッスル』では髙田総統のような悪者が現れて、『仮面ライダー』っぽくなってきてますよね？

橋本　まあ、やるんだったら中途半端な悪者であってほしくないよな。ただ、なぜプロレスを潰すのかっていうのが伝わってこないんだよな。だから、その辺のことじゃないのかな？　いまいちファンに伝わってないっていう部分は。

—観る側だけでなく、やってる選手にも届いてない部分もあるんじゃないですかね？

橋本　届いてないんだよ。なぜ、俺たちがプロレスを守らなきゃいけないのか。なぜ、あの人たちが潰すのか。その辺がハッキリ

伝わってこないと、なぜ、俺たちは潰されなきゃいけないのか？っていう理由がわからないんだよ。髙田さんは、ああいう変装してカッコイイかもしれないけどな。

――あれは変装でしたか（笑）。

橋本　ああいう格好をするにしても、しっかりとした根底がないとダメなんだよな。それが大事なことだと思うし。もし、髙田さんが潰しに来るなら俺らは闘うだけだし。ただし、ひとつ言っておくよ。『ＰＲＩＤＥ』ルールなんかで絶対やらねえぞ！　バカにすんな、コノヤローッ！

――は、橋本さん、『ＰＲＩＤＥ』の髙田統括本部長と『ハッスル』の髙田総統とは別人格だと思うんですが……。

橋本　だったら、髙田や、コラッ！　何が総統だ⁉　お前らが有利なところでやってたまるもんかって。俺らは『ＰＲＩＤＥ』を壊しにいってるつもりなんかないから。それにプロレスを壊しに来るんだったら、プロレスルールでやるのが当然の話だろ。

――『ＰＲＩＤＥ』は別としても、ＺＥＲＯ－ＯＮＥと『ハッスル』を多少なりとも連動させていく気はあるんですか？

橋本　連動っていうか、連動してしまうだろうな、一部は。なぜかというと、全く区別してできねえだろ。

――そうでしょうね。

3.19冬木軍 後楽園ホール

破壊王、冬木弘道さんの一周忌に花を添える

試合前のセレモニーで手を合わせる破壊王。黒田戦後には「冬木さんの最後の相手に選んでいただいたことのお返しができたと思います。自分ができることをやらせていただきました」と頭を下げ「（5・5）川崎では力を貸せる部分では協力していきたいと思う」

全試合終了後、冬木さんの妻・薫夫人が5月5日川崎大会をもって、冬木軍プロモーションの興行を最後とすることを発表。直後薫夫人は「今日はみんなで踊るよ」と、明るくマイク。冬木さんの等身大パネルを中心に、出場選手全員&観客のブリブラ・ダンスを披露、最後は冬木さんの入場テーマ『SHOOT IT!』で1周忌を締めくくった。

この日のメインは黒田哲広が破壊王・橋本真也とシングルで激突。幾度となく倒れては立ち上がる黒田に対し、破壊王は負傷した右腕でケサ切りチョップを放ち、強烈なキックを叩き込む。ジャンピングDDTでトドメを刺した後、黒田と固い握手を交わした。

Shinya Hashimoto

橋本　俺らは俺らのシリーズがあるけど、舞台としては俺は１人しかいないし、別々の人間じゃねえから、どうしても一部は連動していく形にはなるかもしれない。それが相乗効果になれば一番いいだろうし。で、ＤＳＥのイベントに出るのも、プロレスのためになるんだったらっていう意味だよな。なんでかっていうと、底上げしてかないとキツイと思うし。

――ＤＳＥがプロレスを本腰入れてやってるっていうのが、いまいちファンに伝わってないですからね。まあ髙田さんが絡んでるっていうのも大きいんでしょうけど。

橋本　ＤＳＥというより、『ＰＲＩＤＥ』のファンは嫌がってるんじゃないのか？

――いや、逆に『ＰＲＩＤＥ』のファンはすんなり『ハッスル』を楽しめてる人が圧倒的に多いみたいですよ。昔からのプロレスファンのほうが拒絶反応があるみたいですね。でも実際、ＤＳＥも通常のプロレスをやってもいまは客が入らないってことを実感する中で、リスクを負って新たな試みを始めたんでしょうからね。

橋本　さっきも言ったけど、いまは、すぐ結果を求めるヤツばっかだからな。

――それは言えますよね。

橋本　入り口と出口がすぐ近くにあったらダメなんだよ。そればっかだから、最近。〝チャンチャン〟で終わったらダメなんだ。そうやって考えればね、我慢できねえヤツばっか。携帯電話の普及と一緒だよ。

――そ、それはどういうことですか？

橋本　いまは、なんかあったら、すぐ電話しちゃうだろ？

――そうですね。

橋本　昔は、その人のことを想ったら、こう……胸が張り裂けそうになってよぉ、ダイヤルを回そうか回さまいかって１人で葛藤したもんや（笑）。

――アハハハハ。

橋本　それがいまやメールなんて汚ねえ方法もあるからな……俺も使ってるけど。

――使ってるんじゃないですか⁉（笑）。

橋本　たまにだけどな。

――絵文字とかも使ったりするんですか？

橋本　たまにな。ハートとか☆マークとかさ（笑）。でもよ、ホント汚いんだよ。

――何が汚いんですか？

橋本　もっと手紙書けっちゅうんだ、コノヤローッ！

――メールじゃなくて手紙を書けと？

橋本　そういうこと。それと一緒でポンポンポンッとすぐ結果が出ないとダメと思いこんだら違うよってことだよ。それがプロレスだと思うしな。

――会場も、いままでのプロレス会場ではなかったぐらいの豪華な演出でしたよね。

橋本　アレは凄かったな。俺、パチンコ屋かと思ったからな（笑）。

――アハハハハ。リング上にはミラーボールまで付いてましたからね。

橋本　踊ろうかと思ったよ（笑）。ミュージカルとも違うんだよな。なんだろうなぁ。

――大会ポスターの橋本さんはアフロヘアーに変身したイラストが使われてましたけど、髙田さんが、デスラー総統のような格好で出てきたんで、ＯＨ砲もあの格好で出てくるのかと期待してたファンもいたみたいですけど、今後可能性はありますか？

橋本　俺もＳＨＯＧＵＮとハシフ・カーンというレスラーを知ってますから。人というのは二面性を持ってますから。この先、何があるか……（ニヤリ）。

――一寸先は何が飛び出すかわからないわけですね。まあでも、『ハッスル』は１回目、２回目と内容的にはマニアからは

まあ、「ハッスルする」ってのは永遠のテーマじゃねえかな

不満の声が多いですけど、ハッスルポーズの方はかなり浸透してきてますよね。

橋本　ハッスルポーズもそうだけど『ハッスル』自体も、あれだけみんなが頑張ってやってれば、きっとそのうち見えてくるものが出てくると思うよ。まあ、「ハッスルする」ってのは永遠のテーマじゃねえかな。

――「ハッスルする」は永遠のテーマですか!? あと、肩の怪我なんですけど、会社の状態とかを考えると手術する気はないんですよね。西洋医学は信じないって会見でも言ってましたし。

橋本　いや、信じないことはないよ。一番信じてるよ。薬も飲むし。そうじゃなくて、西洋医学を信じてるからこそ、最後の手段として取っておく。ただ、いまはその時間が惜しまれるっていう部分と、このまま治せるっていう、ちょっとした期待があるんでね。もうひとつ言うと、手術したからといって100％治るとは限らないからな。

――野球選手とかもメスを入れてダメになっちゃう選手も多いですからね。

橋本　そうやろ。まあ、みんないろんなこと言って気遣ってくれることに関してはホントありがたいと思うし。俺の身体だから、粗末にしてるわけじゃないんだよ。俺たちは日頃からサプリメント飲んだりして普通の人よりよっぽど身体に気を遣ってると思うよ。それでも、たった一試合で壊れてしまうんだよ……まあ、また強い破壊王が帰ってくるよ。間違いない！（長井秀和調）。

――それなら安心です。『ハッスル2』での最後のハッスルポーズの時のような気合いの入った顔をもっと見せてもらいたいですよ。ホント、凄くいい顔してましたよ！

橋本　どんな顔だよ？ 必死な顔か？

――これ以上ない必死な顔でしたね（笑）。プロレスファンなら応援してあげないとって思わせるようなパワーを感じましたよ。

橋本　そうか（笑）。ただ、俺ひとりじゃどうなるもんじゃないっていうか。まあ、みんなの力をもらいたいし、みんながハッスルしなきゃダメなんだよ。日本中がハッスルしないとやられちゃうぞ！

――「日本総ハッスル計画」ですか。まあ、橋本さん的にはビビッてもいないし、たじろいでもいないわけですね。

橋本　そんなもん当たり前だよ！ そんなことより、最後にひと言いいか!?

――はぁ、なんでしょうか？

橋本　自衛隊、頑張れ！ 以上！

――破壊王らしい締めのお言葉、ありがとうございました！（笑）。

【3・17／ＺＥＲＯ－ＯＮＥ郡山大会、メインの破壊王の試合直前、控室にて収録】

橋本がイラク派遣の自衛隊を訪問

小川の口撃に意外な反応 長州 共闘を示唆

3月15日、大会前、陸上自衛隊旭川駐屯地を訪問した破壊王。同駐屯地からはイラク・サマワに隊員を派遣しており、破壊王は無事戻って来られるようにと願いを込めた黄色いハンカチや寄付金を贈呈。（『東スポ』3・17付）

ZERO-ONE情報

『破壊革命』

4月18日（日）愛知・名古屋国際会議場（17:00）
4月19日（月）富山・テクノホール（18:30）
4月21日（水）長崎・佐世保市体育文化館（18:30）
4月22日（木）長崎・大村市体育文化センター シーハットおおむら（18:30）
4月23日（金）佐賀・唐津市文化体育館（18:30）
4月24日（土）福岡・小倉北体育館（18:30）
4月25日（日）福岡・博多スターレーン（16:00）

『ZERO-ONE SPECIAL in MATSUYAMA』

4月26日（月）愛媛・アイテムえひめ（18:30）
4月28日（水）大阪・大阪府立体育会館第2競技場（18:30）
4月30日（金）東京・後楽園ホール（18:30）

【問い合わせ】ZERO-ONE TEL.03-5730-3401

『バトルトーク in コロッセオ vol.1
～プロレス防衛軍 提督宣言～永島勝司vs中村祥之』
［日時］3月31日（水）　19:00～21:00
［場所］ファイティングカフェ・コロッセオ
［会費］3000円 ［定員］40名
［ゲスト］永島勝司　中村祥之
［お問い合わせ］ファイティングカフェ・コロッセオ
TEL.03-3512-0522（17:30～24:00）
http://www.colosseo.jp/

全日本NEWS

全日本、テレ東で放送決定!

4月から毎週、全日本プロレスがTVで見られる!! 3月19日、都内ホテルで記者会見が行われ、4月5日よりテレビ東京で全日本プロレスの地上波放送がスタートすることが発表された。会見に出席したテレビ東京の藤井潤一プロデューサーは「全日本プロレスを全国的、世界的なソフトに育てたい」と意欲的なコメント。武藤敬司社長は「これをきっかけに、地盤沈下したプロレス界を活性化させて、全日本を日本一、いや世界一のプロレス団体にしたい」と、喜びをみせた。

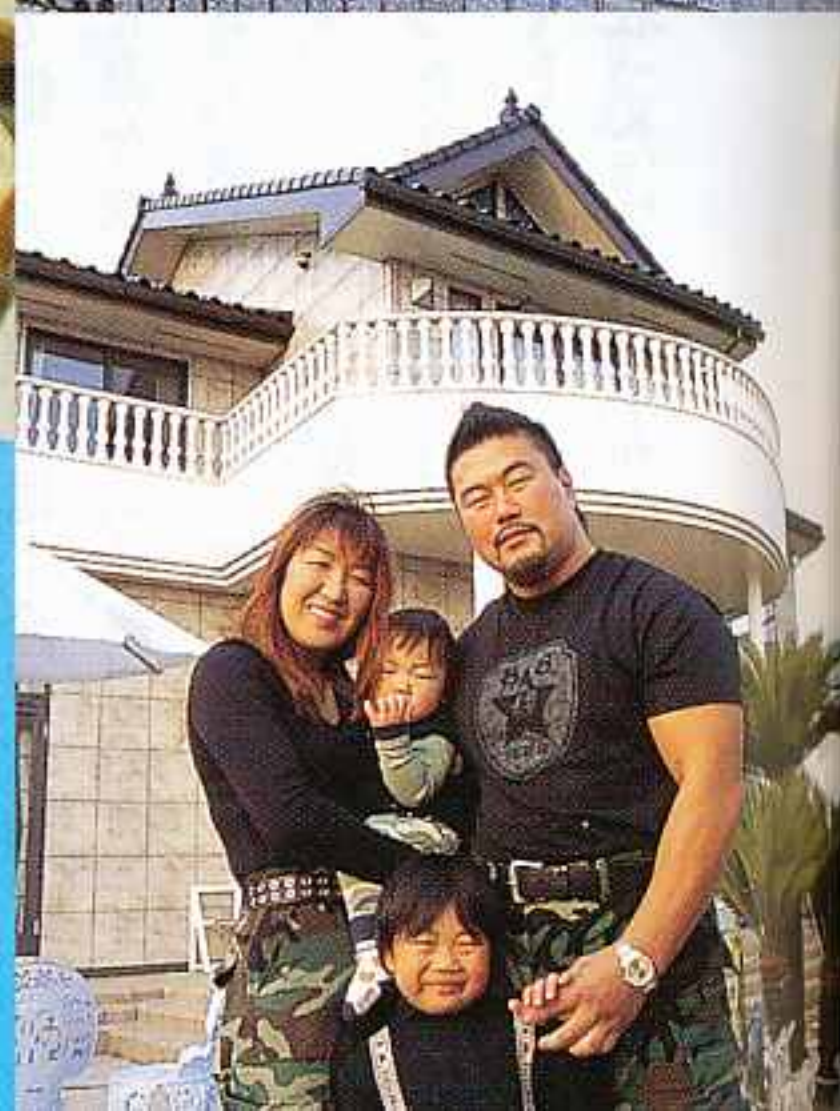
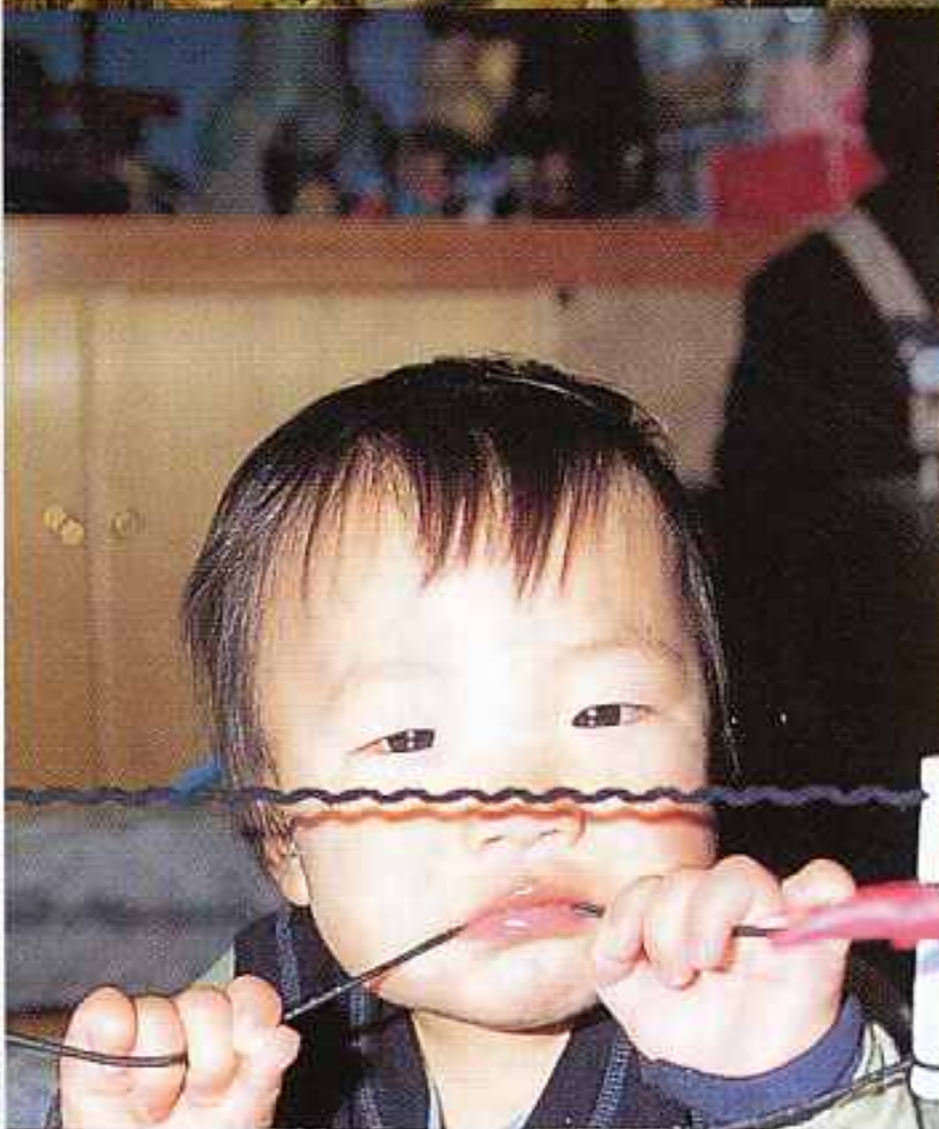
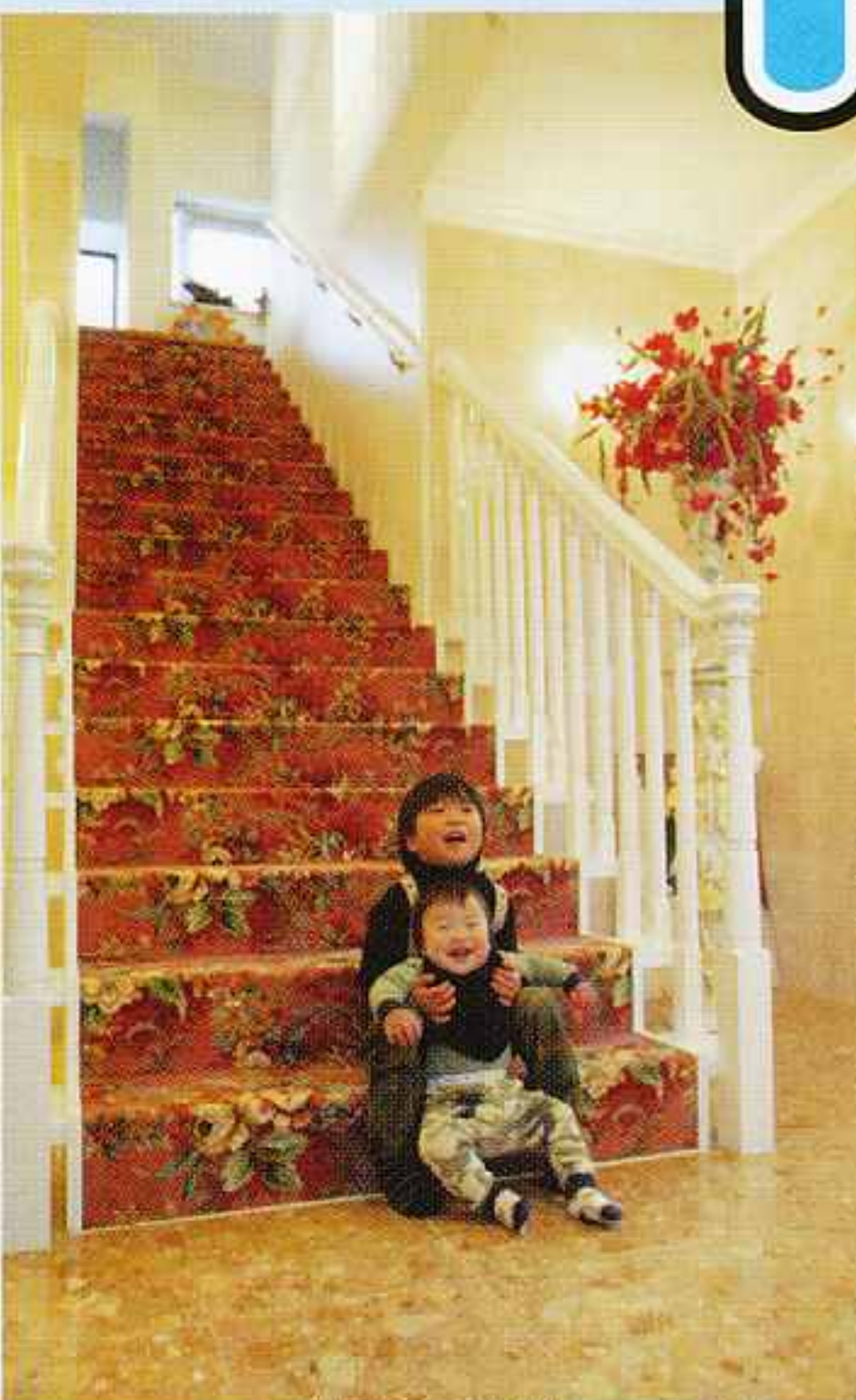
また、同会見の席上でアマレス全日本王者・諏訪間幸平の全日本入団が発表され、諏訪間はジャンボ鶴田の名言「全日本プロレスに就職します」をなぞった「全日本プロレスに就職した諏訪間幸平です」と自己紹介を行った。諏訪間は昭和51年11月23日生まれの28歳、188センチ、120キロ。ジャンボ鶴田を生み出した中央大学でレスリングを学び、全日本大学選手権等で活躍してきた逸材だ。

全日本テレビ放送の初回は4月5日（月）の深夜、番組名は『ＡＬＬ ＪＡＰＡＮ ＰＲＯＷＲＥＳＴＬＩＮＧプロレスＬＯＶＥ～夜のシャイニングインパクト』。5日のみ26：30からの放送で、以降は26：00から30分の放送となる。

不定期連載
第1回

プロレスラー&格闘家 お宅訪問

突撃！佐々木健介邸

突撃／松澤チョロ
撮影／丸山剛史
designed by matsu（Two Three）

マット界最強の豪邸は健介邸で決まり！　と、闘う前から宣言してしまいそうになるのが、
この佐々木健介邸。ここ最近プロレスラーがテレビに取り上げられるのは貧乏自慢とか
そんなのばっかで夢も希望もありゃしない。その点、どうです、この豪邸!?
何から何までゴージャス。夢と希望が満ち溢れてます！　というわけで不定期連載
「プロレスラー&格闘家お宅訪問」、一発目は誰もが気になっていた佐々木健介邸に突撃ーッ！

正直、ボクのイメージでは
家を建てる時は
和風だったんですよ

家賃も健さん。家を買う時も
頭金もローンも健さん。
結婚式も全部、健さん（笑）

突撃！佐々木健介邸

健介＆北斗が座っているこのゴージャスなソファはイタリアの高級輸入家具コルチャゴのもの。他にもシリックという同じ様なイタリア製の高級家具でリビングは統一しているという健介邸。「家具だけで、ちょっとしたマンション買えますよ」と屈託のない笑顔で語る健介。ちょっとしたマンションも買えない貧乏人には、その笑顔眩しすぎ！

正直、お待たせ！　遂に噂の佐々木健介邸をヴァーッとクァーッと大公開ッ!!

というわけで、やってきました埼玉某所の健介邸。周りは見渡す限りの大自然！早速「おじゃましま～す！」とインターホンを押すと佐々木家勢揃いでのお出迎え。健介邸について聞きたいことは山ほどあるが、やはり誰もが気になっているのが、100％北斗の趣味と思われるヨーロッパ調のゴージャスな家具の数々。聞く前から答えはわかっちゃいるけど、お約束で確認してみました。ズバリ、北斗の趣味なの？

健介　9割以上が北斗の趣味ですね（笑）。

あ、やっぱり。健介の趣味はたった1割？

健介　ボクの趣味は和室一室と、その前の植木スペースだけなんスよ（苦笑）。

何年か前、TVの企画で健介邸が紹介されたが、その時も周りの造りから浮きまくっている和室で、肩身が狭そうにくつろぐ健介の姿が思い出される。その和室に案内してもらい、健介お気に入りの刀やら掛け軸を紹介してもらっていると健之介クンが「オモチャであそぼ！」と乱入。「オモチャで遊ぶのは健之介クンの部屋に行ってからね」と、はぐらかすと「この部屋にもオモチャいっぱいあるよ！」と押し入れを指さす健之介クン。も、もしかして……。

健介　そうなんスよ（苦笑）。押し入れの中はオモチャで占領されてますね。ボクの居場所はどこにあるんだろうなって。

嗚呼、可哀想な健介……。

健介　家具は全部ウチのヤツの趣味なんですけど、唯一シャンデリアだけはボクの一目惚れで買ったんですよ。『シャンデリアだけは俺に選ばせてくれ！』って（笑）。

真上を見上げると金ピカに光り輝くシャンデリアを発見！　見るからに高そうだ。

健介　アレ、本物の金なんですよ。24金で。たしか300万ぐらいしたよな？

北斗　そう。かなり値切ったけどね（笑）。店の人から『もう勘弁してください』って言われるぐらい粘ったからさ（笑）。

値段も凄いが北斗も凄い。やはり私生活もデンジャラスクイーンである。でも、シャンデリアが300万となると、北斗の趣味で揃えた家具も相当するんだろうなぁ。

健介　家具だけで、ちょっとしたマンション買えますよ。金額見てビックリしたもん。

ギョギョ！　こちとら、ちょっとしたマンションも買えないっちゅーのに。

北斗　いつか家建てたら木の彫刻の布ソファのイタリア家具が欲しいと思ってて、そういう家具の本とかよく買ってたんだけど、どこ見ても売ってなくて。それが、たまたま、ちっちゃく彫刻のベットが載ってるのを発見したの。岐阜の店だったんだけど『見るだけでいいから』って言って（笑）。

健介　見るだけで済むわけがない（笑）。でも、『こういう家具に囲まれて住むのが夢だった』とか言われたら、男だったら「よし！」って思うじゃないですか？

たしかにそうは思うけど……ホント、健介！　お前は男の中の男だよ!!

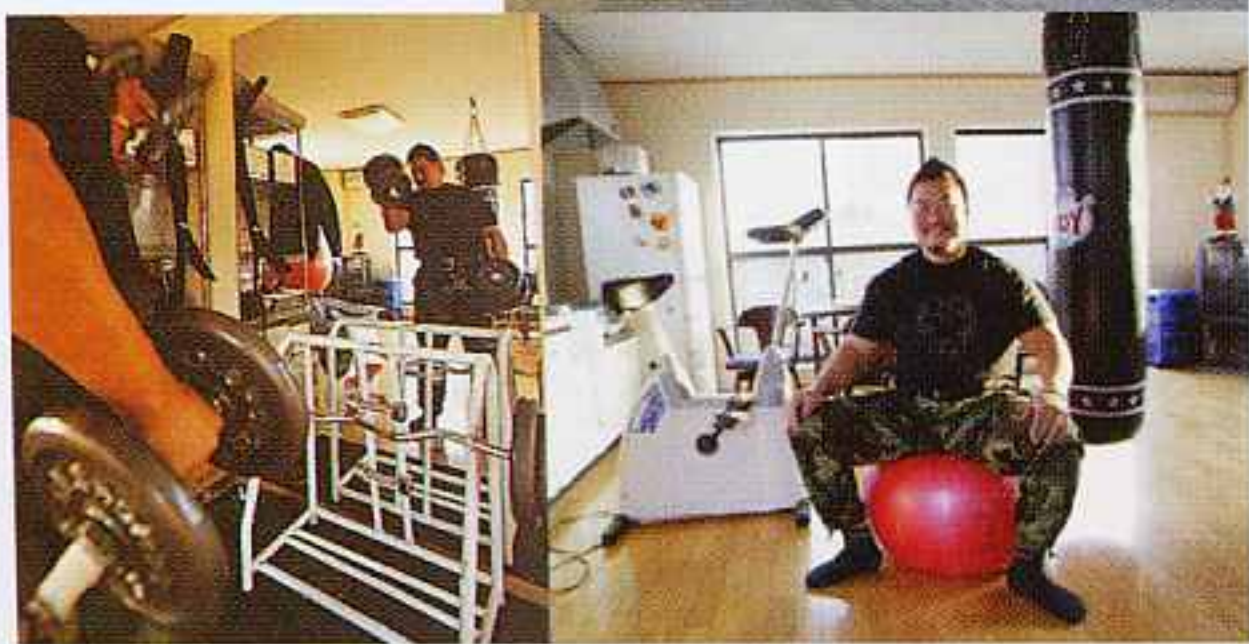
健介　でも正直、ボクのイメージでは家を建てる時は和風だったんですよ（笑）。知り合いの工務店の人と話して和風のイメージで進めようとしたら『そんなの嫌だ』って反対されて。結局、ドンドンこういう感じになってきたんですよね（笑）。

北斗　だって健さん、最初は『全部瓦屋根で平屋の立派な家がいい』って言うんだもん。『そんなの歳取って建て替える時でいいじゃんか』って言って却下！（笑）。

健介　歳取ったらって言うけど俺たちプロレスやっててヒザとか腰とか痛めてるし、階段とか歳取ったらキツイかなって思うわ

健介の隠れ部屋発見！

健介邸の真横にある駐車場兼、秘密の隠れ部屋。早速、案内してもらうと、そこには冷蔵庫からTVにトレーニング器具までズラリ。「喧嘩した時はここに避難するんですよ」とニッコリ。髪型は仮面ライダー剣を意識してるんだって

健介こだわりの和室も押し入れはオモチャの山！

お気に入りの刀や掛け軸を眺め、ホッと一息つく健介。しかし健之介クンが乱入すると、さあ大変。健介こだわりの和室のはずが押し入れを開けるとオモチャの山。「ちっちゃい頃、あまり買ってもらえなかったから、つい買ってあげちゃうんですよね」。親バカ万歳！

家の周りはヴァーッと大自然！

埼玉某所にある健介邸の周りは見渡す限りの大自然！　100メートル先からでも余裕で確認できます。『東スポ』でお馴染みの山ごもりや樹海特訓もヴァーッと朝飯前！

オモチャだらけの健ノ介クンの部屋

健之介クンの部屋の押し入れを開けると、出てくる出てくるオモチャの山。オモチャ箱を漁っているとド真ん中から長州フィギュアを発見！　健之介クンは「お兄ちゃん、これいらないからあげる」と無邪気な笑顔。これには健介も「親に似たのかな？」と苦笑

これが夜の健介邸！トナカイが踊りだす!!

健介邸が凄いのは何も家の中だけじゃないんです！　ハッキリ言って夜も凄い！　辺りが暗くなるにつれ、逆に光の輝きはパワーアップ。「あれ、何か動いた」と、恐る恐る光の方向に近づくと、そこにはなんとトナカイが！　しかも、グイングインと首まで動くこのトナカイ、いったいどこで売ってるんだろう？　健介邸にはそんな秘密がいっぱいだ。このライティングのおかげで健介邸は５キロ先からも確認できます

佐々木家の食卓

北斗から「せっかくだから食べてって」と言われ晩ご飯を御馳走に。食卓兼健介オフィスのテーブルには特上寿司＆北斗の手料理がズラリ。前号で健介が語っていたとおり、北斗の料理はお世辞抜きで美味いです！　健介は誠之介クンに慣れた手つきで食事を与えていました

本邦初公開！　これが健介officeだ!!

本邦初公開！　これが健介Officeの全貌だーッ!……って、ただのFAXじゃん！　そうなんです、健介Officeとは、写真左のFAX一台なんです。あ、それと右の食卓テーブルが時には健介Officeのデスクになることもあるとのこと。ちなみに、健介Officeの上には神棚が備え付けられているので、商売繁盛間違いなし。もう慣れちゃいましたが、初めて健介Officeに電話して北斗晶が出た時はかなり焦りました、はい

リラックスルームでくつろぐ健介

健介と誠之介クンが笑顔で、くつろぐ、この部屋は健介邸のリラックスルーム。大きめのマッサージチェアがドカ～ンと置かれ、ここなら健介もゆっくりくつろげるは……ずだったが、またもや健之介クンが「遊ぼーッ!」と乱入!

ここから先は立ち入り禁止!!

「一ヶ所だけ写真撮って欲しくないところがあるの」と北斗に言われたのが寝室。「やっぱ、プライベートだからさ」とニッコリ

正直、一目惚れ！メキシコ製イス

階段あがってすぐの所にあったのが健介＆誠之介クンが座るイス。このイスは健介がメキシコで一目惚れして購入したとのこと

けじゃないですか？　そう思って和風の家の本ばっか買ってたんですよ、何冊も。

北斗　『本なんて見るだけ無駄』って言ってたんだけどね（笑）。ただアタシの父親も『和風の家の方がいい』って言ってて、ウチの父親を味方に付けちゃってさ。こっちは、ふざけんじゃねえ！　絶対負けるもんかって。どっちが強いかいまに見てろって思ってたんだけど、その結果がこれ（笑）。

ハンディキャップマッチも北斗の圧勝……。健介、負けっぱなしである。

北斗　でも金払うのは健さんなんですけどね（笑）。アタシはビタ一文出してないの。

ある意味、リング上よりデンジャラス・クイーンだ。でも、ビタ一文出してないとのことだが、北斗だって相当稼いでたはず。

北斗　アタシの金はアタシの金。この人の金はアタシの金なの！（キッパリ）。

ぐうの音も出ない。まさに女ジャイアン！

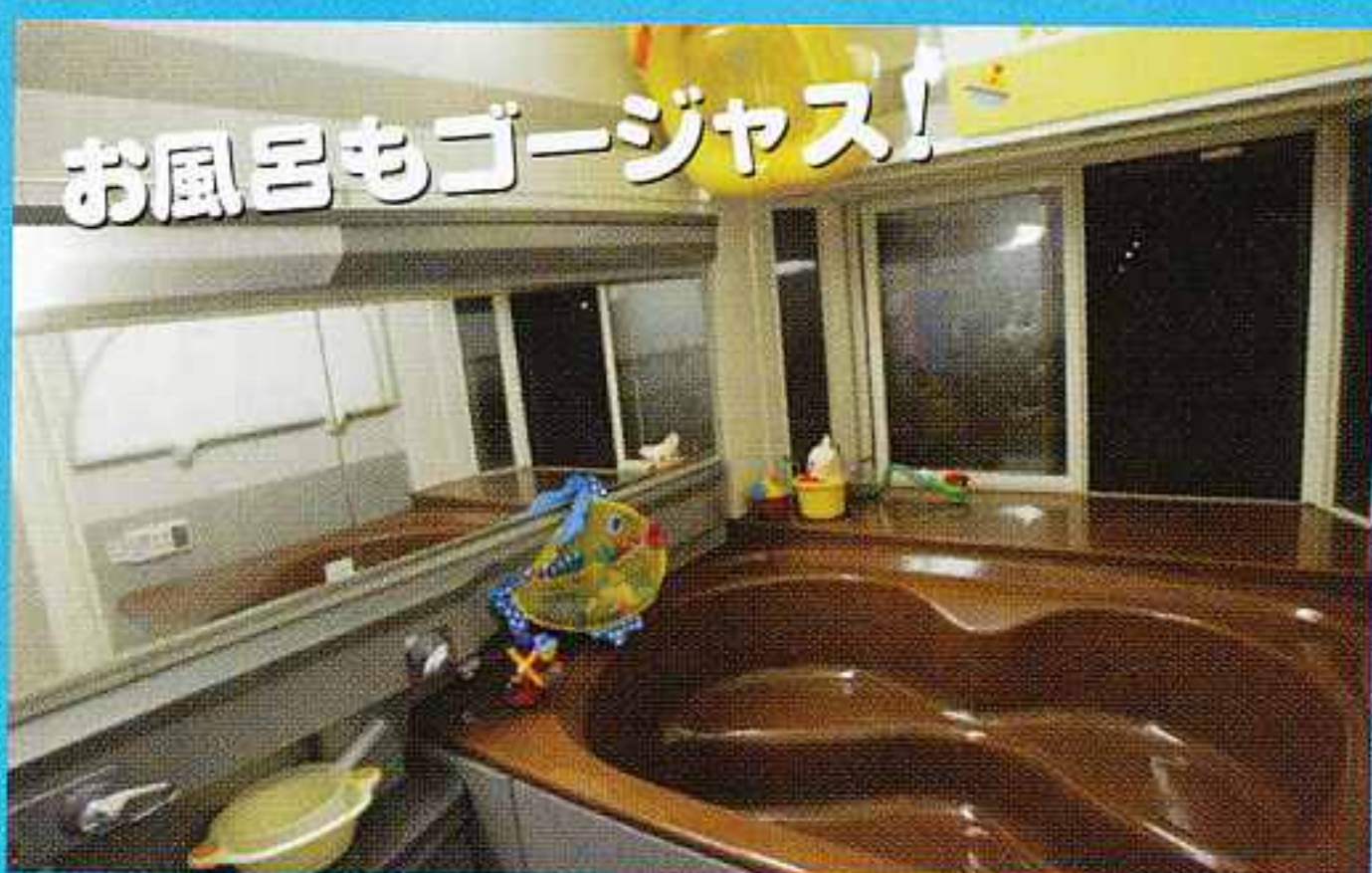
北斗　だって、結婚する時、健さんが言ったの。『お前の金には頼らない』って。だから別にいいかなって（笑）。その代わりっていうか、食費はどうせアタシの好きなもん作るんだから、自分が持ってるお金で食料を買ってっていう感じだったけどね。でも、マンションに住んでる時も家賃は健さん。家を買う時も頭金もローンも健さん。結婚式も全部、健さんなんだけどさ（笑）。

もう、健さんったらカッコ良すぎ！

健介　ちょっとカッコ付けすぎた（笑）。

北斗　やっぱりプロレスやってりゃ嬉しいこともいっぱいあるけど、痛い思いや嫌な思いもたくさんあるし、そういう思いしてやってて何にも形に残らなかったら嫌だなって。少しでもプロレスをやってた証しっていうのを残したいなって思ったし。プロとしてファンや若い選手達にも夢を与えなきゃっていうのもあるし……一銭も出して

健介邸ここに注目!!

ビビッたか!?　はい。たじろだか!?　はい。とにかく、健介邸は見れば見るほど、ビビったり、たじろいだりと大忙し。健介邸の魅力を全て伝えるには、たったの4Pじゃ不可能なので、ここでは注目ポイントをいくつかまとめてヴァーッとクァーッと紹介します!

お風呂もゴージャス!

予想はしていたが、やっぱり健介邸は風呂もデカかった!　この大きさなら、いくらプロレスラー夫婦と言えども家族４人で仲良く入れるでしょう

犬小屋もゴージャス!

中嶋クンの部屋より大きいという犬小屋は実在した!　10畳ほどの広々としたこの犬小屋にはウエスト・ハイランド・ホワイトテリアのナコとピコとケンノスケ?　住むところがなくなったら、ここに住まわせてもらおっと

トイレは、なんとスペインの街角風!

北斗いわく、スペインの街角をイメージしたというこのトイレ。スペインの街角で用を足す健介……想像しただけでオシャレなイメージが広がっていく。トイレにも素敵な写真がたくさん飾ってありました

ドンさんからの贈り馬!?

またしても廊下で発見した不思議な馬の置物。健介に聞くと、この馬の置物はドンさんことドン・フライからのプレゼントだという。キミはドン・フライ!

健ノ介クンは3冠王者だった!

突然変身したり、かと思えば泣き出したり、とにかく忙しい健之介クンの部屋に潜入。そこには、なんとWWEのチャンピオンベルトが３本!　将来親子タッグは実現するのか?「夢?　何にもなりたくない。だってさぁ、何やってもつまんないじゃんか」。健之介クン、反抗期!?

衣装部屋でパブ

誠之介クンがちょこんと座っているこの部屋は佐々木家の衣装部屋。と言っても、ほとんどが北斗の服だろう

ルイ・ヴィトンのバッグ……

健之介クンがやってきて「これね、ママが最近買ったルイ・ヴィトンのバッグ。高いんだよ!　写真撮って」とアドバイス。センキュー!

健介一家、秘蔵写真!その1

「仮面ライダー大好きッ!」な健介ファミリー。家族全員で仮面ライダー555ショーでの記念撮影。ホント、何をやっても絵になる家族だ

健介一家、秘蔵写真!その2

本年度の年賀状大賞を受賞した健介ファミリーだが、この写真も正直凄い。これほどソンブレロが似合うファミリーもなかなかいない!

健介Tシャツプレゼント

前号の健介ファミリーからの豪華プレゼントに続き、今回は新作の健介Tシャツを一名様にプレゼント。健介サイズなので正直かなり大きいが、健介のように豪快かつお茶目に着こなそう!　宛先はP143参照!!

ないから、そんなこと言うなって!?（笑）。

健介　その通り!（笑）。

北斗　でもさ、カッコイイ言い方するわけじゃないけど、若いレスラーにも、頑張ってやればこういった家が建てられるっていう夢を与えることが必要だと思うんですよ。だから、前に乗ってたキャデラックがブッ壊れた時も、子供もいるし腹もデカかったからファミリーカーみたいなのがいいかって考えたんだけど、それで会場に行っちゃったらどうなのって話じゃないですか?　会場に入る時にお客さんが見てるでしょ。その中でカッコ付ける云々じゃなくてカッコ付けなきゃいけないの。だって、健介がファミリーカーや軽自動車で会場入りしたら永田になんて言われるか（笑）。

健介　永田は別として（笑）、それは同感。こっちは痛い思いや苦しい思いしてやってるわけじゃないですか?　ホント何か形に残したいなって。この家は俺が建てたんだ、身体１つで買ったんだっていうものを何かひとつ残したかったんですよね。

北斗　でも、田舎だからこんだけの家が建てられたってのもあるよね。だってさ、大都会にこんだけの家建てたら大変だよ!

健介　そうだよね。東京住んでた時は、空気も悪いし、遊ぶとこもなかったし、子供はは可哀想だなぁって思って。その点、この辺は空気もいいし、泥遊びも出来るし、ザリガニ釣ったりも出来るしね。大変なのはボクの移動だけなんで（苦笑）。

北斗　それは我慢しなさいよ!（笑）。

健介　はい、わかりました!（笑）。

見事なまでのコンビネーションである。まさにベストタッグ!　誰が何と言おうと、やっぱり健介夫妻がイッチバ〜ンなのだ!!　正直、脱帽!!

IWGP王座奪取から、ハワイ遠征、マスクマンに変身まで この1ヶ月の健介を写真でヴァーッと追跡!

月刊 佐々木健介

発表します! 3月の『紙プロ』月刊MVPは健介に決定! というか今月は健介に尽きます。IWGP王座奪取に、翌日ハワイでもタイトル防衛、帰ってきたら、みちのくでボルケーノに変身、さらには『踊る! さんま御殿』で北斗と共に大活躍とフル回転! 健介、大好きッ!!

構成/松澤チョロ

3・12新日代々木大会で天山の持つIWGPに挑戦した健介。王座奪取の予感がして金もないのにチケット買って3年振りの新日観戦。最後はボルケーノ炸裂!

IWGP王者に輝いた健介。そこへ次期挑戦者のサップが登場。健介vsサップ戦が実現するなんてWJ時代は考えられない

最近はマイクもハズレなしの健介だったが、この日は正直聞き取れず。でも最近のIWGPは短命ブームなので、なんとか健介には防衛してもらいたいところだが……

IWGP奪取翌日は、ハワイ王KENSUKEとしてのお仕事。2日連続でタイトルマッチに挑む健介は気合い入りまくり!

今回のハワイ遠征も健介ファミリー大集合。隠れベッカムヘアーだった健之介クンはパパに似た髪型に変身。コービーに続いて健之介のデビューも近いか!?

大会終了後は健介軍団でヴァーッと打ち上げ。憧れの人・健介の横に座る健心の心中やいかに!?

初防衛に成功したKENSUKEを健介軍団の安生、浩一郎、健心、健次狼の4人がヴァーッと祝福。左の健次狼も健介のそっくりさんだが、さすがに健心には敵わず

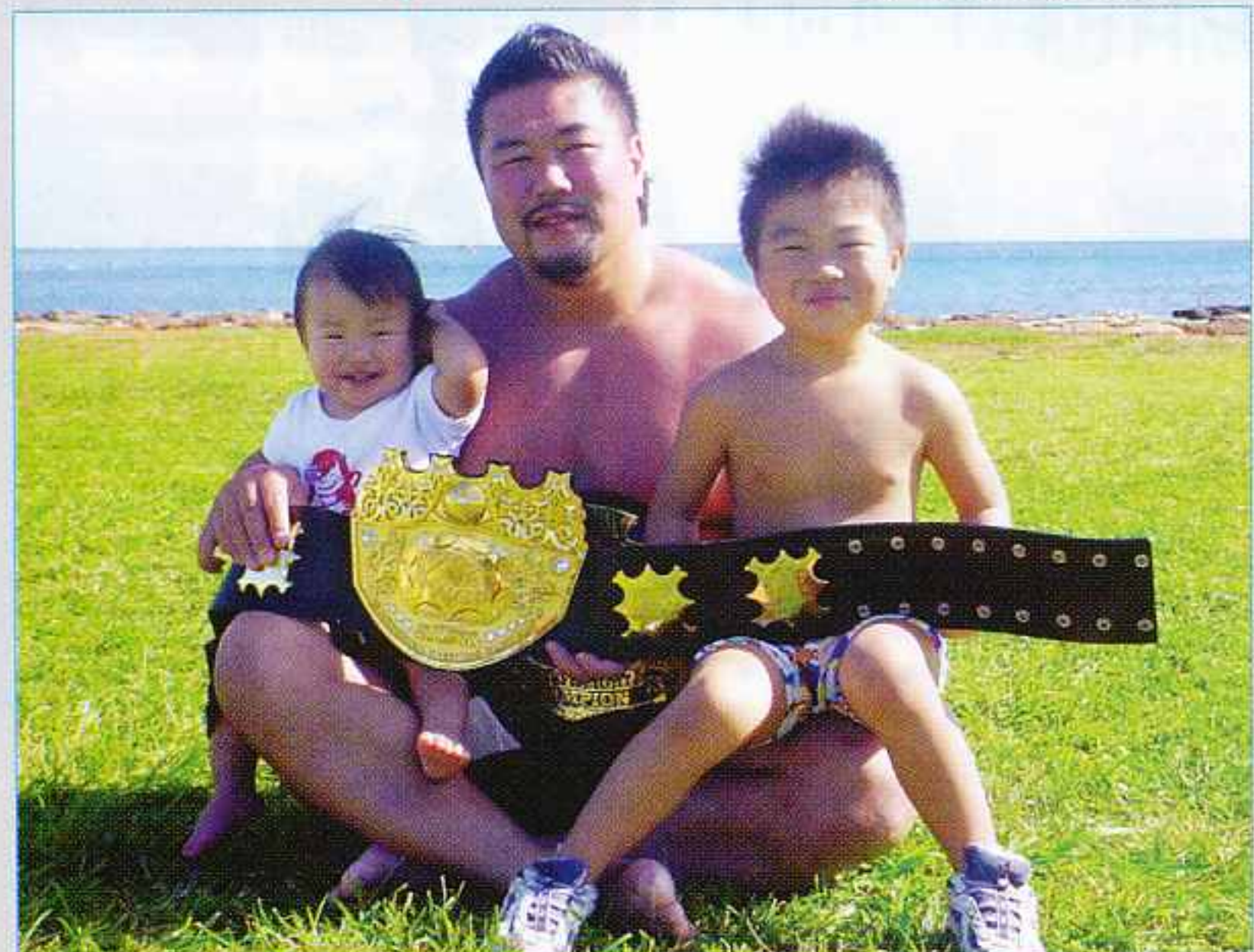
サイパン合宿ならぬハワイ合宿で練習に励む健介軍団。正直、イケメン度は0%だが男臭さは満点だ!

現地で売り出し中のカイマナ相手に北斗ボムで防衛したKENSUKE。もはやハワイでは敵なしか!? そろそろ日本でもKENSUKEが観たい

ハワイに到着した健介は早速、誠之介クンと記念撮影。ちなみに撮影はマネージャー兼夫人の北斗晶

一昔前の『明星』、『平凡』の表紙になりそうなポーズを爽やかにキメる4人だったが、正直●モ雑誌が精一杯!?

雄大なハワイの自然をバックにパパのチャンピオンベルトと記念撮影をする健之介クン&誠之介クンの2人。プロレス界のサラブレッドの2人は将来プロレス界へ足を踏み入れることはあるのだろうか? それにしても、健介一家の写真を見てると幸せな気持ちになるのはなんでだろう?

ハワイから健介軍団&健介ファミリーを引き連れ帰国した健介。帰国早々、2日後のみちプロに出場する際のマスクを報道陣に初公開。その名もズバリ、ボルケーノ!!

会見後、健介自ら報道陣にハワイ土産のプレゼント。マカダミアナッツチョコとTシャツを配る健介。やっぱ最高です!!

パパはサップに勝てるかな?

「サップ強いからなぁ。わかんない!」

カメラマンからサップ戦について質問を浴びる健介。それを横目で見ていた健之介クンがつかつか近寄り「なんでサップっていつも試合のとき靴履かないの? 買えないのかなぁ。でも金は持ってるしなぁ。う〜ん、変なの」

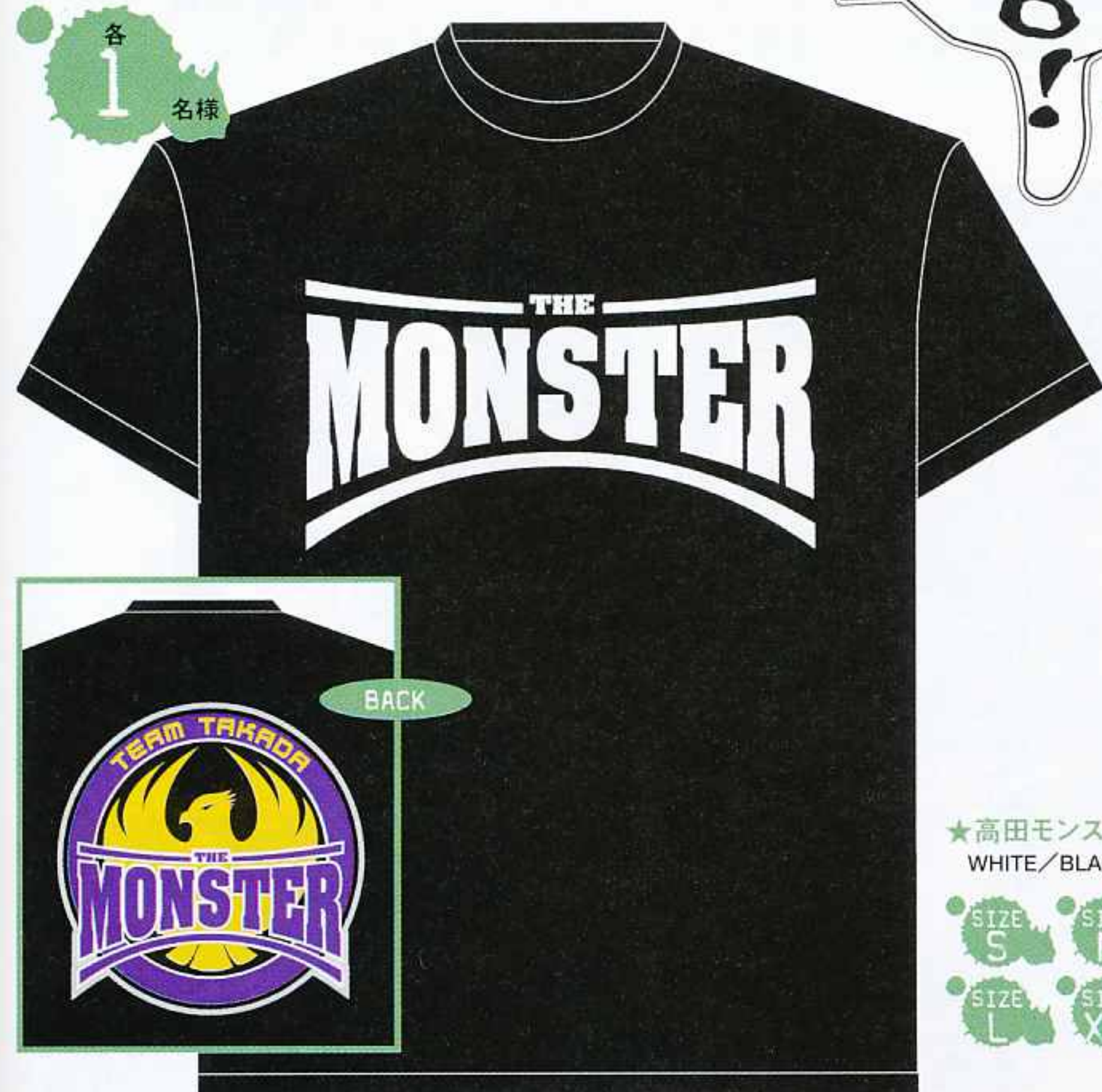
豪華賞品の数々にビビッたか!?　たじろいだか!!

RADICAL PRESENT

HASTLE

増殖し続ける髙田モンスター軍の如く、新グッズが続々登場!　果たして着々と進みつつあるという髙田モンスター軍の陰謀とは?　ハッスルグッズを身に付けて5月8日の『ハッスル3』を気長に待とう!　【DSE提供】
[TEL] 03-5464-1531　[HP] http://www.so-net.ne.jp/pride/

各1名様

★ブーイングハンド
¥1000

★高田モンスター軍Tシャツ
WHITE／BLACK　¥3800
SIZE S　SIZE M　SIZE L　SIZE XL

★ハッスルイラストTシャツ
WHITE　¥4000
SIZE S　SIZE M　SIZE L　SIZE XL

★ハッスルハッスルTシャツ
WHITE／YELLOW　¥4000
SIZE S　SIZE M　SIZE L　SIZE XL

PRIDE

クロアチア国会議員フィギュアと主食・日本人フィギュアが堂々完成!　今や負ける姿が想像すらできないミルコとシウバ。果たして、飛ぶ鳥を落としまくる勢いの両者を止める選手は現れるのか!?　【DSE提供】
[TEL] 03-5464-1531
[HP] http://www.so-net.ne.jp/pride/

各1名様

★ミルコ・クロコップフィギュア　¥3200　★シウバフィギュアver.2　¥3200

PAMPHLET

セットで3名様

★『ハッスル1』&『ハッスル2』パンフレットセット
『ハッスル・カレンダー』やこれまでの流れが分かる『ハッスル物語』、『ハッスル』相関図など、『ハッスル』情報がぎゅうぎゅう詰め!　さらにはお馴染み『ハッスル体操』を完全図解!　『ハッスル3』までにマスターしよう!　……『ハッスル』多ッ!!　【編集部提供】

COLOSSEO

1名様

★大晦日興行戦争Tシャツ
JR水道橋西口から徒歩30秒のファイティング・カフェ・コロッセオのオリジナルTシャツ。男の中の男たちが馬鹿になってダイナマイッ!!
【コロッセオ提供】
[住所] 千代田区三崎町3-7-13 田中ビルB1（1Fは天下一品ラーメン）
[営業時間] 月～土 11:30～14:00
17:30～24:00
日・祭 17:30～24:00
[定休日] 年中無休
[TEL] 03-3512-0522
[HP] http://www.colosseo.jp/

RINTAMA

1名様

★『リングの魂』手拭い
今や伝説の番組となりつつある『リングの魂』。その貴重なロゴ入り手拭いをプレゼント！ 題字はもちろん大山倍達総裁だよ、キミィ。【シャコタン提供】

ROCKIN'JELLYBEAN

各1名様

★マスク型小銭入れ ver.1 ¥1900 ★マスク型小銭入れ ver.2 ¥1900
ビバ仮面画伯！ 世界で活躍する覆面デザイナーROCKIN'JELLYBEANデザインによるマスク型小銭入れが登場！ 友達がうらやましがること間違いなし!! 5月1日より青山で初の個展を開催。詳しくは情報ページで！【EROSTY POP!提供】
[TEL] 03-5155-8021 [HP] http://www.gatracsales.co.jp/erosty/

JD STER

3名様

★『ワイルド・フラワーズ』パンフレット
4月17日（土）より上映される女子プロファン必見の『ワイルド・フラワーズ』。石川美津穂を始めとする子レスラーが多数出演。試合の実況はもちろん志生野温夫さんだ！ くわしくは情報ページで。
【JDスター提供】

Girls SHOCK

★Girls SHOCK Tシャツ（WHITE/NAVY）＋3・7竹芝大会パンフレット

セットで2名様

BACK

BACK

1名様

★『Girls SHOCK!』サイン入りDVD
女子キックの最高峰『Girls SHOCK』I～IIIの3大会を収録した、渡邉久江とWINDY智美のサインを入りDVDをプレゼント！ オフィシャルホームページも近日オープン！【Girls SHOCK提供】
[HP] http://www.girls-shock.com

BAMBAM BIGELOW

毎度毎度大好評のバンバン ビガロからまたしても新作登場！ ファッションなんかどうでもよくなってしまったお父さんに、イカしたコットンセーターをプレゼントしてみては？
【BAMBAM BIGELOW提供】
[TEL] 03-3460-1145
[HP] http://www.bambam88.com

各1名様

★マスカラスターズ コットンセーター ¥8800

★マスカラスターズ コットンビーニー （WHITE/GREY）¥2800

FIGHTER

各1名様

★ファイターパッチ&馬鹿田大学柔術クラブパッチセット

★エセ骨法Tシャツ

格闘技秘宝館と呼ぶに相応しいレアグッズがひしめく格闘ショップ ファイター。多くの格闘家が訪れるので、運が良ければ選手と遭遇できます（村上竜司兄貴とかヤノタクとか村浜兄とか、とにかく多数）。現在ファイターでは"ヤノタク・エイド"を実施中。エセ骨法Tシャツの売上げは、全て負傷欠場中のヤノタクの生活費になります。みんなで協力しよう！
【格闘技ショップ ファイター提供】
[TEL] 03-3354-1903
[HP] http://www13.ocn.ne.jp/~fighter/

応募要項

応募券

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名 ③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦『紙プロ』に登場してほしい人物
⑧ターザン山本さんに一言

【宛 先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「コスプレで超パワーアップ!!」係まで
※締切は2004年4月14日（水）当日消印有効

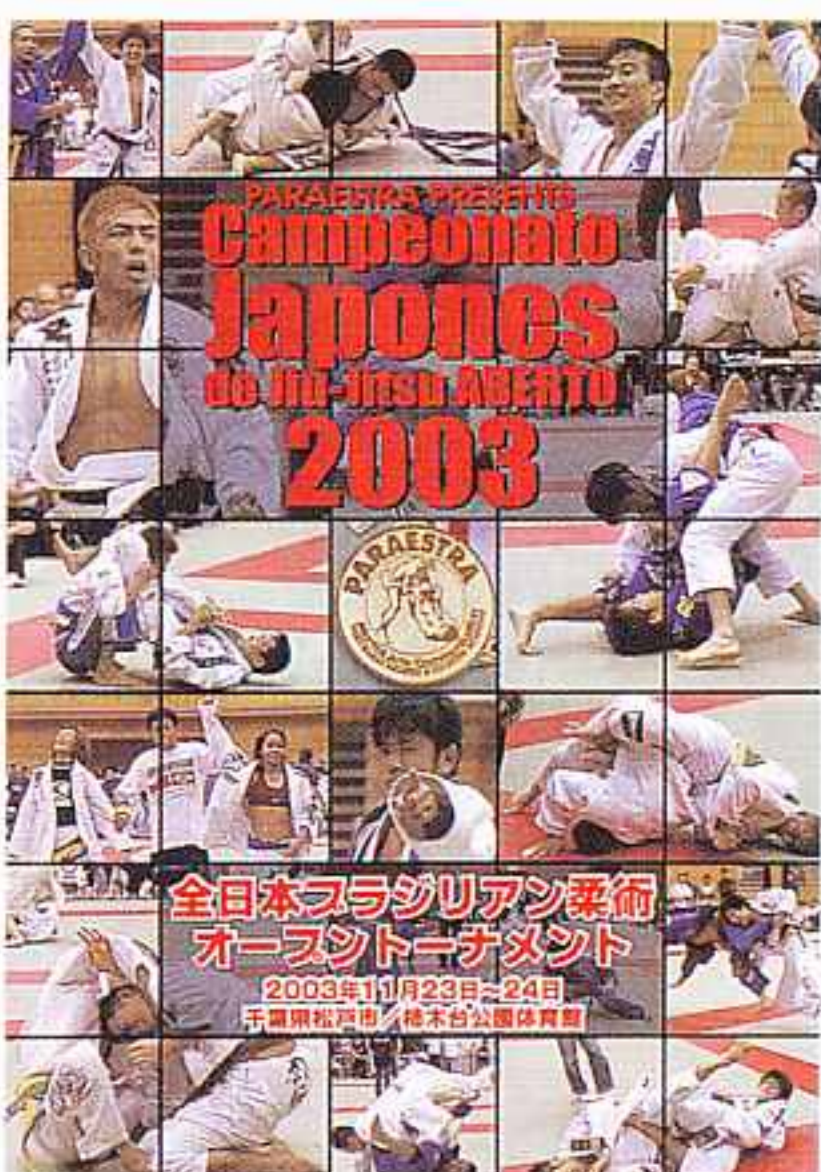
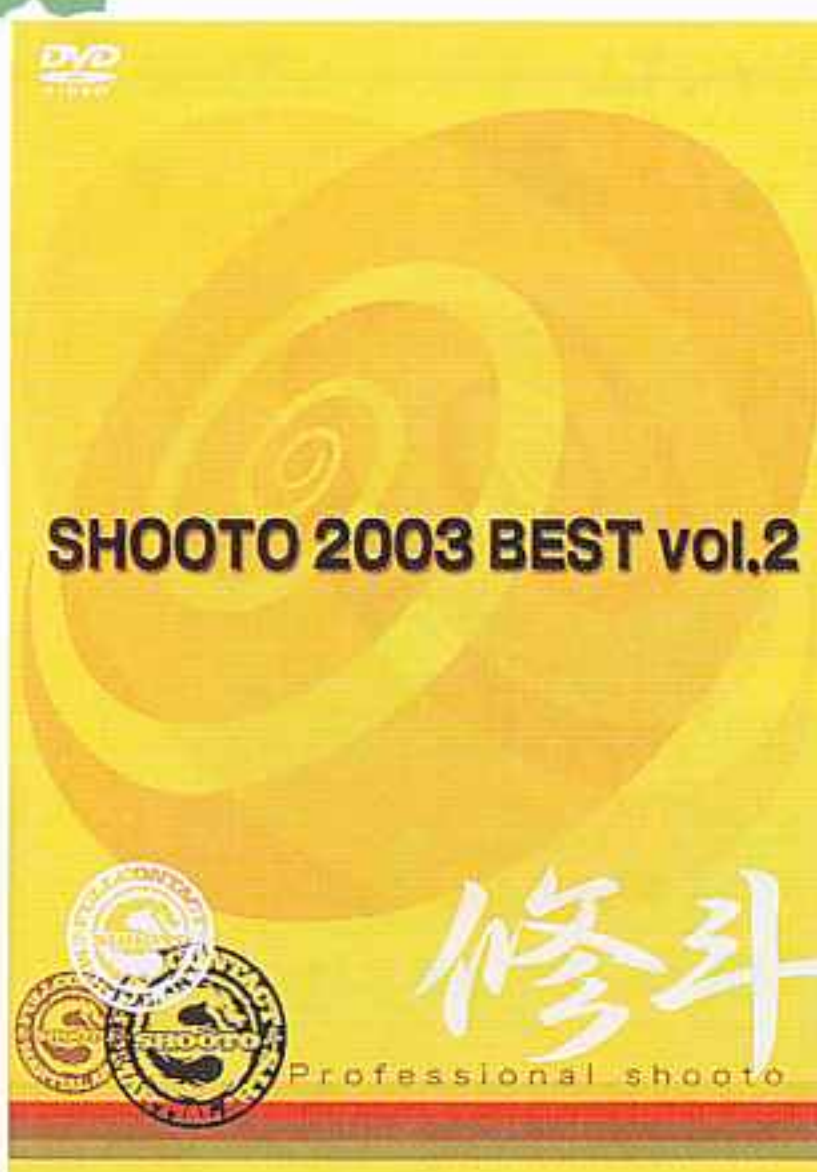
IWA JAPAN

3名様

★『キンクロのよかちん音頭』¥120
オリコン74位という快挙を成し遂げたIジャ旗揚げ10周年記念CDを3名様に！ キンクロー座（キンクロ、チョコ、カッパ、デビアス卿他[ジャオールスター）はいつでも元気！ 謡おう、路地裏のハッピーソング!!
[TEL] 03-3352-3366
[HP] http://www.iwajapan.jp/

QUEST

各¥5600＋税 【クエスト提供】
[TEL] 03-3360-3810
[HP] www.queststation.com

各1名様

★全日本ブラジリアン柔術オープントーナメント2003（240分）
総勢650名がエントリーしたパレストラ主催全日本ブラジリアン柔術オープントーナメント。各階級の決勝戦を中心に、多数の名勝負を限界まで収録。決定的瞬間だけを集めた映像特典BEST MOVESも必見だ！

★修斗2003下半期ベストバウト（230分）
修斗にとって激動の年となった2003年の熾烈極まるサバイバルマッチ全28試合を収録！ ペケーニョvsパーリング、五味vsハンセンのタイトルマッチを始め、「K-1 WORLD MAX」で注目を集めた山本KID徳郁も登場！（KIDインタビューはP26から!!）

紙のプロレス RADICAL
No.72
2004年4月17日発行

No.73は
4月17日発売!
※地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（打倒モンスター軍を決意したため非番）

見習い
斉野政智

スーパーバイザー
吉田豪

助っ人
片山ボン
ジャイ子

電気部
ささきぃ
スモーノブ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
タニやん
ブンちゃん
ノグッチー
しらき（以上TwoThree）

トメさん
はなえちゃん
黄川田洋志（以上さおとめの事務所）

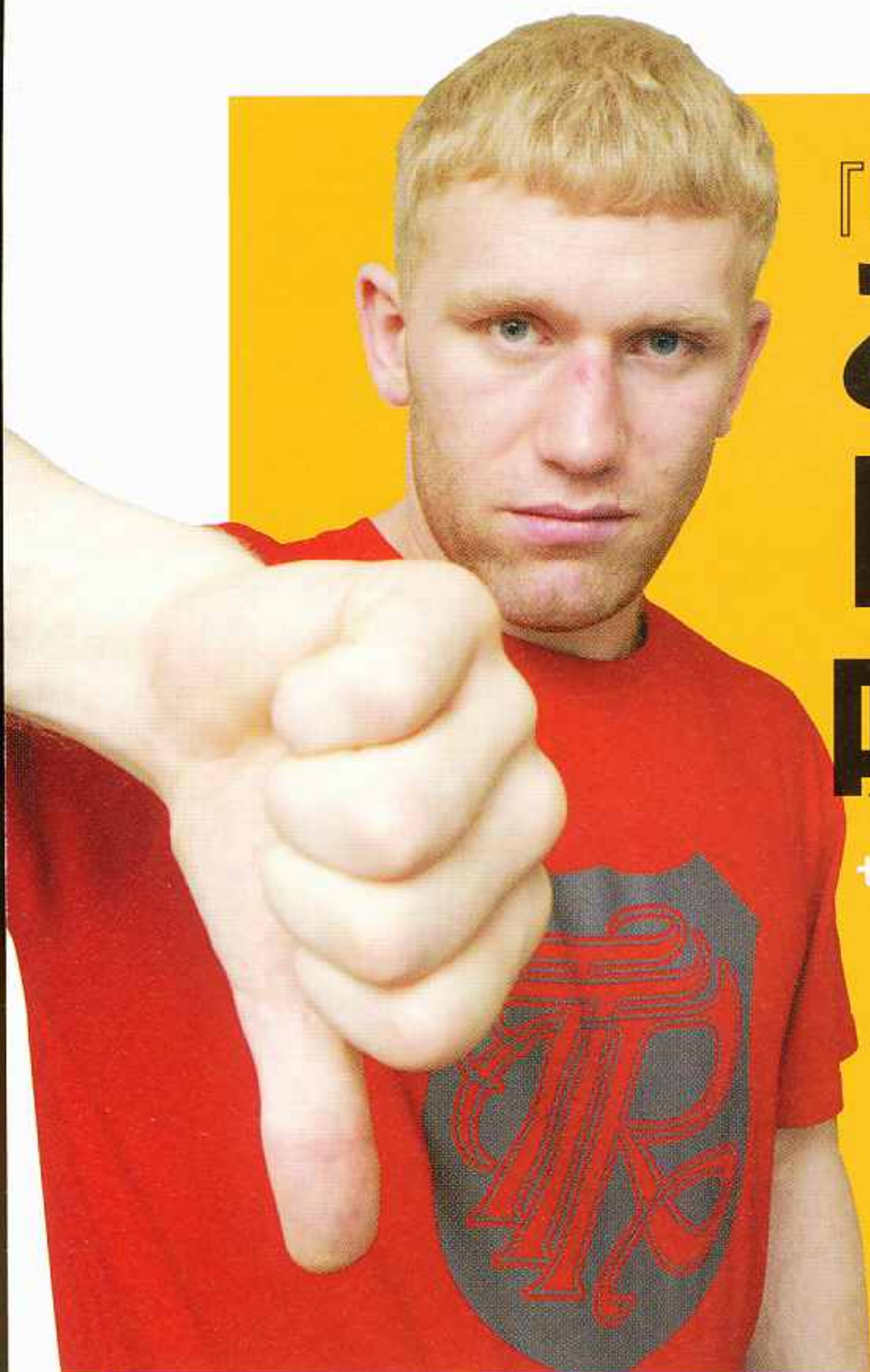
カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
福島俊彦
福島勝儀

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

体調
プリン体・入江（TwoThree）

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

『PRIDE GP』直前!
この春、RTT旋風が吹き荒れる!

セルゲイ・ハリトーノフ

『紙プロ』通販グッズは
電話注文できます!!
TEL.03-3403-5142
【平日15:00〜22:00】

『紙プロ』通販方法

★TPOにあわせて選べる通販方法
★消費税サービス
★全国どこでも送料一律500円（離島、山間部は除く）
★代引御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。
★通販は『紙プロHand』でも可能です。

代引 郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、年齢を書いたメールを

kapra@kamipro.com

まで送り下さい。
申し込みメール確認後、佐川急便にて発送。代金引換でのお受け取りになります。商品代金のほかに送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）。代引手数料約¥315がかかります（代引金額によって異なります）。御支払は、現金、デビットカード、クレジットカードの中から選べます。

現金書留 希望商品の代金+送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を現金書留で

〒151-0051
東京都渋谷区
千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

まで送り下さい。郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

郵便振替 希望商品の代金+送料一律¥500（何枚でも可。離島、山間部は除く）を郵便振替で送り下さい。

郵便振替の宛先は
00130-3-769154
（株）ダブルクロス

郵便番号、住所、氏名、電話番号（携帯）、商品名、サイズ、枚数、何故か年齢を必ず表記してください。

電話注文もできます!!
平日15:00〜22:00
（株）ダブルクロス 03-3403-5142

ロシア『RTT』Tシャツ〈レッド〉
¥3,800 S or M or L or XL

ロシア『RTT』Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

ロシア『RTT』Tシャツ〈グレー〉
¥3,800 S or M or L or XL

ヒョードル『ラスト・エンペラー』Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

ヒョードル『ラスト・エンペラー』Tシャツ〈ブラック〉
¥3,800 S or M or L or XL

エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL

エメリヤーエンコ・ヒョードルTシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or L or XL

『ヒョードル』キーホルダー
¥1,200

『ロシアン・トップチーム』キーホルダー
¥1,200

ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L or XL
残りわずか!

ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉
¥3,800 S (SOLD OUT) or M or L or XL
残りわずか!

※ヒョードルパーカー、ヒョードル「ラスト・エンペラー」Tシャツ（ホワイト/ブラック）は在庫がなくなり次第完売となります。お早めに!!

通販完売商品は直販店にある!?
【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237） ★東京イサミ（TEL.03-3352-4083） ★リングソウルZ神戸（TEL.078-393-3514） ★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160） ★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551） ★福岡天神ビブレGROUND COBRA（TEL.092-711-1021） ★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658） ★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646） ★浜松市・Buddy（TEL.053-450-7888）